新潟県埋蔵文化財調査報告書　第296集

一般国道253号

八箇峠道路関係発掘調査報告書3

金 屋 遺 跡 Ⅳ　第4・5次調査

２０２３

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

一般国道 253 号

八箇峠道路関係発掘調査報告書 3

金屋（かなや）遺跡 Ⅳ　第 4・5 次調査

２０２３

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

序

八箇峠道路は十日町市大字八箇と南魚沼市大字余川を結ぶ地域高規格道路（自動車専用道路）で、上越市から南魚沼市に至る延長約 60km の一般国道 253 号上越魚沼地域振興快速道路の一部です。この地域高規格道路は、地域の活性化と他地域との交流を促進することを目的として建設される道路です。十日町地域・南魚沼地域においては、高規格幹線道路である関越自動車道と併せて、信頼性の高い循環型広域ネットワークを形成することを目指し、これによって、沿線地域の産業・経済・文化の交流・発展が促進されるものと期待されています。

本書は、この八箇峠道路建設に先立ち、令和 2・3 年度に実施した金屋遺跡の発掘調査報告書です。

調査により、平安時代の竪穴建物、掘立柱建物などを検出しました。また遺物では古代の土師器・須恵器、緑釉陶器・灰釉陶器、鉄製の馬具、石製・青銅製の腰帯具などが見つかっています。その結果から、当遺跡は庄之又川が形成する扇状地に立地する古代の有力な集落であることがわかりました。

今回の調査成果が、地域の歴史を解明するための研究資料として広く活用されるとともに、県民の方々の埋蔵文化財に対する理解と認識を深める契機となれば幸いです。

最後に、この調査に関して多大なご協力とご支援をいただいた南魚沼市教育委員会、並びに地元の方々、また発掘調査から報告書刊行に至るまで格別のご高配をいただいた国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所に対して厚くお礼申し上げます。

2023（令和 5）年 7 月

公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

理事長　野　上　文　敏

例　　言

1　本書は、新潟県南魚沼市金川字道上ほかに所在する金屋遺跡第４次・５次（一部）調査の発掘調査記録である。

2　発掘調査は、一般国道 253 号八箇峠道路の建設に伴い国土交通省長岡国道事務所（以下、国交省）から公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（以下、埋文事業団）が受託し、2020・2021 年に調査を実地したものである。

3　埋文事業団は発掘調査・整理業務・関連工事等の一部業務を株式会社大石組（2020 年度）、株式会社イビソク（2021 年度）に委託して発掘調査を実施した。

4　報告書作成に係る作業は主に 2022 年度に行い、報告書の印刷刊行は 2023 年度に行った。

5　出土遺物及び調査・整理作業に係る各種資料は、一括して新潟県が新潟県埋蔵文化財センターにおいて保管している。遺物の注記は、2020 年度調査分を「20 カナヤ」、2021 年度調査分を「21 カナヤ」とし、出土地点や層位等を併記した。

6　本書の図中で示す方位は、全て真北である。

7　本書に掲載した遺物番号は種別に関わりなく通し番号とし、本文及び挿図・遺物観察表・遺物図版・写真図版の番号は一致している。

8　引用・参考文献は著者及び発行年（西暦）を本文中に［　］で示し、巻末に一括して掲載した。自然科学分析については、節末に掲載した。

9　調査成果の一部については財団広報紙「埋文にいがた」第 117 号、『2020（令和 2）年度公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』、『2021（令和 3）年度公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』、『冬季企画展発掘！新潟の遺跡 2020』、『同 2021』、『同 2022』などで公表しているが、本書の記述をもって正式な報告とする。

10　自然科学分析はパリノ・サーヴェイ株式会社に委託し、分析結果は斎藤崇人・井上智仁・矢作健二・坂本秀平・斎藤紀行が執筆した。

11　遺構図のトレース及び各種図版作成・編集に関しては有限会社不二出版に委託してデジタルトレースと DTP ソフトによる編集を実施し、完成データを印刷業者へ入稿して印刷した。

12　本書の執筆は田中祐樹・春日真実（埋文事業団）、南波守・松井奈緒子・石坂圭介（株式会社大石組）・中井勝次（株式会社イビソク）が当たり、編集は春日が担当した。執筆分担は以下の通りである。

第Ⅰ章１・2……田中、第Ⅰ章 3……南波、第Ⅱ章 1……松井、第Ⅱ章 2……石坂、第Ⅲ章……南波、第Ⅳ章１・2……石坂、第Ⅳ章３・4……石坂・松井・中井の各原稿を春日が加筆・調整、第Ⅴ章……春日、第Ⅵ章……斎藤・井上、第Ⅵ章 2……矢作・坂本・斎藤、第Ⅶ章……春日である

13　図書館等（著作権法第 31 条第１項に規定する図書館等をいう。）の利用者は、その調査研究の用を供するために、本報告書の全体について、複製することができる。

14　発掘調査から本書の作成に至るまで、下記の方々及び機関から多くの御教示・御協力をいただいた。ここに記して厚くお礼申し上げる。（五十音順、敬称略）

国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所　南魚沼市教育委員会　水土里ネット南魚沼土地改良区

野上久夫　野上　真　飯田陽一　神谷佳明　木津博明　桜岡正信　中沢　悟

目　　次

第Ⅰ章　序　　説 …… 1

1　調査に至る経緯 …… 1

2　調査の経過 …… 2

A　試掘確認調査 …… 2

B　本発掘調査 …… 2

C　整理作業の経過 …… 3

3　発掘調査と整理の体制 …… 4

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 5

1　地理的環境 …… 5

2　歴史的環境 …… 7

A　古 墳 時 代 …… 8

B　古　　代 …… 10

第Ⅲ章　調査の概要 …… 11

1　グリットの設定 …… 11

2　基 本 層 序 …… 11

第Ⅳ章　遺　　構 …… 15

1　概　　要 …… 15

2　記 載 方 法 …… 15

3　上層の遺構 …… 16

4　下層の遺構 …… 18

第Ⅴ章　遺　　物 …… 23

1　概　　要 …… 23

2　土器・陶磁器 …… 23

A　分　　類 …… 23

B　各　　説 …… 23

3　その他の遺物 …… 34

第Ⅵ章　自然科学分析 …… 35
1　珪藻・花粉・微粒炭分析 …… 35
A　試　　料 …… 35
B　分析方法 …… 36
C　結　　果 …… 37
D　考　　察 …… 38
2　金屋遺跡Ⅳ出土土器の胎土分析 …… 41
A　試　　料 …… 41
B　分析方法 …… 41
C　結　　果 …… 42
D　考　　察 …… 47
第Ⅶ章　ま　と　め …… 49
1　遺　　物 …… 49
2　遺　　構 …… 50
《引用・参考文献》…… 55
《観　察　表》…… 58

挿図目次

第 1 図　国道 253 号八箇峠道路と国道 17 号六日町バイパスで調査した遺跡の位置 …… 1
第 2 図　試掘確認調査トレンチ位置と本発掘調査位置 …… 2
第 3 図　当初の調査区と拡張区 …… 3
第 4 図　魚沼周辺の地形 …… 6
第 5 図　遺跡周辺の地形 …… 7
第 6 図　遺跡分布図 …… 9
第 7 図　グリッド設定図 …… 11
第 8 図　基本層序 …… 13
第 9 図　遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類 …… 15
第 10 図　器種分類 1 …… 24
第 11 図　器種分類 2 …… 25
第 12 図　杯蓋・有台杯の重ね焼分類 …… 26
第 13 図　244 の叩きと当て具痕 …… 30
第 14 図　模式断面図および試料採取位置 …… 35
第 15 図　砕屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成（1） …… 44
第 16 図　砕屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成（2） …… 45
第 17 図　砕屑物・基質・孔隙の割合 …… 46
第 18 図　胎土化学組成散布図 …… 47
第 19 図　須恵器の胎土 …… 49
第 20 図　須恵器の胎土別重ね焼 …… 49
第 21 図　煮炊具の系統別比率 …… 50
第 22 図　下層の主な土器群 …… 51
第 23 図　上層の主な土器群 …… 52
第 24 図　遺構の変遷 1 …… 53
第 25 図　遺構の変遷 2 …… 54

表　目　次

第 1 表　遺跡地名表 …… 9
第 2 表　検出した遺構 …… 15
第 3 表　須恵器の胎土 …… 26
第 4 表　土師器（黒色土器・赤彩土師器など含む）の胎土 …… 26
第 5 表　本書で用いる時期区分と主な資料 …… 27
第 6 表　出土土器の器種構成比率 …… 28
第 7 表　上層の主な土器群の器種構成比率 …… 30
第 8 表　下層の主な土器群の器種構成 …… 32
第 9 表　珪藻分析結果 …… 37
第 10 表　花粉分析・微粒炭分析結果 …… 38
第 11 表　試料一覧 …… 41
第 12 表　ガラスビード作製条件 …… 42
第 13 表　蛍光 X 線装置条件 …… 42
第 14 表　蛍光 X 線定量測定条件 …… 42
第 15 表　薄片観察結果 …… 43
第 16 表　蛍光 X 線分析結果（化学組成）…… 46

図 版 目 次

【図面図版】

図版 1　調査区の位置
図版 2　上層全体図
図版 3　上層分割図 1
図版 4　上層個別図 1
図版 5　上層分割図 2
図版 6　上層分割図 3
図版 7　上層個別図 2
図版 8　上層分割図 4
図版 9　上層個別図 3（杭列・土坑・焼土）
図版 10　上層個別図 4（掘立柱建物 1）
図版 11　上層個別図 5（掘立柱建物 2）
図版 12　上層個別図 6（掘立柱建物 3）
図版 13　上層個別図 7（掘立柱建物 4）
図版 14　上層個別図 8（掘立柱建物 5）
図版 15　上層個別図 9（掘立柱建物 6）
図版 16　上層個別図 10（掘立柱建物 7）
図版 17　上層個別図 11（掘立柱建物 8）
図版 18　上層個別図 12（掘立柱建物 9）
図版 19　上層個別図 13（掘立柱建物 10、土器集中（SX）1）
図版 20　上層個別図 14（土器集中（SX）2）
図版 21　下層全体図
図版 22　下層遺構個別図 1
図版 23　下層遺構分割図 1
図版 24　下層遺構個別図 2
図版 25　下層遺構分割図 2
図版 26　下層遺構個別図 3
図版 27　下層遺構分割図 3
図版 28　下層遺構個別図 4
図版 29　下層遺構分割図 4
図版 30　下層遺構個別図 5
図版 31　下層遺構分割図 5
図版 32　下層遺構個別図 6
図版 33　下層遺構分割図 6
図版 34　下層遺構個別図 7（掘立柱建物 1）
図版 35　下層遺構個別図 8（掘立柱建物 2）
図版 36　下層遺構個別図 9（掘立柱建物 3）
図版 37　下層遺構個別図 10（掘立柱建物 4）
図版 38　下層遺構個別図 11（掘立柱建物 5）
図版 39　下層遺構個別図 12（掘立柱建物 6）
図版 40　下層遺構個別図 13（掘立柱建物 7）
図版 41　下層遺構個別図 14（掘立柱建物 8）
図版 42　下層遺構個別図 15（掘立柱建物 9）
図版 43　下層遺構個別図 16（掘立柱建物 10）
図版 44　上層出土土器　SX64・SX159・SK4・焼土 72・ピット・Ⅵa5 層
図版 45　上層出土土器　Ⅵa5 層・Ⅵa6 層・Ⅵa7 層・Ⅵa8 層・Ⅵa 層 1
図版 46　上層出土土器　Ⅵa 層 2
図版 47　上層出土土器　Ⅵa 層 3
図版 48　上層出土土器　Ⅵa 層 4
図版 49　上層出土土器　Ⅵa 層 5
図版 50　上層出土土器　Ⅵa 層 6
図版 51　下層出土土器　SI1470、SK1099・1224・1241・1627
図版 52　下層出土土器　SK1627・1286・3056・3108・3126・3160、SD1009・1012・1382
図版 53　下層出土土器　SX169・ピット
図版 54　下層出土土器　SR1001-1・2・5 層
図版 55　下層出土土器　SR1001-7・11・12・サブトレンチ
図版 56　下層出土土器　SR1002、SR1003-1・3・10・13 層
図版 57　下層出土土器　Ⅵb 層 1

図版 58　下層出土土器　Ⅵb 層 2
図版 59　下層出土土器　Ⅵb 層 3
図版 60　下層出土土器　Ⅵb 層 4
図版 61　下層出土土器　Ⅵb 層 5、その他
図版 62　金属製品・石製品
【写真図版】
図版 63　遺跡遠景・上層完掘
図版 64　3・4DE 周辺、2・3DE 周辺
図版 65　基本層序、SX64・159
図版 66　SK4、焼土 272・485・507・522
図版 67　焼土 523・665、SB691（P490・495・497・500・503）
図版 68　SB688（P140・274）、SB694（P210・303・319・382）、SB695（P176・230）
図版 69　SB698（P491・577・583・597）、SB699（P104・122・250・309）、SB708（P121）
図版 70　SB700（P279・288・329・430）、SB703（P180・206）、SB707（P70・77・78）、SB713（P278）
図版 71　SB708（P101・135）、SB709（P628）、SB710（P357･393･415）、SB711（P416･424）
図版 72　SB712（P318・337・373・411・451・496）、SB714（P181・227）
図版 73　SB713（P177・189・218・257・297・308・383・384）
図版 74　SB715（P420・427・442・452）、SB717（P371・376・431・459）
図版 75　SB716（P316・344・363・365・375・444・458・473）
図版 76　SB722（P554・562）、SB723（P389・609）、SA706（P568・586・616・618）
図版 77　SA718（P107・576・623・629・630）、SA721（P125・572・585・590）
図版 78　SA725（P534・558・564・620）、遺物出土状況
図版 79　下層完掘
図版 80　SI1470
図版 81　SX1874、SK1417・1577・1276
図版 82　SK1627・1979・1702・1224
図版 83　SK3126・3160
図版 84　SK3056・1241・1046
図版 85　SX1199、SB728（P1085・1216）、SB729（SK1188・1219）、SB730（P1087・1193）
図版 86　SB739（P1071・1076・1077・1109）、SB742（P1682）、SB743（P1024）、SB744（P1128、1148）
図版 87　SB752（P1272・1289・1555）、SB754（P1283･1801･1804）、SB1996（P1600）、SB1997（P1594）
図版 88　3・4G 周辺完掘、SB1996（SK1042・1098、P1966、SX1199-P3）
図版 89　SB1996（P1598）、SB1997（P1101・1594、SK1286）、SB1998（P1354・1619・1697）
図版 90　SB1998（P1346・1668・1949、SK1810）
図版 91　SB1999（P1162・1187・1246・1255・1256・1259・1275・1866）
図版 92　SB2000（P1051・1292・1820・1839）
図版 93　SB2000（P1823・1824・1826・1828）、SR1001
図版 94　SR1001・1002・1003、SD1412・1413
図版 95　SD1414・1416・1475・1476・1477・3144、拡張区全景
図版 96　SX64・SI1470 出土土器
図版 97　上層出土土器　SX64・159、SK4、焼土 272、P49、P366、P610、Ⅵa5 層
図版 98　上層出土土器　Ⅵa6 層・Ⅵa7 層・Ⅵa8 層・Ⅵa 層 1
図版 99　上層出土土器　Ⅵa 層 2
図版 100 上層出土土器　Ⅵa 層 3
図版 101 上層出土土器　Ⅵa 層 4
図版 102 上層出土土器　Ⅵa 層 5
図版 103 上層出土土器　Ⅵa 層 6　下層出土土器　SI1470、SK1099・1224・1241・1286・1627・3056・3108・3126
図版 104 下層出土土器　SK1627・3160
図版 105 下層出土土器　SD1009・1012・1382、SX169、ピット、SR1001-1・2 層
図版 106 下層出土土器　SR1001-5・7・11・12 層
図版 107 下層出土土器　SR1001-11・12 層・サブトレンチ、SR1002、SR1003-1・3 層、SR1003-10・13 層、Ⅵb 層 1
図版 108 下層出土土器　Ⅵb 層 2
図版 109 下層出土土器　Ⅵb 層 3
図版 110 下層出土土器　Ⅵb 層 4
図版 111 下層出土土器　Ⅵb 層 5
図版 112 下層出土土器　Ⅵb 層 6、その他の土器、金属製品 1
図版 113 金属製品 2・石製品

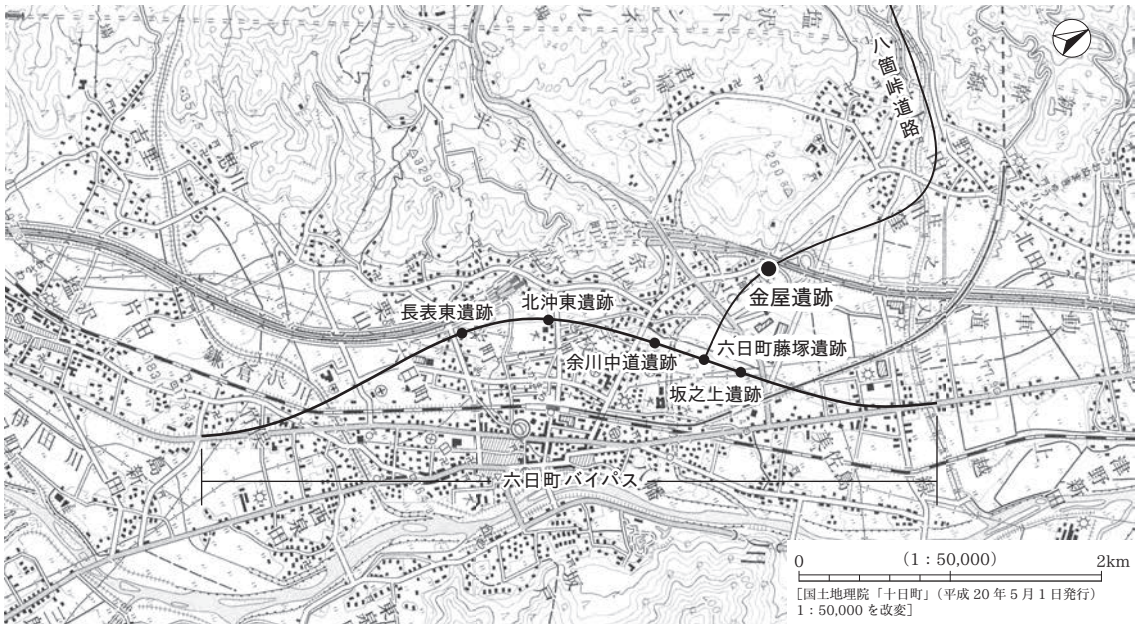
第Ⅰ章　序　　説

1　調査に至る経緯

国道 253 号は、上越市を起点とし、南魚沼市を終点とする全長 67.8km の道路である。現在、上越市と南魚沼市を結ぶ上越魚沼地域快速道路の整備が進められているが、八箇峠道路はその整備区間の一部を構成する。八箇峠道路は、十日町市八箇を起点とし、南魚沼市余川を終点とする延長 9.7km の区間を指す。この区間は、縦断勾配 8% 以上の急勾配区間が 2.4km あり、県内有数の豪雪地帯であることから、交通障害の発生が大きな問題となっている。このような問題を解消するため、国交省では 1997 年に八箇峠道路の整備区間を指定、2000 年に事業化・工事着手しており、2017 年には八箇 I.C（十日町市八箇）～野田 I.C（南魚沼市野田）が開通した。残りの野田 I.C ～余川 I.C 区間が開通することで、走行時間の短縮及び走行経費の削減（新幹線駅へのアクセス向上・冬期におけるスムーズな交通の確保）、災害等による迂回路の解消、交通事故件数の減少、交通の信頼性確保、主要な観光地へのアクセス向上、救命救急施設へのアクセス向上、バス路線の利便性・信頼性向上、六日町バイパスとの一体的な整備ができるものと期待されている（第 1 図）。

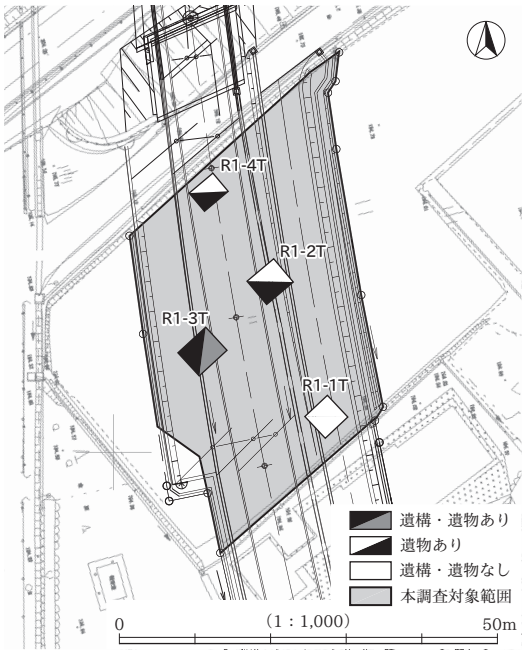
国交省は、八箇峠道路整備にあたって、県教委に計画用地内における埋蔵文化財の分布調査を依頼した。県教委の委託を受けた埋文事業団は、2000 年 12 月に分布調査を実施したところ、遺物は採集されなかった。しかし、丘陵部では大小の河岸段丘が発達していること、水田部が堆積速度の速い扇状地にあたり表層の遺物採集だけでは遺跡の有無を判断することが困難なこと、周辺には県内屈指の群集墳である飯綱山古墳群・蟻子山古墳群が存在することなどから、現道・河川部分を除いた全域において試掘調査が必要と報告した。

この結果を受けて、用地買収が進んだ範囲から埋蔵文化財の有無を確認する試掘調査を実施した。今



第 1 図　国道 253 号八箇峠道路と国道 17 号六日町バイパスで調査した遺跡の位置

回報告する調査地点の試掘確認調査は2019（令和元）年11月25・26日に実施し、遺構・遺物を検出した。この結果から、1,600m² について本発掘調査が必要であると報告した。その後、国交省・県教委・埋文事業団の三者で協議し、2020（令和2）年度に本発掘調査を実施することとなった。



第２図　試掘確認調査トレンチ位置と本発掘調査位置

2　調査の経過

A　試掘確認調査

周知の金屋遺跡南側隣接地について試掘確認調査を実施した。対象面積は3,000m² であったが、うち1,400m² は宅地があり調査不可能で、実質的な対象面積は1,600m² であった。対象地内に４か所のトレンチを設定し、うち１か所調査から遺構と遺物、２か所から遺物が出土し、1,600m² について本発掘調査が必要であると判断した（第２図）。

B　本発掘調査

2020（令和２）年度（第４次）

令和２年３月17日付け国北整長計第106号で国交省から依頼を受けた県教委は、令和２年３月18日付け教文第1393号で埋文事業団に本調査が依頼された。調査対象面積は1,600m² である。

事前準備　当初予定は７月調査開始であったが、現地引き渡しの都合により調査開始が遅れた。そのため、当月中は本報告書の第Ⅱ章にあたる原稿執筆や地元説明、書類手続きなどの準備作業を行った。当年度の調査は、８月１日から開始した。

現地調査　８月１日から開始した。表土掘削に先立ち、試掘トレンチの1T･3Tを掘削し壁面の確認を行った。包含層は試掘段階でⅥa・Ⅵb層とされており、当初はこれを１面で調査する予定であったが、調査の進捗に伴い２面調査が必要となり、前者を上層、後者を下層として調査を進めた。８月27日より作業員を投入して本格的な作業を開始した。掘削はⅥa層→Ⅵb層と段階的に行ったが、Ⅵb層上面で検出できる遺構数が多く、地点によってはⅥb層の掘削が困難であった。９月29日には文化行政課が調査状況の確認を行った。上層の遺構が多く、実質２面調査が必要となったことで、降雪前に調査を完了することが困難な見通しであることを説明し、調査途中の段階での埋め戻しも考慮し調査を継続することとした。これについて10月６日に国交省と協議し、本年度中の調査は可能な限り進めるとして残った分については次年度に引き継ぐこととした。

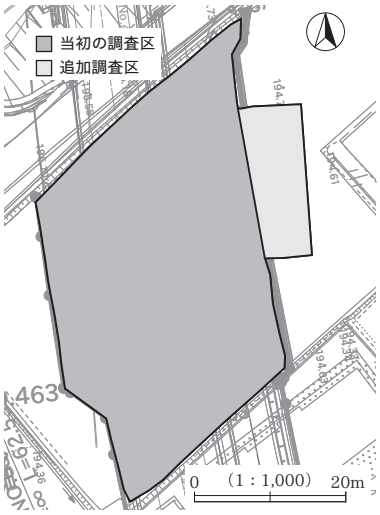
10月６日からは包含層掘削と並行して、上層遺構の調査を開始した。11月６日に高所作業車による上層遺構の完掘状況の撮影を行った。その後可能な限り下層包含層の掘削を進め、11月13日に調査区西側の下層包含層を一部残した状況で、下層遺構の検出状況写真を撮影し本年度の調査を終了とした。11月16日には文化行政課が本年度の調査終了状況を確認した。

撤収・埋め戻し　11 月 16 日より撤収作業を開始し、24 日からは埋め戻し作業を行った。埋め戻しは、まず土のうやシートで調査面を保護し、その上に保護層となる山砂を搬入して最終的には調査で出た排土で埋め戻しをした。12 月 8 日に現地の作業が終了した。

出土品展示会　11 月 3 日～ 7 日には、調査と並行して出土品展示会を開催した。参加者は 143 名であった。

2021（令和 3）年度の調査（第 5 次）

令和 3 年 3 月 3 日付け国北整長計第 70 号で国交省から依頼を受けた県教委が、令和 3 年 3 月 8 日付け教文 1407 号で埋文事業団に本調査受託の意向を確認した。埋文事業団は国交省と委託契約を結び調査に着手した。



第 3 図　当初の調査区と拡張区

当初の調査区　昨年度埋め戻した土砂の除去を 6 月 1 日から開始した。6 月 15 日に昨年度埋め戻した土砂・山砂・シートの除去が終了し、6 月 16 日から本格的な発掘調査を実施した。6 月 22 日には包含層掘削と並行して遺構検出を開始し、6 月 30 日には遺構掘削に着手した。9 月 17 日には遺構掘削が概ね終了し、9 月 22 日にラジコンヘリコプターによる上空からの写真撮影を行い、その後 9 月 30 日まで掘り残し遺構の掘削・測量などを行い、10 月 1 日からは埋め戻しを行い 10 月 19 日に埋め戻しは完了した。

追加調査区　当初の調査区の東側の民地 139m^2（第 2 図）にも工事の際に影響があることが明らかになり、本発掘調査が必要となった。民地であるため国交省が借地を行い、事業団が 8 月 27 日に土地所有者から土地所有者承諾書のサインをいただいた。従来の調査区の埋め戻しが完了した 10 月 26 日から表土掘削を開始した。11 月 10 日より本格的な発掘作業を開始し、11 月 19 日にドローンにより上空からの写真撮影を行い、調査を終了した。

撤収・復旧　11 月 20 日から拡張区の埋め戻しや撤収作業、傷んだ道路の補修などを行い 11 月 30 日には現地の作業が終了した。

現地説明会　11 月 3 日に現地説明会を行い、65 名の参加があった。

C　整理作業の経過

2020（令和 2）年度　調査開始までの 7 月中は第Ⅱ章の原稿執筆とこれに係る挿図表の作成を行った。調査開始後は、遺物の水洗を現場作業と並行して 9 月から開始した。調査が終了した 12 月～ 3 月は、長岡市に所在する株式会社大石組整理所で基礎整理作業と原稿執筆・図版作成を行った。

3 月 4 日には公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団において田中祐樹（事業団）・南波　守（株式会社大石組）が出土遺物について指導を受けた。

2021（令和 3）年度　調査開始後は、遺物の水洗を現場作業と並行して 7 月より開始した。調査が終了した 12 月～ 3 月は、新潟市に所在する株式会社イビソク整理所で基礎整理作業を行った。

2022（令和 4）年度　新潟県埋蔵文化財センターにおいて 2022（令和 4）年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日の間、土器接合・復元、遺物実測、遺物写真撮影、図版作成、原稿執筆、編集、片付けなどの作業を実施した。令和 5 年度に印刷・製本し整理作業は完了した。

3　発掘調査と整理の体制

金屋遺跡の調査・整理の体制は以下のとおりである。

試掘・確認調査

調査期間	2019（令和元）年 11 月 25 日～ 26 日
調査主体	新潟県教育委員会（教育長　稲荷　善之）
総　　括	佐藤美由紀（新潟県教育庁文化行政課長）
管　　理	横山　光英（新潟県教育庁文化行政課長補佐）
調査指導	滝沢　規朗（新潟県教育庁文化行政課埋蔵文化財係長）
調査担当	髙橋　保雄（新潟県教育庁文化行政課文化財調査員）
調　査　員	工藤　祐大（新潟県教育庁文化行政課文化財調査員）

2020（令和 2）年度本発掘調査・冬季整理（第 4 次）

調査期間	2020（令和 2）年 8 月 1 日～ 12 月 8 日
調査主体	新潟県教育委員会（教育長　稲荷　善之）
調　　査	公益財団法人　新潟県埋蔵文化財調査事業団
総　　括	清野　一善（事務局長）
管　　理	五十嵐大介（総務課長）
庶　　務	小野澤浩嗣（総務課班長）
調査総括	春日　真実（調査課長）
監　　理	田中　佑樹（調査課班長）
調査組織	株式会社大石組
現場代理人	大石　慎一（土木部工務課）
調査担当	南波　　守（文化財事業部）
調　査　員	石坂　圭介　　松井奈緒子（文化財事業部）
冬季整理	赤塚光彦・池田友美・遠藤昌代・小川洋子・久保直行・棚村チイ・渡辺輝照

2021（令和 3）年度本発掘調査・冬季整理（第 5 次）

調査期間	2021（令和 3）5 月 20 日～ 11 月 14 日
調査主体	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（理事長　稲荷　善之）
総　　括	清野　一善（事務局長）
管　　理	五十嵐大介（総務課長）
庶　　務	小野澤浩嗣（総務課班長）
調査総括	春日　真実（調査課長）
調査担当	飯坂　盛泰（調査課　専門調査員）
支　　援	株式会社イビソク　小林　成光（現場代理人）、佐野貴紀・中井勝治・堀江夏歩（調査員）
冬季整理	浅野昌子・唐沢直子・苅部千里・神田ゆう子・坂井友香

通年整理作業

期　　間	2022（令和 4）年 4 月 1 日～ 2023（令和 5）年 3 月 31 日
整　　理	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（理事長　妹尾　浩志）
総　　括	松田　英世（事務局長）
管　　理	五十嵐大介（総務課長）
庶　　務	伊藤　雅美（総務課班長）
整理指導	荒川　隆史（調査課長）
担　　当	春日　真実（調査課　専門調査員）
嘱　託　員	小熊　紀子・髙野智恵子・畠山　佳子

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

1　地 理 的 環 境

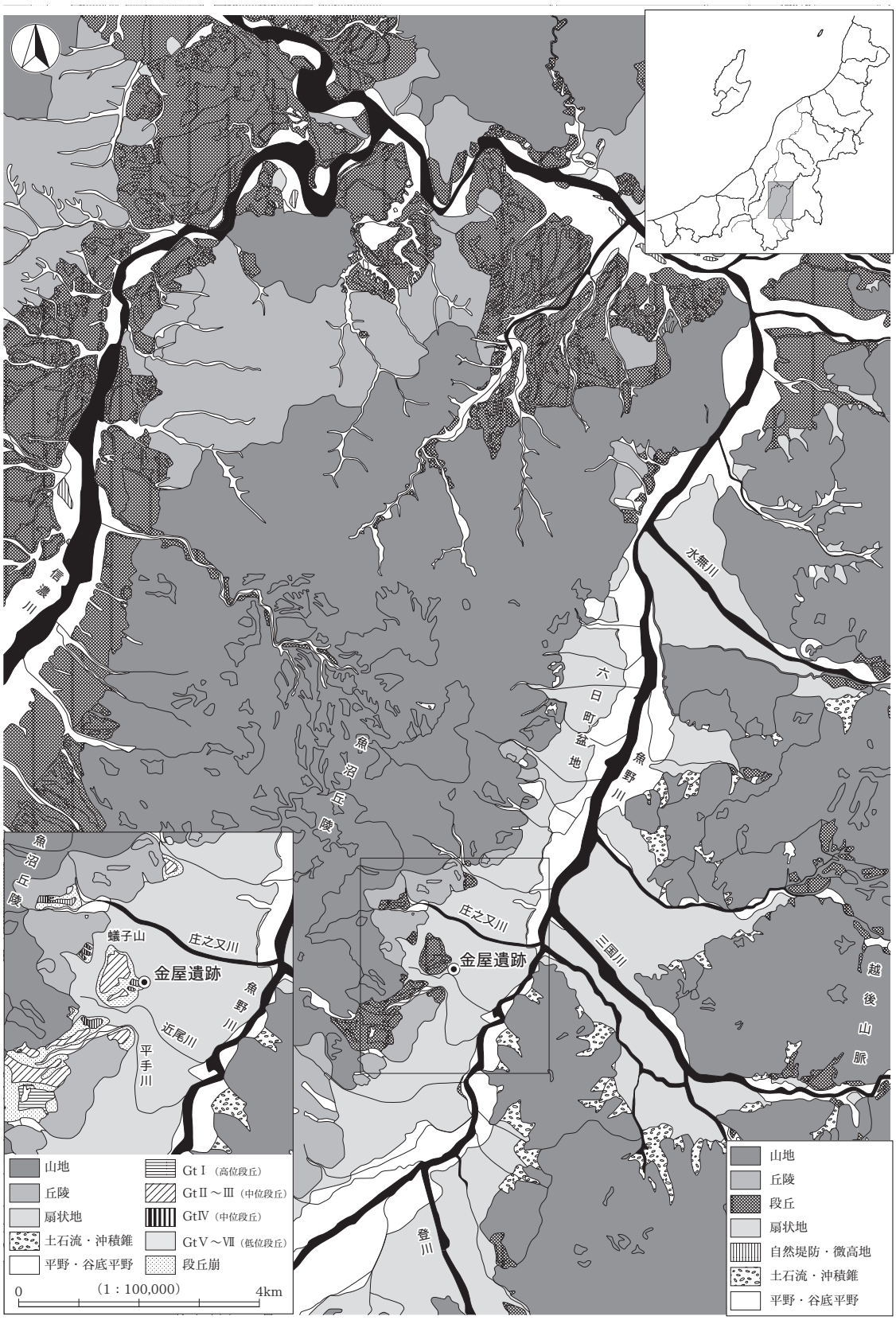
記述にあたり、『金屋遺跡』「第Ⅱ章 1. 位置と地形」［山本 1985］、『金屋遺跡Ⅱ』「第Ⅱ章 1 遺跡の位置と地理的環境」［實川 2006］、『余川中道遺跡Ⅱ　金屋遺跡Ⅲ』「第Ⅱ章 1 地理的環境」［石垣ほか 2015］を一部改変して引用した。

金屋遺跡が所在する南魚沼市（旧南魚沼郡六日町）は、新潟県中越地方の南東部にあたる六日町盆地の中央に位置する。現在の市域は、2004 年 11 月に六日町と大和町が合併し、2005 年 10 月には塩沢町を編入合併して確定した。市の北は魚沼市、西は十日町市、南は南魚沼郡湯沢町、群馬県利根郡みなかみ町と隣接する。

六日町の町名は中世以来の六斎市に由来している。近世には六日町とその周辺半径 2 ～ 3 里の経済圏で市が開かれていた。そのなかでも、六斎市が開かれていた六日町は当地方の経済的中心地でもあった。近世には、三国街道沿いの宿場町として、また関東方面へ向かう清水街道の分岐点でもあった［中村ほか 1989］。清水峠を越えて関東へ向かうこの越境路の歴史は古く、越後の戦国大名である上杉謙信が関東出兵の際にも使われたとされる。その後明治時代に入ると、政府は、新潟－東京間は国道に相当すべき要路であるとし、新潟県と関東地方を結ぶ交通路として、清水越新道（現在の国道 291 号線）を新潟県、群馬県の両方から開削した［田邊 2018］。古墳時代中期には、清水峠越えを関東地方との越境ルートとする意見があり［小野本 2018a］、今回報告する平安時代の土器の中にも関東地方の影響を受けたものや群馬県で生産されたものも存在する。また六日町は、舟運も早くから発達するなど交通の要衝であった［中村ほか 1989］。船は六日町を出ると、途中、浦佐、小出、小千谷を経由して、長岡までを結んだ。繁忙期には臨時便も出たほどであったという［田邊 2018］。

六日町地域は、冬季の豪雪地帯としても知られている。1880 年代から 1900 年頃の「新潟新聞」では、雪の重みで粗造の家屋や小学校の校舎が倒壊してしまうほどであったという［芳井 2018］。

六日町盆地は、東側の越後山脈と西側の魚沼丘陵の間の、幅約 2 ～ 5km、延長約 40km の南北方向に細長い盆地で、その南端部には飯士山（1,111m）が、北端部には守門岳（1,537m）が位置する［荒川ほか 2019］。盆地の中央には魚野川が北流しており、その右岸と左岸では地形が大きく異なる。魚野川の右岸地域には、八海山（1,778m）、中ノ岳（2,085m）、駒ケ岳（2,003m）、巻機山（1,967m）などを擁する、標高 2000m 級の越後山脈が連なる。一方左岸地域には標高 700m 前後の魚沼丘陵が位置する。この丘陵は南部の当間山（1028m）が最も高く、六日町付近で約 700m、北端の魚沼市堀之内では 300 ～ 200m 前後と、南から北へ向かって標高を下げる。このような標高の高い山地と比高数百メートル以下の丘陵、その間に形成された幅数キロメートルの細長い盆地の組み合わせが、この地域の特徴といえる。この地形は、魚野川流域から北北東に延び、阿賀野市と東蒲原郡阿賀町にまたがる五頭連峰西縁を通って、新発田市東方に達している。このような直線状の細長い盆地地形が形成された要因は、地下深部に新発田－小出構造線が伏在しているためである［荒川ほか 2019］。盆地内に流れる魚野川は、新潟県と群馬県の境の谷川岳（1963m）に源を発し、南魚沼地域では支流が形成する扇状地の端部を縫うように北流する［小川



国土交通省「1/50,000 土地分類基本調査（地形分類図） 小千谷」（昭和 51 年発行）
（https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/landclassification/land/5-1/prefecture15.html#prefecture15-08）

国土交通省「1/50,000 土地分類基本調査（地形分類図） 十日町」（昭和 52 年発行）
（https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/landclassification/land/5-1/prefecture15.html#prefecture15-09）を加工して作成

第 4 図　魚沼周辺の地形

第５図　遺跡周辺の地形

2019］。右岸地域では、急峻な山地から流れ出た水無川、三国川などの比較的大きな河川により広大な扇状地が形成され、左岸地域では、庄之又川、近尾川、平手川、鎌倉沢川などの河川による小規模な扇状地が点在する。こういった地形的な違いが遺跡の立地や分布にも影響していると考えられ、古墳時代の遺跡のほとんどは左岸地域に分布し、中世の山城の多くは右岸の稜線に立地している。

金屋遺跡は、魚野川左岸の魚沼丘陵東麓に位置する、独立丘陵の蟻子山の東側裾部、庄之又川の度重なる氾濫によって形成された扇状地の扇央に立地する。本調査においても洪水堆積層や、調査区西壁で『金屋遺跡』で検出されたものと同一とみられる旧河道を確認している。『余川中道遺跡Ⅱ・金屋遺跡Ⅲ』では、昭和30年代以前に制作された都市計画図から古い流路跡を２本推定しており、このうち余川中道遺跡と六日町藤塚遺跡を分ける流路は、蟻子山西側の山腹緩斜面に水源をもつ近尾川前身と考えられている［山崎2020］。旧河道は、遺跡から南に下った地点でこの流路と合流していた可能性が高い。

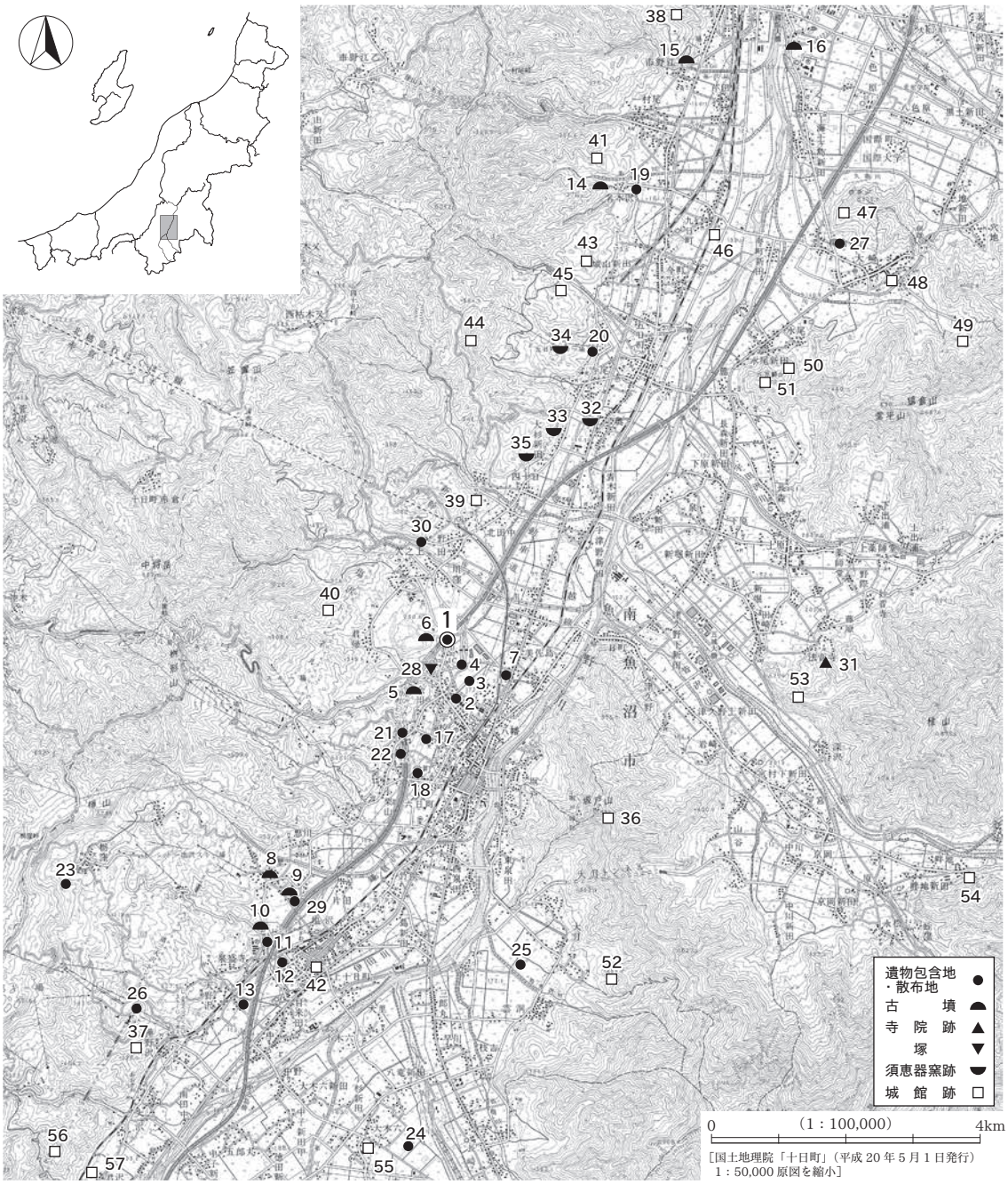
2　歴史的環境

南魚沼市には旧石器時代から縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代、中・近世に至るまで、数多くの遺跡が知られている。今回報告する第４・５次調査では古代の遺物・遺構が見つかったことから、その前代となる古墳時代と古代の周辺の遺跡について、その概要を述べる（第６図・第１表）。

A 古 墳 時 代

魚沼川流域では古墳時代前期の古墳は見つかっていないが、中期以降に古墳の造営が活発な地域となる。本遺跡が所在する六日町余川付近には、飯綱山古墳群（5）と蟻子山古墳群（6）という2つの代表的な初期群集墳が古くから知られている。ほぼ同時期のものとして、南魚沼市には名木沢古墳（14）・上山古墳（15）・下山古墳群、近年の調査で再発見された大久保遺跡（16）、そして魚沼市には古林古墳群がある。飯綱山古墳群は、本遺跡の南西約800mの丘陵上に立地し、かつては68基の円墳が確認されていた［中川ほか1963］が、現存は26基に留まる［新潟大学考古学研究室飯綱山古墳群測量調査団1999］。このうち7基について新潟大学考古学研究室による発掘調査が行われ、概要が明らかになった。丘陵の最高地点を占める27号墳は群集墳中最大かつ最古のもので、築造年代は5世紀前葉に遡る。銅釧や多量の赤色塗彩された土器及び滑石臼玉類が出土している［新潟大学考古学研究室2001］。これに次ぐ規模の10号墳は2段築成で上段にのみ葺石が認められ、墳頂外縁部に壺型埴輪が据えられていた。副葬品も短甲、銅鏡、馬鐸、三環鈴など充実しており、「南魚沼地域の広域の盟主墓」という評価が与えられ、築造年代は5世紀後半に位置付けられている［新潟大学考古学研究室1998］。他の5基も5世紀代の築造であるが、古墳群全体の下限年代は6世紀前葉まで下ることが確実とされている［橋本2016］。また豊富な副葬品は上毛野からもたらされた可能性が高いと指摘されている［田中ほか2019］。蟻子山古墳群は飯綱山古墳群と概ね同時期に造営されたとされているが、内容はほとんど明らかになっていない。金屋遺跡の北西側に隣接した丘陵上に立地し、1960年代の調査では91基の古墳が確認されたが、近年の調査では64基を残すのみとなった。その際の調査で、飯綱山古墳群の墳形がすべて円墳であったのに対し、蟻子山古墳群では、尾根最高点にある70・72号墳が併せて1基の前方後円墳の可能性があること、68号墳が帆立貝式古墳の可能性があることなどが指摘されている［新潟大学考古学研究室蟻子山古墳群測量調査団2004］。また、蟻子山32号墳の出土土器は近年古墳時代後期前半、6世紀前半代と位置付けられた［小野本・工藤2015］。両古墳群のある六日町余川周辺では、墳墓の他に集落跡、祭祀跡、水田跡などが発見されている。庄之又川の扇状地の扇端南部に広がる余川中道遺跡（2）は、近年相次いで発掘調査が行われ、その成果に基づき、主に5世紀を中心とした周辺の空間構成が復元された。これによれば、飯綱山古墳群を墓域、飯綱山丘陵から東へ連続する裾微高地を居住域、その東の扇状地上に水田域が広く展開したとし、その東西に首長祭祀域と集落祭祀域があったとする［小野本2020a］。この余川付近ではさらに後期前半まで集落、水田跡や祭祀の場が知られるようになってきた。北沖東遺跡（17）では杭列や川跡のほかに水田跡の可能性のある遺構が検出されている［飯坂ほか2006a］。坂之上遺跡（4）では後期前半の集落外縁部やなんらかの祭祀の場が検出され［加藤2019a・田中2020a］、六日町藤塚遺跡（3）でも古墳時代中期末～後期初頭および後期前半の2枚の検出層から集落や祭祀の場が発見されている［山崎2018、加藤2019b・田中2020b］。また魚野川上流の旧塩沢町に目を転ずると、鎌倉沢川の吉里扇状地扇端部に立地する来清東遺跡（12）で古墳時代中期の石製模造品や多量の土器を遺棄した祭祀跡［安立2001］が、これに隣接する来清西遺跡（11）で後期前半の手捏土器や土玉など祭祀的な遺物が出土している［安立2002］。

その後しばらく空白期間があり、古墳時代後期後半の横穴式石室を持つ古墳が魚沼にも登場する。上流側では旧塩沢町万貝古墳（8）、糠塚古墳（9）、南山古墳（10）が、下流側では魚沼市の古林古墳群が挙げられる。いずれも古墳数が少なく規模も小さいもので、万貝古墳は1基、糠塚古墳は4基、南山古墳群6基［佐藤・小林1997］、古林古墳群では6基のうち3基が横穴式石室とされる［梅川1995］。



第６図　遺跡分布図

No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代
1	**金屋遺跡**	**旧石器～平安**	16	大久保遺跡	古墳	31	三厳庵跡	奈良	46	御館遺跡	中世
2	余川中道遺跡	古墳～中世	17	北沖東遺跡	古墳・平安	32	寺尾七塚窯跡	奈良	47	大崎城跡	中世
3	六日町藤塚遺跡	古墳・平安	18	長表東遺跡	弥生～古墳	33	朴ノ木窯跡	奈良	48	大崎館跡	中世
4	坂之上遺跡	古墳・平安	19	前原遺跡	奈良・平安	34	天池窯跡	平安	49	御館城跡	中世
5	飯綱山古墳群	古墳	20	北原遺跡	奈良・平安	35	天神南窯跡	平安	50	苗場山城跡	中世
6	蟻子山古墳群	古墳	21	木ノ芽坂遺跡	奈良・平安	36	坂戸城跡	中世	51	六万騎城跡	中世
7	大清水遺跡	古墳	22	長表遺跡	弥生・奈良～中世	37	樺沢城跡	中世	52	大月城跡	中世
8	万貝古墳	古墳	23	栃窪蟻子山遺跡	縄文・平安	38	上山城跡	中世	53	野際城跡	中世
9	糖塚古墳	古墳	24	江戸塚遺跡	奈良・平安	39	野田城跡	中世	54	大屋敷跡	中世
10	南山古墳群	古墳	25	蟹田遺跡	奈良・平安	40	君帰城跡	中世	55	木六館跡	中世
11	来清西遺跡	弥生・古墳	26	梨ノ木平遺跡	古墳・奈良・平安	41	ゴッツオシの砦跡	中世	56	君沢城跡	中世
12	来清東遺跡	弥生・古墳	27	寺見堂遺跡	平安	42	塩沢大館跡	中世	57	君沢館跡	中世
13	下田遺跡	古墳	28	猪ノ尻経塚	平安	43	櫛山城跡	中世			
14	名木沢古墳	古墳	29	糖塚Ⅱ遺跡	奈良・平安	44	寺尾城跡	中世			
15	上山古墳	古墳	30	堅木遺跡	平安	45	西蓮寺跡	中世			

第１表　遺跡地名表

B 古　　代

8 世紀以降になると、文献資料中に魚沼の動静を窺うことのできる記事が現れる。701 年の大宝律令によって全国に国－郡－里（郷）制が敷かれるようになるが、翌 702 年『続日本紀』には、越中国 4 郡を分割し越後国に移管させたという記載があり、この 4 郡については頸城、古志、魚沼、蒲原とするのが定説となっている［米沢 1980］。「魚沼」の初見は 927 年の『延喜式』まで下り、その民部帳に越後国の 7 郡（頸城、古志、三島、魚沼、蒲原、沼垂、石船）の一つとして登場する［金子 2002］。10 世紀前半に成立した『和名抄』には、魚沼郡に賀弥、那珂、苅上、千屋という 4 郷の記載があり[1)]、六日町は賀弥にあたるとされる［笠原 1966］。

『塩沢町史』では、信濃川水系及び魚野川水系の古代遺跡群の分布から各郷の所在地域を検討し、賀弥を①塩沢町～六日町を中心とするブロック、那珂を②大和町を中心とする地域、苅上を③小出町～堀之内町を中心とする地域、千屋を④十日町市～小千谷市にかけての信濃川流域、と比定した［田村 2002］。さらに、魚沼郡の郡家の推定地として①の六日町周辺が適しているとした［田中 2002］。この主張の根拠となったのは、窯跡及び墨書等の文字関連資料の存在である。信濃川流域に窯跡が見つかっていないのに対し、六日町周辺の魚野川左岸には 4 箇所の窯跡が知られている。寺尾七塚窯跡（32）、朴ノ木窯跡（33）から出土した須恵器は 7 世紀末まで遡るもので、坏蓋の口縁部には明確なカエリが認められ、群馬系と指摘されている［安立 2016］。天池窯跡（34）・天神南窯跡（35）には 9 世紀前半の須恵器が認められる。発掘調査は行われていないものの、魚野川左岸の寺尾周辺において須恵器窯が一定期間営まれていたことは確実である。旧塩沢町下田遺跡（13）からは 7 世紀末に遡る須恵器蓋が出土しており［田村 1997］、在地窯との比較が待たれる。近年、余川中道遺跡（2）出土資料中に、朴ノ木窯及び天池窯に類似する資料があるとの報告がなされ［小野本 2020b］、在地窯と消費遺跡との関係が具体的に検証され始めた。他方で、出土文字資料では、長表遺跡（22）出土の墨書資料には「厨」と記したものがあり［中村・金子ほか 1975］、これは官衙等の厨房施設を意味する可能性がある。近年では坂之上遺跡出土の墨書資料「賀寺厨」［藤原 2004］を「賀禰寺厨」の省略と解し、周辺に郡司クラスが造営に関与した寺院があった可能性が指摘されている［小野本 2018b］。坂之上遺跡の 1 次調査では、寺院や官衙的な施設の検出には至っていないが、古墳時代のものも含めたピット 369 基、土坑 63 基、溝状遺構 13 条、掘立柱建物跡 1 棟が検出されている［藤原 2004］。近年の調査でもピットが多数検出されるなど、集落や集落の外縁部が検出されている［加藤 2019a・田中 2020a］。

庄之又川と鎌倉沢川が形成した扇状地扇端部に立地する北沖東遺跡（17）では杭列 5 条、川跡 7 条が検出されており、9 世紀前半から後半にかけての須恵器・土師器と馬鍬の歯部など木製品が出土している［飯坂ほか 2006a］。先に触れた長表遺跡も北沖東遺跡と同様の立地であり、溝状遺構（もしくは河川跡）が検出されているほか、鋤など木製品や漆器が出土している［中村ほか 1975; 戸根ほか 1986］。この 2 遺跡の状況は近くに耕作地があったことを推測させる。他方で、9 世紀末以降、扇状地の扇頂部や丘陵上に立地する遺跡も現れる。庄之又川左岸の扇頂部に立地する堅木遺跡（30）では、9 世紀末～ 10 世紀初頭の炉跡 4 基、土坑 8 基、溝 30 基のほか多数のピットが検出されている［藤巻ほか 2008］。旧塩沢町梨木平遺跡（26）は魚沼丘陵上に立地し、11 世紀代の竪穴住居と畠跡が検出されている［金子・佐藤ほか 1987］。蟹田遺跡（25）は魚野川右岸の扇状地に立地する 10 世紀前半の遺跡である［田村 1997］。

1） 魚沼郡の各郷の表記には諸説あるが、笠原氏の表記に統一した。『和名抄』という表記もこれに従った。ただし、「賀禰寺厨」に関しては出典のままとした。

第Ⅲ章　調 査 の 概 要

1　グリッドの設定

金屋遺跡は過去に３度の本発掘調査が行われている［山本ほか 1985、飯坂ほか 2006b、加藤ほか 2015］。本報告のグリッドは、今回の調査区に近い 2009（平成 21）年に発掘調査が行われた金屋遺跡Ⅲ［加藤ほか 2015］の座標値を基準とし、測地成果 2000 を用いて設定した（第７図）。ただし金屋遺跡Ⅲは 20m 四方を大グリッドとしているため第４・５次調査ではグリッド番号は新たに番号を振り直している。グリッドには大小の２種を用いた。大グリッドは、東西・南北 10m 四方とし、東から西へアラビア数字、北から南へアルファベットの大文字を振り、その組み合わせで、1A、1B、1C…のように表示した。小グリッドは大グリッドを 2m 四方で 25 分割し、北西隅を 1、北東隅を 5、南西隅を 21、南東隅を 25 となるように番号を付し、大グリッドとの組み合わせで、「3D12」や「4F24」等と表した。1A の座標は X ＝ 120160.397、Y ＝ 33188.413 である。

2　基　本　層　序

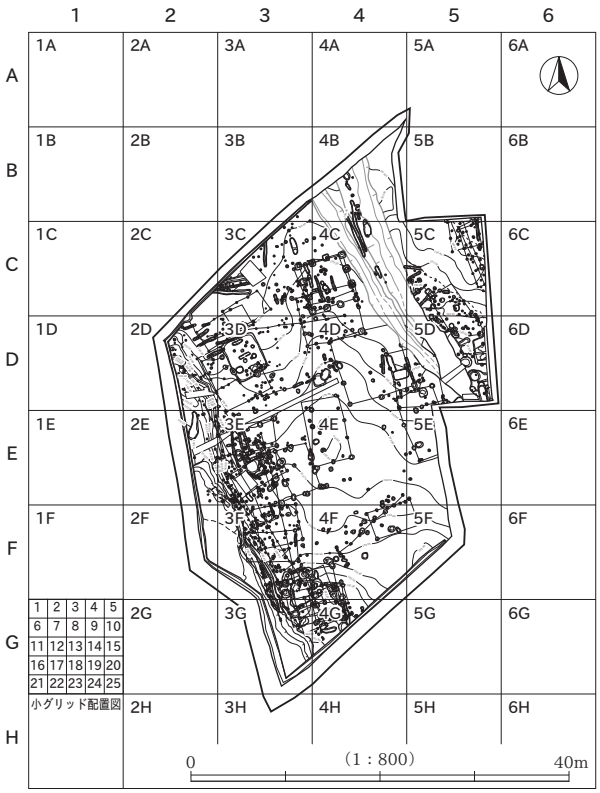
基本層序は試掘調査時に付した層名に倣い、Ⅰ～Ⅷ層に大別した。調査区は北から南に向かって緩やかに傾斜しており、また西側には沢状の落ち込みがある。調査の進捗に伴い、試掘調査では確認できていなかった層を認めた場合には、既に確認されている層に枝番号を付けることで対応した。西側の沢状の落ち込みは堆積が複雑で、2020（令和２）年度の第４次調査ではⅥa 層に枝番をつけ対応したが、2021（令和３）年度の第５次調査では流路（SR1001 ～ SR1003）の覆土として対応している。以下番号を付した層ごとに所見を記す。土器の時期の表記は第５表（27 頁）に準じる。

Ⅰ層　灰オリーブ色 7.5Y5/2 粘土。粘性強、しまりやや弱。現在の水田耕作土。

Ⅱa 層　灰黄褐色 10YR4/2 粘土。粘性・しまり強。拳大の礫を含む。鉄分が多い。

Ⅱb 層　灰オリーブ色 5Y6/2 シルト。粘性やや強、しまり強。洪水堆積層と考えられ、拳大の礫を含む。調査区北壁の SD2・３直上や、調査区西側の旧河道に向かって地形が落ち込む箇所で確認した。鉄分が多い。

Ⅲ層　黒褐色 10YR3/2 粘土～シルト。粘性



第７図　グリッド設定図

やや強、しまり強。洪水堆積層で、人頭大～拳大の礫を多量に含む。鉄分が多い。SD2・3 及び旧河道の埋土である。遺物を含まないため堆積時期は不明である。

Ⅳ層　黄褐色 10YR5/6 シルト。粘性弱、しまり強。洪水堆積層で、部分的に黄褐色砂が筋状に混じる。

Ⅴa 層　明黄褐色 10YR6/6 砂。粘性弱、しまりやや弱。洪水堆積層で、にぶい黄褐色シルトが互層状に混じる。Ⅳ層との境界付近に最大径 10cm ほどの礫層が混じる地点もある。

Ⅴb 層　黒褐色 10YR3/2 粘土。粘性やや強、しまりやや弱。にぶい黄色シルトが互層状に混じる。鉄分が多い。Ⅴa 層洪水堆積層の堆積時に、下位のⅥa 層を巻き込んで形成されたものと考えられる。

Ⅵ層　古代の遺物包含層である。土質の違いでⅥa 層とⅥb 層に大きく分けることができ、Ⅵa 層はさらに間層を含む 1 ～ 8 層に細分できる。Ⅵa 層は第 5 表の 10 ～ 13 期、Ⅵb 層は 7 ～ 9 期を中心とする時期と考えている。

Ⅵa1 層（Ⅵa 層）　黒褐色 10YR3/1 ～ 3/2 粘土。粘性・しまりやや強。径 1 ～ 3mm の炭化物を微量、径 1 ～ 5mm の黄褐色粒子を中量含む。Ⅵa1 層からは、土師器が小量出土している。

Ⅵa2 層　黄褐色 2.5Y5/3 シルト。粘性・しまりやや弱。洪水堆積層と考えられる。部分的に褐灰色 10YR4/1 ブロックが混じり、鉄分を中量含む。標高の低い調査区南・西側で部分的に確認した。土師器・須恵器が少量出土している。

Ⅵa3 層　黒褐色 10YR3/1 ～ 3/2 シルト。粘性やや弱、しまりやや強。径 1 ～ 5mm の炭化物を少量、径 1 ～ 5mm の黄褐色粒子を少量、鉄分を少量含む。Ⅵa1 層に似るが、やや砂質が強い。Ⅵa2 層を基準にⅥa1 層と分層できるが、Ⅵa2 層が認められない地点では分層できなかった。土師器・須恵器が少量出土した。

Ⅵa4 層　にぶい黄褐色 10YR6/3 シルト。粘性弱、しまり強。洪水堆積層と考えられる。鉄分が多い。確認範囲はⅥa2 層と同様であるが、より標高の低い地点に限定的である。遺物は出土していない。

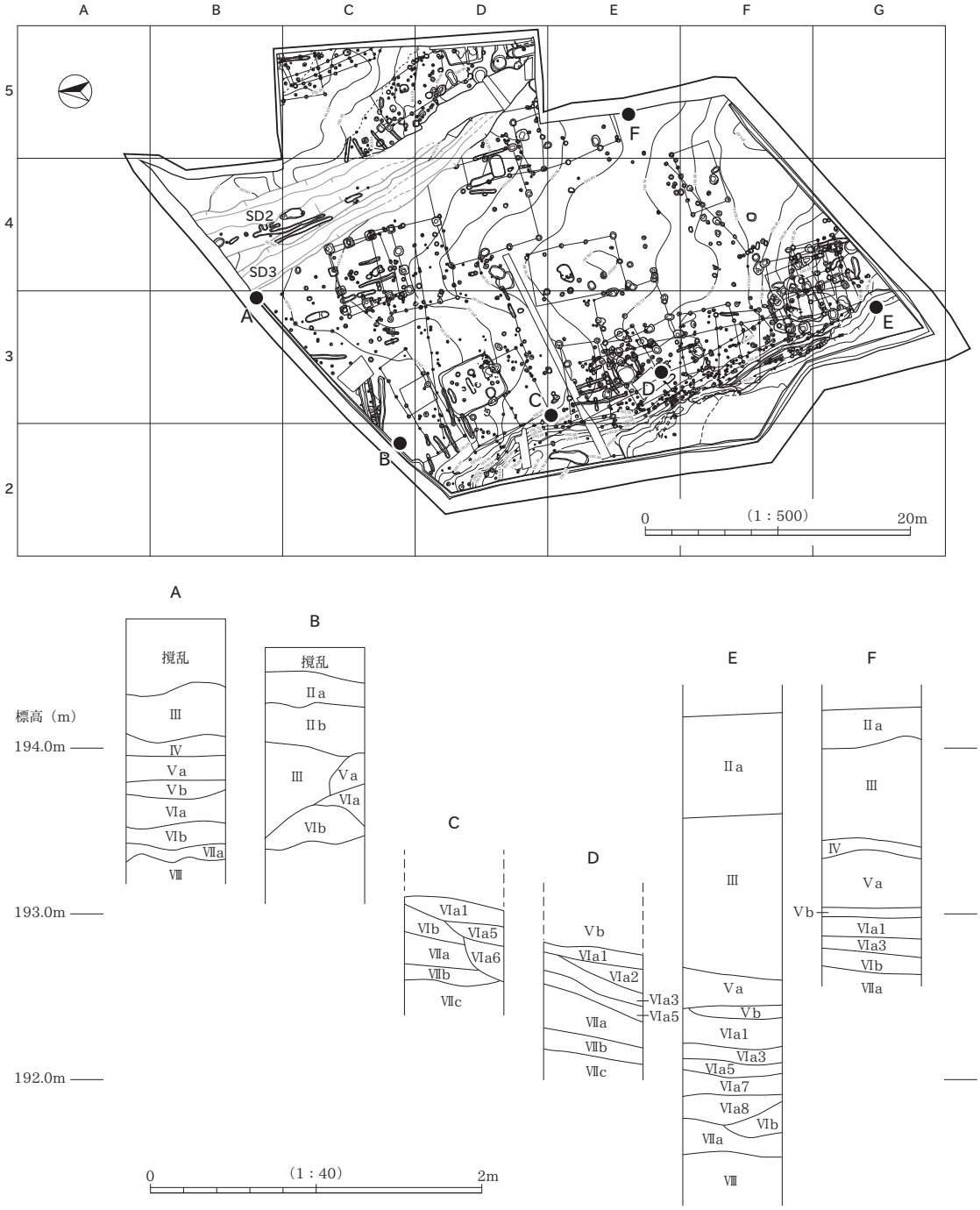
Ⅵa5 層　褐灰色 10YR5/1 ～ 4/1 シルト。粘性やや弱、しまり強。径 5 ～ 30mm の灰白色土を中量、炭化物粒子を少量、鉄分を多量に含む。調査区西側の傾斜地 2E・3E ～ G 付近で確認でき、3E ～ G にかけての傾斜変換点付近で、Ⅵa5 層を埋土とする遺構（SX41 等）を検出した。須恵器・土師器が一定量出土した（図版 44 30 ～ 41）。

Ⅵa6 層　にぶい黄色 2.5Y6/4 シルト。粘性やや弱、しまりやや強。洪水堆積層と考えられ、非常に均質な土質であるが、径 10 ～ 20mm の褐灰色ブロックを少量含んでいる。このほか径 1 ～ 10mm の炭化物を少量、砂粒を微量含む。3G19 付近で略完形の土師器・黒色土器無台椀が重なって数点出土している（図版 78）。Ⅵa6 層が確認できる範囲は、Ⅵa5 層よりもさらに西側の低地部に限定される。土師器・黒色土器が一定量出土した（図版 45 42 ～ 55）。

Ⅵa7 層　灰黄褐色 10YR5/2 シルト。粘性やや弱、しまり強。径 1 ～ 5mm の炭化物を少量、径 5 ～ 15mm の灰黄色ブロックを少量含み、鉄分が多い 3G20・24 でのみ確認でき、平面的な分布範囲は不明である。須恵器・土師器が出土した（図版 45 56 ～ 59）。

Ⅵa8 層　灰黄褐色 10YR6/2 シルト。粘性やや弱・しまりやや強。洪水堆積層と考えられる。径 5 ～ 10mm の炭化物を微量、径 1 ～ 5mm の褐灰色土を少量含み、鉄分が多い。確認範囲は限定的で 3G14・19・24 付近のみである。須恵器・土師器・黒色土器が一定量出土した（図版 45　60 ～ 67）

Ⅵb 層　褐灰色 10YR5/1 ～ 4/1 粘質土。粘性・しまりやや強。上層（Ⅵa 層）の遺構検出層である。径 1 ～ 10mm の炭化物を少量、Ⅶa 層由来と考えられる径 1 ～ 10mm の灰黄色土を少量含み、拳大の礫が混じ



第８図　基本層序

る地点もある。鉄分が多い。調査区西壁ではⅥa 層の一部に切られて確認できない。

Ⅶ層　調査当初は無遺物層と認識していたが調査の進捗に伴い遺物を少量含む層であることが判明した。Ⅵb 層とⅧ層の間で確認できる層をⅦ層とし、土質などで３層に細分した。

Ⅶa 層　にぶい黄色～灰黄色 2.5Y6/3 ～ 6/2 シルト。粘性・しまりやや弱。洪水堆積層で、下層（Ⅵb 層）の遺構検出層である。径１～ 3mm の炭化物を微量含み、鉄分が多い。地点によって礫層が介在する。調査区西側の旧河道に向けて落ち込み、低地部では７～８期の遺物を少量含む。遺構図面図版（図版１～43）の土層注記中にある「地山」はⅦa 層を指す。

Ⅶb 層　灰黄褐色～黄褐色 10YR5/2 ～ 2.5Y5/3 シルト。粘性・しまりやや弱。径 1 ～ 3mm の炭化物を微量含む。確認範囲は3E ～ G 付近の傾斜地に限定される。Ⅶa 層と同様に 7 ～ 8 期の遺物を少量含む。

Ⅶc 層　灰黄色 2.5Y6/2 シルト。粘性・しまりやや弱。洪水堆積層で、最大で拳大ほどの礫を含む。調査区西側の開渠やサブトレンチ内で確認したのみで、平面的な分布範囲は不明である。Ⅶb 層に近い分布傾向を示すものと考えられる。Ⅶa・Ⅶb 層と同様 7 ～ 8 期の遺物を少量含む。

Ⅷ層　最大で人頭大ほどの礫からなる層である。調査区内全域に広がっており、上面の起伏が著しい。Ⅵb 層直下がⅧ層となる地点もある。上層調査完了後に調査区の東側（4C・5F）でⅧ層以下の状況を確認するために重機での掘削を行ったが、約 2m 下まで礫層が続いていた。遺物は含まれていない。

第Ⅳ章　遺　　構

1　概　　要

今回報告する地点の遺構検出面は、2 面あり、以下ではⅥb 層上面で検出したものを上層、Ⅶa 層上面で検出したものを下層と呼ぶ。Ⅵa 層の出土土器は 9 世紀末から 10 世紀中頃、Ⅵb 層から出土する土器は 9 世紀初頭から後半頃と考えている。したがって、上層の遺構は 9 世紀末から 10 世紀中頃、下層の遺構は 9 世紀初頭から後半頃と考えられる。上層・下層で検出した遺構は第 2 表の通りである。

遺構種別	上層（Ⅵa 層）	下層（Ⅵb 層）
柱穴列（SA）	7	9
掘立柱建物（SB）	22	27
溝（SD）	－	67
竪穴建物（SI）	－	1
土坑（SK）	1	35
性格不明遺構（SX）	2	4
焼土遺構	5	－
ピット（P）	634	1054

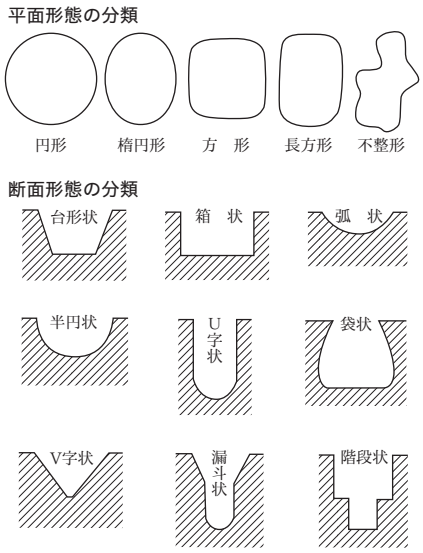
ピットには柱穴列･掘立柱建物の柱穴含む。下層の土坑（SK）には掘立柱建物の柱穴となったものを含む。

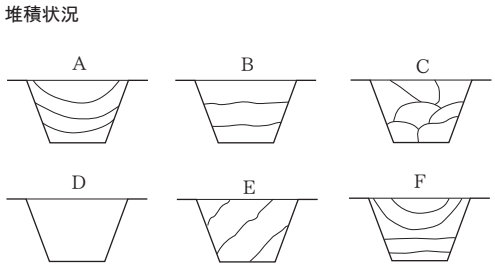
第 2 表　検出した遺構

2　記　載　方　法

遺構種別の略号は柱穴列 =SA、掘立柱建物 =SB、溝 =SD、竪穴建物 =SI、土坑 =SK、自然流路 =SR、土器集中遺構・性格不明遺構 =SX、ピット =P とした。焼土遺構は略号を用いず「焼土 272」などとした。遺構番号は種別に関係なく連番としている。上層は 1 から、下層は 728 から始めている。下層を調査した 2021（令和 3）年度は、並行して他の地点も調査を行っていたため 801 ～ 999、2001 ～ 3000 が他の地点の遺構に振り当てられた。今回報告する地点にはこれらの番号の遺構がないのはそのためである。

本文・観察表における平面形・断面形の分類は［加藤 1999］を、堆積状況の分類は［荒川 2004］に準拠する（第 9 図）。観察表では「<」・「>」・「≠」という記号で表した。「A>B」は A が新しく B が古い関係を示し、「A ≠ B」は重複するが新旧不明であることを意味する。以下では上層→下層の順で記載を行う。出土遺物から遺構の時期が分かる場合はそれを記した。時期区分は第 5 表（27 頁）のとおり。





レンズ状	複数層がレンズ状に堆積する。
水平	複数層が水平に堆積する。
ブロック状	ブロック状に堆積する。
単層	覆土が単一層のもの。
斜位	斜めに堆積するもの。
水平レンズ	覆土下位は水平、上位はレンズ状に堆積する。

第 9 図　遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類（加藤 1999・荒川 2004 を改変）

3 上 層 の 遺 構

掘立柱建物（SB）、柱穴列（SA）、土坑（SK）、焼土、土器集積遺構（SX）の順に記述する。

掘立柱建物（SB）

SB688（図版 5・10・68） 3CD に所在する 2 間（4.1m）× 1 間（2.6m）の掘立柱建物。主軸方位は N-20°-W である。柱痕は直径 11 ～ 15cm のものが確認できる。

SB691（図版 5・8・10・67） 3DE・4DE に所在する 2 間（3.1m）× 1 間（2.6m）の掘立柱建物。主軸方位は N-60°-E である。柱痕は直径 12 ～ 13cm のものが確認できる。

SB694（図版 3・11・68） 3・4D に所在する 3 間（6.7m）× 1 間（3.0m）の掘立柱建物。主軸方位は N-80°-W である。柱痕は直径 10 ～ 15cm のものが確認できる。

SB695（図版 8・10・68） 4・5D に所在する 2 間（2.1m）× 1 間（1.9m）の掘立柱建物。主軸方位は N-49°-E である。柱痕は直径 13cm と直径 15cm のものがそれぞれ 1 例確認できた。

SB698（図版 5・11・69） 3DE に所在する 3 間（5.7m）× 1 間（3.4m）の掘立柱建物。主軸方位は N-55°-E である。柱痕は直径 13 ～ 16cm のものが確認できる。

SB699（図版 5・12・69） 3CD に所在する 3 間（5.5m）× 2 間（4.3m）の掘立柱建物。主軸方位は N-89°-W である。柱痕は直径 10 ～ 15cm のものが確認できる。

SB700（図版 5・12・70） 3D に所在する 2 間（5.1m）× 1 間（2.7m）の掘立柱建物。主軸方位は N-4°-W である。柱痕は直径 9 ～ 16cm のものが確認できる。。SB708 より古い。

SB703（図版 3・13・70） 4CD に所在する 2 間（2.9m）× 1 間（2.5m）の掘立柱建物。撹乱で一部欠損する。主軸方位は N-65°-W である。柱痕は直径 13cm と 14cm がそれぞれ 1 例確認できる。

SB707（図版 3・5・13・70） 3C に所在する 3 間（4.5m）× 1 間（2.7m）の掘立柱建物。主軸方位は N-21°-W である。柱痕は直径 10cm が 2 例確認できた。

SB708（図版 5・13・71） 3CD に所在する 3 間（4.9m）× 3 間（4.3m）の掘立柱建物。試掘確認トレンチで一部欠損する。主軸方位は N-50°-E である。柱痕は直径 7 ～ 14cm と幅がある。SB700 より新しい。

SB709（図版 5・14・71） 2・3D に所在する 3 間（4.7m）× 1 間（2.5m）の掘立柱建物。主軸方位は N-20°-E である。柱痕は直径 11cm のものが 1 例確認できた。

SB710（図版 5・14・71） 3DE に所在する 3 間（4.2m）× 1 間（2.2m）の掘立柱建物。主軸方位は N-30°-W である。柱痕は直径 9 ～ 18cm のものがあり幅がある。

SB711（図版 5・14・71） 3DE に所在する 3 間（3.5m）× 3 間（3.4m）の掘立柱建物。主軸方位は N-27°-W である。柱痕は直径 11 ～ 18cm のものがある。

SB712（図版 5・15・72） 3CD・4D に所在する 7 間（9.6m）× 1 間（4.1m）の掘立柱建物。中柱の柱穴が 4 基確認できる。上層の掘立柱建物の中では最も規模が大きく、面積は 37.1m² である。主軸方位は N-36°-W、柱痕は直径 10 ～ 18cm のものが確認できる。。

SB713（図版 3・16・73） 3CD・4CD に所在する 7 間（8.3m）× 1 間で 2 面に廂がつき幅 4.0m となる掘立柱建物。上層の掘立柱建物の中では SB712 に次いで規模が大きく、面積は 32.4m² である。主軸方位は N-35°-W、柱痕は直径 9 ～ 15cm のものが確認できる。。

SB714（図版 3・14・72） 4CD に所在する 3 間（6.0m）× 3 間（3.2m）の掘立柱建物。主軸方位は

N-39°-W である。柱痕は直径 12 ～ 16cm のものが確認できる。

SB715（図版 5・17・74）　3CD に所在する 4 間（7.5m）× 1 間（2.6m）の掘立柱建物。主軸方位は N-5°-W である。柱痕は直径 8 ～ 14cm のものが確認できる。

SB716（図版 8・18・75）　3・4D に所在する 5 間（6.4m）× 2 間（4.3m）の掘立柱建物。中柱の柱穴が 4 基確認できる。主軸方位は N-55°-E である。柱痕は直径 10 ～ 17cm である。

SB717（図版 5・17・74）　3・4D に所在する 3 間（2.6m）× 1 間（1.9m）の掘立柱建物。主軸方位は N-40°-W である。柱痕は直径 8 ～ 15cm のものが確認できる。

SB722（図版 6・18・76）　3EF に所在する 2 間(4.0m) × 2 間(3.9m)の掘立柱建物。主軸方位は N-53°-E である。柱痕は直径 9 ～ 14cm のものが確認できる。

SB723（図版 5・19・76）　2・3D に所在する 3 間（4.9m）× 1 間（2.3m）の掘立柱建物。主軸方位は N-78°-E である。柱痕は直径 9cm のものと 10cm がそれぞれ 1 例確認できる。

SB724（図版 5・19・76）　3DE に所在する 3 間（4.2m）× 1 間（2.7m）の掘立柱建物。主軸方位は N-89°-E である。柱痕が確認できた柱穴はなかった。

柱穴列（SA）

SA706（図版 4・5）　2DE・3E に所在する 9 間（14.1m）の柱穴列。主軸方位は N-26°-W である。柱痕は直径 11 ～ 14cm のものが確認できる。

SA718（図版 4・5・77）　2D･3DE に所在する 12 間（13.9m）の柱穴列。主軸方位は N-32°-W である。柱痕は直径 7 ～ 16cm のものが確認できる。SA721 が間に位置するが、SA706 とほぼ並行する。

SA719（図版 5・77）　3・4E に所在する 4 間（8.3m）の柱穴列。主軸方位は N-23°-W である。柱痕の確認できた柱穴は 1 例のみで直径 14cm である。3E7 の P575 で SA718 とほぼ直交に連結する。

SA720（図版 8・9）　4・5D に所在する 4 間（4.5m）の柱穴列。主軸方位は N-44°-E である。柱痕の確認できた柱穴は 1 例のみで直径 15cm である。

SA721（図版 4・5・77）　2DE・3E に所在する 4 間（14.2m）の柱穴列。主軸方位は N-24°-E である。柱痕は直径 11 ～ 19cm のものが確認できる。

SA725（図版 6・7・78）　3EF・4E に所在する 8 間（12.6m）の柱穴列。主軸方位は N-65°-E である。柱痕は直径 11 ～ 16cm のものが確認できる。

SA726（図版 8・9）　4・5D に所在する 3 間（4.7m）の柱穴列。主軸方位は N-56°-E である。柱痕が確認できた柱穴はなかった。

土坑（SK）

SK4（図版 5・9・66）　2C24・2D4 に所在する円形になると思われる土坑。須恵器杯蓋（図版 44－25）が出土した。10 期（9 世紀末頃）のもので、上層の上限に近い時期のものと思われる。

焼土

焼土 272（図版 5・9・66）　3E20・25、4E16・21 に所在する不整形の焼土遺構。掘り込みはない。須恵器杯蓋（図版 44－26）が出土した。8 期（9 世紀前葉）のもので、下層からの混入と思われる。

焼土 485（図版 5・9・66）　3E3 に所在する楕円形の焼土遺構。掘り込みはない。長軸 35cm、短軸 25cm である。

焼土 507（図版 5・9・66）　3E9 に所在する楕円形の焼土遺構。掘り込みはない。長軸 96cm、短軸 47cm、P506 より古い遺構である。

焼土 522（図版 5・9・66） 3E9 に所在する楕円形の焼土遺構。弧状の浅い掘り込みがあり、埋土中に焼土塊を多く含む。長軸 34cm、短軸 19cm である。

焼土 523（図版 5・9・67） 3E10 に所在する楕円形の焼土遺構。弧状の浅い掘り込みがあり、埋土中に焼土塊を多く含む。長軸 21cm、短軸 11cm である。

焼土 665（図版 8・9・67） 5E1・2・6・7 に所在し、他の 5 基の焼土遺構からはやや離れた位置にある。弧状の浅い掘り込みがあり、埋土中に焼土塊を多く含む。長軸 40cm、短軸 29cm である。

土器集積遺構（SX）

SX64（図版 6・19・65） 調査区南西隅の 3E14・19・24 に所在する土器集積遺構。Ⅵa8 層から彫り込まれている。人頭大の礫の間から土師器無台椀を中心に多くの土器が出土した。出土土器は 11 期（10 世紀初頭頃）と考えている。

SX64（図版 6・20・65） 4F12・17 に所在する土器集積遺構。Ⅵa 層中で検出した。出土土器は SX69 出土の物より新しく、12・13 期（10 世紀前葉～中葉）と考えている。

4 下 層 の 遺 構

竪穴建物（SI）、掘立柱建物（SB）、柱穴列（SA）、土坑（SK）、性格不明遺構（SX）、溝・流路（SD・SR）の順に記述する。

竪穴建物（SI）

SI1470（図版 24・25・80） 3D に所在する長軸 4.52m、短軸 3.72m、深さ 0.20m の竪穴建物。建物主軸は N-29°-W、面積は約 16.8m² である。SD1411・SD1412・SD1770,、P1441 より古い。床面に SK1780、P1771・1772・1773・1776・1777・1782・1785・1786・1787・1783・1784・1788 があり P1783・P1785・P1786・P1787 は位置的に考えて柱穴となる可能性があるが、掘り込みが浅く無柱の竪穴建物の可能性が高い。カマドを含めて埋土は 12 層に分層したが、8 層上面に硬化した床面がある。壁溝は確認できなかった。南壁中央付近にカマドがあり、周辺では炭化物や焼土が含まれる。またカマドは竪穴建物南壁よりも南側に突出する。カマドに近接して 0.30m、幅 0.18m、高さ 0.36m の石があるが、被熱痕は確認できなかった。カマドの北側に焼土が広がり、遺物が散乱していた。また南東隅付近でも多くの土器が出土している。須恵器杯蓋・有台杯、土師器無台杯・甕類を図化した（図版 51－227 ～ 238）

掘立柱建物（SB）

SB728（図版 27・34・85） 4FG に所在する 3 間（3.6m）× 1 間（2.2m）の掘立柱建物。主軸方位は N-20°-W である。柱痕は直径 14cm と直径 16cm のものが確認できる。

SB729（図版 27・34・85） 3F・4FG に所在する 4 間（4.3m）× 1 間（2.2m）の掘立柱建物。主軸方位は N-70°-E である。SB1997 より古い。柱痕が確認できた柱穴は無い。

SB730（図版 27・35・85） 3・4FG に所在する 2 間（5.9m）× 2 間（3.7m）の総柱の掘立柱建物。主軸方位は N-82°-E である。SB728・1997 より新しい。柱痕は直径 12 ～ 58cm のものが確認できる。P1095 から土師器無台椀（図版 53　288）が出土している。11 期（10 世紀初頭）以降の土器である可能性が高い。

SB734（図版 31・34） 5C に所在する 4 間（6.4m）以上× 2 間（2.6m）以上の掘立柱建物。一部が調

査区外に広がる。主軸方位はN-15°-Eである。柱穴は直径30cm以下のものが多く、柱痕を確認した柱穴は無い。

SB735（図版31・34）　5Cに所在する4間（6.5m）×1間（2.0m）以上の掘立柱建物。一部が調査区外に広がる。主軸方位はN-22°-Wである。柱穴は直径30cm以下のものが多く、柱痕を確認した柱穴は無い。

SB736（図版31・34・86）　5BCに所在する2間（3.4m）以上×1間（3.2m）の掘立柱建物。一部が調査区外に広がる。主軸方位はN-10°-Wである。柱穴は直径30cm以下のものが多く、柱痕を確認した柱穴は無い。

SB737（図版31・35）　5Cに所在する桁行4間（5.3m）以上の掘立柱建物。柱穴列の可能性もある。過半が調査区外に広がる。主軸方位はN-19°-Wである。柱穴は直径30cm以下のものが多く、柱痕を確認した柱穴はなかった。

SB738（図版31・35）　5CDに所在する4間（7.2m）×2間（2.8m）の掘立柱建物。一部調査区外に広がる。主軸方位はN-30°-Wである。柱痕を確認した柱穴は無い。

SB739（図版33・36・86）　4EF・5Eに所在する4間（4.7m）×2間（3.0m）の掘立柱建物。主軸方位はN-68°-Eである。柱痕は直径10cmと直径16cmのものが確認できる。

SB740（図版27・36）　3Fに所在する4間（5.5m）×1間（3.3m）の掘立柱建物。主軸方位はN-82°-Eである。柱痕はP1700で直径11cmのものが確認できる。

SB741（図版27・36）　3Fに所在する4間（4.7m）×4間（4.2m）の掘立柱建物。主軸方位はN-10°-Wである。柱痕は直径11cmのものと直径14cmのものが確認できる。

SB742（図版27・36・37・86）　3Eに所在する3間（5.6m）×1間（2.8m）の掘立柱建物。主軸方位はN-60°-Eである。柱痕は直径11cmのものと直径14cmのものが確認できる。

SB743（図版27・37・86）　2・3Eに所在する3間（5.8m）×1間（3.0m）の掘立柱建物。主軸方位はN-79°-Eである。柱痕はP1024で直径10cmのものが確認できる。

SB744（図版27・37）　3E・4EDに所在する3間（7.0m）×2間（4.1m）の掘立柱建物。主軸方位はN-10°-Wである。柱痕はP1128で直径24cmのものが確認できる。SB1998より新しい遺構である。

SB745（図版33・37）　4DE・5DEに所在する3間（6.9m）×1間（4.1m）の掘立柱建物。主軸方位はN-18°-Wである。柱痕を確認した柱穴は無い。P3104から胎土E群の須恵器無台杯（図版53－301）が出土している。8期（9世紀前葉頃）の土器である。

SB746（図版31・37）　4・5Dに所在する3間（5.8m）×1間（4.8m）の掘立柱建物。主軸方位はN-10°-Wである。柱痕を確認した柱穴は無い。SD1233より新しい遺構である。

SB747（図版23・38）　2D、3DEに所在する3間（3.4m）×2間（5.3m）の掘立柱建物。主軸方位はN-20°-Wである。直径30cm以下の小型の柱穴で構成され、柱痕を確認した柱穴は無い。SI1470と重複する。

SB748（図版23・38）　2・3Dに所在する3間（3.4m）×3間（2.7m）以上の掘立柱建物。主軸方位はN-22°-Wである。直径30cm以下の小型の柱穴で構成され、柱痕を確認した柱穴は無い。SI1470と重複する。

SB750（図版23・38）　2D・3CDに所在する3間（5.5m）×1間（2.4m）の掘立柱建物。主軸方位はN-59°-Eである。直径30cm以下の小型の柱穴で構成され、柱痕を確認した柱穴は無い。

SB751（図版 23・38） 3CD に所在する 3 間（4.4m）× 1 間（2.6m）の掘立柱建物。主軸方位は N-53°-E である。直径 30cm 以下の小型の柱穴で構成され、柱痕を確認した柱穴は無い。

SB752（図版 23・31・32・87） 3・4CD に所在する 5 間（6.4m）× 4 間（5.4m）の掘立柱建物。主軸方位は N-74°-E である。柱痕は 8 ～ 20cm のものが確認できる。SB2000 より新しい遺構である。

SB754（図版 23・31・39・87） 3・4C に所在する 3 間（4.9m）× 3 間（4.3m）の掘立柱建物。主軸方位は N-69°-E である。柱痕は直径 14 ～ 21cm のものが確認できる。SB2000 より新しい遺構である。

SB1996（図版 27・29・38・39・88・89） 3・4FG に所在する 2 間（4.7m）× 2 間（4.7m）の総柱の掘立柱建物。主軸方位は N-8°-W である。柱痕は直径 12 ～ 38cm のものが確認できる。SB1997 より古い遺構である。

SB1997（図版 27・29・40・87） 3・4FG に所在する 2 間（5.8m）× 2 間（4.6m）の総柱の掘立柱建物。主軸方位は N-20°-W である。柱痕は直径 24cm と 51cm のものが確認できる。SB739・1996 より新しい遺構である。須恵器無台杯（図版 53－295）、土師器無台椀（図版 53－296）が出土している。どちらも 8 期（9 世紀前葉）の土器である。

SB1998（図版 25・41・90） 3EF・4E に所在する 3 間（5.8m）× 2 間で 1 面に廂を持ち短軸が 5.1m となる掘立柱建物。主軸方位は N-12°-W である。面積は 26.0m²、柱痕は直径 18cm ～ 30cm のものが確認できる。SB744 より古い遺構である。須恵器甕（図版 51－244）、須恵器無台杯（図版 53－287）、土師器有台椀（図版 53－298）、須恵器長頸瓶（図版 53－299）が柱穴から出土している。298 は 11 ～ 13 期（10 世紀初め～中葉）であるが、他は 9 期（9 世紀後葉）かそれ以前のものである。

SB1999（図版 31・42・91） 4・5D に所在する 3 間（7.1m）× 2 間（7.0m）の掘立柱建物。主軸方位は N-17°-W である。柱痕は直径 15cm と 23cm のものが確認できる。面積は 49.7m² で今回報告する建物群の中では最大である。胎土 E 群の須恵器壺蓋（図版 53－290）が出土している。

SB2000（図版 23・31・42・43・92・93） 4・5D に所在する 3 間 5.0m）× 3 間（4.8m）の掘立柱建物。主軸方位は N-15°-W である。一辺約 70cm の隅丸方形の掘形を持つ柱穴で構成され、柱穴の多くで柱痕が確認できた。柱痕は直径 18cm ～ 39cm のものが確認できる。面積は 24.0m² である。胎土 H 群の須恵器杯蓋と有台杯、土師器無台椀（図版 53－285・286・300）が出土している。いずれも 8 期（9 世紀前葉）のものである。SB752・754 より古い遺構である。

柱穴列（SA）

SA731（図版 26・27） 2DE・3EF に所在する 11 間（21.3m）の柱穴列。主軸方位は N-29°-W である。柱痕の確認できる柱穴は少ないが、直径 8cm と 11cm のものがある。

SA732（図版 26・27） 3EF に所在する 9 間（16.2m）の柱穴列。主軸方位は N-19°-W である。柱痕は、直径 11 ～ 12cm のものがある。

SA733（図版 32・33） 4EF に所在する 6 間（9.1m）の柱穴列。主軸方位は N-48°-E である。柱痕は、直径 12 ～ 14cm のものがある。

SA749（図版 24・25） 2 ～ 4D・4C に所在する 7 間（14.7m）の柱穴列。主軸方位は N-82°-E である。25cm 以下の小型の柱穴で構成され、柱痕の確認できる柱穴は無い。

SA756（図版 26・27） 3EF に所在する長さ 2.5m の柱穴列。主軸方位は N-32°-W である。SR1003 の東岸に沿うように、小型の柱穴が近接して並ぶ。柱痕の確認できる柱穴は無い。SR1003 に近接する

SA757（図版 26・27） 3EF に所在する長さ 2.2m の柱穴列。主軸方位は N-39°-W である。SA756 同

様、SR1003 の東岸に沿うように、小型の柱穴が近接して並ぶ。柱痕の確認できる柱穴は無い。

SA758（図版 26・27）　3FG に所在する長さ 5.3m の柱穴列。主軸方位は N-22°-W である。SR1001 の底面に沿うように、小型の柱穴が近接して並ぶ。柱痕の確認できる柱穴は無い。

SA759（図版 26・27）　3FG に所在する長さ 3.8m の柱穴列。主軸方位は N-34°-W である。SAS758 と同様に R1001 の底面に沿うように、近接して小型の柱穴が並ぶ。柱痕の確認できる柱穴は無い。

SA760（図版 26・27）　3F に所在する長さ 4.8m の柱穴列。主軸方位は N-20°-W である。SR1001 の東岸に沿うように、近接して小型の柱穴が並ぶ。柱痕の確認できる柱穴は無い。SB730 より新しい。

土坑（SK）

SK1046（図版 32・33）　4F10 に所在する楕円形の土坑。長軸 76cm、短軸 66cm、深さ 20cm である。胎土 C・E 群の須恵器有台杯・土師器無台椀が出土した。

SK1065（図版 28・29）　4G7 に所在する楕円形の土坑。南側が調査区外となる。長軸 102cm 以上、深さ 16cm である。SD1064 より古い遺構である。土師器小片が出土した。

SK1099（図版 28・29）　4F11・12・16・17 に所在する楕円形の土坑。、柱痕と思われる土層がみられるが、他に組みとなる柱穴が確認できないため土坑とした。長軸 101cm 以上、短軸 75cm、深さ 45cm である。SK1042（SB1996）より古い遺構である。両面黒色土器無台杯（図版 51－239）が出土した。

SK1224（図版 30・31・82）　4D20 に所在する隅丸長方形の土坑。長軸 165cm、短軸 98cm、深さ 12cm である。SD1233 より新しい。須恵器有台杯（図版 51－240）が出土した

SK1241（図版 32・33）　4E1 に所在する不整形な土坑。長軸 152cm、短軸 92cm、深さ 6cm である。土師器小甕（図版 51－241 ～ 243）が出土した。

SK1257（図版 31・42）　4D12 に所在する楕円形の土坑。長軸 76cm 以上、短軸 61cm、深さ 12cm である。P1256（SB1998）より古い遺構である。

SK1276（図版 22・23・81）　4D16 に所在する楕円形の土坑。長軸 124cm、短軸 88cm、深さ 15cm である。SK1577 より古い遺構である。

SK1417（図版 22・23・81）　3C4・5・9・10 に所在する楕円形の土坑。長軸 180cm、短軸 53cm、深さ 20cm である。須恵器無台杯、長胴甕もしくは小甕（在地型）が出土した。

SK1577（図版 22・23）　4D16 に所在する不整形の土坑。長軸 151cm、短軸 135cm、深さ 28cm である。SD1263・SK1276 より新しい遺構である。須恵器無台杯が出土した。

SK1627（図版 28・29）　3E12・13・17・18 に所在する楕円形の土坑。長軸 176cm、短軸 154cm、深さ 20cm である。P1626（SB1998）・SD1629 より古く、SD1622・1625 より新しい。須恵器甕・有台杯（図版 51・52－244・245）などが出土した。

SK1702（図版 28・29）　3F3 に所在する不整形の土坑。長軸 100cm、短軸 91cm、深さ 19cm である。P1953 より新しい。土師器無台椀・須恵器技法を用いた長胴甕か鍋が出土した。

SK1979（図版 28・29）　4G6 に所在する不整形の土坑。長軸 104cm、短軸 66cm 以上、深さ 17cm である。P1122・SD1895 より古い。遺物は出土していない。

SK3056（図版 31・84）　5D25 に所在する楕円形の土坑。長軸 156cm 以上、短軸 62cm 以上、深さ 19cm である。過半が調査区外に伸びる SK3160 より新しく、P3137 より古い。須恵器杯蓋・無台杯、土師器無台椀、黒色土器無台椀（図版 52－246 ～ 251）などが出土した。

SK3108（図版 31）　5D14 に所在する円形の土坑。長軸 125cm 以上、短軸 110cm、深さ 12cm である。

P3166 との新・古は不明。須恵器有台杯（図版 52－247）などが出土した。

SK3126（図版 30・31・83） 5D19 に所在する不整形の土坑。長軸 230m、短軸 170cm 以上、深さ 27cm である。P3134・3142 より古い。須恵器杯蓋、土師器無台椀、黒無台椀（図版 52－252 ～ 256）などが出土した。土師器無台椀 254 は器壁が厚く 12・13 期（10 世紀前葉～中葉）まで下るものと思われることから、Ⅵb 層から彫り込まれた遺構の可能性がある。

SK3160（図版 30・31・83） 5D19・20・24・25 に所在する惰円形の土坑。長軸 214cm 以上、短軸 96cm 以上、深さ 26cm 以上である。SK3056、P3127・31734 より古い。須恵器杯蓋・有台杯・無台杯、土師器無台椀、黒色土器無台椀、緑釉陶器皿（図版 52－256 ～ 274）、青銅製絞具（図版 68－538）などが出土した。

SX1199（図版 32・33・88） 3F25 に所在する不整形の土坑。長軸 409cm、短軸 226cm、深さ 27cm である。SD1287 より新しく、SK1219（SB729）・SK1286（SB1997）・P1107（SB728）・P1600（SB1996）より古い。須恵器有台杯・無台杯、土師器無台椀などが出土しているが、掲載した遺物は無い。

SX1874（図版 22・23） 4C16 に所在する不整形の遺構。長軸 111cm、短軸 56cm、深さ 10cm である。埋土中に炭化物を多く含む。遺物は出土していない。

溝・流路（SD・SR）

SD1411 ～ 1416・1774・1770（図版 22・23） 2・3D に所在する。主軸方向が N-60°～ 70°-E 前後の溝である。埋土は単層で、深さは 10cm に満たないものが多い。SD1770・1774 は SI1470 より新しい。畑作溝の可能性が高い。

SD1362・1381・1382・1604・1607・1609・1625（図版 22・23・26・27・105） 3E に所在する。主軸方向が N-20°-W 前後、またはこれに直行する溝である。埋土は単層で、深さは 10cm に満たないものが多い。重複するピットとの重複関係は溝が古い事例と溝が新しい事例があるが、溝が古い事例が多い。畑作溝の可能性が高い。

SD3054・3149・3158（31） 5C に所在する。主軸方向が N-50°-E 前後の溝である。埋土は単層で、深さは 10cm に満たないものが多い。畑作溝の可能性が高い。

SR1001・1002・1003（図版 29・30・105 ～ 107） 調査区の西側、2EF・3FG にある自然流路。埋土の堆積はレンズ状である。SR1001 の底面と東岸付近、SR1003 の東岸で多くの柱穴を検出した。土器も多く出土している（図版 54～56－305～364）。層序と出土土器の年代は概ね調和的である。

第Ⅴ章　遺　　物

1　概　　要

遺物には土器・陶磁器、金属器、石器・石製品、土製品がある。出土量は土器・陶磁器が最も多く、次いで金属製品がある。石器・石製品、土製品は少ない。最初に土器・陶磁器の記述を行い、ついでこれ以外の遺物の記述を行う。

2　土器・陶磁器

出土した土器・陶磁器はほぼ全て古代のもので、他の時期の土器・陶磁器はほとんど確認できない。平箱（内法 長 54cm ×幅 34cm ×深 10cm）換算で 110 箱出土した（整理後の箱数）。以下では分類を記した後に上層（Ⅵb 層上面で検出した遺構・Ⅵa 層出土土器）→下層（Ⅶa 層上面で検出した遺構・Ⅵb 層出土土器）の順で図版 44 ～ 61 に沿って記述する。

A　分　　類（第 10 ～ 12 図、第 3・4 表）

器種分類　『新潟県の考古学』Ⅲの器種分類［春日 2019b］を参考に、第 10･11 図のように分類する。器種名称も概ね踏襲したが、須恵器技法を用いず外面にヘラケズリを行う武蔵型甕ではない甕類・鍋（第 11 図 218・232・233・464）は器種名の後ろに（在地型）をつけることとした。また第 11 図 220 は『新潟県の考古学』Ⅲの器種分類には無かった土器で、中世の内耳鍋のようにも見えるがロクロ成形であり、「鍋（内面有段）」という名称とした。鍋（北信型）の系譜をひくものと考えている。

胎土　須恵器については『新潟県の考古学』Ⅲの分類［春日 2019b］をもとに第 3 表のように分類した。土師器については第 4 表のように分類した。

重ね焼き　須恵器杯蓋と有台杯の重ね焼きについては、北野博司の分類［北野 1988］を参考に第 12 図のように分類した。

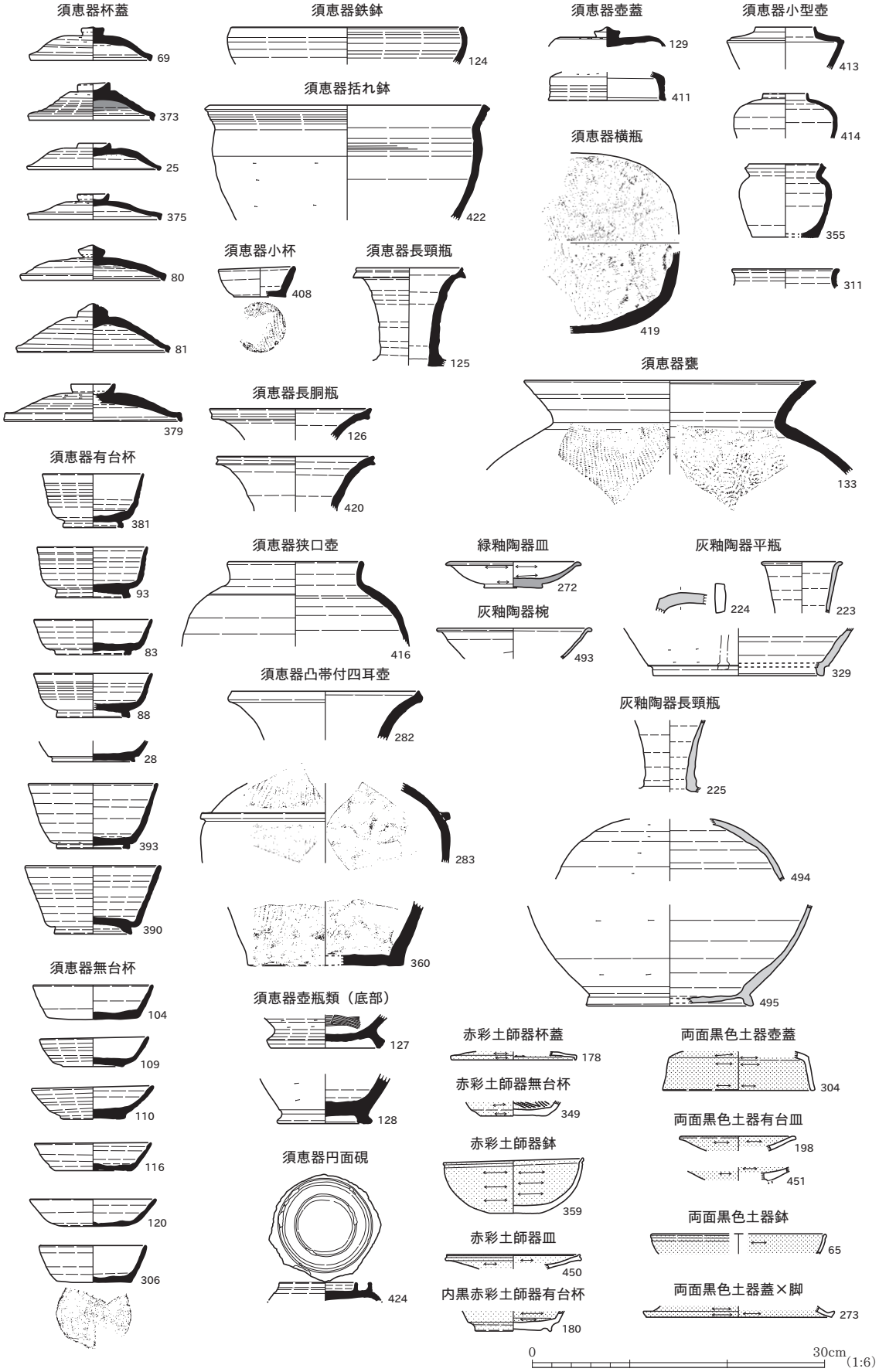
B　各　　説（図版 44 ～ 61）

出土土器土器の時期区分は第 5 表のものを用いる。

上層（図版 44 ～ 50）

SX64（図版 44 - 1 ～ 12）　1 は須恵器杯蓋で胎土は B 群である。低い環状の摘みがある。2 ～ 10 は土師器無台椀。2 は外面下部から底部外面にヘラケズリ、2 は外面中位付近から底部外面にロクロケズリを行う。11 は黒色土器無台椀で、外面下部から底部外面にロクロケズリを行う。12 は北信型の鍋である。SX64 出土土器の時期は 11 期と考えている。口縁部残存率計測法による器種構成は第 7 表参照。

SX159（図版 44 - 13 ～ 24）　13 は黒色土器杯蓋。14 ～ 24 は土師器無台椀である。土師器無台椀に外面下部や底部外面に再調整を行うものは確認できない。SX159 出土土器の時期は、12 ～ 13 期と考えている。口縁部残存率計測法による器種構成は第 7 表参照。


須恵器杯蓋
69
373
25
375
80
81
379
須恵器有台杯
381
93
83
88
28
393
390
須恵器無台杯
104
109
110
116
120
306
須恵器鉄鉢
124
須恵器括れ鉢
422
須恵器小杯
408
須恵器長頸瓶
125
須恵器長胴瓶
126
420
須恵器狭口壺
416
須恵器凸帯付四耳壺
282
283
360
須恵器壺瓶類（底部）
127
128
須恵器円面硯
424
須恵器壺蓋
129
411
須恵器横瓶
419
須恵器小型壺
413
414
355
311
須恵器甕
133
緑釉陶器皿
272
灰釉陶器椀
493
灰釉陶器平瓶
224
223
329
灰釉陶器長頸瓶
225
494
495
赤彩土師器杯蓋
178
赤彩土師器無台杯
349
赤彩土師器鉢
359
赤彩土師器皿
450
内黒赤彩土師器有台杯
180
両面黒色土器壺蓋
304
両面黒色土器有台皿
198
451
両面黒色土器鉢
65
両面黒色土器蓋×脚
273
0
30cm
(1:6)

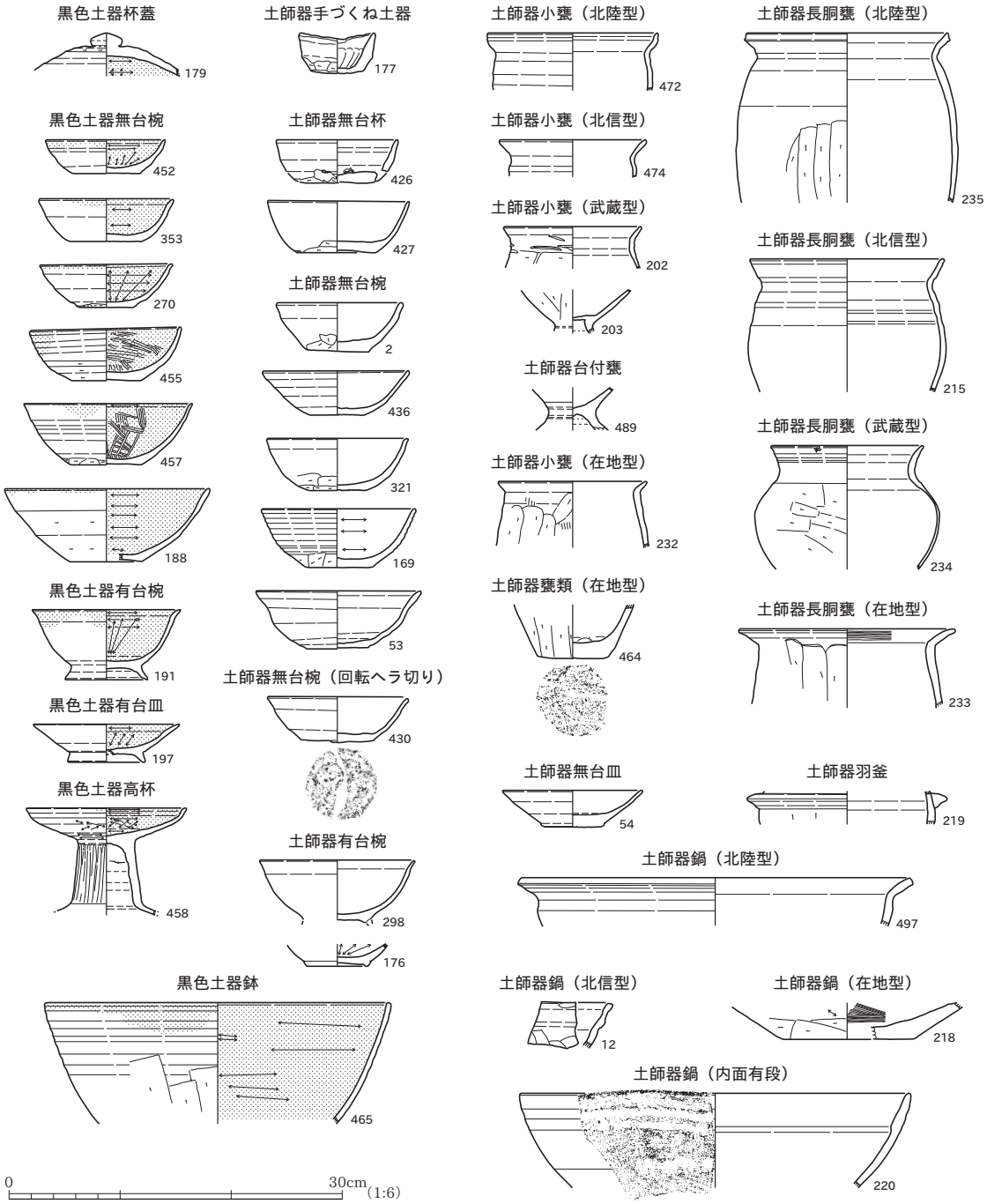
第 10 図　器種分類 1

SK4（図版 44 - 25）　25 は須恵器杯蓋。胎土 B 群である。10 期の須恵器と考えており、上層の上限に近い時期の須恵器である。

焼土 272（図版 44 - 26）　26 は須恵器杯蓋。胎土は E 群である。須恵器の時期は 8 期である。

ピット（図版 44 - 28 ～ 29）28 は P610 から出土した。P610 は SB724 を構成する柱穴である。須恵器有台杯で、高台は貼り付けではなく、水挽によって成型する。時期は 7 期前後と考えている。

Ⅵa5 層（図版 44・45 - 30 ～ 41）　30 は須恵器無台杯。胎土は B 群である。器壁は薄い。31 ～ 40 は土師器無台椀。31 は外面下部にヘラケズリを行う。41 は須恵器技法を用いる土師器小甕である底部外面は回転糸切りである。Ⅵa5 層出土土器の時期は 10 期と考えている。口縁部残存率計測法による器種構



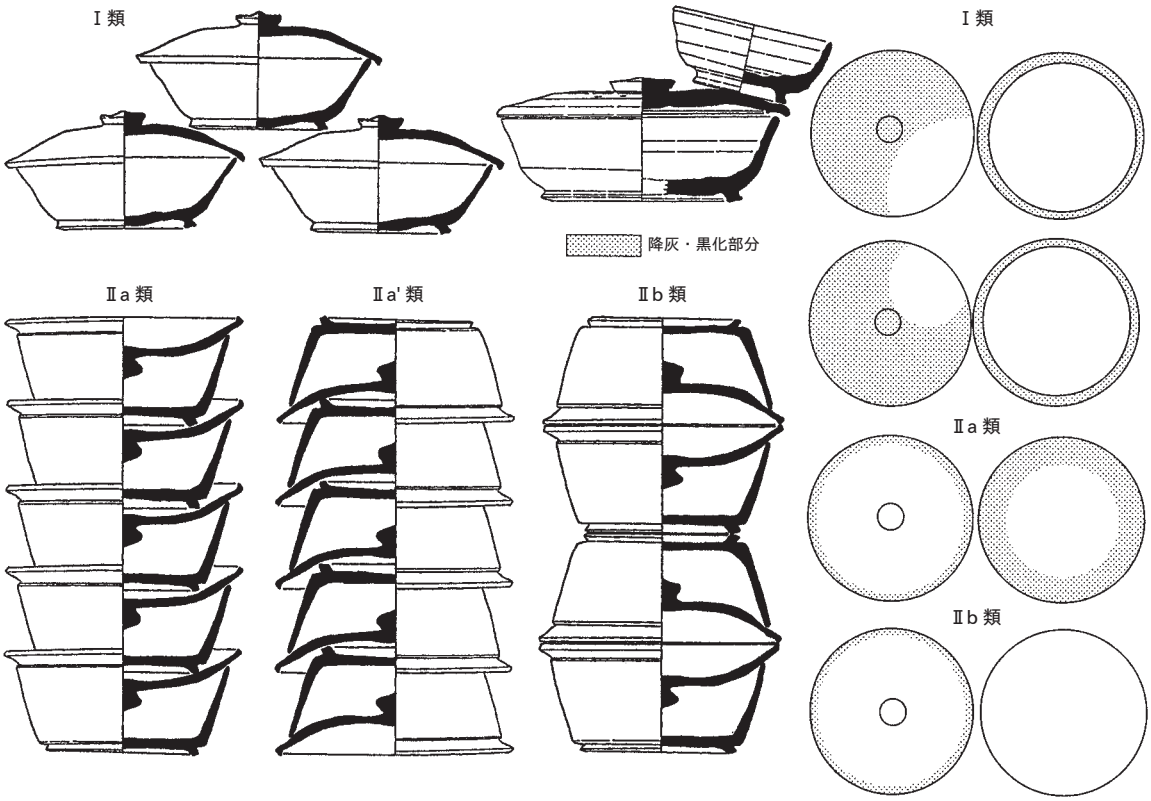
第 11 図　器種分類 2

分類	特徴	産地・須恵器窯など
A 群	石英・長石・雲母など花崗岩起源の大型の鉱物を多く含む粗い胎土。	阿賀北の須恵器窯で多く確認できる。
B 群	軟質の白色小粒子を定量含む。きめ細かいもの（B1）と砂質の強いもの（B2）がある。	佐渡市小泊須恵器窯群で多く確認できる。
C 群	小型の長石・石英を少量含む粘土質の強い胎土。表面に光沢のあるものが多い。	新津（丘陵）・長岡市東部の東山丘陵・高田平野東部の丘陵の須恵器窯で多く確認できる。阿賀北北部の窯にも一部見られる。
D 群	砂質が強くやや粗い胎土。海面骨針・やや大型の白色の礫が確認できることが多い。	三島出雲崎町、長岡市の信濃川左岸の須恵器窯で多く確認できる。
E 群	砂質もしくはシルト質で均質な胎土。	高田平野西部の丘陵の須恵器で多く確認できる。
F 群	黒色の小さな吹き出しが多く確認できる粘土質の胎土。	糸魚川市西角地窯で多く確認できる。
G 群	C 群に似るが径 2 ～ 3mm の大型の白色粒を含む胎土	不明（蛍光 X 線分析の結果では C 群と各種の数値が似ている。）
X 群	上記に当てはまらないものもの	不明。多様な産地を含んでいるものと思われる。

第 3 表 須恵器の胎土（春日 2019b を改変）

分類	特徴など
A 群	石英・長石・雲母など花崗岩起源の鉱物を含む胎土。魚野川流域で生産されたものと考えている。金屋遺跡出土土師器の主体的な胎土。
B 群	A 群に比べ混入する礫・鉱物の稜が少ない比較的精良な胎土。多様な地域で生産されたものを含んでいる可能性がある。
C 群	石英・長石・雲母のほかにチャートの円礫を一定量含む胎土。出土例は少ない。
D 群	石英・長石・雲母など花崗岩起源の鉱物をほとんど含まず、堆積岩の小粒を含むもの。
E 群	橙色、あるいは赤褐色の色調で砂粒を大量に含む胎土。

第 4 表 土師器（黒色土器・赤彩土師器など含む）の胎土



第 12 図　杯蓋・有台杯の重ね焼分類（北野 1988 を改変）

成比率は第７表のとおり。

Ⅵa6 層（図版 45－42 ～ 55）　42 ～ 53 は土師器無台椀。外面下部や底部外面に再調整が確認できるものは無い。54 は器高が低く、土師器無台皿とした。55 は黒色土器無台椀で、底部外面はヘラケズリを行うが一部に回転糸切り跡が残る。Ⅵa6 層出土土器の時期は一部に新しい土器が混じるが、Ⅵa6 層出土土器は 10 期を中心とする時期と考えている。Ⅵa6 層出土土器の口縁部残存率計測法による器種構成比率は第７表のとおり。

Ⅵa7 層（図版 45－56 ～ 59）　56 は須恵器無台杯。胎土はＤ群である。57 ～ 59 は土師器無台椀。いずれも底部回転糸切り、内外面ロクロナデである。

Ⅵa8 層（図版 45－60 ～ 67）　60 は須恵器杯蓋。胎土はＣ群である。61 ～ 64 は土師器無台椀で、このうち 61 ～ 63 は底部回転糸切り、内外面ロクロナデである。65 は両面黒色土器で、口縁は端部付近に沈線状の窪みが巡る。器種は鉢とした。66・67 は黒色土器無台椀。66 は外面下端から底部外面にロクロケズリを行い、67 は外面下部から底部外面にヘラケズリを行う。

Ⅵa 層（図版 45 ～ 50－68 ～ 226）　68 ～ 82 は須恵器杯蓋。68 ～ 76・78 は口径 11.3 ～ 13.6cm の小型の杯蓋、77・80・81 は口径 14.5 ～ 15.2cm の大型の杯蓋である。

83 ～ 99・102 ～ 103 は須恵器有台杯。口径 10.8 ～ 12.2cm、器高 3.6 ～ 5.3cm の小型のもの（83 ～ 94）と、口径 12.8 ～ 15.8cm、器高 6.6 ～ 7.4cm の大型のもの（95 ～ 97）がある。95・101 は内面に漆が付着する。101 ～ 103 は底部外面に「咋ヵ一女」（101）・「咋一女」（102）・「□一女」（103）の墨書がある。

100 は他の有台杯に比べ底径が小さく体部の外傾度も大きいことから有台椀とした。底部外面には糸切り痕は確認できず、切り離しは回転ヘラ切りの可能性が高い。胎土はＢ群である。

	時期区分			年代など
600 －	1段階	1期古	上越市峪ノ上遺跡 SI1 上越市一之口遺跡 SI17 上越市延命寺遺跡 SI006 上越市津倉田遺跡 SI417	飛鳥Ⅰ（の一部）
		1期新		
		2期	上越市津倉田遺跡 SI1・53・80・102 田上町行屋崎遺跡	
700 －		3期	上越市津倉田遺跡 SI62B・SX97 新潟市秋葉区大沢谷内遺跡 SX945	飛鳥Ⅳ
		4期	妙高市栗原遺跡 SD25 上越市柿崎区木崎山遺跡３号竪穴住居	大宝元年（701）上限
		5期	長岡市八幡林遺跡Ａ地区Ⅳ層 長岡市下ノ西遺跡 SD201 長岡市下ノ西遺跡 SD202 上越市延命寺遺跡 SD1700	養老年間（717 ～ 724） 養老四または六年～天平二年（720 または 722 ～ 730） 神亀二年（725） 天平八年（736）
	2段階	6期	上越市今池遺跡 SK24 長岡市八幡林遺跡Ｈ地区	
800 －		7期	上越市滝寺７号窯跡 上越市今池遺跡 SK102	西暦 775 年（年輪年代、上限） 壺Ｇ
		8期	聖篭町山三賀Ⅱ遺跡 SI1320・753 ほか 阿賀野市山口遺跡 SI2368・3048	
		9期	新潟市江南区駒首潟遺跡旧河川 新潟市西区釈迦堂遺跡Ⅸ層 阿賀野市蕪木遺跡 SD21・32・110 長岡市八幡林遺跡Ⅰ地区上層	天安元～貞観元年（857 ～ 859） 貞観五年（863）
		10期	上越市子安遺跡 SI354 牛道遺跡 SE234	
900 －	3段階	11期	西部遺跡 SD1377	O-53
		12期	長岡市門新遺跡 SD152	延長六年（928）
1,000 －		13期	上越市四ツ屋遺跡 SK63	虎渓山１号
		14期	上越市一之口遺跡東地区 SD1'	丸石２号
		15期	糸魚川市角地田遺跡 SK577・698	（明和 27 号）

第５表　本書で用いる時期区分と主な資料

区分	種類	器種	上層			下層			合計		
			破片数	口縁部残存率 /36	比率	破片数	口縁部残存率 /36	比率	破片数	口縁部残存率 /36	比率
食膳	須恵器	杯蓋	662	1,218	9.7%	452	1,035	15.9%	1,114	2,253	11.8%
		有台杯	543	806	6.4%	461	912	14.0%	1,004	1,718	9.0%
		無台杯	1,023	1,354	10.8%	778	1,058	16.2%	1,801	2,412	12.6%
		有×無台杯	176	63	0.5%	204	58	0.9%	380	121	0.6%
		有台椀	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
		小杯	0	0	0.0%	5	24	0.4%	5	24	0.1%
		鉢類	23	12	0.1%	21	23	0.4%	44	35	0.2%
	土師器	手づくね土器	1	10	0.1%	0	0	0.0%	1	10	0.1%
		杯蓋	11	13	0.1%	0	0	0.0%	11	13	0.1%
		無台杯	0	0	0.0%	22	43	0.7%	22	43	0.2%
		有台椀	51	0	0.0%	25	5	0.1%	76	5	0.0%
		無台椀	3,677	1,156	9.2%	1,378	566	8.7%	5,055	1,722	9.0%
		有×無台椀	3,487	7,149	56.9%	1,127	2,209	33.9%	4,614	9,358	49.0%
		有×無台皿	2	3	0.0%	1	2	0.0%	3	5	0.0%
		有台椀×皿	1	3	0.0%	0	0	0.0%	1	3	0.0%
		鉢類	7	0	0.0%	0	0	0.0%	7	0	0.0%
	黒色土器	杯蓋	10	0	0.0%	1	0	0.0%	11	0	0.0%
		有台椀	44	11	0.1%	3	0	0.0%	47	11	0.1%
		無台椀	372	140	1.1%	262	190	2.9%	634	330	1.7%
		有×無台椀	322	607	4.8%	153	304	4.7%	475	911	4.8%
		有台皿	6	5	0.0%	1	0	0.0%	7	5	0.0%
		有×無台皿	0	0	0.0%	10	20	0.3%	10	20	0.1%
		鉢	5	4	0.0%	27	16	0.2%	32	20	0.1%
		鉢×無台椀	3	0	0.0%	10	0	0.0%	13	0	0.0%
		高杯	0	0	0.0%	7	4	0.1%	7	4	0.0%
	両黒土器	杯蓋	0	0	0.0%	3	5	0.1%	3	5	0.0%
		有台椀	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
		無台椀	4	3	0.0%	13	0	0.0%	17	3	0.0%
		有×無台椀	1	3	0.0%	0	0	0.0%	1	3	0.0%
		有台皿	2	4	0.0%	1	0	0.0%	3	4	0.0%
		鉢	1	2	0.0%	0	0	0.0%	1	2	0.0%
	赤彩土師器	杯蓋	2	2	0.0%	0	0	0.0%	2	2	0.0%
		有台杯	1	0	0.0%	1	0	0.0%	2	0	0.0%
		無台杯	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
		無台椀	0	0	0.0%	5	0	0.0%	5	0	0.0%
		有×無台椀	1	3	0.0%	13	3	0.0%	14	6	0.0%
		有×無台皿	0	0	0.0%	3	6	0.1%	3	6	0.0%
		鉢	3	1	0.0%	17	14	0.2%	20	15	0.1%
	内黒赤彩	有台杯	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
		無台椀	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
	灰釉陶器	椀	1	0	0.0%	1	2	0.0%	2	2	0.0%
		椀×皿	2	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
	緑釉陶器	椀	2	0	0.0%	12	4	0.1%	14	4	0.0%
		皿	0	0	0.0%	4	4	0.1%	4	4	0.0%
		椀×皿	9	0	0.0%	12	4	0.1%	21	4	0.0%
	小　計		10,458	12,572	94.6%	5,035	6,511	90.9%	15,493	19,083	93.3%
貯蔵	須恵器	壺蓋	8	18	13.6%	21	32	15.9%	29	50	15.0%
		小型壺	1	0	0.0%	14	20	10.0%	15	20	6.0%
		短頸・狭口壺	7	20	15.2%	17	45	22.4%	24	65	19.5%
		長頸・長胴瓶	17	36	27.3%	12	30	14.9%	29	66	19.8%
		凸帯付四耳壺	14	11	8.3%	31	0	0.0%	45	11	3.3%
		壺瓶類	117	2	1.5%	108	4	2.0%	225	6	1.8%
		横瓶	22	0	0.0%	56	13	6.5%	78	13	3.9%
		甕か横瓶	4	0	0.0%	0	0	0.0%	4	0	0.0%
		甕	226	41	31.1%	253	49	24.4%	479	90	27.0%
	両面黒色	壺蓋	4	2	1.5%	1	1	0.5%	5	3	0.9%
		壺	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
	灰釉陶器	壺蓋	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
		長頸瓶	10	0	0.0%	35	7	3.5%	45	7	2.1%
		平瓶	2	2	1.5%	2	0	0.0%	4	2	0.6%
		壺瓶類	15	0	0.0%	6	0	0.0%	21	0	0.0%
	小　計		448	132	1.0%	557	201	2.8%	1,005	333	1.6%
煮炊	須恵器	甑	1	1	0.2%	0	0	0.0%	1	1	0.1%
	土師器	小甕	438	119	20.2%	300	95	21.1%	738	214	20.6%
	土師器	長胴甕	1,023	321	54.5%	787	236	52.3%	1,810	557	53.6%
	土師器	鍋	111	76	12.9%	29	27	6.0%	140	103	9.9%
	土師器	長胴甕×小甕	1,290	67	11.4%	1,241	87	19.3%	2,531	154	14.8%
	土師器	長胴甕×鍋	529	5	0.8%	877	6	1.3%	1,406	11	1.1%
	土師器	羽釜	4	0	0.0%	2	0	0.0%	6	0	0.0%
	土師器	甑	2	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
	小　計		3,398	589	4.4%	3,236	451	6.3%	6,634	1,040	5.1%
食器総計			14,304	13,293	100%	8,828	7,163	100%	23,132	20,456	100%
その他	須恵器	円面硯	3	0	−	2	36	−	5	36	−
	須恵器	小片、不明	218	0	−	91	0	−	309	0	−
	土師器	小片ほか	11,233	0	−	3,521	0	−	14,754	0	−
	黒色土器	小片	792	0	−	326	0	−	1,118	0	−
	両面黒色	小片・不明	8	0	−	2	0	−	10	0	−
	赤彩土師器	小片	19	0	−	11	0	−	30	0	−
	内黒赤彩	小片	1	0	−	0	0	−	1	0	−
総　計			26,578	13,293	−	12,781	7,199	−	39,359	20,492	−

第６表　出土土器の器種構成比率（比率は口縁部残存率で計測）　※「×」は「または」と同義

104 ～ 123 は須恵器無台杯。105 は口径 12.6cm で、他の無台杯よりやや大型である。底部外面にヘラケズリを行う。胎土はＤ群である。121 ～ 123 には底部外面に「□一女」（121）、「咋ヵ一女」（122）、「□一女ヵ」（123）の墨書がある。

124 は鉄鉢。口径 23.9cm で、胎土はＥ群である。須恵器貯蔵具には長頸瓶（125）・長胴瓶（126）・壺蓋（129）・甕（130 ～ 134）などがある。131 は口縁部外面に 2 段の波状文が巡る。132 は体部内面に無文の扇形当て具痕が見られる。

135 は下端の直径が 10.5cm と小さいが円面硯とした。十字の透かしと篦描きによる綾杉文が見られる。下部には朱墨が付着している。

136 ～ 174 は土師器無台椀。口径 11.4 ～ 13.3cm の小型のもの（136 ～ 151・153 ～ 164）と口径 13.6 ～ 16.0cm（152・165 ～ 170・172）の大型のものがある。136 は外面下部・底部外面にヘラケズリを行う。139 ～ 141 は底部外面に回転糸切りの痕跡が確認できないが、器面の摩耗によるものか、ヘラケズリによるものかは不明。137 は底部外面にヘラ記号「-」が確認できる。138・142 は直線状の圧痕が複数確認できる。168 は外面にヘラミガキ・底部外面にロクロケズリを行う。170は内面ヘラミガキ、外面下部・底部外面ヘラケズリを行う。171 は内面ヘラミガキ、外面下部ヘラケズリを行う。172・173 は内面に漆が付着する。174 は底部外面に「女」の刻書がある。

175・176 は土師器有台椀。175 は断面方形の貼り付け高台だが、174 はロクロ水挽により高台を成形する。177 は手づくね土器である。外面下部にヘラケズリを行う。

178 は赤彩土師器杯蓋、179 は内面黒色土器杯蓋で大きな擬宝珠形の摘みがつく。180 は赤彩内黒土器有台杯で、高台はロクロ水挽で引き出している。181 ～ 189 は黒色土器無台椀である。多くが外面下部・底部外面にヘラケズリなどの再調整を行うが、189 は外面ロクロナデで底部外面は回転糸切り後再調整を行わない。190 ～ 196 は黒色土器有台椀である。190 は他のものに比べ高台が低く底部外面に爪形圧痕が巡る。197 は黒色土器有台皿、198 は両面黒色土器皿である。

199 ～ 201 は土師器小甕。199 は小甕（在地型）で内面に漆が付着する。200 は底部外面糸切り、201 は底部外面不調整である。202 ～ 205 は武蔵型甕で 203 ～ 204 は小型のもので 203･204 は台付になる。205 は大型の甕の底部である。206 ～ 217 は須恵器技法を用い成形する長胴甕で 206 ～ 208 は北陸型、209 ～ 216 は北信型である。217 は外面平行叩きで、底部は小さな平底となる。

218・220・221 は鍋。218 は在地型で、底径 11.6cm である。220 ～ 221 は内面に段がある。220 の外面下部には平行叩きが見られる。219 は羽釜で外面ヘラケズリを行う。222 は把手としたが、他の部位あるいは土製品の一部の可能性もある。

223 ～ 225 は灰釉陶器。223 は平瓶の口縁部、224 は平瓶の把手で同一個体の可能性がある。SR1001-5 層から平瓶の底部（図版 54 - 329）が出土しており、これも同一個体となる可能性がある。225 は長頸瓶の頸部である。226 は緑釉陶器の椀または皿の底部である。削り出しの平高台で、焼成は軟質である。淡い緑色の釉薬がかかる。

下層（図版 51 ～ 61）

SI1470（図版 51 - 227 ～ 238）　227・228 は須恵器杯蓋。2 点とも頂部はロクロケズリを行う。229・230 は有台杯で、229 は底部外面に回転糸切り痕が残る。231 は大型の土師器無台杯。外面下端・底部外面はヘラケズリを行うが回転糸切り痕が残る。

232・233・236 ～ 238 は土師器小甕・長胴甕（在地型）である。237 は底部充填技法を用い成形して

区分	種類	器種	Ⅵa8層			Ⅵa6層			Ⅵa5層			SX64			SX159		
			破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率
食膳	須恵器	杯蓋	4	11	8.4%	1	4	0.7%	5	3	0.5%	3					
		有台杯	3			1			11	19	9.5%	1					
		無台杯	5	7	5.3%	4	2	0.4%	15	19	9.5%	2	1	0.2%			
		有×無台杯							1								
	土師器	有台椀													1		
		無台椀	75	39	29.8%	183	243	44.4%	95	51	25.6%	187	184	31.4%	108	59	12.3%
		有×無台椀	20	44	33.6%	88	202	36.9%	49	98	49.2%	193	397	67.7%	180	406	84.9%
	黒色土器	杯蓋													2		
		無台椀	50	28	21.4%	20	13	2.4%	1						7	13	2.7%
		有×無台椀				36	80	14.6%	4	9	4.5%	2	4	0.7%			
		鉢										1					
	両面黒色	有×無台椀				1	3	0.5%									
		鉢	1	2	1.5%												
	小　計		158	131	98.5%	334	547	97.7%	181	199	94.3%	389	586	98.8%	298	478	98.8%
貯蔵	須恵器	小型壺							1								
		壺瓶類							3								
		甕	4			3			3			1					
	灰釉陶器	瓶類										1					
	小　計		4	0	0.0%	3	0	0.0%	7	0	0.0%	2	0	0.0%	0	0	0.0%
煮炊	土師器	小甕	1			11	5	38.5%	6			16	3	42.9%	1		
		長胴甕	2			20	4	30.8%	9	4	33.3%	10	3	42.9%	2	6	100%
		鍋	2	1		5	4	30.8%				1	1	14.3%			
		長胴甕×小甕	11	1		24			31	8	66.7%	34			6		
	小　計		16	2	1.5%	60	13	2.3%	46	12	5.7%	61	7	1.2%	9	6	1.2%
その他	須恵器	小片	3														
	土師器	小片	71			143			154			196			157		
	黒色土器	小片	4			59			15			1					
総　計			256	133	100%	599	560	100%	403	211	100%	649	593	100%	464	484	100%

第７表　上層の主な土器群の器種構成比率（比率は残存率で算出）　※「×」は「または」と同義

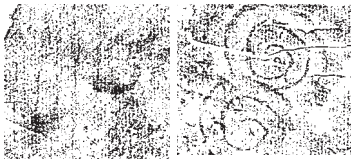
いる。234 は武蔵型甕で、口縁部は緩く外反する。235 は長胴甕（北陸型）で外面上部はロクロナデ、下部はヘラケズリである。SI1470 出土土器の時期はは７期の新相～８期古相と考えている。口縁部残存率計測法による器種構成比率は第８表のとおり。

SK1099（図版 51－239）　239 は両面黒色土器の無台椀。底部外面にヘラケズリを行う。

SK1224（図版 51－240）　240 は須恵器有台杯。底部は回転ヘラ切りで、胎土はＣ群である。

SK1241（図版 51－241 ～ 243）　241 ～ 243 は土師器小甕（在地型）。３点とも外面にヘラケズリが見られる。242・243 は底部充填技法である。234 には漆が付着する。

SK1627（図版 51・52－244・245）　244 は須恵器甕。口径 46.7cm、最大径 68.2cm、口縁端部付近の破片と口頸部、胴部と底部の破片は直接接合しないが、器高は 67.5cm 前後である。口縁部外面には６段の波状文が巡り、体部外面は浅い平行叩き、内面は渦巻き文の当て具である。245 は須恵器有台杯。口径は 13.8cm、器高 4.3cm、大型で器高が低い。高台は細く高い。



第 13 図　244 の叩きと当て具痕
（1：2）

SB1997-SK1286（図版 52－246）　246 は須恵器無台杯。胎土中に粒が小さい石英・長石を一定量含み胎土はＡ群とした。

SK3056（図版 52－248 ～ 251）　須恵器杯蓋（248）・須恵器無台杯（250）・土師器無台椀（249）・黒色土器無台椀（251）などが出土した。249 は口縁部内面に帯状に炭化物が付着する。250 は底部回転糸切りである。

SK3126（図版 52－252 ～ 255）　須恵器杯蓋（252）・土師器無台椀（253 ～ 255）などが出土している。254・255 は 11 期以降の土器である可能性が高い。

SK3160（図版 52－256 ～ 274）　256 ～ 258 は須恵器杯蓋。256・257 は頂部にロクロケズリを行う。256 は口径 14.4cm あり、256 より大型である。259・260 は須恵器有台杯。２点とも底部は回転ヘラ切り、胎土はＣ群、底部外面に「咋一女」の墨書がある。261・262 は須恵器無台椀。261 は胎土Ｂ群である。

262 ～ 266・268・269 は土師器無台椀。269 は内面ヘラミガキ、外面下部・底部外面ヘラケズリを

行う。内面に漆が付着する。267・270・271 は黒色土器無台椀。267・271 は底部外面に再調整を行っておらず、267 の切り離しは静止糸切り、271 の切り離しは回転糸切りである。270 は外面下部から底部外面にヘラケズリを行う。

272 は緑釉陶器皿。素地は軟質で、削り出しの平高台がつく。273 は両面黒色土器の杯蓋か脚、274 は鍋（北陸型）である。SK3160 出土土器の時期は 8 期と考えている。口縁部残存率計測法による器種構成は第 8 表のとおり。SK3160 は土器のほか青銅製鉸具（図版 62－538）が出土している。

SD1009・SD1382・SD1012（図版 52－275 ～ 278）　275 は土師器無台椀。276 は須恵器杯蓋で頂部にロクロケズリを行う。277 は須恵器甕で長方形に割り揃えている。278 は須恵器有台杯。底部切り離しは回転糸切り、胎土はＥ群である。

SX169（図版 53－279 ～ 284）　279 は須恵器杯蓋、281 は須恵器無台杯、280 は土師器無台椀、282・283 は凸帯付四耳壺、284 は長胴甕（北陸型）である。282 と 283 は同一個体の可能性が高い。2 点とも酸化硬質の焼き上がりである。

SB2000-P1051・1839・1820（図版 53－285・286・300）　285 は須恵器杯蓋。頂部ロクロケズリを行う。286 は須恵器有台杯。外面はロクロナデによる凹凸が顕著で、内面は底部から体部への屈曲が明瞭、底部切り離しは回転糸切りである。胎土は 285・286 ともＧ群である。300 は土師器無台椀。外面下部・底部外面はヘラケズリを行う。底径は 7.1cm である。

SB1998-P1619・1696（図版 53－287・299・298）　287 は須恵器無台杯。胎土はＢ群である。299 は須恵器長頸瓶。胎土はＥ群である。298 は土師器有台椀。口縁部は僅かに外反する。11 期以降の土器である可能性が高い。

SB1999-P1262（図版 53－290）　290 は須恵器壺蓋。胎土はＥ群で、焼き上がりは酸化軟質である。

SB1997-P1594（図版 53－295・296）　須恵器無台杯（295）と土師器無台椀（296）が出土している。295 の外面には墨痕がある。296 の底径は 7.2cm である。

SB745-P3104（図版 53－301）　301 は須恵器無台杯。底部切り離しは回転糸切り、胎土Ｅ群、焼成は酸化軟質である。

SB730-P1095（図版 53－288）　288 は土師器無台椀。底部が厚い。11 期以降の土器の可能性がある。

その他のピット（図版 53－289・291 ～ 294・297・302 ～ 304）　289 は須恵器無台杯で内面に漆が付着する。293・297 は杯蓋で、297 は頂部に帯状のロクロケズリを行う。302 は灰釉陶器長頸瓶の口縁部、304 は両面黒色土器の壺蓋である。

SR1001-1 層（図版 54－305 ～ 310）　305 は須恵器有台杯。底部切り離しは回転糸切りである。306 は須恵器無台杯で底部外面はヘラケズリである。305・306 とも胎土はＧ群である。307 ～ 310 は土師器無台椀。309 は口縁端部に炭化物が付着する。309・310 は 11 期以降の土器と考えている。

SR1001-2 層（図版 54－311）　311 は須恵器小型壺の口縁部である。

SR1001-5 層（図版 54－312 ～ 329）　312 は須恵器有台杯、底部切り離しは回転糸切りで胎土はＥ群である。313 ～ 316 は須恵器無台杯。このうち 414 ～ 316 は胎土Ｂ群である。317 は須恵器壺蓋である。

318 ～ 323 は土師器無台椀。口径 11.6 ～ 12.8cm のもの（318 ～ 321）とこれより大きなもの（322・323）がある。320 は外面下部と底部外面にヘラケズリを行う。321 は外面下部にヘラケズリを行い底部切り離しは静止糸切りである。332 は外面下部・底部外面ヘラケズリ、323 は外面下半・底部外面・内面にヘラミガキを行う。324 ～ 326 は黒色土器無台椀。324 は底部切り離しは回転糸切りで、再調整を

区分	器種	種類	SI1470			SK1241			SK3160			SR1001-11・12 層			SR1001-5 層		
			破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率
食膳	須恵器	杯蓋	8	24	32.4%				20	44	18.0%	5	7	5.8%	4	11	2.8%
		有台杯	4	48	64.9%				9	40	16.3%	10	61	50.8%	15	28	7.1%
		無台杯	2						3	14	5.7%	24	3	2.5%	41	69	17.5%
		有×無台杯	1							1	0.4%				1		
		無台椀							1								
	土師器	無台杯	5	2	2.7%												
		有台椀							1								
		無台椀							27	12	4.9%	41	38	31.7%	114	91	23.0%
		有×無台椀							42	90	36.7%	6	9	7.5%	54	107	27.1%
	黒色土器	有台椀															
		無台椀							8	20	8.2%				55	71	18.0%
		有×無台椀							8	17	6.9%	1	2	1.7%	10	18	4.6%
		有台皿															
		鉢													3		
		鉢×無台椀															
	両面黒色	蓋							2	3	1.2%						
	赤彩土師器	鉢															
	緑釉陶器	皿							4	4	1.6%						
	小　計		20	74	67.3%	0	0	0.0%	121	245	97.6%	87	120	87.0%	297	395	95.6%
貯蔵	須恵器	壺蓋							1	2	100%				6	8	61.5%
		小型壺													4	2	15.4%
		短頸・狭口壺															
		長胴瓶													5	3	23.1%
		凸帯付四耳壺															
		壺瓶類							1			2			2		
		横瓶													30		
		甕										41	18	100%			
	灰釉陶器	壺蓋							1								
		平瓶													2		
		瓶類							1								
	小　計		0	0	0.0%	0	0	0.0%	4	2	0.8%	43	18	13.0%	49	13	3.1%
煮炊	土師器	小甕	2	2					9	4	100%	2			7	1	20.0%
		長胴甕	83	29		46	30	93.8%	2						8	4	80.0%
		鍋															
		長胴甕×小甕	87	5		21	2	6.3%	3						12		
	小　計		172	36	32.7%	67	32	100%	14	4	1.6%	2	0		27	5	1.2%
その他	須恵器	小片													1		
	土師器	小片	3						25			17			128		
	黒色土器	小片							3						6		
総　計			195	110	100%	67	32	100%	167	251	100%	149	138	100%	508	413	100%

第８表　下層の主な土器群の器種構成（比率は口縁部残存率で算出）　※「×」は「または」と同義

行わない。

327 は須恵器横瓶。両面閉塞で内外面ロクロナデである。328 は須恵器長胴瓶。胎土はＢ群である。329 は灰釉陶器平瓶。図版 50－223・224 と同一個体の可能性が高い。

SR1001-7 層（図版 55－330 ～ 336）　330・331 は須恵器有台杯。331 には底部外面に墨書が確認できる。332・333 は須恵器無台杯。332 は胎土Ｅ群、333 は胎土Ｂ群である。334・335 は須恵器横瓶、336 は須恵器長胴瓶。胎土は 334 がＣ群、345・346 はＢ群である。

SR1001-11・12 層（図版 55－337 ～ 344）　337 ～ 340 は須恵器有台杯である。器高の低い 337 と器高の高い 339･340 がある。胎土は 337 ～ 339 がＥ群、340 がＡ群である。341･342 は土師器無台椀。342 は外面下端付近にロクロケズリを行う。343・344 は須恵器甕。344 は体部外面を平行叩きの後叩き痕をナデ消す。体部内面も無文で扇状の当て具痕をナデ消すが肩部に当て具の痕跡が残る。

SR1001- サブトレンチ（図版 55－345・346）　345 は須恵器有台杯。底部外面に墨書「咋一女」がある。346 は杯蓋。胎土Ｃ群で重ね焼きはⅡa 類であるが内面の降灰範囲が広く、底径が小さな有台杯が置かれていたものと思われる。

SR1002（図版 56－347 ～ 350）　347 は須恵器無台杯。胎土はＢ群である。348 は土師器無台椀。器高 3.7cm、底径 6.0cm であがり器高が低く底径が大きい。349 は赤彩土師器無台杯。ロクロ成形で底部外面はロクロケズリである。内面にハケメが確認できる。350 は須恵器甕。口縁部外面は平行叩きの後ロクロナデ、体部外面は平行叩きとカキメ、体部内面は無文で扇状の当て具痕が残る。

区分	器種	種類	SR1001- 全体			SR1003- 全体		
			破片数	口縁部残存率/36	比率	破片数	口縁部残存率/36	比率
食膳	須恵器	杯蓋	29	58	6.3%	8	17	7.4%
		有台杯	38	102	11.1%	12	13	5.7%
		無台杯	95	140	15.3%	26	63	27.4%
		有×無台杯	17	14	1.5%	3	1	0.4%
		無台椀	4					
	土師器	無台杯						0.0%
		有台椀	1					
		無台椀	263	174	19.0%	53	54	23.5%
		有×無台椀	157	316	34.5%	24	48	20.9%
	黒色土器	有台椀				1		
		無台椀	64	71	7.8%	11	10	4.3%
		有×無台椀	22	39	4.3%	2	12	5.2%
		有台皿	1	2	0.2%			
		鉢	3					
		鉢×無台椀	4			2		
	両面黒色	蓋						
	赤彩土師器	鉢				13	12	5.2%
	緑釉陶器	皿						
	小　計		698	916	95.1%	155	230	93.5%
貯蔵	須恵器	壺蓋	6	8	17.4%	1	4	44.4%
		小型壺	5	5	10.9%	1	4	44.4%
		短頸・狭口壺				1	1	11.1%
		長胴瓶	6	6	13.0%			
		凸帯付四耳壺				3		
		壺瓶類	18			8		
		横瓶	34	9	19.6%			
		甕	51	18	39.1%	1		
	灰釉陶器	壺蓋						
		平瓶	2					
		瓶類						
	小　計		122	46	4.8%	15	9	3.7%
煮炊	土師器	小甕	27	1	100%	17		
		長胴甕				38	4	57.1%
		鍋				1	1	14.3%
		長胴甕×小甕				27	2	28.6%
	小　計		27	1	0.1%	83	7	2.8%
その他	須恵器	小片	11					
	土師器	小片	424			91		
	黒色土器	小片	24			3		
総　計			1306	963	100%	347	246	100%

第８表　下層の主な土器群の器種構成
（比率は口縁部残存率で算出）　※「×」は「または」と同義

SR1003-1 層（図版 56－351 ～ 354・360）351・352 は土師器無台椀。351 は内面にカキメが巡る。353 は黒色土器無台椀。底部外面は回転糸切り後再調整を行わない。354 はロクロ成形の小甕で底部外面回転糸切り、体部外面はヘラケズリである。360 は壺瓶類の底部で外面に平行叩きが見られる。凸帯付四耳壺の底部の可能性が高い。

SR1003-3 層（図版 56－355）　355 は須恵器小型壺。底部回転糸切りで胎土はＥ群である。

SR1003-10 層（図版 56－356 ～ 359）　356 は土師器鍋（北陸型）。口縁端部は面を持つ。内面はカキメが巡る。357 は土師器無台椀。底部外面回転糸切り、内外面ロクロナデである。358 は黒色土器皿。底部は高台がつく可能性が高い。359 は赤彩土師器鉢、内外面ヘラミガキを行う。口縁端部付近に沈線が巡る。

SR1003-13 ～ 16 層（図版 56－361 ～ 364）361 は須恵器無台杯。底部切り離しは回転糸切りで胎土はＣ群である。362 ～ 363 は土師器無台椀。362･363 は外面下端付近･底部外面にヘラケズリを行う。364 は刻書「女」が確認できる。

Ⅵb 層（図版 57～61）　365～379 は須恵器杯蓋。口径 16.6～18.2cm の大型の杯蓋（378・389）とこれより小型のもの（365～377）がある。373 は内面に墨痕が残る。377 は外面に沈線が巡る。380～395 は須恵器有台杯。口径 10.0～10.4cm、器高 4.6～5.5cm となる小型で器高が高いもの（380・381）、口径 11.2～12.3cm、器高 4.0～4.8cm となる中型で器高が低いのもの（382～389）、口径 13.2～13.8cm、器高 5.6～7.0cm となる大型で器高が高いものがある。395 は底部外面に「□一女」の墨書がある。393・394 は胎土Ｂ群である。396～407 は須恵器無台杯。口径 13.4cm の 404 と、これより小型で口径 11.8～12.7cm のもの（397～403・406）がある。396 の底部切り離しは静止糸切りで、底部外面外縁と外面下端付近にヘラケズリを行い、内面はカキメが巡る。胎土はＣ群である。401～403 は胎土Ｂ群である。406 は底部外面に墨書「田一女人カ」が確認できる。407 は内面に漆が付着する。408 は口径 7.7cm、器高 3.1cm の小型の容器で小杯とした。底部切り離しは静止糸切り、胎土はＥ群である。409 は口径 13.5cm の小型の鉄鉢である。421・422 は括れ鉢で外面下部にロクロケズリを行う。

須恵器壺瓶類には壺蓋（410 ～ 412）、小型壺（413・414）、狭口壺（416）、凸帯付四耳壺（417・418）、横瓶（419）、長胴瓶（420）が確認できる。

423・424 は須恵器円面硯。423 は脚部で「冂」または「□」の箆描きがある。424 は上面に降灰があり、いわゆる陸の使用痕は確認できない。

体部の形状から、425 ～ 427 は土師器無台杯、428 ～ 446 は土師器無台椀に分類した。426 は体部の立ち上がり付近に焼成後穿孔を行う。427 は底部切り離しが静止糸切りで、底部外面外縁・外面下端付近にヘラケズリを行う。428・430 は底部切り離しが回転ヘラキリである。429 は底部外面にヘラケズリを行う。442 ～ 446 は底部外面に刻書「女」がある。

448 ～ 450 は赤彩土師器。448・449 は無台椀、450 は口縁端部を面取りする。（有台）皿としたが天地逆で蓋の可能性もある。451 は両面黒色土器の有台皿である。高台は輪高台になるものと思われる。447・452 ～ 457・467 は黒色土器無台椀。口径 10.8cm、器高 3.1cm の 452、口径 13.0 ～ 13.7cm、器高 3.5 ～ 4.2cm の 453 ～ 455、口径 15.2 ～ 16.6cm、器高 5.6 ～ 7.8cm の 456・457 がある。447 には底部外面に墨書「咋一女」の墨書がある。458 は黒色土器高杯。口縁端部は上方に屈曲する。また脚部内面には粘土紐の巻き上げ痕が残る。465・466 は黒色土器鉢、468・469 は黒色土器有台皿である。

459・460 は土師器小甕（在地型）、472・473 は小甕（北陸型）、474・475 は小甕（北信型）である。470・471 は土師器長胴甕（在地型）。471 は外面ハケメが見られる。胎土には赤褐色の円礫が含まれる。482 ～ 484 は長胴甕（北陸型）、485・486 は長胴甕（北信型）である。485 は内面にカキメが巡る。487・488 は小型の武蔵型甕。488 は台が付く。489 も台が付く甕であるが 488 に比べ器壁が厚い。490・491 は大型の武蔵型甕で口縁部は「コ」字状に屈曲する。496・497 は土師器鍋（北陸型）である。

492 は緑釉陶器椀または皿。素地は軟質で底部は削り出しの平高台である。493 ～ 495 は灰釉陶器。493 は椀で口縁端部は外反する。494・495 は大型の長頸瓶である。

その他（図版 61－498 ～ 503）　499 は甕類（在地型）で底部充填技法である。500 は土師器無台椀で底部切り離しは回転糸切りである。503 は須恵器横瓶。内面に布の圧痕が見られる。

3　その他の遺物

金属製品（図版 62－504 ～ 538）

上層（図版 62－504 ～ 529）　504 ～ 529 の材質はすべて鉄である。504 は紡輪の軸。断面は方形である。505 は紡輪で直径 4.1cm、軸の断面は方形である。506 は鎌。刃部は緩く湾曲する。507 ～ 510 は刀子、514 ～ 517 は釘である。515 は鎹の可能性もある。518 は環状の製品あるいは部材である。519・520・524 は鉄鏃。520 は先端が平坦になる。521 ～ 523・525 ～ 528 は茎。長く厚みのあるものが多く、いくつかは鏃の茎になる可能性が高い。529 は轡である。511 ～ 513 は不明鉄製品。511 は平面形が「U」字形になる。断面は方形である。512 は容器の蓋の可能性がある。513 は平面が雲形になる板状の鉄製品である。

下層（図版 62－530 ～ 538）　530 ～ 537 は鉄製品。530・531 は鉄鏃、532 は茎、533 ～ 535 は釘、536 は刀子である。537 は平面が雲形の板状の鉄製品である。上層出土の 513 に似る。538 は青銅製の鉸具で、腰帯具である。

石製品（図版 62－539・540）

539 は長軸 3.9cm、幅 2.7cm、厚さ 0.8cm、黒色の粘板岩製の丸鞆である。Ⅵa 層の出土である。540 は縄文時代の磨製石斧である。先端付近の破面が摩耗しており、平安時代に砥石などに転用した可能性が高い。

第Ⅵ章　自然科学分析

1　珪藻・花粉・微粒炭分析

は　じ　め　に

金屋遺跡Ⅳは、新潟県南魚沼市余川に所在し、魚野川左岸の庄ノ又川によって形成された扇状地上に立地する。これまでの発掘調査により縄文時代から平安時代まで断続的に生活していた痕跡が見つかっており、特に平安時代は、竪穴建物や掘立柱建物などの遺構や、須恵器や土師器、馬具などの鉄製品が出土している。

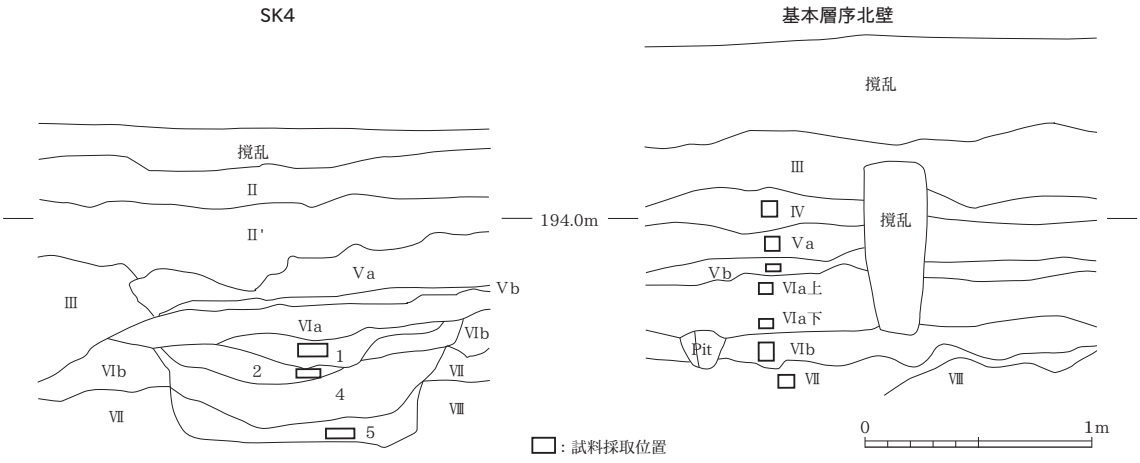
本報告では、基本層序試料および遺構内堆積土を対象として、遺跡周辺の古環境復元、生活痕跡の復元に関する情報を得ることを目的として、珪藻分析、花粉分析、微粒炭分析を実施する。

A　試　　料

分析試料は、調査区北壁に認められた基本土層と土坑 SK4 内堆積土から採取されている。基本土層は上位からⅠ層～Ⅷ層に分層されており、Ⅰ層は現水田耕作土、Ⅱ層は旧耕作土である。Ⅲ層～Ⅴ層は洪水堆積層で、Ⅲ層は黒褐色粘質土で、礫を多量に含む。Ⅳ層は黄褐色シルトで、部分的に砂が筋状に混じる。Ⅴ層はⅤa 層、Ⅴb 層に細分され、Ⅴa 層は明黄褐色砂とにぶい黄褐色シルトが互層状に堆積する。Ⅴb 層は黒褐色粘質土とにぶい黄色シルトが互層状に堆積する。Ⅵ層は平安時代の遺物包含層で、Ⅵa 層（上層）とⅥb 層（下層）の２層に細分される。Ⅵa 層は黒褐色の粘質土～シルトからなり、Ⅵb 層は褐灰色粘質土からなる。Ⅶ層、Ⅷ層は洪水堆積物で、Ⅶ層はにぶい黄色シルトからなり、Ⅶ層が下層の遺構確認面である。Ⅷ層は礫層である。

土坑 SK4 はⅥb 層以深を削剥して形成されており、Ⅵa 層により覆われており、上位から１層～５層に分層される。１層は黒褐色シルト、２層は黒褐色シルトからなり、炭化物粒子を多量に含む。３層は灰褐色シルト、４層は灰黄色シルト、５層は灰黄色シルトからなり、いずれも炭化物粒子を微量に含む。

これらの試料の内、基本層序北壁のⅣ層、Ⅴa 層、Ⅴb 層、Ⅵa 層上、Ⅵa 層下、Ⅵb 層、Ⅶ層、SK4 の１層、



第 14 図　模式断面図および試料採取位置

2 層、5 層の、計 10 点を対象に、珪藻分析、花粉分析、微粒炭分析を実施する。模式断面図および試料採取位置を第 14 図に示す。

B　分　析　方　法

1）珪　藻　分　析

湿重約 5g をビーカーに計り取り、過酸化水素水と塩酸を加えて試料の泥化と有機物の分解･漂白を行う。次に、分散剤を加えた後、蒸留水を満たし放置する。その後、上澄み液中に浮遊した粘土分を除去し、珪藻殻の濃縮を行う。この操作を 4 ～ 5 回繰り返す。次に、自然沈降法による砂質分の除去を行い、検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下して乾燥させる。乾燥した試料上に封入剤のプリュウラックスを滴下し、スライドガラスに貼り付け永久プレパラートを作製する。

検鏡は、油浸 600 倍または 1000 倍で行い、メカニカルステージを用い任意に出現する珪藻化石が 200 個体以上になるまで同定・計数する（化石の少ない場合は、この限りではない）。なお、原則として、珪藻殻が半分以上破損したものについては、誤同定を避けるため同定・計数は行わない。

珪藻の同定と種の生態性については、Hustedt（1930-1966）、Krammer and Lange-Bertalot（1985-1991）、Desikachiary（1987）、Lange-Bertalot（2000）などを参考にする。群集解析にあたり個々の産出化石は、まず塩分濃度に対する適応性により、海水生、海水～汽水生、汽水生、淡水生に生態分類し、さらにその中の淡水生種は、塩分、pH、水の流動性の 3 適応性についても生態分類し表に示す。

塩分に対する適応性とは、淡水中の塩類濃度の違いにより区分したもので、ある程度の塩分が含まれた方がよく生育する種類は好塩性種とし、少量の塩分が含まれていても生育できるものを不定性種、塩分が存在する水中では生育できないものを嫌塩性種として区分している。これは、主に水域の化学的な特性を知る手がかりとなるが、単に塩類濃度が高いか低いかといったことが分かるだけでなく、塩類濃度が高い水域というのは概して閉鎖水域である場合が多いことから、景観を推定する上でも重要な要素である。

pH に対する適応性とは、アルカリ性の水域に特徴的に認められる種群を好アルカリ性種、逆に酸性水域に生育する種群を好酸性種、中性の水域に生育する種を不定性種としている。これも、単に水の酸性・アルカリ性のいずれかがわかるだけでなく、酸性の場合は湿地であることが多いなど、間接的には水域の状況を考察する上で必要不可欠である。

流水に対する適応性とは、流れのある水域の基物（岩石・大型の藻類・水生植物など）に付着生育する種群であり、特に常時、流れのあるような水域でなければ生育出来ない種群を好流水性種、逆に流れのない水域に生育する種群を好止水性種として区分している。流水不定は、どちらにでも生育できる可能性もあるが、それらの大半は止水域に多い種群である。なお、好流水性種と流水不定性種の多くは付着性種であるが、好止水性種には水塊中を浮遊生活する浮遊性種も存在する。浮遊性種は、池沼あるいは湖沼の環境を指標する。

なお、淡水生種の中には、水中から出て陸域の乾いた環境下でも生育する種群が存在し、これらを陸生珪藻と呼んで、水中で生育する種群と区分している。陸生珪藻は、陸域の乾いた環境を指標することから、古環境を推定する上で極めて重要な種群である。

2）花粉分析・微粒炭分析

試料 10cc を正確に秤り取り、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛，比重 2.2）による有

機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸 9，濃硫酸 1 の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。処理後の残渣を定容してから一部をとり、グリセリンで封入してプレパラートを作製し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査して、出現する全ての種類を対象に 200 個体以上同定・計数する（化石の少ない試料ではこの限りではない）。同定は、当社保有の現生標本や島倉［1973］、中村［1980］、三好ほか［2011］等を参考にする。

また、花粉プレパラート中に含まれる微粒炭（微細な炭化植物片）の含量が、自然植生に対する人類干渉の指標として有効であるとされていることから［安田 1987 など］、試料中に含まれる微粒炭の含量も求める。微粒炭は花粉分析プレパラート内に残存するものを対象とし、同定基準は山野井［1996］、井上ほか［2002］等を参考にする。計数は、山野井［1996］などを参考にし、長径が約 20μm 以上の微粒炭を対象とし、それ以下のものは除外する。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。微粒炭量は、山野井［1996］などを参考とし、分析土壌量（cc）、分析残渣量（ml）、プレパラート作成量（μl）を測定し、堆積物 1cc あたりに含まれる個数を一覧表に併せて示す。この際、有効数字を考慮し、10 の位を四捨五入して 100 単位に丸める。

C　結　　果

1）珪　藻　分　析

結果を第 9 表に示す。分析した 10 試料のうち、基本層序北壁のⅣ層で珪藻化石の産出が認められ、その他の基本層序北壁の 6 試料（Ⅴa 層、Ⅴb 層、Ⅵa 層上、Ⅵa 層下、Ⅵb 層、Ⅶ層）、および SK4 の 3 試料（1 層、2 層、5 層）は、いずれも無化石であった。

唯一珪藻化石が検出された基本層序北壁のⅣ層でも、珪藻化石は 1 個体のみで、保存状態は壊れていることから不良である。産出した種は、淡水～汽水生種の Nitzschia palea である。

2）花粉分析・微粒炭分析

結果を第 10 表に示す。基本層序北壁のⅣ層～Ⅶ層、および SK4 の 1 層、2 層、5 層のいずれも、花粉化石の産出状況が悪く、定量解析を行えるだけの個多数が得られなかった。堆積物 1cc あたりの花粉・胞子数は、基本層序のⅥa 層上、SK4 の 1 層で最も多いが、それでも 300 個程度であり、ほとんどの試

種類	生態性			環境指標種	基本層序北壁							SK4		
	塩分	pH	流水		Ⅳ層	Ⅴa層	Ⅴb層	Ⅵa層上	Ⅵa層下	Ⅵb層	Ⅶ層	1層	2層	5層
Nitzschia palea（Kuetz.）W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
海水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水～汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淡水～汽水生種					1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淡水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
珪藻化石総数					1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

凡例
塩分：塩分濃度に対する適応性
Euh　：海水生種
Euh-Meh：海水生種－汽水生種
Meh　：汽水生種
Ogh-Meh：淡水生種－汽水生種
Ogh-hil　：貧塩好塩性種
Ogh-ind　：貧塩不定性種
Ogh-hob　：貧塩嫌塩性種
Ogh-unk　：貧塩不明種

pH：水素イオン濃度に対する適応性
al-bi　：真アルカリ性種
al-il　：好アルカリ性種
ind　：pH不定性種
ac-il　：好酸性種
ac-bi：真酸性種
unk　：pH不明種

流水：流水に対する適応性
l-bi　：真止水性種
l-ph：好止水性種
ind　：流水不定性種
r-ph：好流水性種
r-bi　：真流水性種
unk：流水不明種

環境指標種
A　：外洋指標種
B　：内湾指標種
C1：海水藻場指標種
C2：汽水藻場指標種
D1：海水砂質干潟指標種
D2：汽水砂質干潟指標種
E1：海水泥質干潟指標種
E2：汽水泥質干潟指標種
F：淡水底生種群（以上は［小杉1988］）
G　：淡水浮遊生種群
H　：河口浮遊性種群
J　：上流性河川指標種
K　：中～下流性河川指標種
L：最下流性河川指標種群
M：湖沼浮遊性種
N　：湖沼沼沢湿地指標種
O　：沼沢湿地付着生種
P　：高層湿原指標種群
Q　：陸域指標種群（以上は［安藤1990］）
S　：好汚濁性種
U　：広適応性種
T　：好清水性種（以上は［Asai and Watanabe 1995］）
R　：陸生珪藻（RA：A群，RB：B群，RI：未区分、［伊藤・堀内1991］）

第 9 表　珪藻分析結果

種　類	基本層序北壁							SK4		
	Ⅳ層	Ⅴa層	Ⅴb層	Ⅵa層上	Ⅵa層下	Ⅵb層	Ⅶ層	1層	2層	5層
木本花粉										
ツガ属	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
マツ属	2	1	−	−	1	−	−	−	−	−
クマシデ属－アサダ属	−	−	1	−	−	−	−	−	1	−
ハンノキ属	1	1	4	1	1	−	−	1	−	−
ブナ属	−	−	−	3	3	1	−	1	4	2
コナラ属コナラ亜属	−	−	−	1	−	−	−	1	1	−
ニレ属－ケヤキ属	1	−	−	1	−	−	−	3	−	−
草本花粉										
イネ科	1	−	1	7	7	−	−	4	12	2
カヤツリグサ科	−	−	−	1	−	−	−	−	−	1
サナエタデ節－ウナギツカミ節	−	−	1	−	−	−	−	−	1	−
ヨモギ属	−	−	2	4	1	2	−	1	−	−
キク亜科	−	1	−	−	−	−	−	1	1	−
不明花粉										
不明花粉	−	−	1	2	−	−	−	1	−	1
シダ類胞子										
ヒカゲノカズラ属	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
他のシダ類胞子	8	1	27	17	18	10	1	2	2	5
合　計										
木本花粉	4	2	5	6	6	1	0	6	6	2
草本花粉	1	1	4	12	8	2	0	6	14	3
不明花粉	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1
シダ類胞子	8	1	27	17	18	11	1	2	2	5
合計（不明を除く）	13	4	36	35	32	14	1	14	22	10
微粒炭数（個/cc）	500	1400	11600	31000	17500	7200	1300	49800	34800	5000
花粉・胞子数（個/cc）	<100	<100	200	300	200	<100	<100	300	200	<100

1）微粒炭数、花粉・胞子数については、10の位を四捨五入して100単位に丸めている。
2）<100：100個未満。

第 10 表　花粉分析・微粒炭分析結果

料が 100 個未満であった。

わずかに検出された花粉化石についてみると、基本層序北壁ではマツ属、ハンノキ属、ブナ属などの木本花粉、イネ科、ヨモギ属などの草本花粉が認められた。SK4 ではブナ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属－ケヤキ属などの木本花粉、イネ科、キク亜科などの草本花粉が認められた。

微粒炭については、ほとんどの試料に多く認められる。基本層序北壁では、Ⅵb 層で 7200 個 /cc であったものが上位に向かって増加する傾向があり、Ⅵa 層上で最も多く 31000 個 /cc になる。更に上位に向かうと今度は減少する傾向があり、分析試料最上位のⅣ層では 500 個 /cc と少なくなる。一方、SK4 では上位に向かって増加する傾向があり、5 層で 5000 個 /cc、2 層で 34800 個 /cc、1 層で 49800 個 /cc である。なお、微粒炭の多くは母材推定が困難な不明タイプであるが、一部には木本類に由来するとみられる分野壁孔などの木材組織を有するものが確認された。また、SK4 の 1 層、2 層などには、典型的な微粒炭と比べ透過光を通す完全に炭化していないものや、未分解の植物遺体なども含まれていた。

D　考　　察

1）堆　積　環　境

珪藻分析の結果、基本層序北壁のⅦ層、Ⅵb 層、Ⅵa 層下、Ⅵa 層上、Ⅴb 層、Ⅴa 層の各層からは、珪藻化石は 1 個体も検出されなかった。そのため、珪藻化石の生態性や群集の生育特性による、直接的な堆積環境の推定は困難である。経験的には、堆積後に好気的環境下にさらされると、短期間に分解消失することがわかっている。また、小杉［1986］によると、珪藻の遺骸は、堆積する際には、その大きさからシルトと挙動と共にするとされていることから、粗粒な堆積物の場合、珪藻殻は取り込まれにくいことが推定される。堆積層をみると、Ⅴa 層に砂が混じるほかは、基本的には粘質土～シルトの堆積物である。また、調査所見によると、Ⅶ層、およびⅤ層は洪水堆積層とされている。これらのことから、Ⅶ層、Ⅴb 層、Ⅴa 層では、一過性の洪水堆積のあと、好気的環境にさらされ、わずかに取り込まれた珪藻化石が分解消失した可能性が考えられる。また、Ⅵb 層、Ⅵa 層下、Ⅵa 層上はいずれも平安時代の遺物包含層であることから、これらの層も堆積時は好気的環境であった可能性があり、珪藻化石が分解されたと考えられる。

分析試料最上位のⅣ層からは淡水～汽水生種の *Nitzschia palea* が 1 個体のみ産出した。本層も産出する珪藻化石が少ないため、前述の 6 試料と同様に堆積層に取り込まれにくかったことや、堆積後に分解されたことなどが想定される。なお、産出した *Nitzschia palea* の生態性は好汚濁性種［Asai &Watanabe 1995］とされ、水中の塩類濃度が高まった後背湿地に特徴的に認められる種である。ただし、珪藻殻の保存状態が不良であったことから、由来についての検討は困難である。

一方、土坑 SK4 の 5 層、2 層、1 層についても、珪藻化石は検出されなかった。層相はいずれの堆積物もシルト主体であるが、土坑という性質を考えると堆積時は好気的環境であった可能性が高い。よって、本地点においても、堆積時に取り込まれた珪藻化石は、堆積後に分解・消失したと推測される。

2）古植生と生活痕跡

花粉分析結果をみると、基本層序北壁および SK4 のいずれの試料からも花粉化石がほとんど検出されなかった。堆積物 1cc あたりの花粉・胞子数は、多い試料でも 300 個 /cc であり、多くの試料は 1cc あたり 100 個未満であった。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている［中村 1967、徳永・山内 1971、三宅・中越 1998 など］。対象試料は洪水堆積物や遺物包含層、土坑覆土で、珪藻分析の結果からも堆積後に好気的環境にさらされた可能性がある。わずかに検出された花粉化石も、比較的分解に強い花粉や、分解が進んでも同定可能な花粉が認められたことから、堆積時に取り込まれた花粉が、その後の経年変化により分解・消失したと考えられる。

なお、検出された花粉化石から、木本類ではマツ属などの針葉樹、ハンノキ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属－ケヤキ属などの落葉広葉樹の生育がうかがえる。ブナ属、コナラ亜属は冷温帯性落葉広葉樹林の主要構成要素であり、本地域に一般的である。マツ属は二次林や植林などに、ハンノキ属、ニレ属－ケヤキ属などは庄ノ又川や魚野川などの周辺河川沿いに生育していたものに由来する可能性がある。一方、草本類ではイネ科、ヨモギ属、キク亜科など、開けた明るい場所に生育する種を含む分類群が確認された。これらは調査区内の草地や周囲の林縁などに生育していたと推測される。

一方、微粒炭については、基本層序北壁、SK4 のいずれからも確認された。土壌中に含まれる微粒炭は、人間活動と密接に関係していることが知られており、その変化は人為活動の変化を反映している場合が多く認められる（例えば［安田 1987、山野井 1996、井上ほか 2002］）。基本層序北壁では、Ⅵb 層で 7200 個 /cc であったものが上位に向かって増加する傾向があり、Ⅵa 層上で最も多く 31000 個 /cc になる。洪水堆積層と遺物包含層の堆積過程の差を反映している可能性もあるが、遺物包含層のⅥb 層からⅥa 層上でも、7200 個 /cc から 31000 個 /cc と増加する傾向があることから、この時期に周囲の人為活動が活発化した可能性が想定される。その後、今度は上位に向かって減少する傾向があり、分析試料最上位のⅣ層では 500 個 /cc と少なくなる。これらの層は洪水堆積層であることから、堆積速度が早く微粒炭が取り込まれにくかった可能性がある。なお、Ⅴb 層では 11600 個 /cc と比較的多いが、Ⅴb 層に含まれる黒褐色粘質土はⅥa 層由来の可能性が指摘されている。よって、洪水の影響でⅥa 層を削剥して取り込んだ結果、微粒炭含量が高くなった可能性がある。

土坑 SK4 の微粒炭含量も上位に向かって増加する傾向があり、5 層で 5000 個 /cc、2 層で 34800 個 /cc、1 層で 49800 個 /cc である。特に上位の 2 層、1 層で基本層序北壁の遺物包含層より高い傾向にあることから、土坑内に微粒炭が多く混入する状況であったと推測され、何らかの人為的関与があったのかもしれない。

引用文献

安藤一男，1990，淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用．東北地理，42，73-88.

Asai, K. and Watanabe, T.,1995,Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological

Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,35-47.
Desikachiary, T. V.,1987,Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation, Madras, Printed at TT. Maps and Publications Private Limited, 328, G. S. T. Road, Chromepet, Madras-600044. 1-13, Plates：401-621.
Hustedt, F.,1930,Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1,920p.
Hustedt, F.,1937-1938,Systematische unt okologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. Ⅰ～Ⅲ. Arch. Hydrobiol. Suppl.,15,131-809,1-155,274-349.
Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2,845p.
Hustedt, F.,1961-1966,Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeres-gebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3,816p.
井上　淳・吉川周作・千々和一豊，2002，琵琶湖周辺域に分布する黒ボク土中の黒色木片について．日本第四紀学会講演要旨集，32，74-75.
伊藤良永・堀内誠示，1989，古環境解析からみた陸生珪藻の検討－陸生珪藻の細分－．日本珪藻学会第 10 回大会講演要旨集，17.
伊藤良永・堀内誠示，1991，陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用．日本珪藻学誌，6，23-44.
小杉正人，1986，陸生珪藻による古環境の解析とその意義－わが国への導入とその展望－．植生史研究，1，9-44.
小杉正人，1988，珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用．第四紀研究，27，1-20.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1985,Naviculaceae. Bibliothyca Diatomologica,9,250p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1986,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa, 2（1）：876p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1988,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2（2）：596p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1990,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2（3）：576p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1991,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2（4）：437p.
Lange-Bertalot, H.,2000,ICONOGRAPHIA DIATOMOLOGICA：Annotated diatom micrographs. Witkowski, A., Horst Lange-Bertalot, Dittmer Metzeltin：Diatom Flora of Marine Coasts Volume 1. 219 plts. 4504 figs, 925p.
三宅　尚・中越信和，1998，森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態．植生史研究，6，15-30.
三好教夫・藤木利之・木村裕子，2011，日本産花粉図鑑．北海道大学出版会，824p.
中村　純，1967，花粉分析．古今書院，232p.
中村　純，1980，日本産花粉の標徴 Ⅰ Ⅱ（図版）．大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第 12，13 集，91p.
島倉巳三郎，1973，日本植物の花粉形態．大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第 5 集，60p.
徳永重元・山内輝子，1971，花粉・胞子．化石の研究法，共立出版株式会社，50-73.
山野井　徹，1996，黒土の成因に関する地質学的検討．地質学雑誌，102，526-544.
安田喜憲，1987，文明は緑を食べる，読売新聞社，227p.

2　金屋遺跡Ⅳ出土土器の胎土分析

は　じ　め　に

新潟県南魚沼市余川地内に所在する金屋遺跡Ⅳは、魚野川上流域に位置する六日町盆地の西部に広がる扇状地上に立地する。これまでの発掘調査では、9 世紀を中心とする平安時代の集落を示す遺構・遺物が確認されている。

本分析調査では、金屋遺跡Ⅳから出土した平安時代の土師器と須恵器を対象として、その材質である胎土の特性を明らかにし、平安時代における本地域の土器の製作と使用に関わる資料を作成する。

A　試　　料

試料は、金屋遺跡Ⅳの令和 4 年度の発掘調査で出土した平安時代の土師器片 9 点と須恵器片 11 点の計 20 点の土器片である。試料にはサンプル 1 からサンプル 20 までの試料名が付されている。これらのうち、サンプル 1 ～サンプル 9 までの 9 点は土師器であり、サンプル 10 ～サンプル 20 までの 11 点は須恵器である。各試料の器種や出土遺構、所見等は一覧にして第 11 表に示す。

試料名	報告番号	種類	層位等	実測番号等	器種	発掘調査所見による胎土分類
サンプル1	234	土師器		実262	武蔵型甕（大）	
サンプル2	202	土師器		実267	武蔵型甕（小）	
サンプル3	204	土師器		実266	武蔵型甕（小型台付）	
サンプル4	235	土師器		実121	北陸型長胴甕	
サンプル5	241	土師器		実127	在地の小甕（外面ケズリ）	
サンプル6	243	土師器		実126	北陸型長胴甕	
サンプル7	214	土師器		実323	北信型長胴甕	
サンプル8	206	土師器		実348	北陸型長胴甕	
サンプル9	213	土師器		実351	北信型長胴甕	
サンプル10	30	須恵器		実204	無台杯	胎土B
サンプル11	393	須恵器		実258	有台杯	胎土B
サンプル12	報告外	須恵器	4E15 Ⅵa層	実測図ナシ	横瓶	胎土B
サンプル13	110	須恵器		実301	無台杯	胎土E
サンプル14	79	須恵器		実301	杯蓋	胎土E
サンプル15	報告外	須恵器	4E24	実測図ナシ	有台杯	胎土E
サンプル16	413	須恵器		実441	小型壺	胎土C
サンプル17	報告外	須恵器	4E-11 Ⅵb層	実測図ナシ	杯蓋	胎土C
サンプル18	報告外	須恵器	4D-20 Ⅵa層	実測図ナシ	有台杯	胎土C
サンプル19	389	須恵器		実409	有台杯	胎土G
サンプル20	244	須恵器	4E9 Ⅵa層	実測図作成中	甕	胎土X

第 11 表　試料一覧

B　分　析　方　法

これまで当社では、新潟県内の遺跡から出土した土器の胎土分析は、薄片作製観察を用いている。さらに須恵器については蛍光 X 線分析も併用している。本分析も過去の分析事例と比較するために土師器については薄片作製観察を用い、須恵器については蛍光 X 線分析を用いる。以下に各分析方法について述べる。

1）薄片作製観察

薄片は、試料の一部をダイアモンドカッターで切断、正確に 0.03mm の厚さに研磨して作製した。観察は偏光顕微鏡による岩石学的な手法を用い、胎土中に含まれる鉱物片、岩石片および微化石の種類構成を明らかにした。

本分析調査では薄片観察結果を松田ほか［1999］の方法に従って表記する。これは、胎土中の砂粒について、中粒シルトから細礫までを対象とし、粒度階ごとに砂粒を構成する鉱物片および岩石片の種類構成を調べたものである。この方法では、胎土中における砂の含量や粒径組成により、土器の製作技法の違いを見出すことができるために、同一の地質分布範囲内にある近接した遺跡間での土器製作事情の解析も可能である。以下にその手順を述べる。

砂粒の計数は、メカニカルステージを用いて 0.5mm 間隔で移動させ、細礫～中粒シルトまでの粒子をポイント法により 200 個あるいはプレパラート全面で行った。なお、径 0.5mm 以上の粗粒砂以上の粒

子については、ポイント数ではなく粒数を計数した。また、同時に孔隙と基質のポイントも計数した。これらの結果から、各粒度階における鉱物・岩石別出現頻度の３次元棒グラフ、砂粒の粒径組成ヒストグラム、孔隙・砂粒・基質の割合を示す棒グラフを呈示する。

2）蛍光Ｘ線分析

リガク製波長分散型蛍光Ｘ線分析装置（ZSX Primus Ⅲ+）を用い、ガラスビード法により分析を実施した。測定用のプログラムは、定量アプリケーションプログラムのFP定量法を使用し、SiO_2、TiO_2、Al_2O_3、Fe_2O_3、MnO、MgO、CaO、Na_2O、K_2O、P_2O_5の主要10元素およびRb、Sr、Y、Zr、Baの微量５元素について定量分析を実施した。なお、標準試料には独立行政法人産業技術総合研究所の地球化学標準試料（JA-1，JA-2，JA-3，JB-1a，JB-2，JB-3，JCh-1，JF-1，JF-2，JG-1a，JG-2，JG-3，JGb-1，JGb-2，JH-1，JLk-1，JR-1，JR-2，JR-3，JSd-1，JSd-2，JSd-3，JSl-1，JSl-2，JSy-1）を用いた。以下に諸条件を記す。

a　装置

（株）リガク製　走査型蛍光Ｘ線分析装置　ZSX Primus Ⅲ+（FP定量法アプリケーション）

b　試料作製

機械乾燥（110℃）した試料を、振動ミル（平工製作所製TI100；10ml容タングステンカーバイト容器）で粉砕・混合し、ガラスビードを第12表の条件で作製した。

c　測定条件

上記作成したガラスビードを専用ホルダーにセットし、走査型蛍光Ｘ線分析装置（（株）リガク製　ZSX Primus Ⅲ+）を用い、第13表、第14表の条件で測定を実施した。

溶融装置	リガク製卓上型高周波ビードサンプラ（3091A001）
融剤及び希釈率	融剤（$Li_2B_4O_7$）5.000g：試料0.500g
剥離剤	LiI
溶融温度，時間	1200℃，600sec

第12表　ガラスビード作製条件

ターゲット	Rh
管電圧（kV）	50
管電流（mA）	50
試料マスク	30mmφ
試料スピン	ON
ダイアフラム	30mmφ
測定雰囲気	真空

第13表　蛍光Ｘ線装置条件

測定元素	測定スペクトル	1次フィルタ	アッテネータ	スリット	分光結晶	検出器	PHA		角度（deg）			計測時間（s）	
							LL	UL	Peak	+BG	-BG	Peak	BG
SiO_2	Si-Kα	OUT	OUT	S4	PET	PC	120	300	109.030	105.00	113.00	40	20
TiO_2	Ti-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	80	340	86.140	84.50	88.50	60	60
Al_2O_3	Al-Kα	OUT	OUT	S4	PET	PC	110	300	144.770	138.00	-	40	20
Fe_2O_3	Fe-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	90	320	57.494	55.50	60.00	40	20
MnO	Mn-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	90	20	62.966	62.00	63.68	60	20
MgO	Mg-Kα	OUT	OUT	S4	RX25	PC	110	420	39.596	37.00-37.50（0.10step）	41.50-42.50（0.20step）	60	20
CaO	Ca-Kα	OUT	OUT	S4	LIF（200）	PC	120	290	113.124	110.20	115.90	40	20
Na_2O	Na-Kα	OUT	OUT	S4	RX25	PC	120	300	48.134	45.90	50.30	60	20
K_2O	K-Kα	OUT	OUT	S4	LIF（200）	PC	120	280	136.674	-	142.00	40	20
P_2O_5	P-Kα	OUT	OUT	S4	GE	PC	150	270	141.096	138.10	143.20	60	20
Rb	Rb-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	100	300	26.598	25.60-25.80（0.10step）	27.06-27.14（0.04step）	120	40
Sr	Sr-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	100	300	25.134	24.40-24.70（0.10step）	25.60-25.80（0.10step）	120	40
Y	Y-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	100	300	23.758	23.04-23.16（0.06step）	24.30-24.50（0.10step）	120	40
Zr	Zr-Kα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	100	310	22.536	22.16	23.04	120	60
Ba	Ba-Lα	OUT	OUT	S2	LIF（200）	SC	100	290	87.164	84.50	88.50	120	60

第14表　蛍光Ｘ線定量測定条件

C　結　　果

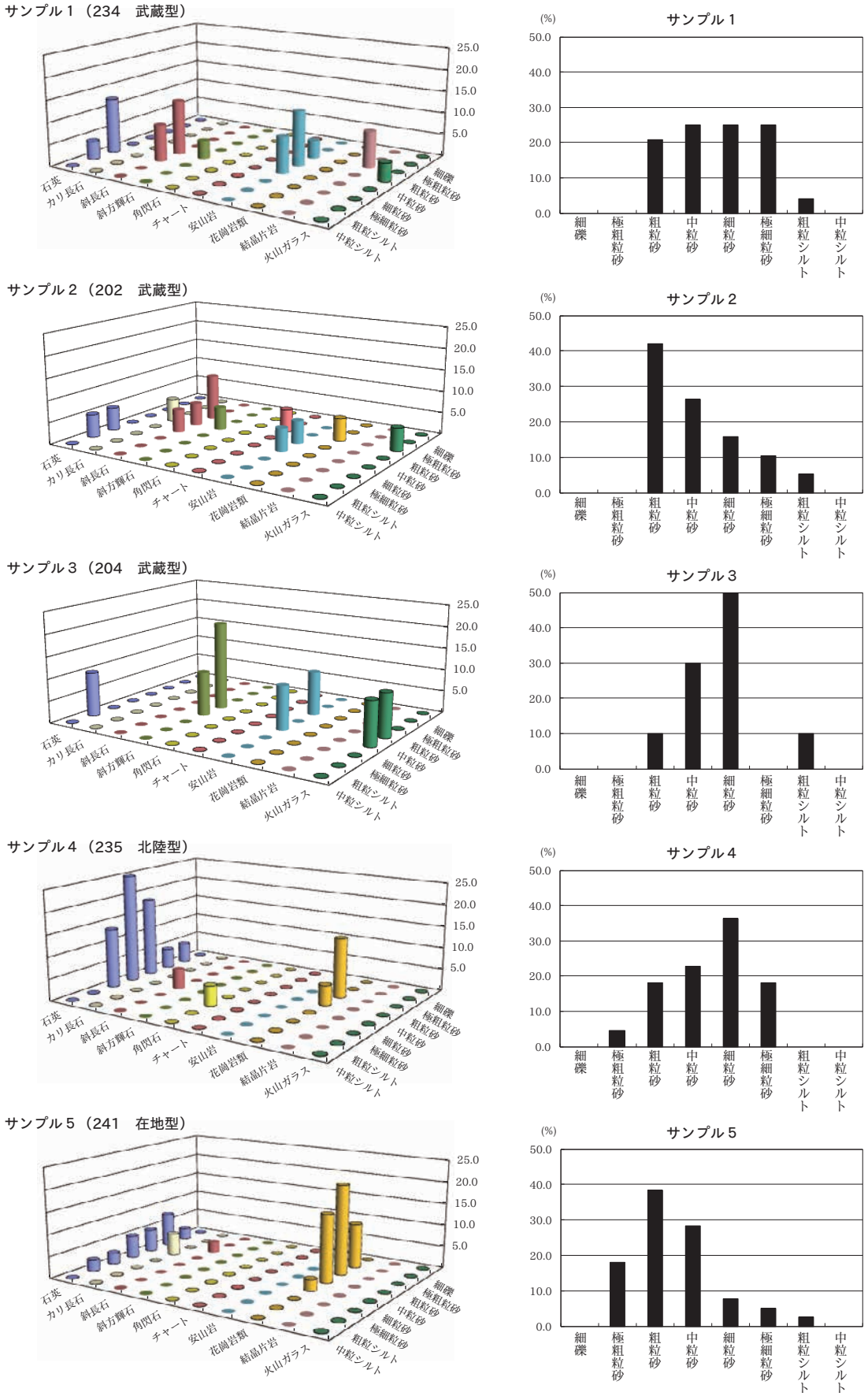
1）薄片作製観察

結果を第15表、第15～17図に示す。今回の土師器試料では、いずれの試料も計数された砕屑物の粒数は50個未満であった。したがって、各試料の組成の特徴は、個々の数値を細かく評価せずに、傾向として捉えることとする。この視点に立てば、今回の試料の胎土中における砕屑物の鉱物・岩石組成は、サンプル１～３の３点とサンプル４～９の６点の試料とに大きく分けることができる。

前者３点のグループは、鉱物片は石英と斜長石を主体とし、他には試料によってはカリ長石や斜方輝

サンプル	砂粒区分		砂粒の種類構成																				合計
			鉱物片									岩石片											
			石英	カリ長石	斜長石	斜方輝石	角閃石	酸化角閃石	白雲母	黒雲母	不透明鉱物	チャート	頁岩	砂岩	凝灰岩	流紋岩・デイサイト	安山岩	多結晶石英	花崗岩類	閃緑岩	結晶片岩	変質岩	火山ガラス	
1 (234)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂																						0
		粗粒砂											1	1			1				2			5
		中粒砂															3					2	1	6
		細粒砂			3	1											2							6
		極細粒砂	3		2													1						6
		粗粒シルト	1																					1
		中粒シルト																						0
	基質		195																					
	孔隙		7																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。単斜輝石、酸化角閃石、白雲母あり。火山ガラスは軽石型を示す。孔隙は不定形状～葉片状を示して局所的に弱い定向配列を示す。																				
2 (202)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂																						0
		粗粒砂			2							1	1			1			1			1	1	8
		中粒砂		1	1	1											1	1						5
		細粒砂			1						1						1							3
		極細粒砂	1						1															2
		粗粒シルト	1																					1
		中粒シルト																						0
	基質		214																					
	孔隙		11																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。角閃石、結晶片岩あり。火山ガラスは軽石型を示す。孔隙は不定形状を示して定向配列を示さない。																				
3 (204)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂																						0
		粗粒砂															1							1
		中粒砂				2																	1	3
		細粒砂				1					1						1	1					1	5
		極細粒砂																						0
		粗粒シルト	1																					1
		中粒シルト																						0
	基質		181																					
	孔隙		4																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。角閃石、チャート、結晶片岩あり。火山ガラスは軽石型を示す。孔隙は不定形状を示して定向配列を示さない。																				
4 (235)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂	1																					1
		粗粒砂	1																3					4
		中粒砂	4																1					5
		細粒砂	7		1																			8
		極細粒砂	3				1																	4
		粗粒シルト																						0
		中粒シルト																						0
	基質		282																					
	孔隙		2																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。黒雲母、酸化角閃石あり。孔隙は不定形状を示して定向配列を示さない。																				
5 (251)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂	1														1	1	4					7
		粗粒砂	3		1													3	8					15
		中粒砂	2	2														1	6					11
		細粒砂	2																1					3
		極細粒砂	1						1															2
		粗粒シルト	1																					1
		中粒シルト																						0
	基質		259																					
	孔隙		9																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。斜方輝石、角閃石、黒雲母あり。孔隙は不定形状～クラック状を示して局所的に弱い定向配列を示す。クラック状を示すものは連結していることが多い。																				
6 (243)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂											1						2					3
		粗粒砂	2		1					2					2	1		1	9					18
		中粒砂		1	1	1											1	1	4					9
		細粒砂	1		1			1																3
		極細粒砂	2		1		1																	4
		粗粒シルト																						0
		中粒シルト																						0
	基質		198																					
	孔隙		17																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。孔隙は不定形状～クラック状を示して局所的に弱い定向配列を示す。																				
7 (214)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂																						0
		粗粒砂												1	1				2					4
		中粒砂	2	1							3								2					8
		細粒砂	4								2	1												7
		極細粒砂	4	1	3				1															9
		粗粒シルト	2	1																				3
		中粒シルト																						0
	基質		344																					
	孔隙		9																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。斜方輝石、粘土塊あり。バブル型火山ガラスあり。孔隙は不定形状を示して定向配列を示さない。																				
8 (206)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂																						0
		粗粒砂	1															1						2
		中粒砂	2																					2
		細粒砂	2	1														2	1					6
		極細粒砂	1		1																		1	3
		粗粒シルト	1																					1
		中粒シルト	1																					1
	基質		217																					
	孔隙		9																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。斜方輝石、チャートあり。細粒砂～中粒砂サイズのバブル型火山ガラスあり。孔隙は不定形状～球状を示して定向配列を示さない。																				
9 (213)	砂	細礫																						0
		極粗粒砂																	2			1		3
		粗粒砂	4										1				1		5					11
		中粒砂	3		1		1											1	2	1		1		10
		細粒砂	3		1	1				1								1						7
		極細粒砂	1																				1	2
		粗粒シルト																						0
		中粒シルト																						0
	基質		274																					
	孔隙		11																					
	備考		基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、珪長質鉱物などで埋められる。孔隙は不定形状～クラック状を示して局所的に弱い定向配列を示す。クラック状を示すものは連結していることが多い。																				

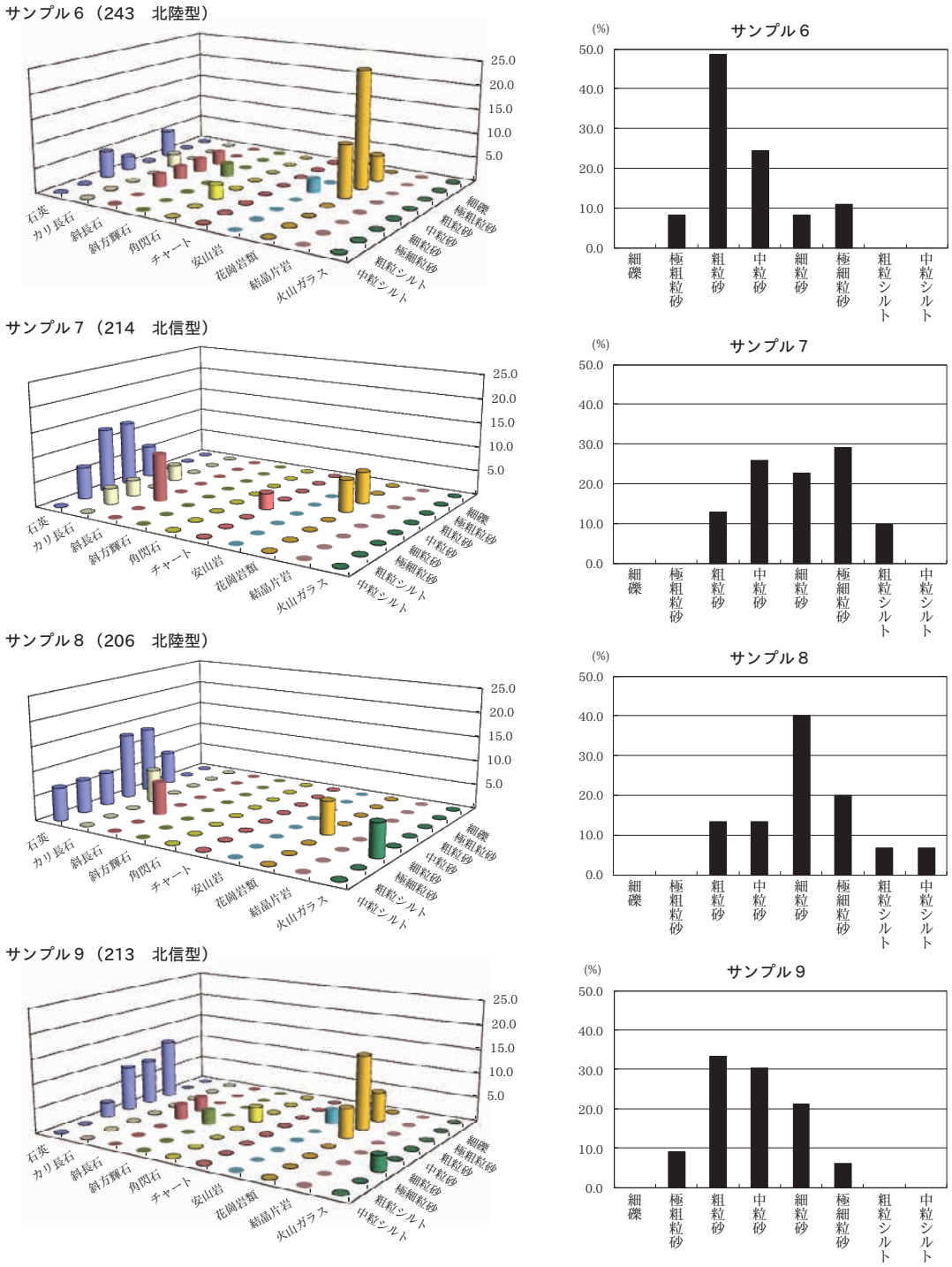
第 15 表　薄片観察結果



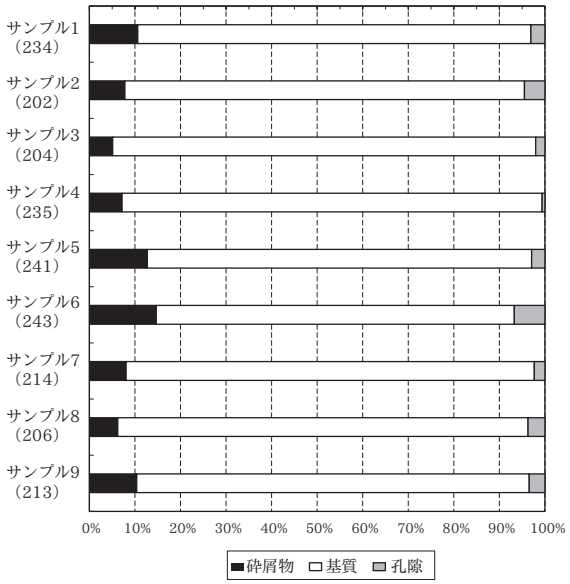
第 15 図　砕屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成（1）

石が伴われる。石英と斜長石の量比を比べると斜長石の方が若干多い傾向が見受けられる。岩石片は安山岩の多い傾向が窺えるが、チャートや頁岩などの堆積岩類も含まれ、微量～極めて微量の結晶片岩や火山ガラスも認められる。後者６点のグループは、鉱物片では石英が多く、微量のカリ長石や斜長石などの長石類を伴う。岩石片は花崗岩類の多いことが特徴であり、他には微量の安山岩なども含まれる。

砕屑物の粒径組成については、上述したように砕屑物全体の粒数が少ないために組成を評価をすることはできない。砕屑物・基質・孔隙における砕屑物の割合については、いずれの試料も 10% 前後である。



第 16 図　砕屑物の鉱物・岩石出現頻度と粒径組成（2）



第 17 図　砕屑物・基質・孔隙の割合

2）蛍光 X 線分析

結果を第 16 表に示す。これまでの分析と同様に、試料間の組成を比較する方法として、以下に示す元素を選択し、それらの値を縦軸・横軸として散布図（第 18 図）を作成した。

1）化学組成中で最も主要な元素である SiO_2 と Al_2O_3 をそれぞれ横軸と縦軸とする（第 18 図上段左）。

2）粘土の母材を考える上で長石類（主にカリ長石、斜長石）の種類構成は重要である。このことから、指標として長石類の主要元素である CaO、Na_2O、K_2O の 3 者を選択し、長石全体におけるアルカリ長石およびカリ長石の割合を定性的に見る。実際には、長石類全体におけるアルカリ長石の割合（Na_2O+K_2O）/（$CaO+Na_2O+K_2O$）を横軸とし、アルカリ長石におけるカリ長石の割合 K_2O/（Na_2O+K_2O）を縦軸とする（第 18 図中段左）。

3）輝石類や黒雲母、角閃石など有色鉱物における主要な元素を選択する。ここでは、指標としてこれらの有色鉱物の主要な元素のうち、TiO_2、Fe_2O_3、MgO を選択し、Fe_2O_3 を分母とした TiO_2 と MgO のそれぞれの割合を見る（第 18 図下段）。

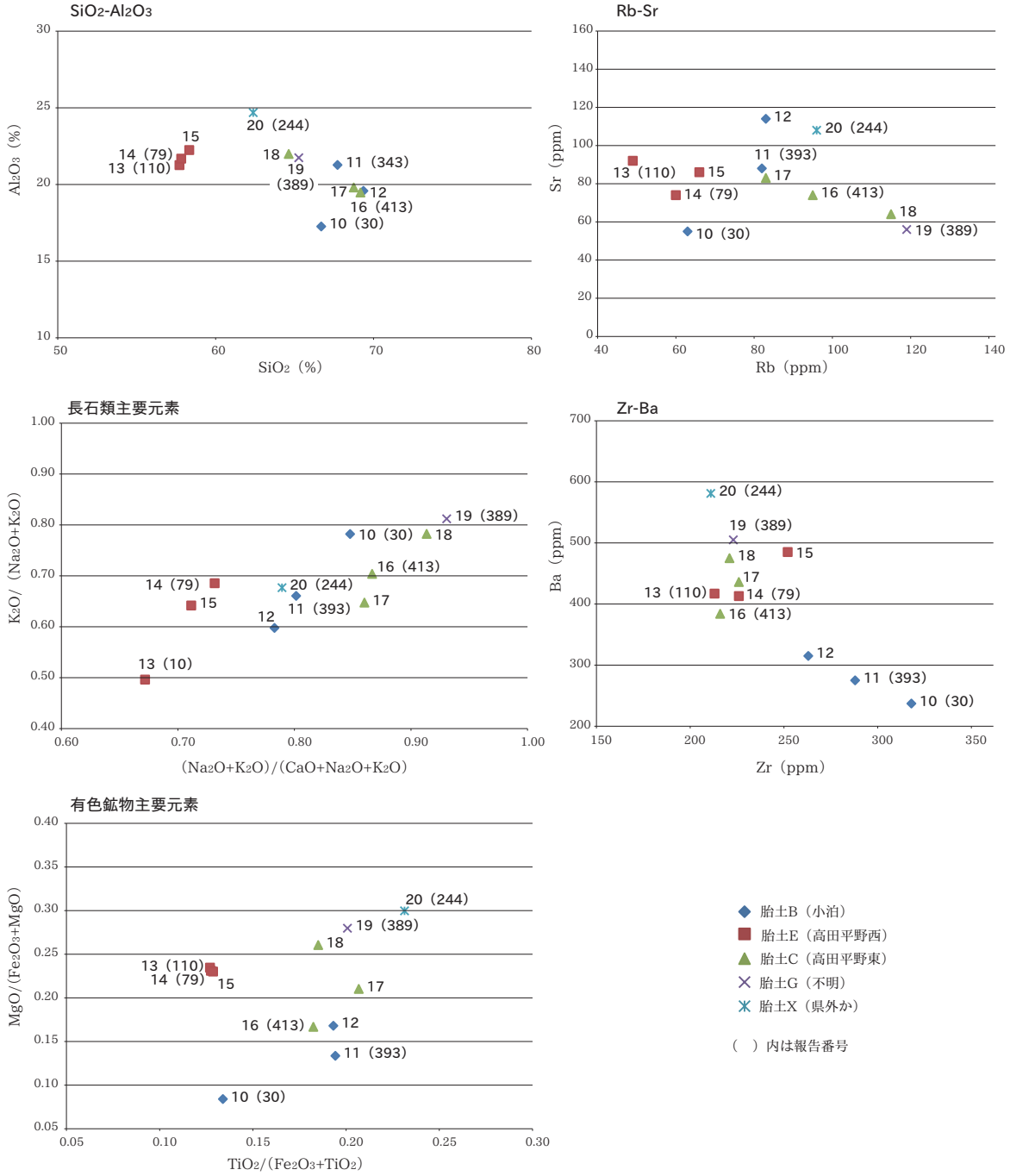
4）各微量元素を選択する。組み合わせは、Rb-Sr（第 18 図上段右）と Zr-Ba（第 18 図中段右）とする。これらの 4 元素は、ほとんどの珪酸塩鉱物中に含まれており、Ca や Na などの元素と挙動を共にすることから、鉱物組成にも連動し、胎土の特性を把握する上で有効な微量元素である。

5）さらに本分析では、発掘調査所見による胎土分類ごとに記号を変えて散布図上に載せた。胎土分類は、胎土 B、胎土 E、胎土 C、胎土 G、胎土 X の各分類名が示されており、それぞれ推定産地として、小泊、高田平野西、高田平野東、不明、県外かという所見が示されている。

5 つの散布図を概観すると、いずれの散布図においても発掘調査所見による胎土分類と各試料の図上の位置とは、概ね整合した分布を示している。また、地域不明とされた胎土 G のサンプル 19 は、いずれの散布図においても胎土 C の試料（特にサンプル 18）と近い位置にある。一方、県外かとされた胎土 X のサンプル 20 は、SiO_2-Al_2O_3、有色鉱物主要元素、Zr-Ba の各散布図ではサンプル 18 にやや近い位置にあり、長石類主要元素と Rb-Sr の各散布図ではサンプル 11、12 と近い位置にある。

試料名		主要元素										微量元素					Total (%)
		SiO_2 (%)	TiO_2 (%)	Al_2O_3 (%)	Fe_2O_3 (%)	MnO (%)	MgO (%)	CaO (%)	Na_2O (%)	K_2O (%)	P_2O_5 (%)	Rb (ppm)	Sr (ppm)	Y (ppm)	Zr (ppm)	Ba (ppm)	
サンプル10	胎土B	66.69	1.35	17.26	8.73	0.02	0.80	0.28	0.34	1.22	0.06	63	55	20	318	237	96.82
サンプル11	胎土B	67.72	1.08	21.27	4.48	0.01	0.69	0.54	0.74	1.44	0.05	82	88	12	288	275	98.09
サンプル12	胎土B	69.36	1.02	19.58	4.26	0.02	0.86	0.71	1.03	1.53	0.05	83	114	15	263	315	98.50
サンプル13	胎土E	57.71	1.33	21.26	9.14	0.09	2.80	1.27	1.31	1.29	0.09	49	92	26	213	417	96.37
サンプル14	胎土E	57.82	1.27	21.68	8.69	0.09	2.61	0.91	0.78	1.70	0.12	60	74	30	226	413	95.75
サンプル15	胎土E	58.33	1.27	22.24	8.60	0.10	2.57	1.03	0.91	1.63	0.48	66	86	34	252	485	97.25
サンプル16	胎土C	69.17	1.06	19.47	4.75	0.02	0.95	0.40	0.77	1.83	0.04	95	74	18	216	384	98.54
サンプル17	胎土C	68.75	0.97	19.80	3.72	0.02	0.99	0.48	1.04	1.91	0.10	83	83	28	226	436	97.87
サンプル18	胎土C	64.63	1.09	21.99	4.80	0.08	1.69	0.27	0.62	2.23	0.11	115	64	36	221	475	97.60
サンプル19	胎土G	65.27	1.08	21.74	4.30	0.06	1.67	0.21	0.53	2.29	0.10	119	56	40	223	505	97.34
サンプル20	胎土X	62.38	1.21	24.68	4.02	0.04	1.72	0.71	0.86	1.80	0.07	96	108	24	211	581	97.59

第 16 表　蛍光 X 線分析結果（化学組成）



第 18 図　胎土化学組成散布図

D　考　　察

1）土師器について

金屋遺跡出土の平安時代の土師器の胎土分析については、2022 年においても報告している［矢作ほか 2022］。その報告では、薄片下で計数された石英と斜長石の数に着目し、両者同程度のものを A 類、石英の方が多い傾向のものを B 類、斜長石が多い傾向のものを C 類とし、さらに地質学的背景との関係から、結晶片岩の含まれるものを D 類とした。この分類に従えば、今回の試料のサンプル 1 ～ 3 の胎土は D 類に分類され、サンプル 4 ～ 9 の胎土は B 類に分類される。ただし、令和 3 年度調査の分析報告における B 類は、今回の試料ほどには花崗岩類の岩石片の多い傾向は明瞭ではなかった。そこで、今回のサンプル

4 ～ 9 については、便宜的に B2 類という分類名を付す。

これまでの分析でも述べたように、胎土中の砕屑物の鉱物・岩石組成は、材料採取地の地質学的背景を反映している。D 類については、これまでの報告でも述べたが、その特徴である結晶片岩は、六日町盆地周辺には分布せず、柳沢ほか［1998］などの記載からも、六日町盆地の主要な地質学的背景である魚沼層の砂礫層や砂泥層中の礫種にも認められていない。そして、D 類の試料はこれまでの分析事例と同様にいずれも「武蔵型甕」とされている。このことから、今回のその産地を三波川帯の結晶片岩に由来する岩石片の砂粒が含まれる荒川中流域と推定することができる。

B2 類については、その特徴である花崗岩類の分布を確認する必要がある。竹内ほか［1994］の記載を参照すると魚野川水系上流域の越後山脈には、白亜紀後期～古第三紀の大源太花崗岩類が広く分布し、また飯士山など第四紀更新世の安山岩溶岩の分布も認められている。これらの六日町盆地における地質学的背景を考慮すれば、B2 類はいわゆる在地を示唆する胎土である可能性が高い。今回の試料でも B2 類の胎土であるサンプル 5 は、在地とする発掘調査所見が示されている。他の B2 類の試料の所見は北信型あるいは北陸型とされているが、B2 類が在地を示すとすれば、型式は他地域を示すとしても、在地の材料を使って在地で製作された土器である可能性がある。今後も、北信型や北陸型とされた土師器の分析事例を蓄積することができれば、B2 類の胎土の評価も定まると期待される。

2）須恵器について

発掘調査所見により示された胎土分類のうち、各 3 点ずつ試料のある 3 つの胎土分類は、化学組成の散布図上でそれぞれまとまりのある分布傾向が読み取れた。これらの胎土分類は、生産地の地域的な違いとして示されていることから、今回の分析結果は、生産地ごとに土器の材料が異なるということを示唆していると考えられる。現時点では、所見に示されている小泊や高田平野西部、同東部といった地域の窯跡出土試料の分析事例はないため、今回の試料が実際にそれらの地域で生産されたものであるかまでは検証できない。なお、今回の試料では 1 点のみの試料であった胎土 G と胎土 X については、散布図上の位置から次のように推定される。胎土 G とされたサンプル 19 は、5 つの散布図においてサンプル 18 と非常に近い位置にあることから、化学組成からみればサンプル 18 の胎土 C に分類される可能性がある。一方のサンプル 20 は、散布図によって化学組成の近い試料が異なることから、少なくとも胎土 B、C、E とは異なる分類の胎土であると考えられる。

今後は、小泊や高田平野も含めて生産地と考えられる地域出土の試料の分析事例を得た上で検討する必要があると考えられる。

引用文献

松田順一郎・三輪若葉・別所秀高，1999，瓜生堂遺跡より出土した弥生時代中期の土器薄片の観察－岩石学的・堆積学的による－．日本文化財科学会第 16 回大会発表要旨集，120-121.

竹内圭史・加藤碩一・柳沢幸夫・広島俊夫，1994，20 万分の 1 地質図幅「高田」．産業技術総合研究所地質調査総合センター.

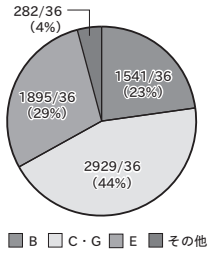
柳沢幸夫・茅原一也・鈴木尉元・植村　武・小玉喜三郎・加藤碩一，1998，十日町地域の地質．地域地質研究報告（5 万分の 1 図幅），地質調査所，104p.

矢作健二・坂元秀平・斉藤紀行，2022，「六日町藤塚遺跡・坂之上遺跡出土土器の胎土分析（2017 ～ 2021 年度）」『新潟県埋蔵文化財報告書 第 291 集 六日町藤塚遺跡Ⅰ 第 1 ～ 3 次調査、坂之上遺跡Ⅰ 第 1・2 次調査』新潟県教育委員会　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

第Ⅶ章　ま　と　め

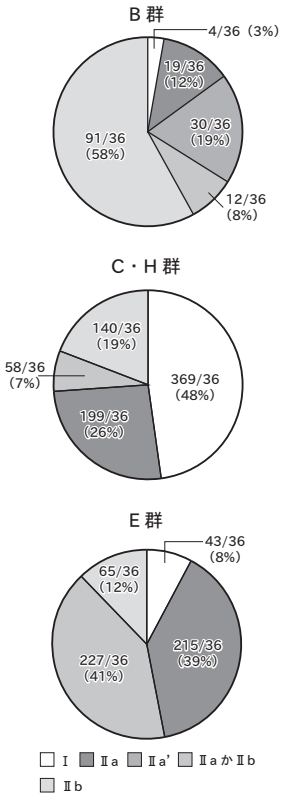
1　遺　　物

須恵器の胎土　第Ⅵ章２の分析により、須恵器の産地の同定には課題があるものの、胎土の分類の妥当性はある程度担保されたものと考えている。また、第Ⅵ章２ではＧ群としたものは、各種の化学組成がＣ群と近似していることが指摘されている。今回報告した調査区から出土した須恵器は口縁部残存率で 6,647/36 個体であるが、胎土別の出土量と比率を見ると、Ｂ群が 1,541/36 個体で 23%、Ｃ・Ｇ群が 2,929/36 個体で 44%、Ｅ群が 1,895/36 個体で 29%、その他が 282/36 個体で 4% である。Ｂ群は佐渡島にある小泊須恵器窯跡群、Ｃ・Ｇ群は高田平野東縁に接する丘陵に所在する末野窯跡群などの須恵器窯跡群、Ｅ群は高田平野西縁に接する丘陵に所在する滝寺窯跡群などの須恵器窯跡群を想定している。この想定が正しいとすれば今回報告した調査区から出土した須恵器は、高田平野から供給されたものが 73%、佐渡小泊窯跡群産が 23% を占める。魚野川流域にも須恵器窯は存在するが、金屋遺跡に供給された量は少なかったものと考えられる（第19図）。



第 19 図　須恵器の胎土

重ね焼き　有台杯と杯蓋の重ね焼きの方法については胎土によって異なる傾向が見られた。胎土Ｂ群はⅡb 類が 91/36 個体で 59% で最も多く、Ⅱb' 類も 30/36 個体で 19% を占める。胎土Ｃ・Ｇ群はⅠ類が 369/36 個体で最も多く 48%、胎土Ｅ群はⅡa 類かⅡc 類が最も多く 41% である。胎土Ｅ群のⅡa 類は 215/36 個体で 39%、Ⅱb 類は 65/36 個体で 12% であることから実態として最も多いのはⅡa 類であろう。以上のように杯蓋と有台杯の重ね焼の方法は、胎土Ｂ群はⅡb 類、Ｃ・Ｇ類はⅠ類、Ｅ群はⅡa 類が最も多かったと思われる（第 20 図）。



第 20 図　須恵器の胎土別重ね焼

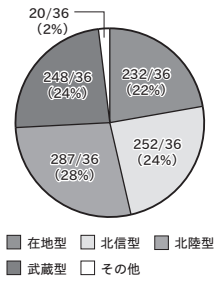
煮炊具の系統別比率　今回報告する煮炊具には在地型・北信型・北陸型・武蔵型の大別４系統がある。これらを系統毎に口縁部残存率を集計すると第 21 図となる。これら４系統は概ね拮抗した比率である。

なお、在地型・北信型・北陸型は剥片作製観察の結果（第Ⅵ章 2-C-1）では、遺跡周辺で製作された可能性が高いことが指摘されている。

土器の年代　まとまった量がある土器群として第 22・23 図の土器群がある。今回報告した土器群の中でもっとも古い土器群は SI1470 と考えている。SI1470 には胎土Ｂ群の須恵器や土師器無台椀が確認できない。また煮炊具に在地型の小甕・長胴甕が確認できる。７期新相から８期の古層の土器群と考えている。SK1241・SK1627 もこれに近い時期の土器群の可能性がある。

これに次ぐ時期の資料として SK3160、SR1001-11・12 層出土土器あげられる。SK3160 出土土器には胎土Ｂ群の須恵器（261）があ

る。また定型的な土師器無台椀も出土している。有台杯 259・260 は SI1470 出土の 229・230 よりも器高が高い。緑釉陶器皿（272）が出土しており土器の年代の目安となる。SR1001-11・12 も須恵器有台杯（340）・土師器無台椀（341・342）の形態から近い時期のものと思われる。SK3160・SR1001-11・12 層出土土器は 8 期の新相の土器群と考えている。比較する資料がないが SB2000 のピットから出土した土器も SK3160・SR1001-11・12 層出土土器に近い時期と考えられる。



第 21 図　煮炊具の系統別比率

SR1001-5 層、同 -1 層は、SR1003-1 層は層位的に考え SR1001-11・12 層より新しい遺物と考えられる。共伴した須恵器に古いものが含まれている可能性があり、土師器や黒色土器一括性に問題がないわけではないが、9 期を中心とする時期のものと考える。

Ⅵa5 層出土土器は胎土 B 群の須恵器無台杯（30）は 10 期の可能性が高い。土師器無台椀は SR1001-11・12 層の無台椀より底径が小さいものが多い。

SX64 はⅥa5 層の土師器無台椀より厚手のものが多く 11 期の資料と考えられる。SX159 の土師器無台は口径が小型化しており、底部も厚いものが多いことから、SX64 より後続するものと考えられ、12 期あるいは 13 期の資料と考えられる。

Ⅵa8 層・Ⅵa7 層は層位的には SR1001-5 層、同 -1 層に後続し、SR1003-1 層Ⅵa5 層に先行する資料となる。しかし、59・61 のような器高が低く、底径が大きい無台杯や胎土 C・G 群の須恵器も出土している。本来の土器群よりも古い資料が一定量含まれている可能性があるものと考えている。

2　遺　　構

下層　下層で最も古い建物は SI1470 と考えられる。時期は 7 期新相から 8 期古と考えている。同時期の建物は無く、SK1241・SK1627、SX1190 が同時期か近接した時期の遺構と考えられる。

SB2000 は隅丸方形の大型の柱掘形を持つ掘立柱建物であり、8 期新相の土器が出土している。他に柱掘形が大きな建物として SB1996・SB1998・SB1999 がありこれらの建物は重複しない。

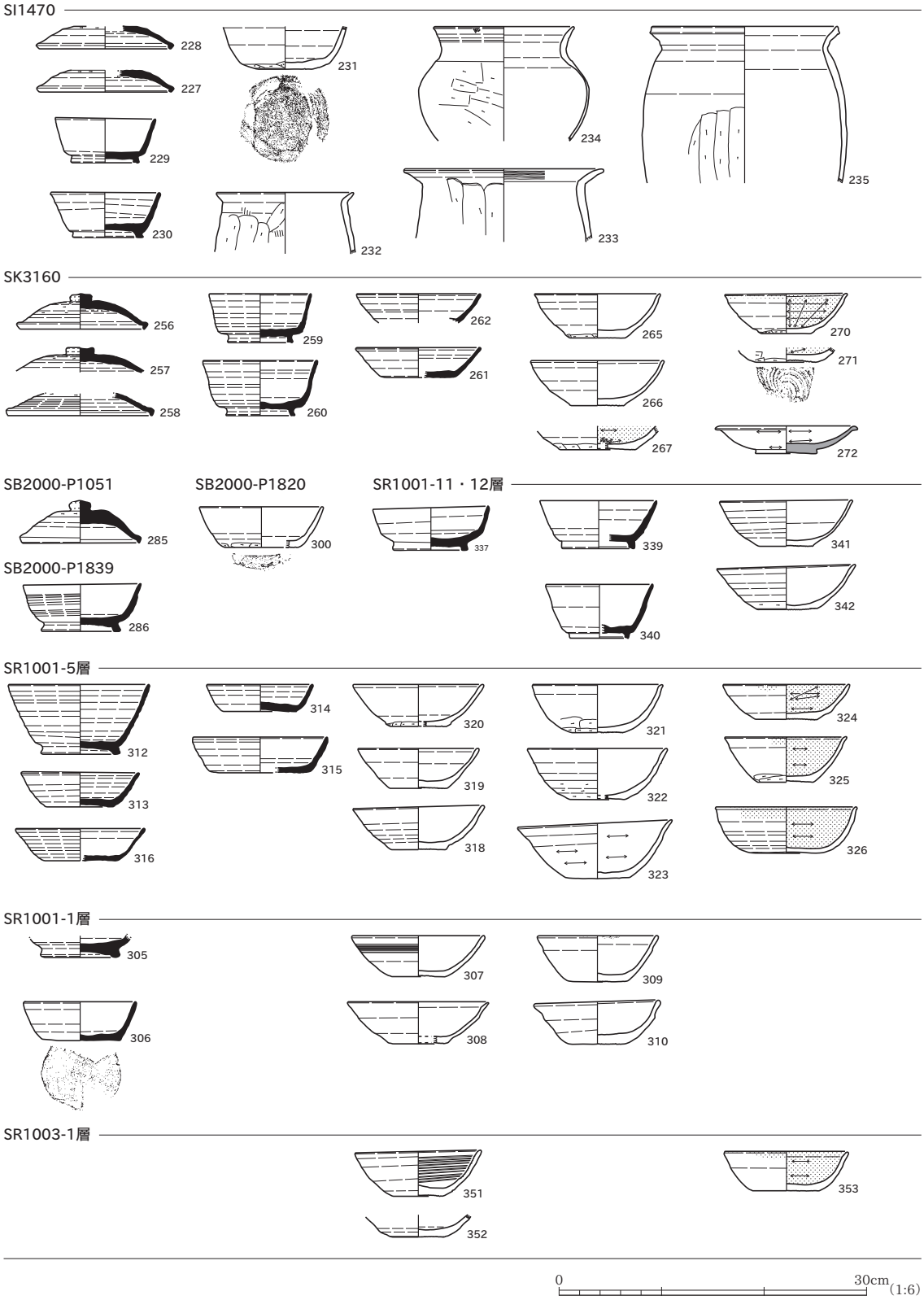
SB752 は SB2000 より新しい建物で柱掘形が小さい。似たような柱掘形の建物として SB743・744・745 がある。また SB2000 と同時期の建物 SB1996 と近接した場所にこれより新しい建物 SB1997 が存在する。これらの建物は年代が分かる土器が伴っていないが、8 期の新相に後続することから 9 期の建物群と考えられる（第 24 図）。

上層　遺構の変遷は不明だが建物の重複関係から、以下のような時期があったものと考えられる（第 25 図）。

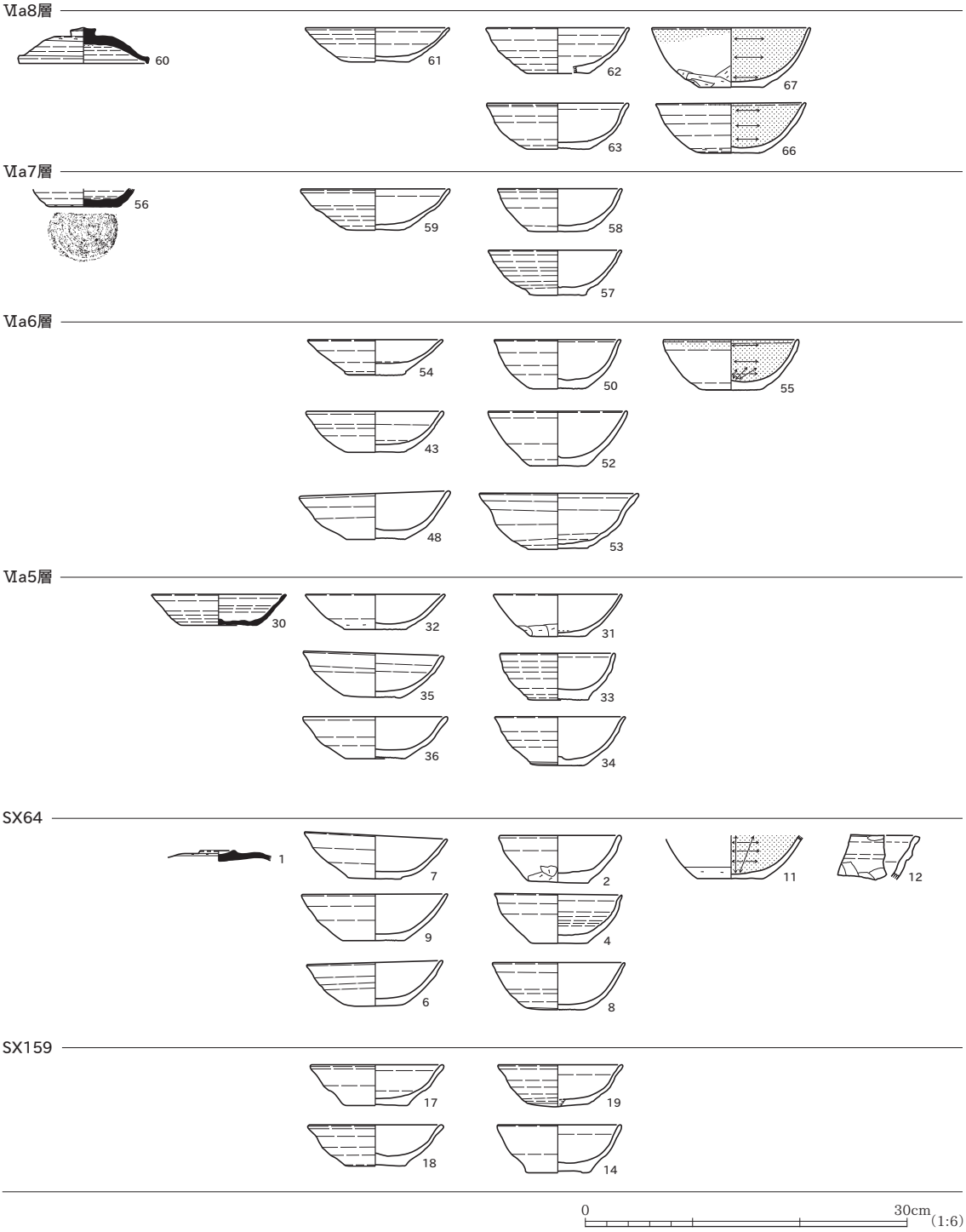
A 期　柵もしくは塀（SA721・725・726）の中に軸をそろえた 3 棟の建物がある時期。37m² の主屋（SB712）にに 20m² 弱の建物が伴う。

B 期　柵もしくは塀（SA718・719・720）の中に軸をそろえた 3 棟前後の建物がある時期。最も大きい約 34m² の主屋（SB713）に、10 ～ 20m² の建物を伴う。

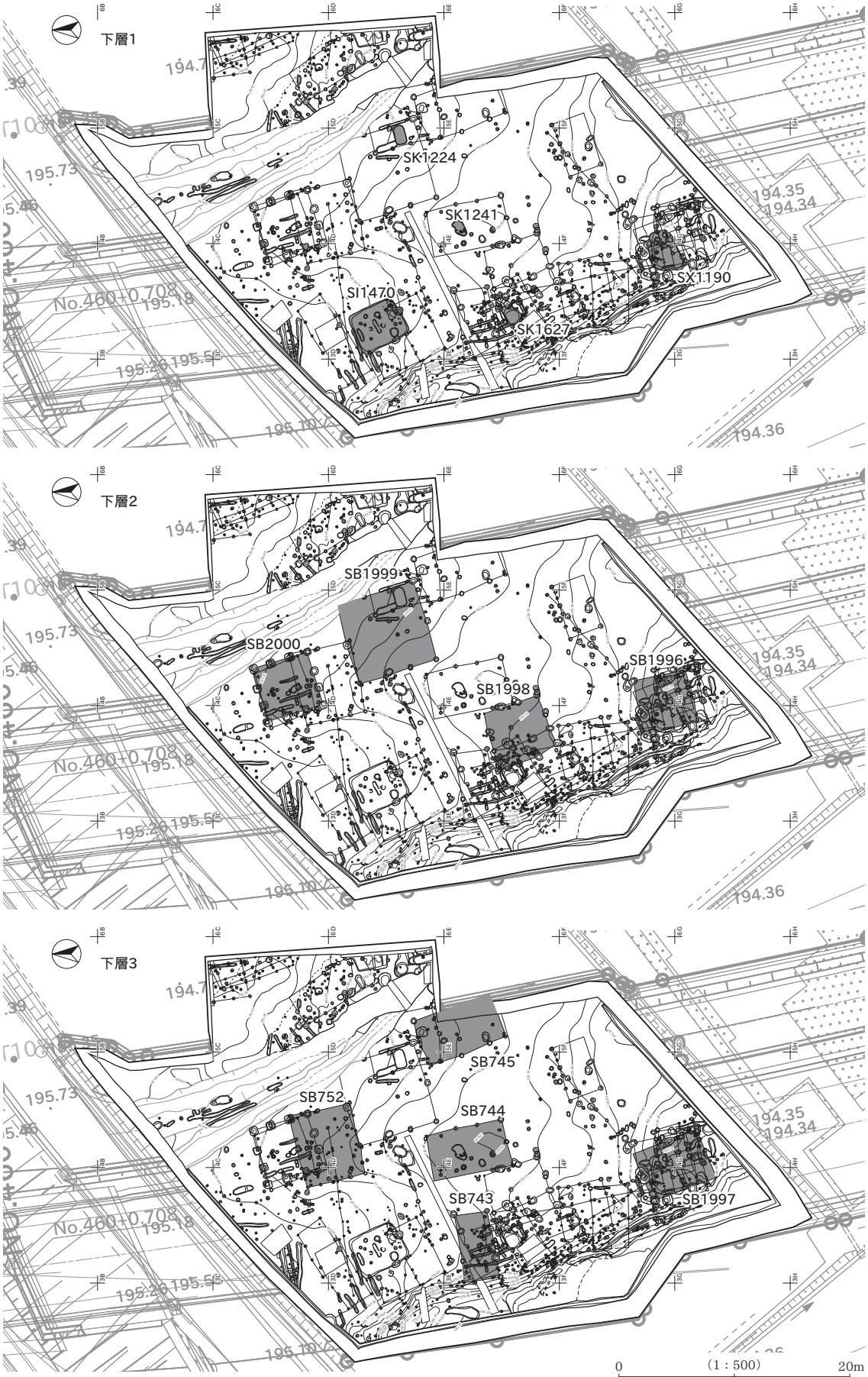
C 期　4m² と 10 ～ 15m² 前後の建物 2 つのグループに分かれる時期。



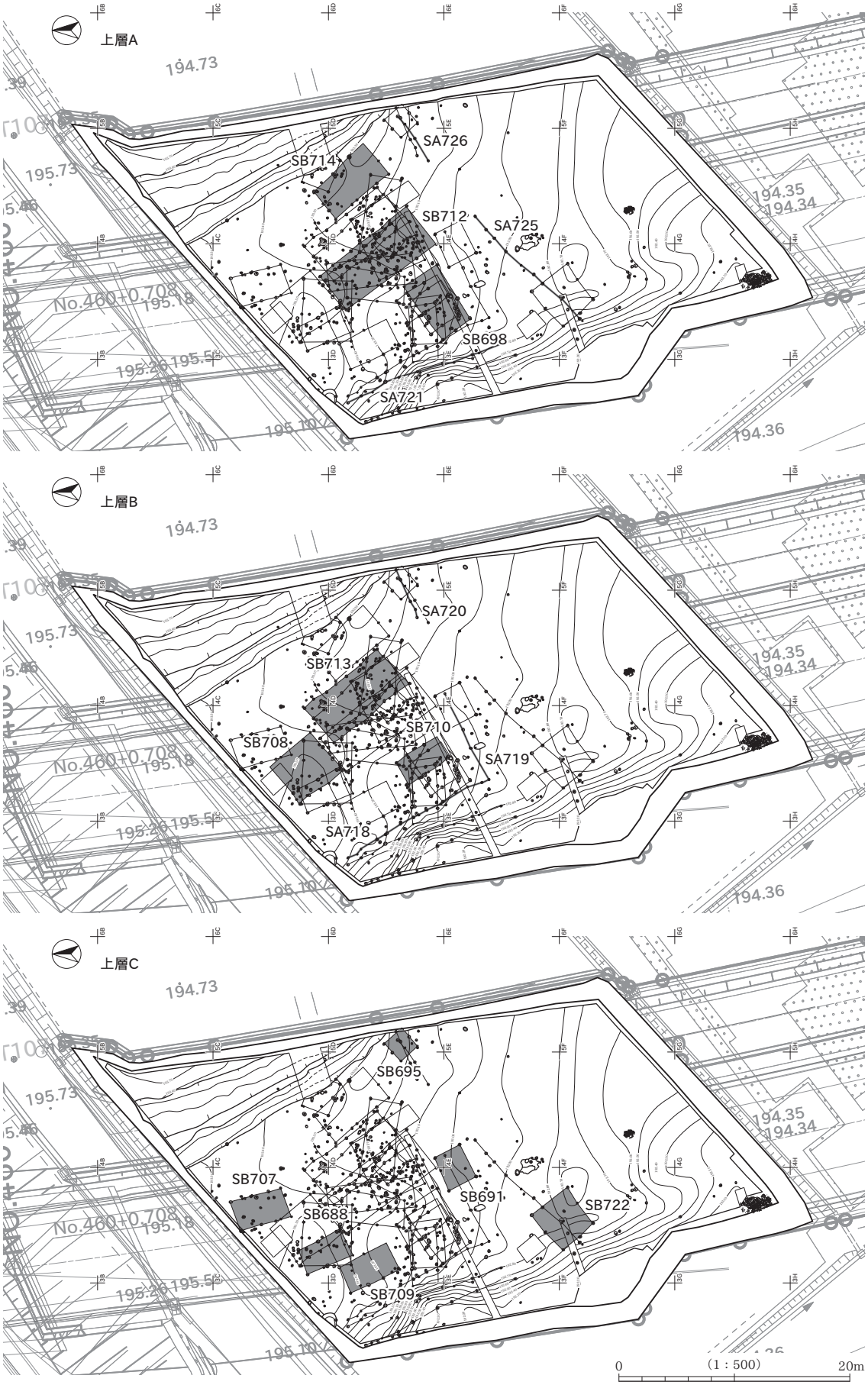
第 22 図　下層の主な土器群



第 23 図　上層の主な土器群


下層1
SK1224
SK1241
SX1190
SI1470
SK1627
下層2
SB1999
SB2000
SB1998
SB1996
下層3
SB745
SB752
SB744
SB743
SB1997
0
(1：500)
20m

第 24 図　遺構の変遷 1


上層A
SB714
SA726
SB712
SA725
SB698
SA721
上層B
SA720
SB713
SB710
SB708
SA719
SA718
上層C
SB695
SB707
SB688
SB691
SB722
SB709
0
(1：500)
20m

第 25 図　遺構の変遷 2

引用・参考文献

安立　聡　2001　『塩沢町埋蔵文化財報告書 第19輯 来清東遺跡』 塩沢町教育委員会

安立　聡　2002　『塩沢町埋蔵文化財報告書 第20輯 来清西遺跡』 塩沢町教育委員会

安立　聡　2016　「第5章 古代 6朴ノ木遺跡・9七ツ塚遺跡」『六日町史』資料編 第一巻 原始・古代・中世 南魚沼市教育委員会

荒川勝利ほか　2019　「第一章 六日町地域の地形･地質 第一節 六日町地域の地形のなりたち 1六日町の位置と地形」『六日町史』通史編 第一巻　南魚沼市教育委員会

荒川隆史　2004　「第Ⅳ章 遺構 1記述の方法」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第133集 青田遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

飯坂盛泰ほか　2006a　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第156集 北沖東遺跡・長表東遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

飯坂盛泰ほか　2006b　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第155集 金屋遺跡Ⅱ』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

石垣義則ほか　2015　「第Ⅱ章 遺跡の位置と環境 1地理的環境」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第253集 余川中道遺跡Ⅱ・金屋遺跡Ⅲ』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

梅川勝史　1995　「第一章 堀之内町の考古 第二節 堀之内町の遺跡と遺物 三 古墳時代 古林古墳群」『堀之内町史』資料編　堀之内町

小川幸雄　2019　「第一章 六日町地域の地形・地質 第一節 六日町地域の地形のなりたち 8魚野川」『六日町史』通史編 第一巻　南魚沼市教育委員会

小野本敦　2018a　「古墳時代の関越峠越えを考える －GISを利用した最適経路と祭祀遺構の分析－」『新潟考古』第29号　新潟県考古学会

小野本敦　2018b　「坂之上遺跡出土「賀寺厨」墨書土器をめぐる予備的考察」『新潟県考古学連絡誌』118

小野本敦　2020a　「第Ⅶ章 まとめ 3古墳時代の余川中道」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第287集 余川中道遺跡Ⅲ 第4・5次調査』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

小野本敦　2020b　「第Ⅶ章 まとめ 2古代の余川中道遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第287集 余川中道遺跡Ⅲ 第4・5次調査』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

小野本敦・工藤祐大　2015　「南魚沼市蟻子山32号墳について」『研究紀要』第8号　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

笠原賢治　1966　『ふるさと六日町の歴史』 六日町

春日真実　2009　「越後における古代掘立柱建物」『新潟県の考古学』Ⅱ　新潟県考古学会

春日真実　2019a　「第5章古代 －第1節 総論」『新潟県の考古学Ⅲ』 新潟県考古学会

春日真実　2019b　「第5章古代 第2節 第1項 土師器・須恵器の器種分類」『新潟県の考古学Ⅲ』 新潟県考古学会

春日真実　2022　「新潟県における年代定点資料」『東国古代遺跡研究会第11回研究大会 古代東国における年代定点資料の検討』 東国古代遺跡研究会

加藤　学　1999　「第Ⅴ章 上層の調査 1. 遺構」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第93集 和泉A遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

加藤　学ほか　2015　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第253集 余川中道遺跡Ⅱ・金屋遺跡Ⅲ』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

加藤元康　2019a　「坂之上遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』平成30年度　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

加藤元康　2019b　「六日町藤塚遺跡（Ⅱ）」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』平成30年度　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

金子拓男　2002　「先史・古代　第四章　古墳を造った時代　第四節「魚沼」の地名」『塩沢町史』通史編　上巻　塩沢町

金子拓男・佐藤雅一ほか　1987　『塩沢町埋蔵文化財報告書　第６輯　梨木平遺跡』　塩沢町教育委員会

北野博司　1988　「重ね焼きの観察」『石川県能美郡辰口町　辰口西部遺跡群Ⅰ』　石川県埋蔵文化財センター

佐藤雅一・小林利晴　1997　「第一編　先史・古代　第四章　山里に出現した地方豪族　第四節　吉里・南山古墳群の構造と出土品」『塩沢町史』資料編　上巻　塩沢町

實川順一　2006　「第Ⅱ章　遺跡の位置と環境　１遺跡の位置と地理的環境」『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第155集　金屋遺跡Ⅱ』　新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

田中一穂　2002　「先史・古代　第五章　律令体制と住民の生活　第二節　魚沼郡の範囲と郡家」『塩沢町史』通史編　上巻　塩沢町

田中祐樹ほか　2019　「第４章　古墳時代　第６節　墓制　第５項　副葬品　２中期～終末期」『新潟県の考古学』Ⅲ　新潟県考古学会

田中祐樹　2020a　「坂之上遺跡（Ⅱ）」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』令和元年度　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

田中祐樹　2020b　「六日町藤塚遺跡（Ⅲ）」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』令和元年度　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

田中祐樹ほか　2022　『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第291集　六日町藤塚遺跡Ⅰ　第１～３次調査　坂之上遺跡調査　第１・２次調査』　新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

田邊　幹　2018　「第一章　近代のはじまり　第四節　産業の発展　４清水峠越新道の開削と六日町・５魚野川水運の発展」『六日町史』通史偏　第３巻　近・現代　南魚沼市教育委員会

田村浩二　1997　「第一編　先史・古代　第五章　古代の魚沼郡　第二節　山里の開発と農民のくらし　六　塩沢町で見られる遺物」『塩沢町史』資料編　上巻　塩沢町

田村浩二　2002　「先史･古代　第五章　律令体制と住民の生活　第三節　郷里と農民　一　遺跡の分布と郷の所在」『塩沢町史』通史編　上巻　塩沢町

戸根与八郎ほか　1986　『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第43集　長表遺跡』　新潟県教育委員会

中川成夫ほか　1963　「新潟県魚野川流域古墳群の調査　－後期古墳群の研究(3)－」『立教大学文学部史学科調査報告８』立教大学文学部

中村孝三郎ほか　1989　「南魚沼郡　六日町」『角川日本地名大辞典15　新潟県』　角川書店

中村孝三郎・金子拓男ほか　1975　『六日町文化財調査報告書　第２輯　長表遺跡』　六日町教育委員会

新潟大学考古学研究室　1998　「－新潟県南魚沼郡六日町－　飯綱山10号墳発掘調査報告書」『新潟大学考古学研究室調査研究報告１』　新潟大学人文学部

新潟大学考古学研究室　2001　「－新潟県南魚沼郡六日町－　飯綱山27・65号墳発掘調査報告書」『新潟大学考古学研究室調査研究報告３』　新潟大学人文学部

新潟大学考古学研究室飯綱山古墳群測量調査団　1999　「－新潟県南魚沼郡六日町－　飯綱山古墳群測量調査報告」『新潟大学考古学研究室調査研究報告２』　新潟大学人文学部

新潟大学考古学研究室蟻子山古墳群測量調査団　2004　「－新潟県南魚沼郡六日町－　蟻子山古墳群測量調査報告」『新潟大学考古学研究室調査研究報告６』　新潟大学人文学部

橋本博文　2016　「第四章　古墳時代　１飯綱山10号墳・２飯綱山27号墳・３飯綱山31号墳・４飯綱山35号墳・５飯綱山36' 号墳･６飯綱山38号墳･７飯綱山65号墳」『六日町町史』資料編　第一巻　先史･古代･中世　南魚沼市教育委員会

藤巻正信ほか　2008　『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第190集　堅木遺跡』　新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

藤原敏秀　2004　『六日町埋蔵文化財調査報告書　第17冊　坂之上遺跡発掘調査報告書』　六日町教育委員会

宮本長二郎　1999　「日本中世住居の形成と発展」『建築史の空間　－関口欣也先生退官記念論文集』　中央公論美術出版

宮本長二郎　2002　「古代末から中世の住居建築」『秋田県埋蔵文化財センター 研究紀要』第 16 号　秋田県埋蔵文化財センター

山崎忠良　2018　「六日町藤塚遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』平成 29 年度　公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

山崎忠良　2020　「第Ⅱ章 遺跡の位置と環境 3 余川地区の地形と遺跡立地」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 287 集 余川中道遺跡Ⅲ 第 4・5 次調査』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

山本　肇　1985　「第Ⅱ章 遺跡の位置と周辺の環境 1. 位置と地形」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 37 金屋遺跡』 新潟県教育委員会

山本　肇ほか　1985　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 37 金屋遺跡』 新潟県教育委員会

芳井研一　2018　「第二章 町と村の近代化 第四節 災害と住民生活 4 大雪」『六日町史』通史偏 第 3 巻 近・現代　南魚沼市教育委員会

米沢　康　1980　「大宝二年の越中国四郡分割をめぐって」『信濃』第 32 巻 第 6 号　信濃史学会

遺構観察表

遺構観察表凡例

- 長軸・短軸・深さ・桁行・梁間などの数値に（　）が付されている場合は欠損や調査区外に伸びているなどの理由で、実際の規模が記入された数値よりも大きくなる可能性があることを表している。
- 出土土器・陶磁器などに記入されている「×」は「または」と同義である。
- グリットは主要なものを記入しており、網羅的ではない。
- 分割図は主要なものを記入しており、網羅的ではない。
- 長軸・短軸・深さは最大値を示した。
- 出土遺物の（　）内の番号は報告番号に一致する。
- 出土遺物の須は須恵器、土は土師器、赤は赤彩土師器、黒は黒色土器、両黒は両面黒色土器、赤黒は赤彩内黒土器、灰は灰釉陶器、緑は緑釉陶器の略である。
- 出土遺物の土師器に続く（　）内の文字のうち、在は在地型、陸は北陸型、信は北信型、恵は須恵器技法を表す。
- 遺構の切り合い関係は、溝・土坑や建物との切り合い関係を記入し、建物を構成しないピットとの切り合い関係は省略したものもある。>・< は、新 > 古を表し、≠は重複するが新古が不明なものを表す。
- 掘立柱建物の桁行・梁間の数値は、図上の天地・左右で間数が異なる場合は多い方を記入した。
- 棟持柱建物の梁間は 1 間とした。
- 掘立柱建物の平均桁行寸法は長さ÷桁行（間数）、平均梁間寸法は幅÷梁間（間数）によって得られた数値である。
- 掘立柱建物の面積は、長さと幅の積により求めた。ただし建物を構成するピットを結んだ正方形・長方形とならない場合は、長さと幅の積が一致しないものがある。
- ピット・土坑・井戸・溝の平面形・断面形・堆積状況は第 9 図の分類に一致する。

上層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）

名称	個別図	分割図	グリッド	長軸（m）	短軸（m）	桁行	梁間	面積（㎡）	平均桁行寸法（m）	平均梁間寸法（m）	主軸方位	報告遺物	備考
SA706	図版 4	図版 5	2DE、3E	14.1	－	9	－	－	1.57	－	N-26°-W		
SA718	図版 4	図版 5	2D、3DE	13.9	－	12	－	－	1.16	－	N-32°-W		
SA719	図版 5	図版 5	3・4E	8.3	－	4	－	－	2.08	－	N-23°-W		
SA720	図版 9	図版 8	4D、5D	4.5	－	4	－	－	1.13	－	N-44°-E		
SA721	図版 4	図版 5	2DE、3E	14.2	－	11	－	－	1.29	－	N-24°-E		
SA725	図版 7	図版 6	3EF、4E	12.6	－	8	－	－	1.58	－	N-65°-E		
SA726	図版 9	図版 8	4・5D	4.7	－	3	－	－	1.57	－	N-56°-E		
SB688	図版 10	図版 5	3CD	4.1	2.6	2	1	9.8	2.05	2.60	N-20°-W		
SB691	図版 10	図版 5、8	3DE、4DE	3.1	2.6	2	1	7.9	1.55	2.60	N-60°-E		
SB694	図版 11	図版 3	3・4D	6.7	3.0	3	1	18.2	2.23	3.00	N-80°-W		
SB695	図版 10	図版 8	4・5D	2.1	1.9	2	1	4.0	1.05	1.90	N-49°-E		一部調査区外
SB698	図版 11	図版 5	3DE	5.7	3.4	3	1	17.9	1.90	3.40	N-55°-E		
SB699	図版 12	図版 5	3CD	5.5	4.3	3	2	22.5	1.83	2.15	N-89°-W		
SB700	図版 12	図版 5	3D	5.1	2.7	2	1	12.5	2.55	2.70	N-4°-W		<SB708
SB703	図版 13	図版 3	4CD	2.9	2.5	2	1	7.3	1.45	2.50	N-65°-W		攪乱で欠損
SB707	図版 13	図版 3、5	3C	4.5	2.7	3	1	11.7	1.50	2.70	N-21°-W		
SB708	図版 13	図版 5	3CD	4.9	4.3	3	3	19.1	1.63	1.43	N-50°-E		>SB700、試掘 T で欠損
SB709	図版 14	図版 5	2・3D	4.7	2.5	3	1	11.5	1.57	2.50	N-20°-W		
SB710	図版 14	図版 5	3DE	4.2	2.2	3	1	8.8	1.40	2.20	N-30°-W		
SB711	図版 14	図版 5	3DE	3.5	3.4	3	3	10.9	1.17	1.13	N-27°-W		
SB712	図版 15	図版 5	3CD、4D	9.6	4.1	7	1	37.1	1.37	4.10	N-36°-W		
SB713	図版 16	図版 3	3CD、4CD	8.3	4.0	7	3	32.4	1.19	1.33	N-35°-W		
SB714	図版 14	図版 3	4CD	6.0	3.2	3	3	18.6	2.00	1.07	N-39°-W		
SB715	図版 17	図版 5	3CD	7.5	2.6	4	1	18.5	1.88	2.60	N-5°-W		
SB716	図版 18	図版 8	3・4D	6.4	4.3	5	2	21.9	1.28	2.15	N-55°-E		
SB717	図版 17	図版 5	3・4D	2.6	1.9	3	1	4.5	0.87	1.90	N-40°-W		
SB722	図版 18	図版 6	3EF	4.0	3.9	2	2	14.6	2.00	1.95	N-53°-E		
SB723	図版 19	図版 5	2・3D	4.9	2.3	3	1	10.6	1.63	2.30	N-78°-E		
SB724	図版 19	図版 5	3DE	4.2	2.7	3	1	11.1	1.40	2.70	N-89°-E		

上層 柱穴列（SA）・掘建柱建物（SB）を構成する柱穴（1）

名称	柱穴名称		検出層位	個別図		グリッド	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	柱痕径（cm）	底面標高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SA706	P	13	Ⅶa	－	－	2D8	24	21	31	－	192.67	円形	U 字状	－		
SA706	P	14	Ⅶa	－	－	2D8	20	15	14	－	192.81	楕円形	階段状	－		
SA706	P	15	Ⅶa	－	－	2D13	24	18	24	－	192.68	楕円形	U 字状	－		
SA706	P	158	Ⅶa	－	－	2D13	16	13	15	－	192.69	楕円形	半円状	－		
SA706	P	194	Ⅵb	4	n	2D24	25	23	26	12	192.07	円形	漏斗状	－		
SA706	P	568	Ⅵb	4	q	3E16	26	20	29	11	192.40	楕円形	U 字状	－	土小片	
SA706	P	586	Ⅵb	4	p	2E10	24	15	29	－	192.39	楕円形	漏斗状	－		
SA706	P	589	Ⅵb	4	o	2E5	23	21	17	11	192.18	円形	半円状	－		
SA706	P	616	Ⅵb	4	l	2D13・18	24	23	44	14	192.34	円形	漏斗状	－		
SA706	P	618	Ⅵb	4	m	2D19	31	24	42	12	192.06	楕円形	U 字状	－		
SA718	P	107	Ⅵb	4	b	2D15	24	24	28	10	193.05	円形	階段状	－		
SA718	P	152	Ⅶa	－	－	2D9	13	12	11	－	193.09	円形	V 字状	－		
SA718	P	155	Ⅶa	－	－	2D4	22	13	10	－	193.15	楕円形	弧状	－		
SA718	P	161	Ⅶa	－	－	2D9	15	13	16	－	193.07	円形	U 字状	－		
SA718	P	576	Ⅵb	4	g	3E7	20	17	23	－	192.72	円形	U 字状	－		
SA718	P	579	Ⅵb	－	－	3E2・7	16	13	13	－	192.85	楕円形	半円状	－		
SA718	P	596	Ⅵb	－	－	3D21	20	14	15	7	192.95	楕円形	半円状	－		
SA718	P	602	Ⅵb	4	f	3D21	25	20	16	11	192.96	楕円形	半円状	<P601		
SA718	P	615	Ⅵb	－	－	3D16	19	17	15	－	192.98	円形	半円状	－		
SA718	P	622	Ⅵb	－	－	2D15	22	22	17	－	193.14	円形	弧状	<P623		
SA718	P	623	Ⅵb	4	c	2D15	21	20	24	13	193.04	円形	漏斗状	>P622		
SA718	P	626	Ⅵb	4	e	3D16	25	23	20	16	192.96	円形	半円状	－	土小片	
SA718	P	629	Ⅵb	4	d	2D20	18	16	15	－	193.10	円形	半円状	>P630		
SA718	P	630	Ⅵb	4	d	2D20,3D16	23	20	20	10	193.06	円形	漏斗状	<P629		
SA718 SA719	P	575	Ⅵb	－	－	3E7	19	18	16	－	192.77	円形	半円状	－		

上層 柱穴列（SA）・掘建柱建物（SB）を構成する柱穴（2）

名称	柱穴名称		検出層位	個別図		グリッド	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	柱痕径（cm）	底面標高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SA719	P	489	Ⅵb	－	－	3E4・5	24	21	19	－	192.87	円形	半円状	－		
SA719	P	493	Ⅵb	5	a	4E1	23	19	20	14	192.81	楕円形	半円状	－	土小甕（恵）	
SA719	P	494	Ⅵb	－	－	4E1	17	16	24	－	192.77	円形	U字状	－		
SA719	P	505	Ⅵb	－	－	3E9	26	17	17	－	192.88	楕円形	半円状	－	須無台杯	
SA720	P	209	Ⅵb	－	－	5D11	19	19	24	－	193.02	円形	U字状	－		
SA720	P	224	Ⅵb	9	c	5D16	25	23	21	－	193.05	円形	半円状	－	須無台杯（B）・有台杯（C）、土小片	
SA720	P	228	Ⅵb	9	a	4D19	20	20	18	－	192.97	円形	半円状	－	須有台杯（E）、土武蔵型甕・小片	
SA720	P	231	Ⅵb	－	－	4D20	20	18	11	－	193.03	円形	弧状	－	土小片	
SA720	P	237	Ⅵb	9	b	4D20	21	21	20	15	192.98	円形	半円状	－		
SA721	P	109	Ⅵb	－	－	2D14・15	30	27	15	－	193.07	円形	弧状	－		
SA721	P	34	Ⅶa	－	－		13	13	12	－	192.63	円形	半円状			
SA721	P	125	Ⅵb	4	h	2D9	23	17	18	12	193.11	楕円形	漏斗状	－		
SA721	P	153	Ⅶa	－	－	2D9	15	14	26	－	192.85	円形	V字状	－		
SA721	P	156	Ⅶa	－	－	2D4	21	20	20	－	193.01	円形	半円状	－		
SA721	P	572	Ⅵb	4	k	3E11	21	15	19	13	192.65	楕円形	半円状	－		
SA721	P	585	Ⅵb	4	j	3E6	22	19	21	11	192.69	円形	漏斗状	－		
SA721	P	588	Ⅵb	－	－	2E5	15	13	19	－	192.58	円形	U字状	－		
SA721	P	590	Ⅵb	4	i	2D25,2E5	29	28	44	19	192.30	円形	階段状	－	土小片	
SA721	P	603	Ⅵb	－	－	2D20	21	19	27	－	192.61	円形	U字状	－	須有台杯（C）	
SA721	P	621	Ⅵb	－	－	2D20	16	14	15	－	192.96	円形	半円状	－		
SA725	P	21	Ⅶa	－	－	3F3	28	（21）	13	－	192.60	（円形）	弧状	－	土小片	
SA725	P	509	Ⅵb	－	－	4E6	24	22	17	－	192.76	円形	半円状	－		
SA725	P	510	Ⅵb	7	e	4E7	22	19	16	14	192.83	円形	半円状	－		
SA725	P	514	Ⅵb	－		3E20	16	14	12	－	192.78	円形	半円状	－		
SA725	P	534	Ⅵb	7	d	4E11	24	20	18	13	192.79	楕円形	半円状	－		
SA725	P	552	Ⅵb	7	h	3F13	21	18	21	11	192.31	円形	U字状	－		
SA725	P	558	Ⅵb	7	b	3E24	25	23	26	13	192.59	円形	U字状	－		
SA725	P	564	Ⅵb	7	a	3F2	26	20	17	16	192.49	楕円形	階段状	－		
SA725	P	620	Ⅵb	7	c	3E19	25	21	34	14	192.50	円形	U字状	－		
SA725	P	1167	Ⅶa	－	－	3E15	24	22	8	－	192.66	円形	弧状			
SA726	P	223	Ⅵb	9	c	5D11・16	22	19	28	－	192.99	円形	U字状	－		
SA726	P	229	Ⅵb	－	－	5D16	17	14	22	－	193.01	楕円形	U字状	－		
SA726	P	238	Ⅵb	－	－	4D20	21	19	17	－	192.99	円形	半円状	－		
SA726	P	242	Ⅵb	－	－	4D24	19	18	16	－	192.99	円形	半円状	－		
SB688	P	116	Ⅵb	10	b	3C22	30	26	38	11	193.18	円形	漏斗状	－		
SB688	P	118	Ⅵb	－	－	3C21	23	20	20	－	193.33	円形	半円状	－		
SB688	P	140	Ⅵb	10	a	3C17	30	24	23	15	193.29	楕円形	階段状	－		
SB688	P	141	Ⅶa	－	－	3C21	17	15	16	－	193.27	円形	半円状	－		
SB688	P	274	Ⅵb	10	c	3D3	19	15	25	12	193.22	楕円形	U字状	－		
SB688	P	666	（Ⅶa）	－	－	3D7	12	10	8	－	193.20	楕円形	弧状	－		
SB691	P	490	Ⅵb	10	c	3E4・5	22	21	16	12	192.91	円形	半円状	－		
SB691	P	495	Ⅵb	10	b	3D25	16	14	23	12	192.80	円形	U字状	－		
SB691	P	497	Ⅵb	10	a	4D21	27	21	29	13	192.77	楕円形	U字状	－	土無台椀・小片	
SB691	P	500	Ⅵb	10	e	3E10	26	21	24	13	192.73	楕円形	半円状	－		
SB691	P	503	Ⅵb	10	d	4E1・2	24	21	18	12	192.81	円形	半円状	－		
SB694	P	210	Ⅵb	11	f	4D8・9	26	19	19	12	193.06	楕円形	漏斗状	－		
SB694	P	226	Ⅵb	－	－	4D7	20	17	23	－	192.98	円形	U字状	－		
SB694	P	244	Ⅵb	11	c	4D18	20	18	15	－	193.03	円形	半円状	－	土武蔵型甕	
SB694	P	303	Ⅵb	11	e	4D6	22	18	26	15	192.95	楕円形	U字状	>P304		
SB694	P	319	Ⅵb	11	d	3D10	28	23	32	14	192.98	楕円形	U字状	－		
SB694	P	346	Ⅵb	11	b	4D12	25	－21	26	10	192.90	（円形）	U字状	－		
SB694	P	381	Ⅵb	11	a	4D11	20	16	28	－	192.80	楕円形	U字状	>P382	土小片	
SB694	P	382	Ⅵb	11	a	4D11	-18	18	31	10	192.77	円形	U字状	<P381	土小片	
SB694	P	441	Ⅵb	－	－	3D15	18	16	21	－	193.00	円形	U字状	>P442		
SB695	P	176	Ⅵb	10	a	5D11	23	19	24	13	193.08	楕円形	U字状	－	土長胴甕×鍋（恵）	
SB695	P	222	Ⅵb	－		4D20	17	17	22	－	193.00	円形	U字状	－	須杯蓋（E）、黒小片、土小片	
SB695	P	230	Ⅵb	10	b	4D15,5D11	24	24	30	15	192.98	円形	U字状	－	土小片	
SB695	P	246	Ⅵb	－	－	5D16	16	14	26	－	192.91	円形	V字状	>P247		
SB695	P	255	Ⅵb	－	－	5D16	24	23	14	－	193.08	円形	弧状	－	土小片	
SB698	P	412	Ⅵb	－	－	3D18	19	16	20	－	193.01	円形	U字状	－		
SB698	P	421	Ⅵb	－	－	3D19	18	15	19	－	193.09	円形	U字状	－		
SB698	P	491	Ⅵb	11	c	3D25	23	22	17	14	192.93	円形	半円状	－		
SB698	P	577	Ⅵb	11	e	3E7	28	24	26	13	192.75	円形	漏斗状	－		
SB698	P	583	Ⅵb	11	b	3E2	27	23	27	16	192.81	円形	U字状	－		
SB698	P	597	Ⅵb	11	a	3D21,3E1	25	23	18	13	192.91	円形	半円状	－		
SB698	P	642	Ⅵb	－	－	3D22	20	20	22	－	192.94	円形	U字状	－		
SB698	P	1308	Ⅶa	11	d	3E3	33	33	27	－	192.61	長方形	U字状			
SB699	P	65	Ⅵb	12	g	3C19	30	24	13	15	193.31	楕円形	弧状	－		
SB699	P	87	Ⅶa	－	－	3C18	22	16	14	－	193.23	楕円形	弧状	－		

上層 柱穴列（SA）・掘建柱建物（SB）を構成する柱穴（3）

名称	柱穴名称		検出層位	個別図		グリッド	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	柱痕径（cm）	底面標高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB699	P	99	Ⅶa	12	a	3D1・6	19	18	12	10	193.18	円形	半円状	－		
SB699	P	104	Ⅵb	12	d	3C21,3D1	39	29	25	15	193.29	楕円形	半円状	－		
SB699	P	122	Ⅵb	12	f	3C16	18	-14	15	－	193.35	円形	半円状	<P121		
SB699	P	131	Ⅶa	－	－	3C17・18	20	18	12	－	193.28	円形	弧状	－		
SB699	P	250	Ⅵb	12	b	3D2・7	25	20	18	10	193.18	楕円形	半円状	>P667		
SB699	P	285	Ⅵb	－	－	3D3・8	23	21	19	－	193.23	円形	半円状	－		
SB699	P	291	Ⅵb	12	e	3C24	36	28	23	14	193.22	楕円形	漏斗状	－		
SB699	P	309	Ⅵb	12	c	3D4・9	20	17	24	11	193.18	円形	U字状	－		
SB700	P	266	Ⅵb	12	b	3D13	18	17	12	11	193.18	円形	半円状	－	土小片	
SB700	P	279	Ⅵb	12	c	3D4・5	28	26	21	16	193.18	円形	漏斗状	－		
SB700	P	288	Ⅵb	12	a	3D3	24	21	19	13	193.26	円形	半円状	－		
SB700	P	329	Ⅵb	12	d	3D14	23	19	26	－	193.08	楕円形	U字状	－		
SB700	P	355	Ⅵb	－	－	3D18	25	22	27	－	192.97	円形	漏斗状	－	土有×無台椀・小片	
SB700	P	430	Ⅵb	12	e	3D19	16	15	23	9	193.06	円形	U字状	－		
SB703	P	166	Ⅵb	－	－	4C18	14	13	16	－	193.17	円形	U字状	≠ P165		
SB703	P	180	Ⅵb	13	b	4D4	23	22	18	13	193.13	円形	半円状	－		
SB703	P	206	Ⅵb	13	a	4C23,4D3	22	20	16	14	193.17	円形	半円状	－		
SB703	P	214	Ⅵb	－	－	4D3	26	23	13	－	193.19	円形	弧状	－		
SB707	P	8	Ⅶa	－	－	3C8	23	19	20	－	193.23	楕円形	半円状	－		
SB707	P	70	Ⅵb	13	b	3C14・15	25	20	23	10	193.20	楕円形	漏斗状	－		
SB707	P	77	Ⅵb	13	a	3C9	21	13	24	－	193.15	楕円形	U字状	>P78		
SB707	P	78	Ⅵb	13	a	3C9	20	18	28	-10	193.12	円形	U字状	<P77		
SB707	P	82	Ⅵb	－	－	3C13	19	15	26	－	193.15	楕円形	U字状	－		
SB707	P	85	Ⅶa	－	－	3C18	15	13	16	－	193.19	円形	U字状	－		
SB707	P	86	Ⅶa	－	－	3C4	28	22	18	－	193.16	楕円形	弧状	－	須壺瓶類（D）	
SB707	P	92	Ⅵb	－	－	3C13	23	20	30	－	193.13	円形	U字状	－		
SB707	P	1585	Ⅶa	13	c	3C15	19	17	11	－	193.20	円形	半円状		須杯蓋（G）	
SB708	P	83	Ⅶa	－	－	3C13	17	15	21	－	193.12	円形	U字状	－		
SB708	P	101	Ⅵb	13	c	3C22,3D2	17	15	34	7	193.19	円形	U字状	－		
SB708	P	121	Ⅵb	13	b	3C16	23	22	25	14	193.27	円形	U字状	>P122	土無台椀	
SB708	P	135	Ⅵb	13	a	3C17	27	26	32	13	193.19	円形	漏斗状	－		
SB708	P	142	Ⅵb	－	－	3C22	24	20	24	－	193.30	楕円形	V字状	－		
SB708	P	254	Ⅵb	－	－	3D3	33	24	17	－	193.30	楕円形	漏斗状	－		
SB708	P	284	Ⅵb	13	e	3D3	26	20	12	11	193.33	楕円形	弧状	－		
SB708	P	289	Ⅵb	13	d	3C24	28	26	17	14	193.29	円形	半円状	－		
SB708	P	325	Ⅵb	－	－	3C24	16	13	12	－	193.29	楕円形	半円状	－		
SB709	P	102	Ⅵb	－	－	3D1	24	20	34	－	193.19	楕円形	V字状	－		
SB709	P	106	Ⅵb	－	－	2D10	33	25	26	－	193.14	楕円形	半円状	－		
SB709	P	151	Ⅶa	－	－	2D5・10	20	17	16	－	193.19	円形	V字状	－		
SB709	P	249	Ⅵb	－	－	3D7	20	14	18	－	193.13	楕円形	半円状	－		
SB709	P	628	Ⅵb	14	a	3D11	24	22	21	11	193.09	円形	漏斗状	－		
SB709	P	635	Ⅵb	14	b	3D16	17	16	17	－	192.06	円形	半円状	－		
SB710	P	50	Ⅶa	－	－	3E3	31	31	18	14	192.88	円形	弧状	>P49	黒小片、土長胴甕×小甕（在）	
SB710	P	357	Ⅵb	14	b	3D13・18	26	23	31	13	192.96	円形	U字状	－		
SB710	P	391	Ⅵb	14	a	3D17	18	16	13	－	193.08	円形	半円状	>P392・393	土長胴甕×小甕（在）	
SB710	P	393	Ⅵb	14	a	3D17	22	21	17	9	193.03	円形	半円状	<P391		
SB710	P	398	Ⅵb	－	－	3D22・23	37	27	23	－	192.93	楕円形	半円状	－		
SB710	P	415	Ⅵb	14	c	3D18	22	21	29	16	192.97	円形	U字状	－		
SB710	P	448	Ⅵb	14	d	3D24	26	24	16	18	193.05	円形	半円状	－		
SB710	P	1307	Ⅶa	－	－	3D23	16	14	8	－	192.85	円形	弧状			
SB711	P	52	Ⅶa	－	－	3E2・3	37	32	12	18	192.93	円形	弧状	>P51		
SB711	P	53	Ⅶa	－	－	3E2	-37	33	16	16	192.87	（楕円形）	弧状	>P54、<P51		
SB711	P	396	Ⅵb	－		3D17	21	20	21	－	192.97	円形	半円状	－		
SB711	P	416	Ⅵb	14	a	3D18・23	23	22	19	11	192.98	円形	半円状	－		
SB711	P	424	Ⅵb	14	b	3D24	24	24	29	13	192.89	円形	U字状	－		
SB711	P	530	Ⅵb	－	－	3D18	21	15	18	－	193.07	楕円形	半円状	－		
SB711	P	593	Ⅵb	－	－	3D22	25	22	22	－	192.87	円形	半円状	－		
SB711	P	600	Ⅵb	－	－	3D22	28	24	13	－	193.03	円形	弧状	－		
SB711	P	640	Ⅵb	－	－	3D22	16	15	15	－	193.02	円形	半円状	－	黒小片	
SB712	P	260	Ⅵb	15	h	3C24	28	21	17	15	193.29	楕円形	半円状	－		
SB712	P	267	Ⅵb	15	b	3D14	32	22	18	12	193.18	楕円形	階段状	－		
SB712	P	311	Ⅵb	－	－	3D8	19	19	15	－	193.20	円形	半円状	－		
SB712	P	317	Ⅵb	－	－	3D5	20	16	15	－	193.25	楕円形	半円状	－		
SB712	P	318	Ⅵb	15	i	3D5・10	25	21	28	15	193.01	円形	U字状	－		
SB712	P	336	Ⅵb	－	－	3D10,4D6	15	13	14	－	193.11	円形	V字状	－	須有×無台椀、土小片	
SB712	P	337	Ⅵb	15	j	4D6	20	15	23	14	192.96	楕円形	U字状	－		
SB712	P	350	Ⅵb	－	－	3D4	24	19	26	－	193.16	楕円形	U字状	>P351		
SB712	P	373	Ⅵb	15	k	4D17	24	20	19	18	192.91	楕円形	半円状	－	土小片	
SB712	P	374	Ⅵb	－	－	4D11	19	17	18	－	192.93	円形	半円状	－		
SB712	P	379	Ⅵb	－	－	4D11・12	17	12	23	－	192.89	楕円形	U字状	－		
SB712	P	411	Ⅵb	15	a	3D3	25	19	27	10	193.16	楕円形	U字状	－		

上層 柱穴列（SA）・掘建柱建物（SB）を構成する柱穴（3）

名称	柱穴名称		検出層位	個別図		グリッド	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	柱痕径（cm）	底面標高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB712	P	434	Ⅵb	15	f	3D15	17	16	21	13	193.01	円形	U字状	－		
SB712	P	439	Ⅵb	15	c	3D14・19	23	22	23	－	193.08	円形	半円状	≠ P455		
SB712	P	451	Ⅵb	15	d	3D20	24	22	24	15	192.92	円形	U字状	－		
SB712	P	477	Ⅵb	15	g	3D15,4D11	20	18	25	13	192.90	円形	漏斗状			
SB712	P	479	Ⅵb	－	－	4D16	18	17	24	－	192.88	円形	U字状	－		
SB712	P	496	Ⅵb	15	e	3D25,4D21	21	17	21	13	192.85	楕円形	U字状	－		
SB713	P	45	Ⅶa	－	－	4D16・17	23	21	19	17	192.85	円形	半円状	－		
SB713	P	171	Ⅵb	－	－	4D1	18	17	19	－	193.08	円形	U字状	－		
SB713	P	177	Ⅵb	16	h	4C21	25	22	20	10	193.11	円形	半円状	－		
SB713	P	183	Ⅵb	－	－	3C20・25	21	17	18	－	193.15	楕円形	半円状	－		
SB713	P	189	Ⅵb	16	g	4C21	20	19	19	9	193.17	円形	U字状	－		
SB713	P	200	Ⅵb	－	－	4D2	23	22	23	－	193.00	円形	U字状	－		
SB713	P	218	Ⅵb	16	k	4D13	24	19	18	15	193.06	楕円形	半円状	－		
SB713	P	234	Ⅵb	16	i	4D7	22	19	25	11	192.96	円形	U字状	－		
SB713	P	239	Ⅵb	16	j	4D8	23	19	14	15	193.09	楕円形	半円状	－		
SB713	P	257	Ⅵb	16	f	3C25	27	23	22	9	193.17	円形	半円状	－		
SB713	P	278	Ⅵb	16	b	3D4	19	17	22	11	193.18	円形	U字状	－		
SB713	P	283	Ⅵb	－	－	3D4	29	19	25	－	193.16	楕円形	漏斗状	≠ P305		
SB713	P	297	Ⅵb	16	a	3D4	21	18	17	11	193.27	円形	半円状	－		
SB713	P	301	Ⅵb	－	－	3C25	19	18	20	－	193.14	円形	U字状	－		
SB713	P	308	Ⅵb	16	e	3D4	30	22	21	14	193.19	楕円形	漏斗状	－		
SB713	P	358	Ⅵb	－	－	3D10	21	19	25	－	192.99	円形	U字状	－		
SB713	P	372	Ⅵb	－	－	4D11	22	18	29	－	192.84	楕円形	U字状	－		
SB713	P	377	Ⅵb	－	－	4D11	22	19	22	－	192.88	円形	半円状	>P378		
SB713	P	383	Ⅵb	16	d	4D11	25	20	20	13	192.88	楕円形	半円状	－		
SB713	P	384	Ⅵb	16	c	3D10	24	21	33	13	192.96	円形	U字状	－		
SB713	P	407	Ⅵb	－	－	4D11	27	18	30	－	192.85	楕円形	U字状	－		
SB713	P	646	Ⅵb	－	－	4D1	22	19	38	－	192.89	円形	U字状	－		
SB713	P	648	Ⅵb	－	－	4D2・7	20	16	16	－	193.05	楕円形	半円状	－	土小片	
SB713	P	653	Ⅵb	－	－	4D7	15	13	12	－	193.07	円形	半円状	－		
SB713	P	655	Ⅵb	－	－	4D7	20	16	25	－	192.97	楕円形	U字状	－		
SB713	P	662	Ⅵb	－	－	4D13	25	16	28	－	192.92	楕円形	U字状	－		
SB713	P	675	Ⅵb	－	－	3D10	19	18	13	－	193.17	円形	半円状	－	土長胴甕×小甕（在）	
SB713	P	678	Ⅵb	－	－	3D10	17	17	22	－	193.05	円形	U字状	－		
SB714	P	168	Ⅵb	－	－	4C22,4D2	27	22	18	－	193.11	楕円形	半円状	－		
SB714	P	172	Ⅵb	－	－	4D2	21	17	12	－	193.14	楕円形	弧状	－		
SB714	P	181	Ⅵb	14	c	4D4	33	32	16	15	193.17	円形	階段状	－		
SB714	P	192	Ⅵb	14	b	4C23	32	22	19	16	193.17	楕円形	漏斗状	－		
SB714	P	207	Ⅵb	－	－	4D2・7	22	16	16	－	193.06	楕円形	半円状	－		
SB714	P	215	Ⅵb	－	－	4D3・4	28	26	14	－	193.21	円形	半円状	－		
SB714	P	227	Ⅵb	14	a	4D13	23	22	11	12	193.12	円形	半円状	－		
SB714	P	232	Ⅵb	－	－	4D13・14	21	17	25	－	192.95	楕円形	U字状	－		
SB714	P	236	Ⅵb	－	－	4D14	18	13	23	－	193.01	楕円形	U字状	－		
SB714	P	248	Ⅵb	－	－	4C22	14	13	18	－	193.13	円形	U字状	－		
SB715	P	265	Ⅵb	－	－	3C23,3D3・4	34	22	16	－	193.29	楕円形	弧状	－		
SB715	P	268	Ⅵb	17	a	3D9	23	21	24	13	193.16	円形	U字状	－	土小片	
SB715	P	292	Ⅵb	－	－	3C25	22	17	17	－	193.24	楕円形	半円状	<P293		
SB715	P	298	Ⅵb	17	d	3D5	24	18	27	－	193.09	楕円形	U字状	－		
SB715	P	320	Ⅵb	－	－	3D14	13	13	14	－	193.13	円形	U字状	－		
SB715	P	364	Ⅵb	17	e	3D10	36	30	27	12	193.07	楕円形	漏斗状	－	土小片	
SB715	P	420	Ⅵb	17	b	3D14・19	22	20	25	13	193.05	円形	U字状	－		
SB715	P	427	Ⅵb	17	c	3D19	21	19	21	14	193.02	円形	U字状	－		
SB715	P	442	Ⅵb	17	f	3D15	42	22	29	8	192.92	楕円形	漏斗状	<P441、>P443・531・532		
SB715	P	452	Ⅵb	17	g	3D20	22	22	32	12	192.83	円形	U字状	－	土小片	
SB716	P	277	Ⅵb	－		3D14	22	18	20	－	193.16	楕円形	半円状	－		
SB716	P	316	Ⅵb	18	a	4D6	18	16	14	10	193.09	円形	半円状	－		
SB716	P	344	Ⅵb	18	i	4D12	20	19	19	10	192.96	円形	半円状	>P345		
SB716	P	359	Ⅵb	18	b	3D10	29	22	38	12	192.87	楕円形	U字状	－		
SB716	P	363	Ⅵb	18	d	3D9・10・14	－29	23	26	11	193.09	楕円形	半円状	<P362	土小片	
SB716	P	365	Ⅵb	18	c	3D10	27	23	21	17	193.14	円形	半円状	－	土長胴甕×小甕（在）	
SB716	P	375	Ⅵb	18	e	4D11	25	21	17	11	192.94	円形	半円状	－		
SB716	P	444	Ⅵb	18	f	3D15	20	18	23	14	192.97	円形	U字状	－	土小片	
SB716	P	450	Ⅵb	－		3D25	16	14	13	－	193.01	円形	半円状	－		
SB716	P	458	Ⅵb	18	h	3D19	17	16	14	9	193.15	円形	半円状	－		
SB716	P	473	Ⅵb	18	g	3D15・20	25	21	25	14	192.98	円形	U字状	－		
SB716	P	476	Ⅵb	－	－	3D20・25	24	16	26	－	192.86	楕円形	U字状	－		
SB716	P	529	Ⅵb	－	－	4D16	15	14	21	－	192.90	円形	U字状	－		
SB716	P	647	Ⅵb	－	－	4D1・2	18	14	14	－	193.07	楕円形	半円状	－		
SB716	P	652	Ⅵb	－	－	4D7	19	15	12	－	193.07	楕円形	半円状	－		

上層 柱穴列（SA）・掘建柱建物（SB）を構成する柱穴（4）

名称	柱穴名称		検出層位	個別図		グリッド	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	柱痕径（cm）	底面標高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB716	P	669	Ⅶa	－	－	4D11	18	14	13	－	192.83	楕円形	半円状	－		
SB717	P	371	Ⅵb	17	c	4D11	28	21	37	15	192.77	楕円形	U字状	－		
SB717	P	376	Ⅵb	17	d	4D11	26	18	26	13	192.85	楕円形	U字状	－		
SB717	P	378	Ⅵb	－	－	4D11	22	17	29	－	192.81	楕円形	U字状	<P377	土小片	
SB717	P	431	Ⅵb	17	b	3D10,4D6	27	18	32	11	192.85	楕円形	漏斗状	－		
SB717	P	440	Ⅵb	－	－	3D15	31	19	17	－	193.09	楕円形	半円状	－	土長胴甕×小甕（在）	
SB717	P	459	Ⅵb	17	a	3D15	15	13	14	8	192.98	円形	半円状	－		
SB717	P	462	Ⅵb	－	－	3D20	17	13	20	－	192.94	楕円形	U字状	>P464		
SB717	P	482	Ⅵb	－	－	4D16	24	17	17	－	192.92	楕円形	半円状	－		
SB722	P	551	Ⅵb	－	－	3F5	24	20	29	－	192.37	楕円形	U字状	－		
SB722	P	554	Ⅵb	18	c	3F8	25	24	29	9	192.48	円形	U字状	－		
SB722	P	555	Ⅵb	－	－	3F4	17	16	18	－	192.57	円形	U字状	－		
SB722	P	560	Ⅵb	－	－	3E18	27	25	29	－	192.50	円形	U字状	－		
SB722	P	561	Ⅵb	18	a	3E23	27	22	15	12	192.65	楕円形	半円状	－	黒有×無台椀	
SB722	P	562	Ⅵb	18	b	3F2	22	17	20	14	192.50	楕円形	半円状	－		
SB722	P	563	Ⅵb	－	－	3F2・3	29	21	33	12	192.34	楕円形	階段状	－	須有×無台杯	
SB723	P	389	Ⅵb	19	a	3D17	26	25	30	10	192.91	円形	U字状	－		
SB723	P	408	Ⅵb	－	－	3D23	35	28	23	－	192.91	楕円形	弧状	－		
SB723	P	594	Ⅵb	－	－	3D22	24	21	23	－	192.89	円形	半円状	－		
SB723	P	598	Ⅵb	－	－	3D21	25	19	17	－	192.93	楕円形	半円状	－	土小片	
SB723	P	609	Ⅵb	19	b	3D16	27	24	28	9	192.92	円形	U字状	>P664		
SB723	P	1504	Ⅶa	－	－	2D20	12	12	5	－	192.92	円形	半円状			
SB724	P	394	Ⅵb	－	－	3D17	27	21	26	－	192.96	楕円形	半円状	－		
SB724	P	413	Ⅵb	19	a	3D18	22	19	16	－	193.09	円形	半円状	－		
SB724	P	470	Ⅵb	－	－	3D23	18	14	19	－	192.89	楕円形	U字状	－		
SB724	P	592	Ⅵb	－	－	3D22,3E2	23	18	15	－	192.90	楕円形	半円状	－		
SB724	P	595	Ⅵb	－	－	3E1	19	18	17	－	192.89	円形	半円状	－		
SB724	P	610	Ⅵb	－	－	3D16	24	22	26	－	192.94	円形	漏斗状	>P664	須有台杯（28）	
SB724	P	1031	Ⅶa	－	－	3D17	27	17	4	－	193.00	楕円形	弧状			

上層 土坑（SK）・焼土・土器集中地点（SX）

種別	番号	検出層位	分割図	個別図	グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	底面標高（m）	重複関係	報告遺物	備考
SK	4	Ⅵb	図版5	図版9	2C24,2D4	（円形）	台形状	139	（77）	58	192.93	≠ P160	須杯蓋（25）、土無台椀ほか	
焼土	272	Ⅵb	図版6	図版9	3E20・25,4E16・21	不整形	－	182	126	－	－	<P515・516	須杯蓋（26）	焼土厚12cm
焼土	485	Ⅵb	図版5	図版9	3E3	楕円形	（弧状）	35	25	－	－	－		
焼土	507	Ⅵb	図版5	図版9	3E9	楕円形	（弧状）	96	47	－	－	<P506		
焼土	522	Ⅵb	図版5	図版9	3E9	楕円形	弧状	34	19	9	192.87	－		
焼土	523	Ⅵb	図版5	図版9	3E10	楕円形	弧状	26	21	11	192.83	－		
焼土	665	Ⅵb	図版8	図版9	5E1・2・6・7	楕円形	弧状	40	29	7	192.78	－		
SX	64	Ⅵa8	図版6	図版19	3G14・19・24	（楕円形）	－	（217）	（135）	－	191.70	－	須杯蓋・土無台椀・黒無台椀・土鍋（1～12）ほか	出土土器は第5表参照
SX	159	Ⅵa	図版6	図版20	4F12・17	楕円形	－	91	70	－	192.90	－	黒杯蓋・土無台椀（13～24）ほか	出土土器は第5表参照

下層 柱穴列柵（SA）・掘立柱建物（SB）（1）

名称	個別図	分割図	グリッド	長軸（m）	短軸（m）	桁行	梁間	面積（㎡）	平均桁行寸法（m）	平均梁間寸法（m）	主軸方位	報告遺物	備考
SA731	図版26	図版27	2DE、3EF	21.3	－	11	－	－	1.94	－	N-29°-W		
SA732	図版26	図版27	3EF	16.2	－	9	－	－	1.80	－	N-19°-W		
SA733	図版32	図版33	4EF	9.1	－	6	－	－	1.52	－	N-48°-E		
SA749	図版24	図版25	2～4D、4C	14.7	－	7	－	－	2.10	－	N-82°-E		
SA756	図版26	図版27	3EF	2.5	－		－	－	－	－	N-32°-W		
SA757	図版26	図版27	3EF	2.2	－		－	－	－	－	N-39°-W		
SA758	図版26	図版27	3FG	5.3	－		－	－	－	－	N-22°-W		
SA759	図版26	図版27	3FG	3.8	－		－	－	－	－	N-34°-W		
SA760	図版26	図版27	3F	4.8	－		－	－	－	－	N-20°-W		>SB730
SB728	図版34	図版27	4FG	3.6	2.2	3	1	6.4	1.20	2.20	N-20°-W		
SB729	図版34	図版27	3F、4FG	4.3	2.2	4	1	9.0	1.08	2.20	N-70°-E		<SB1997
SB730	図版35	図版27	3・4FG	5.9	3.7	2	2	20.7	2.95	1.85	N-82°-E	土師器無台椀（288）	>SB728・SB1997
SB734	図版34	図版31	5C	6.4	2.6	（4）	（2）	（16.6）	1.60	－	N-15°-E		一部調査区外
SB735	図版34	図版31	5C	6.5	－	（4）	（1）	（13.0）	1.63	－	N-22°-W		一部調査区外
SB736	図版34	図版31	5BC	3.4	3.2	（2）	1	（11.2）	1.70	3.20	N-10°-W		一部調査区外
SB737	図版35	図版31	5C	5.3	－	4	－	－	1.33	－	N-19°-W		一部調査区外
SB738	図版35	図版31	5CD	7.2	2.8	4	2	20.2	1.80	1.40	N-30°-W		一部調査区外
SB739	図版36	図版33	4EF、5E	4.7	3.0	4	1	13.9	1.18	3.00	N-68°-E		
SB740	図版36	図版27	3F	5.5	3.3	4	1	17.8	1.38	3.30	N-82°-E		
SB741	図版36	図版27	3EF	4.7	4.2	4	4	18.4	1.18	1.05	N-10°-W		
SB742	図版36・37	図版27	3E	5.6	2.8	3	1	15.5	1.87	2.80	N-60°-E		

下層 柱穴列柵（SA）・掘立柱建物（SB）（2）

名称	個別図	分割図	グリッド	長軸（m）	短軸（m）	桁行	梁間	面積（㎡）	平均桁行寸法（m）	平均梁間寸法（m）	主軸方位	報告遺物	備考
SB743	図版 37	図版 27	2・3E	5.8	3.0	3	1	16.5	1.93	3.00	N-79°-E		
SB744	図版 37	図版 27	3E、4DE	7.0	4.1	3	2	27.4	2.33	2.05	N-10°-W		>SB1998
SB745	図版 37	図版 33	4DE、5DE	6.9	4.1	3	1	28.3	2.30	4.10	N-18°-W	須恵器無台杯（301）	
SB746	図版 37	図版 31	4・5D	5.8	4.8	3	1	24.9	1.93	4.80	N-10°-W		
SB747	図版 38	図版 23	2D、3DE	6.4	5.3	3	2	33.9	2.13	2.65	N-20°-W		≠ SI1470
SB748	図版 38	図版 23	2・3D	3.4	2.7	3	3	(9.2)	1.13	0.90	N-22°-W		≠ SI1470
SB750	図版 38	図版 23	2D、3CD	5.5	2.4	3	1	13.0	1.83	2.40	N-59°-E		
SB751	図版 38	図版 23	3CD	4.4	2.6	3	1	10.9	1.47	2.60	N-53°-E		
SB752	図版 38	図版 23・31	3・4CD	6.4	5.4	5	4	32.9	1.28	1.35	N-74°-E		>SB2000
SB754	図版 39	図版 23・31	3・4C	4.9	4.3	3	3	17.4	1.63	1.43	N-69°-E		>SB2000
SB1996	図版 38・39	図版 27・29	3・4FG	4.7	4.7	2	2	21.6	2.35	2.35	N-8°-W		<SB1997
SB1997	図版 40	図版 27・29	3・4FG	5.8	4.6	2	2	26.1	2.90	2.30	N-20°-W	土師器無台椀（295・296）	>SB739・1996
SB1998	図版 41	図版 25	3EF、4E	5.6	5.1	3	3	26.0	1.87	1.70	N-12°-W	須恵器甕（244）、須恵器無台杯（287）、土師器有台椀（298）、須恵器長頸瓶（299）	<SB744
SB1999	図版 42	図版 31	4・5D	7.1	7.0	3	2	49.7	2.37	3.50	N-17°-W	須恵器壺蓋（290）	
SB2000	図版 42・43	図版 23・31	3・4C	5.0	4.8	3	3	24.0	1.67	1.60	N-15°-W	須坏蓋（285）、須有台杯（286）、土師器無台椀（300）	<SB752・754

下層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）を構成する柱穴（1）

名称	柱穴名称		グリッド	検出層位	断面図		長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	柱痕径（cm）	底面高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SA731	P	1220	3F25	Ⅶa	−	−	14	12	16	−	192.05	楕円形	半円状	≠ SX1199		
SA731	P	1337	3E11	Ⅶa	−	−	27	25	14	−	192.61	円形	半円状			
SA731	P	1360	2E5	Ⅶa	26	b	25	17	22	11	192.41	楕円形	半円状			
SA731	P	1386	3E17	Ⅶa	−	−	27	18	11	−	192.63	楕円形	台形状			
SA731	P	1391	2E5	Ⅶa	26	a	18	17	14	−	192.33	円形	半円状			
SA731	P	1398	2E10、3E6	Ⅶa	26	c	(25)	(20)	18	8	192.47	楕円形	半円状	<P1368、P1369		
SA731	P	1650	3F8	Ⅶa	−	−	20	18	12	−	192.49	円形	半円状			
SA731	P	1684	3E22	Ⅶa	−	−	28	22	8	−	192.61	楕円形	弧状			
SA731	P	1790	3F9	Ⅶa	−	−	17	15	14	−	192.41	円形	半円状			
SA731	P	1912	3F12・19	Ⅶa	−	−	16	14	5	−	192.53	円形	弧状			
SA731	P	1935	3F3	Ⅶa	−	−	(24)	(18)	22	−	192.47	不明	半円状	<P1538		
SA731	P	1958	2D25	Ⅶa	−	−	16	15	16	−	192.19	楕円形	U 字状			
SA732	P	1211	3F25	Ⅶa	−	−	17	16	26	−	192.03	円形	半円状	≠ SX1199		
SA732	P	1315	3E8	Ⅶa	−	−	22	16	5	−	192.81	楕円形	弧状			
SA732	P	1334	3E8	Ⅶa	−	−	18	15	2	−	192.76	楕円形	弧状	>SD1636		
SA732	P	1377	3E18	Ⅶa	26	d	20	18	10	12	192.62	円形	半円状			
SA732	P	1531	3F14	Ⅶa	−		27	23	5	−	192.57	楕円形	弧状			
SA732	P	1647	3F4	Ⅶa	−		21	18	23	−	192.41	楕円形	半円状			
SA732	P	1691	3F4	Ⅶa	26	f	22	20	16	12	192.44	円形	半円状			
SA732	P	1699	3F9	Ⅶa	26	g	14	13	39	11	192.2	円形	U 字状			
SA732	P	1906	3E19・24	Ⅶa	26	e	22	19	5	−	192.56	円形	半円状	>P1905、≠ P1908		
SA732	P	1915	3F19・20	Ⅶa	−	−	22	19	13	−	192.38	円形	半円状	>P1943		
SA732	P	1943	3F19	Ⅶa	−	−	24	(14)	21	−	192.33	円形	弧状	<P1915		
SA733	P	1054	4F12	Ⅶa	−	−	32	28	7	13	192.46	円形	弧状	≠ P1075		
SA733	P	1066	4F8	Ⅶa	−	−	31	29	19	−	192.32	円形	半円状			
SA733	P	1082	4F5	Ⅶa	−	−	38	34	20	−	192.41	楕円形	半円状		土無台椀・小片	
SA733	P	1083	4F13	Ⅶa	32	b	28	22	16	14	192.41	楕円形	半円状			
SA733	P	1091	4E25	Ⅶa	32	a	27	23	18	12	192.45	楕円形	半円状			
SA733	P	1100	4F4	Ⅶa	−	−	47	42	27	−	192.34	不整形	台形状			
SA733	P	1102	4F4	Ⅶa	−	−	35	32	23	−	192.38	楕円形	弧状			
SA749	P	1455	3D1	Ⅶa	−	−	15	14	4	−	193.29	円形	弧状			
SA749	P	1478	3D3	Ⅶa	−	−	18	15	11	−	193.19	円形	半円状			
SA749	P	1484	2D10	Ⅶa	−	−	13	12	9	−	193.24	楕円形	半円状			
SA749	P	1567	4D1	Ⅶa	−	−	18	12	5	−	193.04	楕円形	半円状			
SA749	P	1571	4C22	Ⅶa	−	−	27	22	12	−	193.01	楕円形	半円状			
SA749	P	1582	3D4	Ⅶa	−	−	16	15	7	−	193.19	円形	弧状			
SA749	P	1854	3D3	Ⅶa	−	−	12	11	5	−	193.25	楕円形	弧状			
SA749	P	1971	3D5	Ⅶa	−	−	18	16	15	−	192.91	円形	半円状			
SA756	P	1667	3E22	Ⅶa	−	−	(14)	(12)	11	−	192.42	円形	半円状	<P1735、>P1751		
SA756	P	1676	3E16・21	Ⅶa	−	−	(24)	(19)	15	−	192.42	円形	階段状	<P1763		
SA756	P	1735	3E21・22	Ⅶa	−	−	24	(15)	21	−	192.31	楕円形	階段状	>P1667		
SA756	P	1736	3E22	Ⅶa	−	−	18	16	14	−	192.38	楕円形	箱状			
SA756	P	1745	3F2	Ⅶa	−	−	12	12	6	−	192.43	円形	箱状			
SA756	P	1751	3E21・22	Ⅶa	−	−	15	14	10	−	192.43	円形	U 字状	<P1667		

下層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）を構成する柱穴（2）

名称	柱穴名称		グリッド	検出層位	断面図		長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	柱痕径（cm）	底面高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SA756	P	1754	3E21	Ⅶa	－	－	16	14	9	－	192.42	円形	半円状	<P1752		
SA756	P	1763	3E16・21	Ⅶa	－	－	16	15	15	－	192.41	円形	漏斗状	>P1676		
SA756	P	1768	3E21	Ⅶa	－	－	16	15	7	－	192.43	円形	弧状			
SA756	P	1769	3E21	Ⅶa	－	－	17	16	15	－	192.36	円形	漏斗状			
SA757	P	1671	3E21	Ⅶa	－	－	10	10	8	－	192.29	円形	半円状			
SA757	P	1673	3E21	Ⅶa	－	－	18	14	18	－	192.19	楕円形	U字状			
SA757	P	1731	3E21	Ⅶa	－	－	14	12	11	－	192.25	楕円形	U字状	>P1674		
SA757	P	1732	3E21	Ⅶa	－	－	17	14	11	－	192.26	楕円形	半円状			
SA757	P	1741	3F2	Ⅶa	－	－	12	11	13	－	192.34	円形	半円状			
SA757	P	1747	3F1・2	Ⅶa	－	－	18	17	12	－	192.29	円形	箱状			
SA757	P	1748	3F2	Ⅶa	－	－	20	18	18	－	192.25	円形	漏斗状			
SA757	P	1749	3F2	Ⅶa	－	－	20	19	12	－	192.32	円形	箱状			
SA758	P	1011	3F18	Ⅶa	－	－	28	25	5	－	191.2	円形	台形状	>SD1525	土小甕（陸）	
SA758	P	1132	3G9	Ⅶa	－	－	17	17	25	－	191.69	円形	半円状	>SR1001		
SA758	P	1133	3G3・4	Ⅶa	－	－	(56)	(30)	34	－	191.75	楕円形	階段状	>SR1001、≠P1157、<P1195	土長胴甕×鍋（ロクロ）、黒小片	
SA758	P	1151	3F23	Ⅶa	－	－	37	26	34	－	191.76	楕円形	箱状	>SR1001、≠P1156		
SA758	P	1152	3G4・9	Ⅶa	－	－	22	18	9	－	191.89	楕円形	半円状	>SR1001		
SA758	P	1153	3F23	Ⅶa	－	－	29	25	22	－	191.86	円形	台形状	>SR1001	須小片（D）	
SA758	P	1157	3G3・4	Ⅶa	－	－	36	24	27	－	191.83	楕円形	半円状	>SR1001、≠P1133		
SA758	P	1195	3G3	Ⅶa	－	－	14	13	5	－	191.97	円形	台形状	>SR1001、>P1133	土小片	
SA758	P	1200	3F23	Ⅶa	－	－	25	21	17	－	191.93	楕円形	箱状			
SA758	P	1201	3F23	Ⅶa	－	－	26	22	8	－	192.04	楕円形	箱状			
SA758	P	1707	3F18	Ⅶa	－	－	22	21	13	－	192.01	円形	半円状	>SD1525		
SA758	P	1709	3F18	Ⅶa	－	－	17	17	9	－	192.15	円形	半円状	>SD1525		
SA759	P	1067	3G10	Ⅶa	－	－	16	16	15	－	192.05	円形	U字状			
SA759	P	1155	3G4	Ⅶa	－	－	17	15	19	－	192	円形	半円状			
SA759	P	1213	3G4	Ⅶa	－	－	42	19	28	－	191.98	楕円形	階段状		土小片	
SA759	P	1214	3G4	Ⅶa	－	－	41	23	10	－	192.13	楕円形	台形状			
SA759	P	1215	3G4	Ⅶa	－	－	18	16	11	－	192.17	円形	半円状		土武蔵型甕	
SA759	P	1217	3F24・3G4	Ⅶa	－	－	16	16	28	－	191.97	円形	U字状			
SA759	P	1989	3F24	Ⅶa	－	－	25	21	30	－	191.93	楕円形	U字状	<SD1191		
SA760	P	1202	3F24	Ⅶa	－	－	28	26	25	－	192.1	円形	V字状	>P1193	土無台椀	
SA760	P	1218	3F24	Ⅶa	－	－	22	19	7	－	192.22	円形	半円状			
SA760	P	1528	3F13	Ⅶa	－	－	16	14	14	－	192.38	円形	半円状			
SA760	P	1592	3F24	Ⅶa	－	－	42	25	23	－	192.17	楕円形	漏斗状			
SA760	P	1599	3F20	Ⅶa	－	－	23	17	24	－	192.19	楕円形	U字状		赤土小片、土有×無台椀	
SA760	P	1710	3F18	Ⅶa	－	－	22	19	20	－	192.25	円形	U字状	<P1775	土有×無台椀	
SA760	P	1713	3F18	Ⅶa	－	－	16	15	7	－	192.4	円形	弧状			
SA760	P	1714	3F18	Ⅶa	－	－	16	16	10	－	192.38	円形	半円状			
SA760	P	1775	3F18	Ⅶa	－	－	(18)	(15)	12	－	192.35	楕円形	台形状	>P1710		
SB728	P	1041	4G6	Ⅶa	34	c	30	28	35	14	191.69	円形	U字状			
SB728	P	1056	4G2・3	Ⅶa	34	e	24	23	13	16	192.02	円形	半円状	<SD1064		
SB728	P	1085	4F22	Ⅶa	34	d	30	29	29	－	191.9	円形	箱状		須有×無台杯、土長胴甕×小甕（在）	
SB728	P	1093	4F22	Ⅶa	－	－	(74)	(60)	55	－	191.63	楕円形	台形状	<P1149	土小片	
SB728	P	1179	4G1	Ⅶa	34	b	44	37	19	－	191.85	楕円形	半円状		土長胴甕×小甕（在）	
SB728	P	1216	4F21	Ⅶa	34	a	45	44	30	－	191.8	円形	台形状	>SX1199		
SB728	P	1962	4G1	Ⅶa	－	－	37	36	12	－	191.92	円形	階段状		土無台椀	
SB729	P	1045	4G1	Ⅶa	－	－	42	38	9	－	192.01	楕円形	箱状	≠P1966	土有×無台椀・長胴甕×鍋(恵)・長胴甕×小甕(在)	
SB729	P	1094	4F22	Ⅶa	34	a	40	32	27	－	191.93	楕円形	半円状			
SB729	P	1112	4G2	Ⅶa	－	－	30	24	9	－	192.06	楕円形	台形状	<SD1097		
SB729	P	1135	4G2	Ⅶa	－	－	34	31	21	－	191.87	円形	台形状			
SB729	P	1987	4G2	Ⅶa	－	－	20	18	9	－	192.07	楕円形	U字状			
SB729	SK	1188	4F21	Ⅶa	34	b	(112)	(100)	30	－	191.56	方形	箱状	<SK1098、P1092・1101・1159		
SB729	SK	1219	4F21	Ⅶa	34	c	100	68	15	－	191.9	長方形	弧状	>SX1199、SX1199-P3		
SB729	SX	1199-P4	3F25	Ⅶa	－		30	28	6	－	192.01					
SB730	P	1087	4F22	Ⅶa	35	a	48	38	13	－	192.08	楕円形	弧状			
SB730	P	1095	4G2	Ⅶa	35	f	44	44	57	28	191.5	円形	漏斗状	<SD1064、>P1976	土無台椀（288）	
SB730	P	1130	4G6	Ⅶa	35	g	56	48	55	16	191.52	長方形	半円状	>P1980	土長胴甕×小甕（在）	
SB730	P	1149	4G2	Ⅶa	35	d	45	39	31	18	191.86	方形	台形状	>SD1064・P1093	土小甕（ロクロ）	
SB730	P	1163	3G5	Ⅶa	35	e	34	31	54	12	191.58	円形	U字状	>SK1175・P1204		
SB730	SX	1199-P1	3F25、4F21	Ⅶa	35	b	70	39	34	16	191.69					
SB730・SA759	P	1190	3G4	Ⅶa	－	－	24	23	19	－	192.05	円形	階段状		土小片	
SB730	P	1193	3F24	Ⅶa	35	c	102	96	58	58	191.79	円形	台形状	<P1202	須無台杯・有台杯、土有×無台椀・長胴甕×小甕（在）・	

下層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）を構成する柱穴（3）

名称	柱穴名称		グリッド	検出層位	断面図		長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	柱痕径（cm）	底面高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB734	P	3001	5C4	Ⅶa	－	－	24	22	14	－	193.45	円形	台形状			
SB734	P	3012	5C3	Ⅶa	－	－	32	30	7	－	193.39	円形	弧状			
SB734	P	3017	5C9	Ⅶa	－	－	17	16	3	－	193.49	円形	台形状			
SB734	P	3035	5C14	Ⅶa	－	－	22	20	18	－	193.32	円形	半円状			
SB734	P	3041	5C14	Ⅶa	－	－	20	17	9	－	193.35	円形	台形状			
SB734	P	3072	5C19	Ⅶa	－	－	14	12	10	－	193.23	円形	半円状			
SB735	P	3007	5C3	Ⅶa	－	－	23	21	8	－	193.49	円形	台形状			
SB735	P	3009	5C9	Ⅶa	－	－	24	19	14	－	193.39	楕円形	半円状			
SB735	P	3010	5C9	Ⅶa	－	－	24	21	18	－	193.35	楕円形	半円状			
SB735	P	3039	5C14	Ⅶa	－	－	21	19	14	－	193.29	円形	半円状			
SB735	P	3078	5C20	Ⅶa	－	－	17	16	13	－	193.21	円形	台形状			
SB736	P	3005	5C3	Ⅶa	－	－	29	25	16	－	193.4	円形	半円状			
SB736	P	3008	5B24	Ⅶa	－	－	21	20	28	－	193.3	円形	U字状	>SD3157		
SB736	P	3016	5C4	Ⅶa	－	－	29	26	10	－	193.46	円形	弧状	>SD3157		
SB736	P	3028	5C9	Ⅶa	－	－	18	16	14	－	193.41	円形	半円状			
SB736	P	3085	5C3	Ⅶa	－	－	23	22	12	－	193.4	円形	半円状		土小片	
SB736	P	3087	5C8	Ⅶa	－	－	23	22	6	－	193.41	円形	台形状		土長胴甕×小甕（在）	
SB737	P	3030	5C9	Ⅶa	－	－	24	19	15	－	193.37	楕円形	半円状			
SB737	P	3036	5C4	Ⅶa	－	－	16	15	18	－	193.39	円形	U字状			
SB737	P	3064	5C14	Ⅶa	－	－	(56)	47	16	－	193.27	方形	階段状		土有×無台椀	
SB737	P	3084	5C3	Ⅶa	－	－	(16)	(10)	(8)	－	193.51	楕円形	半円状			
SB737	P	3113	5C9	Ⅶa	－	－	19	18	8	－	193.37	円形	台形状			
SB738	P	3045	5C22	Ⅶa	－	－	52	48	20	－	193	円形	半円状	>SD3158		
SB738	P	3055	5D4	Ⅶa	－	－	36	32	7	－	193.03	円形	台形状			
SB738	P	3065	5C24	Ⅶa	－	－	26	25	23	－	193	円形	台形状		土小片	
SB738	P	3075	5D3	Ⅶa	－	－	(30)	(27)	18	－	192.87	円形	台形状	>P3048		
SB738	P	3112	5C22	Ⅶa	－	－	27	24	21	－	192.91	円形	半円状			
SB738	P	3115	5C24	Ⅶa	－	－	32	30	6	－	193.12	円形	弧状			
SB738	P	3139	5C17	Ⅶa	－	－	40	32	28	－	192.97	円形	半円状			
SB738	P	3166	5D14	Ⅶa	－	－	49	41	7	－	192.93	円形	台形状	≠ SK3108		
SB739	P	1068	4F4	Ⅶa	－	－	28	22	32	－	192.33	楕円形	半円状		土長胴甕×小甕（在地型）	
SB739	P	1071	4F4	Ⅶa	36	c	30	24	16	－	192.45	楕円形	半円状		土小片	
SB739	P	1074	4E25	Ⅶa	36	b	24	22	9	10	192.54	円形	半円状		土有×無台椀	
SB739	P	1076	4F3	Ⅶa	36	d	31	30	21	－	192.41	円形	台形状		土小片	
SB739	P	1077	4F10	Ⅶa	36	e	67	38	25	－	192.24	楕円形	半円状		土無台椀	
SB739	P	1084	5E21	Ⅶa	36	a	36	34	28	16	192.35	円形	半円状		須無台杯	
SB739	P	1109	4F9	Ⅶa	36	f	39	36	19	－	192.33	円形	半円状			
SB740	P	1537	3F8	Ⅶa	－	－	18	15	11	－	192.44	楕円形	半円状			
SB740	P	1658	3F7	Ⅶa	－	－	18	17	8	－	192.23	円形	弧状			
SB740	P	1688	3F10	Ⅶa	－	－	36	34	6	－	192.54	円形	U字状			
SB740	P	1700	3F9	Ⅶa	36	a	22	19	19	11	192.38	円形	U字状		黒小片	
SB740	P	1724	3F7・8	Ⅶa	－	－	23	16	33	－	192.3	楕円形	漏斗状			
SB740	P	1913	3F15・20	Ⅶa	－	－	32	31	13	－	192.37	円形	半円状		黒無台椀	
SB740	P	1712	3F13・18	Ⅶa	－	－	22	18	8	－	192.42	楕円形	弧状			
SB741	P	549	3F5	Ⅵb	－	－	2700	2400	2200	－	192.50	円形	半円状	-	土小片	
SB741	P	1394	3F3・4	Ⅶa	－	－	18	16	15	－	192.52	楕円形	半円状		須有台杯(C)・無台杯(B)、土有×無台椀、長胴甕×小甕(在)・長胴甕×鍋(恵)	
SB741	P	1533	3F9・14	Ⅶa	－	－	25	24	6	－	192.55	円形	弧状			
SB741	P	1542	3F13・14	Ⅶa	－	－	19	18	12	－	192.48	円形	半円状			
SB741	P	1680	3E25・3F5	Ⅶa	－	－	32	27	16	－	192.42	楕円形	半円状			
SB741	P	1689	3F3	Ⅶa	36	b	16	16	8	11	192.6	円形	半円状			
SB741	P	1781	3F5	Ⅶa	－	－	30	25	17	－	192.33	楕円形	半円状			
SB741	P	1794	3F8	Ⅶa	－	－	19	18	6	－	192.44	円形	箱状			
SB741	P	1800	3F13	Ⅶa	－	－	24	21	16	－	192.33	円形	箱状			
SB741	P	1909	3E24・4	Ⅶa	－	－	20	15	17	－	192.4	楕円形	半円状			
SB741	P	1910	3F10	Ⅶa	－	－	36	31	17	－	192.45	楕円形	半円状			
SB741	P	1919	3F2	Ⅶa	－	－	16	15	9	－	192.55	円形	台形状	<P1941		
SB741	P	1932	3F7・8	Ⅶa	36	a	32	22	20	12	192.35	楕円形	半円状			
SB741	P	1946	3F2・3	Ⅶa	－	－	25	22	11	－	192.49	円形	半円状			
SB742	P	1033	3E12・17	Ⅶa	－	－	38	31	9	－	192.68	楕円形	弧状	>SK1627		
SB742	P	1389	3E16	Ⅶa	－	－	24	21	16	－	192.55	円形	弧状			
SB742	P	1618	3E13	Ⅶa	36	a	39	22	5	－	192.71	長方形	弧状	>P1619	須有台杯（E）、土武蔵型甕	
SB742	P	1666	3E22	Ⅶa	－	－	26	21	14	－	192.48	楕円形	箱状			
SB742	P	1682	3E23	Ⅶa	37	d	19	18	21	14	192.5	円形	弧状			
SB742	P	1683	3E23	Ⅶa	37	d	36	30	8	－	192.63	楕円形	半円状	>SD1651		
SB742	P	1687	3E18	Ⅶa	37	c	25	20	6	－	192.63	楕円形	箱状	>P1652		
SB742	P	1901	3E19	Ⅶa	36	b	26	25	14	11	192.56	円形	階段状			
SB743	P	1024	3E11・12	Ⅶa	37	a	80	71	25	10	192.19	円形	階段状	>SD1382・1625	土無台椀	
SB743	P	1305	3E3・4	Ⅶa	－	－	60	53	21	－	192.71	円形	漏斗状			
SB743	P	1327	3E9	Ⅶa	－	－	44	38	26	－	192.53	円形	半円状			

下層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）を構成する柱穴（4）

名称	柱穴名称		グリッド	検出層位	断面図		長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	柱痕径（cm）	底面高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB743	P	1330	3E1・2	Ⅶa	－	－	39	39	4	－	192.84	円形	弧状			
SB743	P	1335	3E8・13	Ⅶa	－	－	46	41	8	－	192.7	楕円形	弧状			
SB743	P	1374	2E5・3E1	Ⅶa	－	－	20	19	9	－	192.63	円形	半円状			
SB743	P	1638	3E11	Ⅶa	－	－	46	38	16	－	192.53	楕円形	半円状			
SB744	P	1128	4E12	Ⅶa	37	b	43	34	30	24	192.49	楕円形	台形状			
SB744	P	1140	4E11・16	Ⅶa	37	a	32	27	18	－	192.54	楕円形	半円状	>SK1810		
SB744	P	1143	3E15	Ⅶa	－	－	30	29	13	－	192.64	円形	半円状		土小片	
SB744	P	1148	4E13	Ⅶa	37	c	56	47	25	－	192.53	円形	半円状			
SB744	P	1150	4E7	Ⅶa	－	－	31	25	13	－	192.66	楕円形	半円状			
SB744	P	1164	4E2	Ⅶa	－	－	32	29	8	－	192.73	円形	弧状			
SB744	P	1171	4D22	Ⅶa	－	－	22	15	10	－	192.73	楕円形	半円状			
SB745	P	1125	5E6	Ⅶa	－	－	44	40	22	－	192.61	円形	半円状		土長胴甕（陸）・武蔵型甕	
SB745	P	1126	4E5	Ⅶa	－	－	38	36	13	－	192.76	円形	箱状			
SB745	P	1173	4D25	Ⅶa	－	－	29	27	6	－	192.94	円形	弧状			
SB745	P	1234	5D16	Ⅶa	－	－	26	23	14	－	192.86	円形	半円状		土無台椀、黒無台椀	
SB745	P	1254	5E11	Ⅶa	－	－	(26)	23	9	－	192.74	楕円形	半円状			
SB745	P	3104	5D17	Ⅶa	－	－	52	48	16	－	192.81	円形	台形状		須無台杯（301）、土有×無台椀･長胴甕×鍋（恵）、黒無台椀	
SB746	P	1174	5D21	Ⅶa	－	－	39	34	25	－	192.7	円形	台形状			
SB746	P	1180	4D25	Ⅶa	－	－	40	36	13	－	192.84	楕円形	弧状		土小片	
SB746	P	1225	4D20	Ⅶa	－	－	33	30	15	－	192.87	円形	台形状		土小片	
SB746	P	1226	4D14	Ⅶa	－	－	42	36	18	－	192.94	円形	半円状	>SD1233		
SB746	P	1258	4D15	Ⅶa	－	－	33	32	15	－	192.91	円形	漏斗状	>SD1233		
SB746	P	3154	5D22	Ⅶa	－	－	28	26	5	－	192.96	円形	台形状			
SB747	P	1036	3D22	Ⅶa	－	－	24	21	12	－	192.85	楕円形	半円状			
SB747	P	1038	3D18	Ⅶa	－	－	22	20	13	－	192.93	円形	弧状			
SB747	P	1321	3D21・3E1	Ⅶa	－	－	27	16	7	－	192.86	楕円形	半円状			
SB747	P	1457	2D14	Ⅶa	－	－	18	16	15	－	192.92	円形	箱状			
SB747	P	1463	2D20	Ⅶa	－	－	18	17	16	－	192.94	円形	半円状			
SB747	P	1482	3D6	Ⅶa	－	－	16	12	9	－	193.18	楕円形	半円状			
SB747	P	1510	2D25	Ⅶa	－	－	19	14	4	－	192.89	楕円形	半円状			
SB748	P	1458	2D15	Ⅶa	－	－	14	12	14	－	192.97	円形	半円状			
SB748	P	1464	2D20	Ⅶa	－	－	15	14	7	－	193.03	円形	半円状			
SB748	P	1483	2D15	Ⅶa	－	－	10	9	7	－	193.16	楕円形	半円状			
SB748	P	1503	2D20	Ⅶa	－	－	19	18	10	－	192.87	円形	半円状			
SB748	P	1506	3D16	Ⅶa	－	－	18	15	8	－	192.89	楕円形	弧状			
SB748	P	1507	3D16	Ⅶa	－	－	14	14	7	－	192.91	円形	半円状			
SB748	P	1509	2D20・25	Ⅶa	－	－	19	14	9	－	192.87	楕円形	弧状			
SB748	P	1778	3D17	Ⅶa	－	－	16	12	11	－	192.93	楕円形	半円状			
SB750	P	1406	3C21	Ⅶa	－	－	27	24	7	－	193.32	円形	半円状			
SB750	P	1440	2D5	Ⅶa	－	－	16	14	11	－	193.25	円形	半円状			
SB750	P	1446	3D6	Ⅶa	－	－	14	12	7	－	193.2	円形	弧状			
SB750	P	1469	2D10	Ⅶa	－	－	22	21	8	－	193.19	円形	半円状			
SB750	P	1472	2D4	Ⅶa	－	－	16	15	5	－	193.28	円形	弧状			
SB750	P	1479	3D2	Ⅶa	－	－	12	11	8	－	193.2	円形	半円状			
SB750	P	1480	3D2	Ⅶa	－	－	19	15	8	－	193.21	楕円形	弧状			
SB751	P	1405	3C17・22	Ⅶa	－	－	24	22	7	－	193.29	円形	半円状			
SB751	P	1407	3C21	Ⅶa	－	－	25	22	10	－	193.29	円形	半円状			
SB751	P	1409	3D2	Ⅶa	－	－	47	41	15	－	193.18	円形	弧状			
SB751	P	96	3D2	Ⅵb	－	－	2900	2300	2600	－	193.23	楕円形	半円状	-		
SB751	P	1436	3C18	Ⅶa	－	－	16	15	10	－	193.26	円形	半円状			
SB751	P	1437	3C21・22	Ⅶa	－	－	20	18	6	－	193.31	円形	弧状			
SB751	P	1811	3C23	Ⅶa	－	－	22	18	9	－	193.2	楕円形	台形状			
SB752	P	191	4D3	Ⅵb	－	－	3000	2400	1600	－	193.12	楕円形	弧状	-		
SB752	P	1232	4D8	Ⅶa	－	－	19	18	7	－	193.05	円形	半円状			
SB752	P	1251	4D7	Ⅶa	－	－	18	16	8	－	192.96	円形	弧状			
SB752	P	1272	4C23	Ⅶa	38	b	32	26	8	12	193.1	楕円形	階段状	>P1273		
SB752	P	1273	4C23	Ⅶa	－	－	(36)	(34)	13	－	193.06	円形	弧状	<P1272		
SB752	P	1282	4C18	Ⅶa	38	a	18	16	12	8	193.1	円形	階段状	>P1826		
SB752	P	1288	4D6	Ⅶa	－	－	(30)	(24)	5	－	192.9	楕円形	弧状	<P1259		
SB752	P	1289	3D5	Ⅶa	38	d	38	34	49	－	192.58	円形	V字状			
SB752	P	1297	3D10	Ⅶa	－	－	28	28	6	－	192.98	円形	弧状			
SB752	P	1298	3C25	Ⅶa			34	33	28	－	192.99	円形	台形状	>P1576・1872		
SB752	P	1555	4D6	Ⅶa	38	e	30	27	9	20	192.88	円形	半円状			
SB752	P	1561	3C25	Ⅶa	－	－	24	19	16	－	193.1	楕円形	半円状			
SB752	P	1565	3C20	Ⅶa	－	－	24	21	27	－	192.94	円形	半円状			
SB752	P	1855	3D5	Ⅶa	38	c	29	27	22	12	192.91	円形	半円状			
SB752	P	1864	3C20	Ⅶa	－	－	18	17	17	－	192.98	円形	半円状			
SB752	P	1884	4C18	Ⅶa	－	－	(23)	(21)	11	－	193.05		台形状	<P1861		
SB752	P	1968	3C25	Ⅶa	－	－	23	21	15	－	192.99	円形	箱状			

下層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）を構成する柱穴（5）

名称	柱穴名称		グリッド	検出層位	断面図		長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	柱痕径（cm）	底面高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB754	P	1283	4C18	Ⅶa	39	b	38	34	17	18	193.03	楕円形	階段状	>P1826		
SB754	P	1554	4C7	Ⅶa	－	－	15	14	7	－	193.21	円形	半円状			
SB754	P	1564	4C21	Ⅶa	－	－	30	29	13	－	193.06	円形	階段状			
SB754	P	1801	3C20	Ⅶa	39	c	38	38	25	14	192.97	円形	階段状	>P1824		
SB754	P	1804	3C20	Ⅶa	39	a	(40)	(32)	21	21	193.05	円形	半円状	<P1578、>P1820	須杯蓋（C）、土無台椀	
SB754	P	1821	4C22	Ⅶa	－	－	29	20	16	－	193	楕円形	半円状			
SB754	P	1865	3C15	Ⅶa	－	－	30	28	4	－	193.24	円形	箱状			
SB754	P	1867	4C18	Ⅶa	－	－	21	16	11	－	193.05	楕円形	半円状			
SB1996	P	1088	4G2	Ⅶa	38	f	36	33	27	－	191.86	円形	台形状	>P1114	土長胴甕（恵）	
SB1996	SK	1098	4F22	Ⅶa	39	e	50	36	28	22	191.88	楕円形	台形状	>P1159・SK1188		
SB1996	P	1196	3G5	Ⅶa	－	－	38	24	34	－	191.83	楕円形	箱状			
SB1996	SX	1199-P3	3F25、4F21	Ⅶa	39	b	47	28	15	12	191.7			>SK1219		
SB1996	P	1598	3F20	Ⅶa	－	－	113	92	67	－	191.65	楕円形	箱状	≠ SX1199・SK1286	黒小片	
SB1996	P	1600	3F20	Ⅶa	39	a	(152)	(110)	96	－	191.53	楕円形	箱状	>SX1199・SD1595、<P1594	須杯蓋（C）・無台杯（B）・壺瓶類（E）・甕（C）、土有×無台椀・長胴甕（恵）、黒小片	
SB1996	P	1966	4G1	Ⅶa	39	c	71	64	52	21	191.52	方形	箱状	≠ P1045		
SB1996	SK	1042	4F16・17	Ⅶa	39	d	76	54	48	38	191.91	楕円形	階段状	>SK1099	土有×無台椀・小甕（恵）	
SB1997	P	1101	4F22	Ⅶa	40	d	89	65	46	－	191.76	楕円形	V字状	>SD1097・SK1188		
SB1997	P	1122	4G6	Ⅶa	－	－	36	30	18	－	191.82	円形	台形状	>SK1979		
SB1997	SK	1175	4G1	Ⅶa	40	c	(74)	(69)	15	－	191.9	楕円形	箱状	<P1204・1163		
SB1997	SK	1286	3F20	Ⅶa	40	b	137	97	54	24	191.81	楕円形	V字状	>SX1199、≠ P1598	須無台杯（246）、須有台杯（C）・壺瓶類、土有×無台椀・武蔵型甕	
SB1997	P	1594	3F24	Ⅶa	40	a	78	73	62	51	191.79	方形	台形状	>P1600	土無台椀（295・296）、土有×無台椀・長胴甕×小甕（在）・武蔵型甕、黒鉢・有×無台椀	
SB1997	P	1832	3G5	Ⅶa	－	－	85	71	44	－	191.8	楕円形	台形状			
SB1997	P	1976	4G2	Ⅶa	40	e	(92)	(56)	54	－	191.51	楕円形	台形状	<SD1064・1964、P1095・1120・1967・1975・1981	須杯蓋（C）、土小片	
SB1998	P	1136	3E10	Ⅶa	－	－	13	11	7	－	192.71	円形	半円状			
SB1998	P	1138	3E15	Ⅶa	－	－	96	60	29	－	192.47	楕円形	階段状			
SB1998	P	1329	3E18	Ⅶa	41	b	58	51	35	－	192.39	円形	階段状	<SD1620	土有×無台椀	
SB1998	P	1346	3E9・14	Ⅶa	41	h	74	55	43	30	192.32	楕円形	U字状		須無台杯（E）、土無台椀	
SB1998	P	1354	3E13・14	Ⅶa	41	e	40	37	26	28	192.53	円形	U字状		土無台椀	
SB1998	P	1612	3E14・19	Ⅶa	41	f	(57)	(44)	32	18	192.39	楕円形	階段状	<P1379、>P1617	土長胴甕×鍋（恵）	
SB1998	P	1619	3E13	Ⅶa	41	a	(63)	(62)	34	23	192.42	方形	箱状	<P1618・1628、>SD1629	土有台椀（298）	
SB1998	P	1668	3E19・24	Ⅶa	41	g	(74)	58	22	－	192.44	楕円形	台形状	<P1695		
SB1998	P	1693	3E24・25	Ⅶa	－	－	68	46	53	－	192.13	楕円形	U字状		土長胴甕×小甕（在）	
SB1998	P	1696	3E24・3F4	Ⅶa	41	d	74	60	51	－	192.12	楕円形	半円状		須無台杯（287）・長頸瓶（299）、土長胴甕×小甕（在）	
SB1998	P	1697	3E18・23	Ⅶa	41	c	70	58	47	24	192.22	楕円形	半円状	>P1908	須有台杯（E）、土鍋（恵）	
SB1998	P	1940	3E25	Ⅶa	－	－	52	45	21	－	192.55	円形	半円状	>P1951		
SB1998	P	1949	4E16・21	Ⅶa	41	k	(50)	(35)	20	18	192.5	楕円形	半円状	<P1942		
SB1998	P	1951	3E25	Ⅶa	－	－	(45)	(37)	15	－	192.59	楕円形	半円状	<P1940	土有×無台椀・武蔵型甕、黒無台椀	
SB1998	SK	1810	4E16	Ⅶa	41	i・j	92	57	26	－	192.46	楕円形	半円状	<P1140	須杯蓋（C）、土有×無台椀、長胴甕×小甕（在）・長胴甕×鍋（恵）	
SB1999	P	1162	4D22	Ⅶa	42	d	43	42	42	－	192.4	円形	台形状			
SB1999	P	1187	4D17	Ⅶa	42	c	47	38	36	23	192.48	長方形	箱状		須無台杯（E）、土有×無台椀・長胴甕×小甕（在）・長胴甕（恵）・	
SB1999	P	1246	5D16	Ⅶa	42	i	64	53	39	－	192.65	楕円形	箱状			
SB1999	P	1255	4D24	Ⅶa	42	f	52	46	33	－	192.65	方形	U字状			
SB1999	P	1256	4D12	Ⅶa	42	b	45	36	31	－	192.61	楕円形	U字状	>SK1257	黒有×無台椀	
SB1999	P	1259	4D6	Ⅶa	42	a	43	38	21	15	192.76	楕円形	台形状	>P1288	須無台杯（E）、土小片、黒小片	
SB1999	P	1262	4D15	Ⅶa	42	h	52	36	35	－	192.77	楕円形	箱状	<SD1228	須壺蓋（290）、須杯蓋（CE）、土無台椀・長胴甕×鍋（恵）	
SB1999	P	1275	4D10	Ⅶa	42	g	(41)	(19)	18	－	192.97	円形	半円状			
SB1999	P	1866	4D3	Ⅶa	42	e	72	71	40	－	192.75	円形	台形状		須杯蓋（E）・無台杯（B）、土無台椀、黒有×無台椀	
SB2000	P	1051	4C21	Ⅶa	43	c	64	64	61	39	192.6	方形	V字状	>P1872	須杯蓋（285）	
SB2000	P	1292	4C22	Ⅶa	43	g	80	69	38	－	192.78	円形	台形状			
SB2000	P	1563	4C12	Ⅶa	43	i	74	73	42	31	192.78	方形	箱状			
SB2000	P	1819	3C15	Ⅶa	43	d	71	64	49	43	192.76	方形	箱状		須有台杯、土有×無台椀・長胴甕×小甕（在）	

下層 柱穴列（SA）・掘立柱建物（SB）を構成する柱穴（6）

名称	柱穴名称		グリッド	検出層位	断面図		長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	柱痕径（cm）	底面高（m）	平面形	断面形	重複関係	出土遺物	備考
SB2000	P	1820	3C20	Ⅶa	43	a	（78）	（67）	47	18	192.78	長方形	箱状	<P1804、、>SD1857・P1893	土無台椀（300）、須有台杯（C）	
SB2000	P	1823	4C6	Ⅶa	43	f	66	65	31	21	192.92	方形	箱状			
SB2000	P	1824	3C25	Ⅶa	43	b	（70）	（54）	32	22	192.83	長方形	箱状	<P1801	土有×無台椀・長胴甕×鍋（恵）・長胴甕×小甕（在）	
SB2000	P	1826	4C18	Ⅶa	43	j	79	73	34	25	192.84	方形	半円状	<P1281・1282・1283		
SB2000	P	1827	3C15	Ⅶa	42	l	60	60	38	27	192.91	方形	箱状		土小片	
SB2000	P	1828	4C21	Ⅶa	43	e	70	70	40	22	192.72	方形	半円状	P1583	土小片	
SB2000	P	1839	4C23	Ⅶa	43	k	59	57	46	30	192.72	方形	箱状		須有台杯（286）、土無台椀	
SB2000	P	1840	4C7	Ⅶa	43	h	69	69	44	31	192.78	方形	箱状		土小片	

下層　土坑ほか（SK・SX）

名称	グリッド	個別図	分割図	検出層位	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深度（cm）	底面標高（m）	重複関係	出土遺物	備考
SK1046	4F10	32	33	Ⅶa	楕円形	弧状	76	66	20	192.28		須有台杯（CE）、土無台椀	
SK1065	4G7	28	29	Ⅶa	楕円形	半円状	（102）	72	16	191.87	<SD1064	土小片	
SK1099	4F11・12・16・17	28	29	Ⅶa	楕円形	半円状	（101）	75	45	191.99	<SK1042	両黒無台杯（239）、土小甕（恵）、黒無台椀	
SK1186	5D21		33	Ⅶa	楕円形	弧状	103	90	20	192.81		須甕（C）、土無台椀・長胴甕×鍋（恵）	
SK1189	5D21		33	Ⅶa	楕円形	半円状	60	48	21	192.73		土長胴甕×小甕（在）	
SK1224	4D20	30	31	Ⅶa	長方形	台形状	165	98	12	192.97	>SD1233	須有台杯（240）	
SK1241	4E1	32	33	Ⅶa	不整形	弧状	152	92	6	192.72		土小甕（241 ～ 243）	
SK1257	4D12	42	31	Ⅶa	楕円形	台形状	（76）	61	12	192.80	P1256		
SK1276	4D16	22	23	Ⅶa	楕円形	台形状	124	88	15	192.74	>SK1577		
SK1417	3C4・5・9・10	22	23	Ⅶa	楕円形	箱状	180	53	28	193.02		須無台杯（C）、土長胴甕×小甕（在）	
SK1577	4D16	22	23	Ⅶa	不整形	台形状	151	135	20	192.69	>SD1263・SK1276	須無台杯	
SK1627	3E12・13・17・18	28	29	Ⅶa	楕円形	箱状	176	154	20	192.56	<P1033・1310・1626・1632、SD1629、>P1621、SD1622・1625	須甕・有台杯（244・245）、須杯蓋（C）、土無台椀・長胴甕×小甕（在）・長胴甕×鍋（信・恵）・小甕（恵）、黒小片	
SK1702	3F3	28	29	Ⅶa	不整形	弧状	100	91	19	192.46	>P1953、≠ P1646・1939	土無台椀・長胴甕×鍋（恵）	
SK1877	4B12		31	Ⅶa	楕円形	弧状	（81）	（70）	11	193.26			
SK1979	4G6	28	29	Ⅶa	不整形	台形状	104	（66）	17	191.80	<P1122・SD1895		
SK3056	5D25		31	Ⅶa	楕円形	弧状	（156）	（62）	16	192.92	>SK3160、<P3173	須杯蓋・無台杯、土無台椀、黒無台椀（246 ～ 251）、須杯蓋（C）・有台杯（C）・無台杯（B・E）、土無台椀・小甕（恵）・羽釜、灰瓶類	
SK3079	5D9		31	Ⅶa	楕円形	台形状	126	61	28	192.67			
SK3108	5D14		31	Ⅶa	円形	台形状	（125）	110	12	192.89	≠ P3166	須有台杯（247）、土小片	
SK3126	5D19	30	31	Ⅶa	不整形	台形状	230	（170）	27	192.72	<P3134・3142	須杯蓋・土無台椀（252 ～ 255）、須杯蓋（BC）・無台杯・壺瓶類（C）・甕（C）、土無台椀・長胴甕（恵）・小甕（恵）・武蔵型甕	
SK3156	5D23			Ⅶa	楕円形	台形状	（97）	（52）	14	192.89		土無台椀・長胴甕×小甕（在）、黒無台椀	
SK3160	5D19・5D20・5D24・5D25	30	31	Ⅶa	楕円形	階段状	（214）	（96）	（26）	192.61	<SK3056・P3127・P3173、≠ P3141	第 8 表・図版 52 参照	
SX169	3G15・20, 4G11・16	－	－	－	－	－	－	－	（51）			須杯蓋・無台杯、土無台椀（279 ～ 281）	詳細不明
SX1199	3F25	32	33	Ⅶa	不整形	半円状	409	266	27	192.05	<SK1219・1286、P1107・1216・1596・1598・1600、>SD1287、≠ P1211・1220	須有台杯（E）・無台杯（B）・壺瓶類（B）・甕（C）、土無台椀・長胴甕×小甕（在）・長胴甕（恵）・小甕（恵）	
SX1874	4C16	23	22	Ⅶa	不整形	台形状	111	56	10	193.08			
SX1879	4C3		31	Ⅶa	不整形	弧状	188	75	21	193.12	<P1552		
SX3137	5D9・5D14		31	Ⅶa	不整形	台形状	（384）	（134）	29	192.80	>P3169、≠ P3103		

下層　溝（1）

名称	検出層位	グリッド	平面図	断面図		長軸（m）	短軸（cm）	深度（cm）	断面形	底面標高（m）	長軸方向	切り合い関係	遺物	備考
SD1009	Ⅶa	2E4・9	23	22	n/o	2.98	60	13	弧状	192.09	N-4°-E		土無台椀（275）、土有×無台椀、黒小片	
SD1012	Ⅶa	2E25・3E21	25			2.24	78	22	台形状	192.07	N-64°-W	<SR1003	須杯蓋（276）・甕（277）土無台椀・長胴甕×小甕（在）・武蔵型甕、赤鉢	
SD1064	Ⅶa	4G2・4G7	29			（2.45）	（42）	19	半円状	191.93	N-6°-W	>P1056・1095・P1976・P1981、SK1065、<P1149	須杯蓋・土小片	

下層　溝（2）

名称	検出層位	グリッド	平面図	断面図		長軸（m）	短軸（cm）	深度（cm）	断面形	底面標高（m）	長軸方向	切り合い関係	遺物	備考
SD1097	Ⅶa	4G2	33	35	f	(1.00)	(36)	11	半円状	192.06	N-4°-W	<P1108・P1101、>P1112		
SD1191	Ⅶa	3F18	29	28	d	(9.10)	52	35	弧状	192.00	N-33°-W	>P1526・P1527・1989、?SR1001・1002		
SD1223	Ⅶa	4D25	31			0.88	20	10	半円状	192.93	N-10°-W			
SD1228	Ⅶa	5D11・16	31			2.42	27	11	弧状	193.04	N-18°-W	>P1262		
SD1233	Ⅶa	4D15	31			(1.85)	61	11	弧状	193.03	N-22°-W	<SK1224・P1226・1258	両黒小片	
SD1260	Ⅶa	4D14	31			2.01	29	10	弧状	192.98	N-5°-W	>P1266		
SD1263	Ⅶa	3D20、4D16	31			1.18	21	9	半円状	192.84	N-60°-E	>SK1577		
SD1287	Ⅶa	4F16	33			(0.85)	(51)	10	弧状	192.24	N-S	<SX1199,P1598		
SD1362	Ⅶa	3E7・8・13	23	22	l	1.00	25	6	半円状	192.72	N-26°-W	<P1371・1372、≠ P1373	土有×無台椀	
SD1364	Ⅶa	3E7	27			0.71	25	5	弧状	192.79	N-73°-E	≠ SD1609		
SD1381	Ⅶa	3E7・12	23	22	j	1.12	16	3	弧状	192.75	N-19°-W	≠ SD1604		
SD1382	Ⅶa	3E1・6・11・12・17	23	22	g	4.28	22	2	弧状	192.77	N-11°-W	>P1021、<P1024、≠ SD1607・P1383	須有台杯（278）	
SD1411	Ⅶa	2D10、3D6・7	23			2.94	30	9	弧状	193.16	N-73°-E	>SI1470		
SD1412	Ⅶa	2D10・15、3D6・11	23	22	e	2.04	34	7	弧状	193.20	N-65°-E	>SI1470		
SD1413	Ⅶa	2D9・2D10	23	22	e	2.24	30	6	弧状	193.25	N-63°-E			
SD1414	Ⅶa	2D5・2D9・2D10	23	22	e	1.97	34	11	半円状	193.23	N-57°-E			
SD1415	Ⅶa	2D4	23	22	d	1.40	22	16	半円状	193.14	N-71°-E			
SD1416	Ⅶa	2D5	23	22	c	0.86	27	9	半円状	193.28	N-76°-E			
SD1449	Ⅶa	3C8・13	23	22	a	(2.63)	(33)	10	半円状	193.22	N-S			
SD1475	Ⅶa	3C11・12・16・17	23	22	b	(2.70)	(51)	11	弧状	193.25	N-80°-E	>P1513,SD1515・1516		
SD1476	Ⅶa	2C20、3C16・17	23	22	b	(3.76)	(24)	25	U字状	193.12	N-76°-E	>P1513,SD1515・1516、<SD1476		
SD1477	Ⅶa	2C20、3C16・17	23	22	b	(4.15)	(46)	12	半円状	193.22	N-87°-E	>P1502・1514、SD1515・1516、<P1424		
SD1515	Ⅶa	3C16	23			(0.70)	(20)	15	半円状	193.23	N-21°-W	<SD1475・1476・1477		
SD1516	Ⅶa	3C16	23			(0.30)	(44)	12	半円状	193.27	N-5°-W	<SD1475・1476・1477		
SD1525	Ⅶa	3F18	29			(1.60)	(24)	40	U字状	191.85	N-29°-W	<P1011・1707・1708・1709		
SD1593	Ⅶa	3F24	29			0.64	24	10	半円状	192.31	N-10°-W			
SD1595	Ⅶa	3F20	29			(1.73)	(27)	12	半円状	192.32	N-67°-E	<P1831・1600	土有×無台椀	
SD1604	Ⅶa	3E7	23	22	i	(1.04)	(25)	5	弧状	192.78	N-14°-W	<P1384・SD1381		
SD1607	Ⅶa	3E6	23	22	h	1.03	25	6	弧状	192.69	N-78°-E	<P1608、≠ SD1382		
SD1609	Ⅶa	3E7・3E12	23	22	k	(2.20)	28	4	弧状	192.80	N-20°-W	≠ SD1364		
SD1620	Ⅶa	3E17・18	27			1.76	24	9	弧状	192.63	N-67°-E	>P1329・1346・1376・1631・1621		
SD1622	Ⅶa	3E17	27			(0.60)	(22)	8	弧状	192.65	N-21°-W	>P1632・1621、SK1627	須無台杯（E）	
SD1625	Ⅶa	3E12	27	26	q	(0.95)	(30)	11	半円状	192.64	N-26°-W	<SK1627・P1024、≠ SD1630	土有×無台椀	
SD1629	Ⅶa	3E12・13	27			(0.95)	(30)	4	弧状	192.72	N-60°-E	>SK1627・P1310、<P1619	武蔵型甕	
SD1630	Ⅶa	3E12	27	26	p	(2.01)	(26)	5	弧状	192.71	N-62°-E	<P1606・1608、>P1633、≠ SD1625		
SD1636	Ⅶa	3E8	23	22	m	(0.90)	(19)	16	弧状	192.62	N-43°-W	<P1334、>P1634		
SD1651	Ⅶa	3E23	27	26	u	(0.78)	(33)	16	半円状	192.55	N-33°-W	<P1683		
SD1678	Ⅶa	3F10・15	27	26	s	1.42	25	10	弧状	192.50	N-2°-E			
SD1681	Ⅶa	3E22	27	26	t	0.94	40	8	台形状	192.58	N-37°-W		土長胴甕×小甕（在）	
SD1770	Ⅶa	3D6・3D7	23			1.16	35	6	半円状	192.98	N-64°-E	>SI1470		
SD1774	Ⅶa	3D7・3D12	23			1.27	31	3	半円状	193.00	N-61°-E	>SI1470	土長胴甕×小甕（在）	
SD1805	Ⅶa	3C15	23			1.22	42	9	弧状	193.20	N-21°-W		須有台杯（C）	
SD1809	Ⅶa	4C17	31			1.65	28	5	弧状	193.14	N-12°-W			
SD1816	Ⅶa	3C24	23			0.91	21	8	弧状	193.19	N-4°-E			
SD1822	Ⅶa	4C11・16・21	23			2.89	22	10	半円状	193.09	N-20°-W		土長胴甕×小甕（在）	
SD1838	Ⅶa	3C24	23			1.07	29	7	弧状	193.21	N-16°-W			

下層　溝（3）

名称	検出層位	グリッド	平面図	断面図		長軸（m）	短軸（cm）	深度（cm）	断面形	底面標高（m）	長軸方向	切り合い関係	遺物	備考
SD1842	Ⅶa	3C19・24	23			0.54	19	8	半円状	193.13	N-3°-W		土小片	
SD1857	Ⅶa	3C20	23			(0.46)	(28)	8	半円状	193.17	N-82°-W	<P1820、≠ SD1873		
SD1869	Ⅶa	4C14	23			1.37	38	6	弧状	193.15	N-21°-W	>P1296	土有×無台椀	
SD1873	Ⅶa	3C20	23			1.43	34	8	弧状	193.15	N-15°-W	≠ SD1857		
SD1878	Ⅶa	4B17	31			0.84	28	3	弧状	193.26	N-31°-W			
SD1888	Ⅶa	4B4C	31			5.28	38	6	弧状	北 193.23	N-9°-W		須有台杯（G）	
SD1889	Ⅶa	4B4C	31			4.73	32	7	半円状	北 193.26	N-23°-W			
SD1895	Ⅶa	4G6・7	33			1.62	47	9	半円状	191.91	N-74°-E	>SK1979	土小片	
SD1900	Ⅶa	3D20	23			1.14	27	10	半円状	192.90	N-61°-E	>P1182		
SD1948	Ⅶa	3E23・3F3・4	25			1.36	26	7	半円状	192.60	N-23°-W	<P1392・1396・1602		
SD1964	Ⅶa	4G2・7	33			0.66	24	12	半円状	191.92	N-18°-W	>P1967・1976・1981	土長胴甕×小甕（在）	
SD1972	Ⅶa	4G1・2・7	33			1.30	42	14	弧状	191.88	N-44°-W	>P1978		
SD3054	Ⅶa	5C16	31	30	d	(1.82)	(24)	6	弧状	193.16	N-46°-E	>P3147		
SD3082	Ⅶa	5C17・18	31			0.78	33	10	半円状	193.18	N-87°-W			
SD3144	Ⅶa	5C11	31	30	b/c	(1.92)	(26)	5	弧状	193.27	N-82°-W	<P3021		
SD3149	Ⅶa	5C11	31	30	c	(1.55)	29	3	弧状	193.23	N-58°-E	<P3128・3143		
SD3157	Ⅶa	5C4	31	30	a	(2.31)	(36)	(12)	弧状	193.31	N-5°-W	<P3008・3016	土長胴甕（陸）	
SD3158	Ⅶa	5C21	31	30	d	(1.10)	(26)	(8)	弧状	193.11	N-31°-E	<P3045		
SR1001	Ⅶa	3F・3G	30	29	e/f	(14.02)	(224)	46	半円状	191.70	N-29°-W	<P1007・1132・1133・1151・1152・1153・1156・1157・1195・1198、?SD1191	第８表参照	
SR1002	Ⅶa	3F1・3F2・3F6・3F7・3F12	30	29	b/c	3.74	71	43	漏斗状	191.88	N-11°-W	<P1659、?SR1003・SD1191	須無台杯（347）・土無台椀（348）・赤無台杯（349）・須甕（350）、須無台杯（BCE）・須有台杯（CE）、土無台椀・長胴甕（恵）・長胴甕×小甕（在）・武蔵型甕、黒小片など	
SR1003	Ⅶa	2E・2F・3F	30	29	a	9.90	351	57	半円状	191.68	N-26°-W	<P100P、>SD1012、?SR1002	第８表参照	

土器・陶磁器観察表（1）

土器・陶磁器観察表凡例
器種：第10・11図の分類に一致する。
口径：正円とならないものは長径を記した。
器高：左右で高さが違うものはより高いほうの数値を記した。
底径：正円とならないものは長径を記した。高台のあるものは高台の直径（高台径）を記した。高台径は高台外端の径を記した。蓋は摘みの径を記した。
焼成：酸化軟質のものを「酸軟」、酸化硬質のものを「酸硬」、還元軟質のものを「還軟」、還元硬質のものを「還硬」として記載した。
胎土：土師器・須恵器などは第3・4表の分類を記した。施釉陶磁器は産地名を記した。産地は作成者の目視による推定である。
調整：主な調整痕跡を記した。「内」は内面、「外」は外面、「底」は底部、「体」は体部、「上」は上部、「下」は下部の略である。「見込み」は底部内面を指す。回転糸切りか静止糸切りか判断できないものは、「糸切り」とした。
備考：取上げ番号や、特徴的な、焼成痕跡・使用痕跡、食膳具・貯蔵具の最大径などを記した。須恵器杯蓋の重ね焼きの痕跡は第12図に一致する。

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
1	須恵器	杯蓋	SX64	3G19	Ⅵa8	－	－	4.0	還硬	B	右	内外ロクロナデ	取上げNo.17
2	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	11.2	4.4	5.6	酸軟	A	－	外上・内ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ内	取上げNo.13・19
3	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	13.2	4.3	6.7	酸軟	A	右	回転糸切り、外上・内ロクロナデ、外下ロクロケズリ	取上げNo.20
4	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa	11.8	4.7	5.4	酸軟	A	右	底外摩耗、内外ロクロナデ	取上げNo.21
5	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	13.0	4.4	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.12
6	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	12.6	4.3	5.4	酸軟	B	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.7
7	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	13.4	4.4	4.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.22
8	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	12.3	4.4	5.6	酸軟	B	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.7
9	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa8	13.7	4.4	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
10	土師器	無台椀	SX64	3G19	Ⅵa	13.0	4.6	4.6	酸軟	B	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.2
11	黒色土器	無台椀	SX64	3G19		－	－	5.9	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	取上げNo.14
12	土師器	鍋（北信型）	SX64	3G19	Ⅵa8	－	－	－	酸軟	A	－	外下ヘラケズリ、他ロクロナデ	
13	黒色土器	杯蓋	SX159	4F12	Ⅵa	－	－	3.7	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
14	土師器	無台椀	SX159	4F12・17	Ⅵa	11.6	4.5	6.1	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.7
15	土師器	無台椀	SX159	4F17	Ⅵa	12.6	4.1	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.12
16	土師器	無台椀	SX159	4F17	Ⅵa	－	－	6.4	酸軟	A	－	内外摩耗	取上げNo.2
17	土師器	無台椀	SX159	4F12・17	Ⅵa	12.5	3.8	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.9・22
18	土師器	無台椀	SX159	4F17	Ⅵa	12.7	3.9	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.12
19	土師器	無台椀	SX159	4F12・17	Ⅵa	11.6	3.9	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.5・24・25・26
20	土師器	無台椀	SX159	4F17	Ⅵa	－	－	5.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.1
21	土師器	無台椀	SX159	4F12・17	Ⅵa	12.2	4.0	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.24
22	土師器	無台椀	SX159	4F17	Ⅵa	12.9	4.1	5.6	酸軟	A	－	糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.21
23	土師器	無台椀	SX159	4F12	Ⅵa	12.5	4.1	5.4	酸軟	A	－	糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.17
24	土師器	無台椀	SX159	4F12	Ⅵa	－	－	5.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.25
25	須恵器	杯蓋	SK4	2C24	3	13.5	2.7	3.6	還硬	B	右	内外ロクロナデ	内摩耗・朱墨
26	須恵器	杯蓋	焼土272	3E20	1	－	－	3.8	酸硬	E	－	内外ロクロナデ	
27	須恵器	有台杯	P49 －	3E3 3E24	1 Ⅵb	11.3	3.9	7.4	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
28	須恵器	有台杯	P610 －	3D16 3D21	2 Ⅵa	－	－	8.4	還硬	X	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	SB724
29	土師器	無台椀	P366	3E6	1	11.8	4.0	5.2	酸軟	B	－	内外摩耗	
30	須恵器	無台杯		3G3	Ⅵa5	12.4	2.9	7.0	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
31	土師器	無台椀		2E9	Ⅵa5	12.0	4.0	5.3	酸軟	A	右	回転糸切り、外上・内ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
32	土師器	無台椀		3F12	Ⅵa5	13.0	3.3	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
33	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa5	10.8	4.4	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
34	土師器	無台椀		3G3	Ⅵa5	12.2	4.6	5.3	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
35	土師器	無台椀		3G20	Ⅵa5	13.1	4.1	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
36	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa5	13.4	3.9	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
37	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa5	－	－	6.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
38	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa5	－	－	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
39	土師器	無台椀		3G20	Ⅵa5	－	－	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
40	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa5	－	－	6.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
41	土師器	小甕		2E19	Ⅵa5	－	－	7.7	酸軟	A	右	回転糸切り、内ロクロナデ、外ロクロナデ・ヘラケズリ	
42	土師器	無台椀		3G19・24	Ⅵa6	12.6	4.1	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
43	土師器	無台椀		3G19・20	Ⅵa6	12.9	3.8	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
44	土師器	無台椀		3G20	Ⅵa6	13.0	3.9	6.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
45	土師器	無台椀		3G20 3G20	Ⅵa5 Ⅵa6	13.0	3.6	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
46	土師器	無台椀		3G20	Ⅵa6	13.3	4.3	5.8	酸軟	A	－	内外ロクロナデ、底外摩耗	
47	土師器	無台椀		3G24	Ⅵa6	13.2	4.2	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
48	土師器	無台椀		3G20・24	Ⅵa6	13.7	4.5	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
49	土師器	無台椀		3G24	Ⅵa6	12.9	4.2	6.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
50	土師器	無台椀		3F22	Ⅵa6	11.6	4.6	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
51	土師器	無台椀		3G24	Ⅵa6	12.2	4.3	5.5	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
52	土師器	無台椀		3G19・24	Ⅵa6	12.8	5.1	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
53	土師器	無台椀		3G24	Ⅵa6	14.9	5.3	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
54	土師器	無台皿		3G13	Ⅵa6	12.2	3.3	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
55	黒色土器	無台椀		3G19	Ⅵa6	12.4	4.7	5.6	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ、底外回転糸切り後ヘラケズリ	
56	須恵器	無台杯		3G20	Ⅵa7	－	－	6.2	還硬	D	右	外上・内ロクロナデ、外下ロクロケズリ、底下糸切り後ヘラケズリ	
57	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa7	12.5	4.2	5.3	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
58	土師器	無台椀		3G24	Ⅵa7	11.6	4.0	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
59	土師器	無台椀		3G25	Ⅵa7	13.9	3.9	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
60	須恵器	杯蓋		3F17	Ⅵa8	12.0	3.3	2.2	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
61	土師器	無台椀		3F6	Ⅵa8	13.4	3.2	6.3	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
62	土師器	無台椀		3F6	Ⅵa8	13.4	4.3	5.7	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
63	土師器	無台椀		3G19	Ⅵa8	13.3	4.3	6.1	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
64	土師器	無台椀		3F22	Ⅵa8	15.0	5.3	9.2	酸軟	A	－	内外摩耗	
65	両面黒色土器	鉢		3F22	Ⅵa8	18.0	－	－	酸軟	B	－	内外ヘラミガキ・黒色処理	
66	黒色土器	無台椀		3G20 3G20	Ⅵa5 Ⅵa8	13.8	4.7	5.4	酸軟	A	右	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	

土器・陶磁器観察表（2）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
67	黒色土器	無台椀		3G3 3F23	Ⅵa5 Ⅵa8	14.8	5.5	6.2	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
68	須恵器	杯蓋		4D12	Ⅵa	11.3	3.0	2.8	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
69	須恵器	杯蓋		3C25、3D5	Ⅵa	12.3	3.4	2.4	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡb
70	須恵器	杯蓋		3D15・20	Ⅵa	12.0	2.9	2.3	還硬	C	右	肩部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅠ
71	須恵器	杯蓋		3D7	Ⅵa	12.0	3.2	2.8	還硬	D	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
72	須恵器	杯蓋		3C14・19	Ⅵa	13.0	2.7	2.6	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅠ
73	須恵器	杯蓋		3D12	Ⅵa	13.0	2.9	2.4	還硬	C	右	肩部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅠ
74	須恵器	杯蓋		3F7	Ⅵa	13.2	3.3	2.1	還硬	G	右	回転糸切り、肩部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡb
75	須恵器	杯蓋		3D11・16	Ⅵa	13.0	2.8	2.4	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅠ
76	須恵器	杯蓋		4D6	Ⅵa	12.8	3.2	3.6	酸硬	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
77	須恵器	杯蓋		4C21・22、4D2・9	Ⅵa	13.8	2.7	3.8	還硬	B	右	内外ロクロナデ	重焼きⅡb
78	須恵器	杯蓋		3D4・9・10、4D11	Ⅵa	12.0	2.9	4.3	酸硬	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
79	須恵器	杯蓋		4C23、4D8	Ⅵa	－	－	4.4	酸硬	E	－	内外ロクロナデ	
80	須恵器	杯蓋		3E22、3F1・2、4E3	Ⅵa	14.6	3.6	2.6	還硬	C	右	内ロクロナデ後静止ナデ、外ロクロナデ	重焼きⅠ
81	須恵器	杯蓋		3F2、4B17	Ⅵa	15.2	5.0	3.1	酸硬	E	右	肩部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
82	須恵器	杯蓋		3E4	Ⅵa	－	－	3.1	酸硬	E	右	肩部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
83	須恵器	有台杯		4C1	Ⅵa	12.1	3.6	8.8	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
84	須恵器	有台杯		3E4、4E1	Ⅵa	10.8	3.5	6.2	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
85	須恵器	有台杯		3D20	Ⅵa	10.8	3.6	7.2	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	摩耗顕著
86	須恵器	有台杯		2D25	Ⅵa	11.1	4.9	7.6	還硬	X	右	内外ロクロナデ、底外ヘラケズリ	
87	須恵器	有台杯		3F2・3	Ⅵa	12.2	4.2	8.0	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
88	須恵器	有台杯		3D5	Ⅵa	12.2	4.5	7.6	還硬	C	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
89	須恵器	有台杯		3F6・7	Ⅵa	11.5	4.5	7.6	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
90	須恵器	有台杯		3D5	Ⅵa	11.4	4.7	7.9	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
91	須恵器	有台杯		3E3・8	Ⅵa	11.0	4.6	7.4	還硬	C	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
92	須恵器	有台杯		3F2、4E21・24、4F6・7	Ⅵa	11.2	4.4	7.2	還硬	C	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
93	須恵器	有台杯		3F7・9	Ⅵa	11.4	5.3	7.7	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
94	須恵器	有台杯		3F8・12	Ⅵa	11.6	4.9	7.3	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
95	須恵器	有台杯		4D1・7	Ⅵa	15.8	7.4	8.8	酸硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	内漆付着
96	須恵器	有台杯		4D21・22	Ⅵa	14.8	7.2	6.8	酸硬	E	－	内外ロクロナデ	
97	須恵器	有台杯		3C21・22、4E3	Ⅵa	12.8	6.6	7.4	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
98	須恵器	有台杯		2E20、3E11	Ⅵa	－	－	7.0	還硬	B	右	回転ヘラキリ、外上・内ロクロナデ、外下ロクロケズリ	重焼きⅡa’
99	須恵器	有台杯×壺瓶類		3E1	Ⅵa	－	－	9.2	還硬	A	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
100	須恵器	有台椀		3F19	Ⅵa	－	－	6.2	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
101	須恵器	有台杯		4D16	Ⅵa	－	－	7.2	還硬				
102	須恵器	有台杯		3E2	Ⅵa	－	－	8.6	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	内漆付着、底外墨書「咋一女」
103	須恵器	有台杯		4E19	Ⅵa	－	－	7.6	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外墨書「□一女」
104	須恵器	無台杯		3F3・7	Ⅵa	12.2	3.5	9.4	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
105	須恵器	無台杯		3F9	Ⅵa	12.6	3.6	8.1	還硬	D	左	内外ロクロナデ、底外回転ヘラキリ後ヘラケズリ	
106	須恵器	無台杯		3D15	Ⅵa	11.4	3.4	7.6	還硬	A	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
107	須恵器	無台杯		3F13	Ⅵa	10.6	3.3	6.4	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
108	須恵器	無台杯		3C17	Ⅵa	11.2	3.6	7.1	還硬	G	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
109	須恵器	無台杯		4D18・19	Ⅵa	11.2	3.1	6.2	還硬	C	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
110	須恵器	無台杯		4D17・18	Ⅵa	12.5	3.4	6.6	酸硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
111	須恵器	無台杯		4D17	Ⅵa	11.7	3.6	6.2	酸硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
112	須恵器	無台杯		3D13・14	Ⅵa	12.2	3.9	7.2	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
113	須恵器	無台杯		4E1	Ⅵa	12.0	3.0	7.8	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
114	須恵器	無台杯		3F12・13	Ⅵa	12.0	3.2	7.8	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
115	須恵器	無台杯		3F13	Ⅵa	12.0	3.2	7.6	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
116	須恵器	無台杯		3D25、3E5	Ⅵa	11.8	2.9	7.8	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
117	須恵器	無台杯		4D2	Ⅵa	11.8	2.7	7.2	還硬	B		回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
118	須恵器	無台杯		4D22	Ⅵa	12.6	3.2	7.2	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
119	須恵器	無台杯		3E22	Ⅵa	12.6	3.5	7.0	還硬	C	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
120	須恵器	無台杯		3C13	Ⅵa	13.0	2.8	7.4	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
121	須恵器	無台杯		4D21	Ⅵa	－	－	6.3	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外墨書「□一女」
122	須恵器	無台杯		4F9	Ⅵa	－	－	5.5	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外墨書「咋カ一女」
123	須恵器	無台杯		3E18	Ⅵa	－	－	6.4	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外墨書「□一女カ」
124	須恵器	鉄鉢		4D6	Ⅵa	23.9	－	－	還硬	E	－	内外ロクロナデ	
125	須恵器	長頸瓶		4E3・9	Ⅵa	10.8	－	－	還硬	C	－	円盤閉塞、内外ロクロナデ	
126	須恵器	長胴瓶		4E5・9	Ⅵa	16.8	－	－	還硬	B	－	内外ロクロナデ	
127	須恵器	壺瓶類		4D19・20	Ⅵa	－	－	12.1	還硬	C	－	内ハケメ・ナデ、体外ロクロケズリ、底外ロクロナデ	
128	須恵器	壺瓶類		2D4、3D16	Ⅵa	－	－	9.6	還硬	E	右	内ロクロナデ、外・底外ヘラケズリ	
129	須恵器	壺蓋		4D15、5D11	Ⅵa	－	－	2.6	還硬	C	右	頂部回転ヘラキリ後ヘラケズリ、他ロクロナデ	
130	須恵器	甕		3D7・19、4E2・9・14・15・20	Ⅵa	－	－	－	還硬	E	－	内外ロクロナデ	
131	須恵器	甕		5D21	Ⅵa	－	－	－	還硬	E	－	内ロクロナデ、外ロクロナデ・沈線・波状文	
132	須恵器	甕		3F17	Ⅵa	23.8	－	－	還硬	C	－	口ロクロナデ、体内扇形当て具、体外格子叩き	
133	須恵器	甕		3F4	Ⅵa	30.0	－	－	還硬	C	－	口ロクロナデ、体内同心円文当て具、体外平行叩き	
134	須恵器	甕		4D24	Ⅵa	24.6	－	－	還硬	B	－	口ロクロナデ、体内同心円文当て具、体外格子叩き	
135	須恵器	円面硯		4D13	Ⅵa	－	－	－	還硬	E	－	「十」字の透かし、内外ロクロナデ、外篦描綾杉文	外下朱墨
136	土師器	無台椀		4E18	Ⅵa	11.4	4.1	5.3	酸軟	A	－	内ロクロナデ、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
137	土師器	無台椀		3F10	Ⅵa	12.0	4.3	5.7	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外ヘラ記号「一」
138	土師器	無台椀		3F24、3G4	Ⅵa	13.0	4.0	6.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ、底外圧痕	
139	土師器	無台椀		4D24	Ⅵa	12.2	4.1	5.6	酸軟	A	－	内外ロクロナデ、底外摩耗	
140	土師器	無台椀		4E20	Ⅵa	12.0	4.2	5.6	酸軟	A	－	内外ロクロナデ、底外摩耗	内外灯明痕
141	土師器	無台椀		4D13	Ⅵa	11.8	3.9	6.2	酸軟	A	右	内外ロクロナデ、底外摩耗	
142	土師器	無台椀		3F9	Ⅵa	12.6	3.8	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ、底外圧痕	

土器・陶磁器観察表（3）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
143	土師器	無台椀		4D16	Ⅵa	12.0	3.2	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
144	土師器	無台椀		4F11	Ⅵa	12.6	3.4	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
145	土師器	無台椀		4F17	Ⅵa	12.2	3.5	5.8	酸軟	A	－	内外摩耗	
146	土師器	無台椀		4F11	Ⅵa	13.3	3.7	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
147	土師器	無台椀		3G9・10	Ⅵa	12.8	4.1	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
148	土師器	無台椀		3G5・9	Ⅵa	13.3	4.5	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
149	土師器	無台椀		4F11	Ⅵa	12.8	3.9	6.5	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
150	土師器	無台椀		4F17	Ⅵa	13.2	3.8	6.4	酸軟	B	－	内外摩耗	
151	土師器	無台椀		3G3・4	Ⅵa	12.7	4.4	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
152	土師器	無台椀		4B17	Ⅵa	13.8	4.5	8.2	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	内灯明痕
153	土師器	無台椀		4E23	Ⅵa	12.8	4.0	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	内外灯明痕
154	土師器	無台椀		4F6・11	Ⅵa	12.7	4.3	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
155	土師器	無台椀		4E15	Ⅵa	12.3	3.8	6.0	酸軟	A	－	内ロクロナデ、他摩耗	
156	土師器	無台椀		4F17	Ⅵa	12.8	4.4	7.1	酸軟	A	－	内外ロクロナデ、底外摩耗	
157	土師器	無台椀		3G3・4・9	Ⅵa	12.8	4.5	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
158	土師器	無台椀		3F14	Ⅵa	12.0	4.1	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
159	土師器	無台椀		3G10	Ⅵa	12.5	4.5	5.5	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
160	土師器	無台椀		4C11	Ⅵa	12.4	4.3	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
161	土師器	無台椀		3F9	Ⅵa	12.7	4.1	5.5	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
162	土師器	無台椀		3E8	Ⅵa	12.2	4.4	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	内外灯明痕
163	土師器	無台椀		3G19・20	Ⅵa	12.6	4.5	6.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
164	土師器	無台椀		4F8	Ⅵa	12.1	5.0	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
165	土師器	無台椀		4E18・23	Ⅵa	14.6	4.3	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
166	土師器	無台椀		4E22	Ⅵa	14.0	4.8	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
167	土師器	無台椀		4E22	Ⅵa	13.6	5.2	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
168	土師器	無台椀		3D24	Ⅵa	15.2	5.0	5.6	酸軟	B	右	内摩耗、体外ヘラミガキ、底外ロクロケズリ後ヘラミガキ	
169	土師器	無台椀		3F14	Ⅵa	13.9	5.3	6.1	酸軟	A	－	内ヘラミガキ、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
170	土師器	無台椀		3F14	Ⅵa	15.6	5.6	6.4	酸軟	A	－	回転糸切り、内ヘラミガキ、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
171	土師器	無台椀		3C24	Ⅵa	－	－	6.0	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
172	土師器	無台椀		3D20、4E10	Ⅵa	16.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	内漆付着
173	土師器	無台椀		3D14 3E9	Ⅵa Ⅵb	－	－	5.7	酸軟	A	右	回転糸切り、内ロクロナデ、外ロクロケズリ	内漆付着
174	土師器	無台椀		4D19	Ⅵa	－	－	6.4	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
175	土師器	有台椀		4D15	Ⅵa	－	－	6.0	酸軟	B	－	内外ロクロナデ	
176	土師器	有台椀		3D18	Ⅵa	－	－	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内ヘラミガキ、外ロクロナデ	
177	土師器	手づくね土器		4F6	Ⅵa	6.9	3.7	4.4	酸軟	A	－	内外手づくね、底外不調整	
178	赤彩土師器	杯蓋		4E4	Ⅵa	12.8	－	－	酸軟	B	－	内外ヘラミガキ	
179	黒色土器	杯蓋		4D16・21、4E1	Ⅵa	－	－	2.8	酸軟	B	右	内ヘラミガキ・黒色処理、頂部ヘラケズリ、外下ロクロナデ	
180	内黒赤彩土師器	有台杯		3F18	Ⅵa	－	－	7.8	酸軟	B	－	回転糸切り、内ヘラミガキ･黒色処理、外ロクロナデ･赤彩	
181	黒色土器	無台椀		3D12	Ⅵa	10.6	2.8	6.0	酸軟	B	－	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
182	黒色土器	無台椀		4C24、4D2	Ⅵa	12.0	4.2	5.0	酸軟	B	右	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
183	黒色土器	無台椀		4D12・17	Ⅵa	13.4	3.9	6.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
184	黒色土器	無台椀		4E9	Ⅵa	12.6	4.6	5.5	酸軟	B	－	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
185	黒色土器	無台椀		4D25	Ⅵa	12.0	4.7	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
186	黒色土器	無台杯		3E4・5	Ⅵa	12.7	4.7	5.6	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
187	黒色土器	無台椀		3F9・10	Ⅵa	15.8	5.9	5.8	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
188	黒色土器	無台椀		3F9・15	Ⅵa	18.6	6.9	6.6	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
189	黒色土器	無台椀		4D11	Ⅵa	－	－	6.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
190	黒色土器	有台椀		3F8・9	Ⅵa	－	－	6.4	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ、底外爪形圧痕	
191	黒色土器	有台椀		4E17・21・22	Ⅵa	13.4	6.3	7.4	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
192	黒色土器	有台椀		3C23	Ⅵa	－	－	7.0	酸軟	A	－	外ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
193	黒色土器	有台椀		4D19	Ⅵa	－	－	6.2	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
194	黒色土器	有台椀		4F2	Ⅵa	－	－	6.6	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
195	黒色土器	有台椀		3F9	Ⅵa	－	－	8.0	酸軟	A	－	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
196	黒色土器	有台椀		4E3 4E3	Ⅵa Ⅵb	－	－	6.4	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
197	黒色土器	有台皿		4D7	Ⅵa	13.0	3.5	7.0	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ、底外ヘラケズリ	
198	両面黒色土器	（有台）皿		4F6	Ⅵa	12.0	－	－	酸軟	C	－	内外ヘラミガキ後黒色処理	
199	土師器	小甕（在地型）		3E4	Ⅵa	14.4	－	－	酸軟				
200	土師器	小甕		4D12	Ⅵa	－	－	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
201	土師器	小甕		4D17・22	Ⅵa	－	－	7.9	酸軟	B	－	内外ロクロナデ、底外不調整	
202	土師器	小甕（武蔵型）		4E8	Ⅵa	12.4	－	－	酸軟	E	－	口ヨコナデ、体内ナデ、体外ヘラケズリ	
203	土師器	小甕		3D24・25	Ⅵa	－	－	－	酸軟	E	－	外ヘラケズリ、内ナデ	
204	土師器	小甕（武蔵型）		5D21	Ⅵa	－	－	－	酸軟	E	－	内外ナデ	
205	土師器	長胴甕(武蔵型)		3F9	Ⅵa	－	－	4.2	酸軟	E	－	外ヘラケズリ、内ナデ	
206	土師器	長胴甕(北陸型)		4E1	Ⅵa	18.0	－	－	酸軟	B	－	内外摩耗	
207	土師器	長胴甕(北陸型)		4D20・25	Ⅵa	22.0	－	－	酸軟	A	－	口・体内ロクロナデ、体外カキメ・ロクロナデ	
208	土師器	長胴甕(北陸型)		4E25	Ⅵa	22.0	－	－	酸軟	A	－	内外摩耗	
209	土師器	長胴甕(北信型)		4E12	Ⅵa	19.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
210	土師器	長胴甕(北信型)		3D7・12	Ⅵa	18.0	－	－	酸軟	B	－	内外ロクロナデ	
211	土師器	長胴甕(北信型)		3E4	Ⅵa	14.2	－	－	酸軟	A	－	内外摩耗	
212	土師器	長胴甕(北信型)		4D8	Ⅵa	19.2	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	

土器・陶磁器観察表（4）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
213	土師器	長胴甕(北信型)		4E6	Ⅵa	18.7	－	－	酸軟	A	－	口・体内ロクロナデ、体外ロクロナデ・ヘラケズリ	
214	土師器	長胴甕(北信型)		3F5	Ⅵa	18.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
215	土師器	長胴甕		4E6・7	Ⅵa	17.4	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
216	土師器	長胴甕(北陸型)		確認4トレンチ	Ⅵa	17.4	－	－	酸軟				
217	土師器	長胴甕		4E24	Ⅵa	－	－	2.2	酸軟	A	－	内指頭圧痕、外平行叩き、底外ヘラケズリ	
218	土師器	鍋（在地型）		5E11	Ⅵa	－	－	11.6	酸軟	A	－	外ヘラケズリ・ヘラミガキ、内ハケメ・ナデ、底外不調整	
219	土師器	羽甕		3E5	Ⅵa	－	－	－	酸軟	A	－	羽部ヨコナデ、内ナデ、外ヘラケズリ	羽部径18.0cm
220	土師器	鍋（内面有段）		4C6	Ⅵa	35.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
221	土師器	鍋（内面有段）		3E12	Ⅵa	40.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
222	土師器	把手?		4E15	Ⅵa	－	－	－	酸軟	A	－	手づくね	幅2.1cm、厚1.1cm
223	灰釉陶器	平瓶		4F13	Ⅵa	7.8	－	－	還硬	尾張	－	内外ロクロナデ	
224	灰釉陶器	平瓶		5D21	Ⅵa	－	－	－	還硬	尾張	－	ヘラケズリ	幅2.8cm、厚1.1cm
225	灰釉陶器	長頸瓶		4D13・14・15	Ⅵa	－	－	－	還硬	美濃	－	内外ロクロナデ	
226	緑釉陶器	椀×皿		3E25	Ⅵa	－	－	5.8	軟質	京都	－	高台削り出し、施釉	
227	須恵器	杯蓋	SI1470 －	3D 3D13	1 Ⅵb	13.0	－	－	還硬	C	－	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡb
228	須恵器	杯蓋	SI1470	3D	2	12.8	－	－	還硬	C	－	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
229	須恵器	有台杯	SI1470	3D	2	9.8	4.4	6.8	酸硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.16
230	須恵器	有台杯	SI1470 －	3D 3D13	2 Ⅵb	10.8	4.4	7.1	還硬	G		内外ロクロナデ 見込み静止ナデ	取上げNo.22・36
231	土師器	無台杯	SI1470 －	3D 3D9・13	2 Ⅵb	－	－	8.4	酸軟	A	右	外上・内ロクロナデ、外下ヘラケズリ、底外糸切り後ヘラケズリ	取上げNo.28
232	土師器	小甕 （在地型）	SI1470 SI1470	3D 3D	1 2	13.2	－	－	酸軟	A	－	口ヨコナデ、体外ヘラケズリ、体内ナデ	取上げNo.55
233	土師器	長胴甕 （在地型）	SI1470	3D13	2	19.2	－	－	酸軟	A	－	口外ヨコナデ、口内ヨコナデ後ハケメ、体内ナデ、体外ヘラケズリ	取上げNo.40
234	土師器	長胴甕(武蔵型)	SI1470 SI1470 －	3D13 3D13 3D13	1 2 Ⅵb	18.7	－	－	酸軟	E	－	口ヨコナデ、体内ナデ、体外ヘラケズリ	取上げNo.33・35・43
235	土師器	長胴甕 （北陸型）	SI1470	3D13・18	2	18.0	－	－	酸軟	A			取上げNo.44・45・47、
236	土師器	長胴甕 （在地型）	SI1470	3D13	2	23.8	－	－	酸軟	A	－	口外ヨコナデ、口内ヨコナデ後ハケメ	取上げNo.39
237	土師器	甕類 （在地型）	SI1470	3D	サブトレンチ	－	－	6.2	酸軟	A	－	内ハケメ、外ヘラケズリ	
238	土師器	甕類 （在地型）	SI1470	3D	2	－	－	6.4	酸軟	A	－	底部充填、内摩耗、外ヘラケズリ	取上げNo.37
239	両面黒色土器	無台椀	SK1099	4F16	4	－	－	5.9	酸軟	D	－	内ロクロナデ、外摩耗、底外ヘラケズリ、内外黒色処理	
240	須恵器	有台杯	SK1224	4D20	1	－	－	6.6	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
241	土師器	小甕 （在地型）	SK1241	4E1	1	16.0	－	－	酸軟	A	－	口ヨコナデ、体内ナデ・ハケメ、体外ヘラケズリ	口内炭化物付着
242	土師器	甕類 （在地型）	SK1241	4E1	1	－	－	6.4	酸軟	A	－	底部充填、体内ナデ・ハケメ、体外ヘラケズリ	体内炭化物付着
243	土師器	小甕 （在地型）	SK1241	4E1	1	－	－	7.6	酸軟	A	－	底部充填、内ナデ、外ヘラケズリ	内漆付着
244	須恵器	甕	SK1627 P1619 P1697 －	3E12・13・17・18 3E13 3E18・23 3E13・17・18・23、3F5・14・19、3G4、4D11・25、4E3・4・8・9・20、5D21、5E1・6・7・16 3E13・16・20、5D25、5E1・2	1 3 2 Ⅵa Ⅵb	(46.7)	(66.5)	－	還硬	X	－	口内ロクロナデ、口外ロクロナデ・波状文・沈線、外平行叩き、内渦巻き文当て具	SB1998
245	須恵器	有台杯	SR1003 SK1627	2E20 3E18 2E15・3E12	1 1 Ⅵb	13.8	4.3	8.6	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.46
246	須恵器	無台杯	SK1286 (SB1997)	3F20	1	－	－	6.8	還硬	A	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	SB1997
247	須恵器	有台杯	SK3108	5D13	1	－	－	8.0	酸硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
248	須恵器	杯蓋	SK3056	5D25	1	11.8	3.6	2.2	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
249	土師器	無台椀	SK3056	5D25	1	12.2	3.6	7.6	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	内上炭化物付着
250	須恵器	無台杯	SK3056	5D25	1	－	－	6.2	還硬	G	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
251	黒色土器	無台椀	SK3056	5D25	1	－	－	6.0	酸軟	A	右	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
252	須恵器	杯蓋	SK3126	5D19	2	－	－	3.0	酸軟	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
253	土師器	無台椀	SK3126	5D14・19	1	11.8	3.5	4.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
254	土師器	無台椀	SK3126	5D19	1	12.8	4.7	6.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	取上げNo.4
255	土師器	無台椀	SK3126	5D14・19	1	－	－	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
256	須恵器	杯蓋	SK3160	5D20・25	1・2	12.2	3.5	2.1	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
257	須恵器	杯蓋	SK3160	5D25	1	－	－	2.6	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
258	須恵器	杯蓋	SK3160	5D19・24	1・2	14.2	－	－	還硬	E	－	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
259	須恵器	有台杯	SK3160	5D20	2	10.0	4.8	6.4	還硬	C	右	回転ヘラキリ、他ロクロナデ	墨書「咋ー女」
260	須恵器	有台杯	SK3160	5D20	2	11.2	5.4	6.8	還硬	C	右	回転ヘラキリ、他ロクロナデ	墨書「咋ー女」
261	須恵器	無台杯	SK3160	5D25	1	12.2	3.0	7.4	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
262	須恵器	無台杯	SK3126 SK3160	5D14・19 5D19・24	1 1	12.1	－	－	還硬	G	－	内外ロクロナデ	緋襷有り
263	土師器	無台椀	SK3160	5D20・25	2	13.0	3.7	5.6	酸軟	A	－	糸切り、内外ロクロナデ	
264	土師器	無台椀	SK3160	5D19・24・25	1	12.4	4.0	5.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
265	土師器	無台椀	SK3160	5D25	2	12.2	4.3	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、外上・内ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
266	土師器	無台椀	SK3126 SK3160	5D14・19 5D20	1 1	12.8	4.4	5.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
267	黒色土器	無台椀	SK3056 SK3160	5D25 5D24	1 1	－	－	7.2	酸軟	A	－	静止糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
268	土師器	無台椀	SK3056 SK3160	5D20・25 5D19・24	2 1	13.4	－	－	酸軟	B	－	内外ロクロナデ	

土器・陶磁器観察表（5）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
269	土師器	無台椀	SK3126 SK3160	5D14・19 5D25	1 1	－	－	5.0	酸軟	A	－	内ヘラミガキ、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ、底外糸切り後ヘラケズリ	内漆付着
270	黒色土器	無台椀	SK3160	5D20	2	11.8	3.9	4.6	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ底外ヘラケズリ	取上げNo.8・9
271	黒色土器	無台椀	SK3160 P3172	5D19・24 5D19	1 1	－	－	5.6	酸軟	B	－	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
272	緑釉陶器	皿	SK3160	5D20	2	13.2	2.7	5.8	軟質	京都	－	内外ヘラミガキ、平高台削り出し、施釉	
273	両面黒色土器	蓋か脚	SK3160	5D25	1	19.0	－	－	軟質	C	－	内外ヘラミガキ後黒色処理	
274	土師器	鍋（北陸型）	SK3160	5D19・20・24	1	28.0	－	－	酸軟	B	－	内ロクロナデ、外ロクロナデ・カキメ	
275	土師器	無台椀	SD1009	2E10	1	13.2	4.4	5.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
276	須恵器	杯蓋	SD1012 －	2E25・3E21 3E15・20、3F8	1 Ⅵb	12.5	3.4	2.2	還硬	G	右	回転糸切り、頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
277	須恵器	甕	SD1012	2E25	1	長 4.7	幅 3.3	厚 1.0	還硬	C	－	外平行叩き、内同心円当て具	
278	須恵器	有台杯	SD1382	3E17	1	－	－	8.4	酸硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
279	須恵器	杯蓋	SX169	3G20	1	16.0	－	－	酸硬	E	－	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
280	土師器	無台椀	SX169	3G15	1	11.6	4.1	5.4	酸軟	B	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
281	須恵器	無台杯	SX169 －	3G20 3G20	1 Ⅵa5	12.4	4.1	5.6	酸軟	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
282	須恵器	凸帯付四耳壺	SX169	3G20	1	19.2	－	－	酸硬	C	－	内外ロクロナデ	283と同一個体
283	須恵器	凸帯付四耳壺	SX169	3G20	1	－	－	－	酸硬	C	－	外平行叩き、内扇形当て具	最大径25.6cm
284	土師器	長胴甕(北陸型)	SX169	3G15	2	20.5	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
285	須恵器	杯蓋	P1051	3C25・4C21	1	11.5	4.1	2.1	還硬	G	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	SB2000
286	須恵器	有台杯	P1839	4C23	2	11.4	4.7	8.8	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	SB2000
287	須恵器	無台杯	P1696	3E24	1	－	－	6.9	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
288	土師器	無台椀	P1095	4G2	2	－	－	6.2	酸軟	A	－	内外ロクロナデ、底外摩耗	SB730
289	須恵器	無台杯	P1096	4F12	3	13.8	－	－	還硬	E	－	内外ロクロナデ	SB1996
290	須恵器	壺蓋	P1262	4D15	3	15.4	－	－	酸軟	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	SB1999
291	土師器	小甕（北陸型）	P1351	2D25	1	18.2	－	－	酸軟	B	－	内ロクロナデ・カキメ、外ロクロナデ	
292	土師器	小甕（在地型）	P1351	2D25	1	－	－	6.4	酸軟	A	－	内ロクロナデ、外ヘラケズリ、底外不調整	
293	須恵器	杯蓋	P1353 －	3E13 3E19	1 Ⅵb	12.8	1.5	2.6	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅠ
294	土師器	長胴甕(在地型)	P1441	3D11	1	19.6	－	－	酸軟	A	－	口ヨコナデ、体内ハケメ・ナデ、体外ハケメ後ヘラケズリ、粘土紐痕一部残る	
295	須恵器	無台杯	P1594	3F24	1	12.5	－	－	酸軟	B	－	内外ロクロナデ	SB1997、外墨書
296	土師器	無台椀	P1594	3F24	11	－	－	7.2	酸軟	A		糸切り、内外ロクロナデ	SB1997
297	須恵器	杯蓋	P1579 －	3C19 3C19、4C21	1 Ⅵa	13.8	2.1	2.9	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅠ
298	土師器	有台椀	P1619	3E13	1	13.8	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	SB1998、取上げNo.52
299	須恵器	長頸瓶	P1696 － －	3E24 3E24 3E18	1 Ⅵa Ⅵb	8.6	－	－	還硬	E	－	内外ロクロナデ	SB1998
300	土師器	無台椀	P1820	3C20	1	12.2	4.0	7.1	酸軟	A	－	糸切り、外下ヘラケズリ、他ロクロナデ	SB2000
301	須恵器	無台杯	P3104	5D17	1	－	－	5.6	酸軟	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	SB745
302	灰釉陶器	長頸瓶	P3172	5D19	1	12.0	－	－	還硬	美濃	－	内外ロクロナデ	
303	土師器	無台椀	P3172	5D19	1	－	－	5.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
304	両面黒色土器	壺蓋	P3142	5D14	1	15.6	－	－	軟質	C	－	内外ヘラミガキ後黒色処理	
305	須恵器	有台杯	SR1001	3G20	1	－	－	7.9	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
306	須恵器	無台杯	SR1001 SR1003	2E20 3E11	1 1	11.0	3.8	7.6	還硬	G	右	底外ヘラケズリ、他ロクロナデ	
307	土師器	無台椀	SR1001	3G4・19	1	12.8	4.0	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、外ロクロナデ・カキメ、内ロクロナデ	
308	土師器	無台椀	SR1001	3G15	1	13.6	4.1	5.8	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
309	土師器	無台椀	SR1001 －	3G9 3G9	1 Ⅵa	11.6	4.5	5.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	内外灯明痕
310	土師器	無台椀	SR1001 －	3G14 3G14・15	1 Ⅵb	12.0	4.3	5.7	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
311	須恵器	小型壺	SR1001	3G20	2	11.0	－	－	酸硬	C	－	内外ロクロナデ	
312	須恵器	有台杯	SR1001 －	3F23 3G3	5 －	13.8	6.8	7.8	酸硬	E	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
313	須恵器	無台杯	SR1001 SR1001	3G4 3G3	1 5	11.5	3.5	6.4	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
314	須恵器	無台杯	SR1001	3F23	5	10.4	2.7	7.3	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
315	須恵器	無台杯	SR1001	3F17	5	13.2	3.5	10.0	還軟	B	－	回転ヘラ切り、内外ロクロナデ	
316	須恵器	無台杯	SR1001	3G9	5	12.6	3.2	7.2	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
317	須恵器	壺蓋	SR1001 －	3F22 3F18・23	5 Ⅵb	10.3	－		還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	最大径11.6cm
318	土師器	無台椀	SR1001	3F17	2・5	12.8	4.3	5.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
319	土師器	無台椀	SR1001	3F23	5	11.6	3.9	5.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
320	土師器	無台椀	SR1001	3F23	5	12.6	4.1	5.6	酸軟	A	－	外上・内ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
321	土師器	無台椀	SR1001	3F17	5	12.6	4.3	5.2	酸軟	B	－	静止糸切り、外上・内ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
322	土師器	無台椀	SR1001	3G14	5	13.4	5.0	5.4	酸軟	B	右	内ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
323	土師器	無台椀	SR1001	3F17	5	15.1	5.7	6.2	酸軟	A	－	外上ロクロナデ、他ヘラミガキ	
324	黒色土器	無台椀	SR1001	3F23	5	12.2	3.4	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	外面一部黒化
325	黒色土器	無台椀	SR1001	3F17・23	5	11.8	4.4	5.2	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
326	黒色土器	無台椀	SR1001 －	3G3 3F23	5 Ⅵb	13.6	4.5	7.0	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ、底外ヘラケズリ	
327	須恵器	横瓶	SR1001 －	3F22 3E10 3F2・3・13・18、 4C17、4D11	5 Ⅲ Ⅵa	－	－	－	還硬	C	－	円盤閉塞、内外ロクロナデ	両面閉塞
328	須恵器	長胴瓶	SR1001 SR1002	3F12 3F12	5 1	－	－	－	還硬	B	－	内外ロクロナデ	最大径19.0cm
329	灰釉陶器	平瓶	SR1001 －	3G15 3F4	5 Ⅵb層	－	－	17.2	還硬	尾張	右	内ロクロナデ、外ロクロケズリ	

土器・陶磁器観察表（6）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
330	須恵器	有台杯	SR1001	3G14	7	－	－	7.0	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	取上げNo.4
331	須恵器	有台杯	SR1001	3G14	7	－	－	7.0	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	底外墨書「□月」
332	須恵器	無台杯	SR1001	3G15	7	－	－	6.4	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
333	須恵器	無台杯	SR1001	3G4	7	12.0	2.9	6.8	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	取上げNo.2
334	須恵器	横瓶	SR1001	3G20	7	－	－	－	還硬	C	－	円盤閉塞、外カキメ、内ロクロナデ	
335	須恵器	横瓶	SR1001 －	3G14 3G20	7 Ⅵb	11.2	－		還硬	B	－	口内外ロクロナデ、体外平行叩き、内同心円当て具	同心円当て具は柾目または板目材、最大径24.5cm、取上げNo.1、
336	須恵器	長胴瓶	SR1001	3G19	7	19.6	－	－	還硬	B	－	内外ロクロナデ	
337	須恵器	有台杯	SR1001	3G3	11	11.4	4.3	7.4	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
338	須恵器	有台杯	SR1001	3G14	11	－	－	7.4	還硬	E	－	内外ロクロナデ	
339	須恵器	有台杯	SR1001	3G8	11	11.4	4.6	7.2	還硬	E	－	回転糸切り、ロクロナデ	
340	須恵器	有台杯	SR1001	3G9	12	10.4	5.2	5.6	還硬	A	－		
341	土師器	無台椀	SR1001	3G8	11	12.8	4.5	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
342	土師器	無台椀	SR1001	3G8	11	13.4	4.4	6.0	酸軟	A	－	回転糸切り、外上・内ロクロナデ、外下ロクロケズリ	
343	須恵器	甕	SR1001	3G3	11	19.6	－	－	還硬	C	－	外ロクロナデ、内ロクロナデ、カキメ	
344	須恵器	甕	SR1001 SR1001 SR1001 SR1001 SR1003 －	3F18 3F22 3F18・22・23、 3G3・8 3F17・22 3F14・18 3F18、4C7、4D20・ 21・23	1 2 5 11 1 Ⅵa8	23.6	－	－	酸硬	X	－	口ロクロナデ、体外斜格子叩き後ナデ、体内扇形当て具後ナデ	
345	須恵器	有台杯	SR1001	3G15		－	－	7.0	還硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外墨書「昨一女」、SR1001サブトレンチ
346	須恵器	杯蓋	SR1001 －	3G9 3F18	Ⅵa	16.6	－	－	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa、SR1001サブトレンチ
347	須恵器	無台杯	SR1002	2F12	1	12.2	3.0	7.6	還硬	B	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
348	土師器	無台椀	SR1002	3E6	1	12.8	3.7	6.0	酸軟	B	－	底外糸切り、内外ロクロナデ	
349	赤彩土師器	無台杯	SR1002	3F7	7	－	－	6.6	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・ハケメ、外ヘラミガキ、底外ロクロケズリ	
350	須恵器	甕	SR1002	2F12、3F12 3F12	1 10	27.6	－	－	還硬	X	－	口外外平行叩き後ロクロナデ、口内ロクロナデ、体外平行叩き、内扇形当て具	最大径49.2cm、取上げNo.16
351	土師器	無台椀	SR1003	2E・2F・3E・3F	1	12.2	4.5	4.8	酸軟	A	右	回転糸切り、外ロクロナデ、内ロクロナデ・カキメ	
352	土師器	無台椀	SR1003	2E25	1	－	－	5.8	酸軟	B	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
353	黒色土器	無台椀	SR1003	2E20	1	12.0	3.8	6.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
354	土師器	小甕	SR1003	3F1	1	－	－	7.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
355	須恵器	小型壺	SR1003	2E20	3	7.4	7.5	6.8	酸硬	E	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	最大径9.8cm
356	土師器	鍋（北陸型）	SR1003	2E20	10	39.8	－	－	酸軟	B	－	内カキメ、外ロクロナデ	
357	土師器	無台椀	SR1003	2E	10	12.8	4.1	4.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
358	黒色土器	有台皿	SR1003	2E	10	12.8	－	－	酸軟	B	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
359	赤彩土師器	鉢	SR1003 －	2E25 2E15・20、3D22、 3E11	3・4・ 10 Ⅵa	14.2	5.6	5.2	酸軟	A	－	内外ヘラミガキ、底外ヘラミガキ	
360	須恵器	凸帯付四耳壺	SR1003 － －	2E20 4E2 －	1 Ⅵb 排土	－	－	16.0	酸硬	C	－	外平行叩き、内扇形当て具、底外不調整	
361	須恵器	無台杯	SR1003 SR1003	2E20 3E15	1 14	11.4	3.4	6.6	還硬	C	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
362	土師器	無台椀	SR1003	2E・2F・3E・3F	13	－	－	5.0	酸軟	A	－	底外・外下ヘラケズリ、他ロクロナデ	内炭化物付着
363	土師器	無台椀	SR1003	3E21	15	12.8	4.0	5.4	酸軟	A	－	底外・外下ヘラケズリ、他ロクロナデ	
364	土師器	無台椀	SR1003	2E20	16	－	－	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
365	須恵器	杯蓋		3E8	Ⅵb	11.6	2.4	2.3	還硬	G	右	肩部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa
366	須恵器	杯蓋		4D7 4D8	Ⅵa Ⅵb	12.7	2.2	2.4	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅠ
367	須恵器	杯蓋		3F13 3F3・12	Ⅵa Ⅵb	12.4	2.9	2.6	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅠ
368	須恵器	杯蓋		4C22	Ⅵb	12.6	3.2	2.7	還硬	C	右	内ロクロナデ・静止ナデ、外ロクロナデ	重焼きⅠ
369	須恵器	杯蓋		3E4 3E3	Ⅵa Ⅵb	12.3	3.0	2.6	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡb
370	須恵器	杯蓋		3D9 3F13	Ⅵa Ⅵb	12.6	2.3	2.7	還硬	C	右	頂部ヘラケズリ、他ロクロナデ	
371	須恵器	杯蓋		3D20・25 2E5	Ⅵa Ⅵb	13.0	2.5	2.8	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅠ
372	須恵器	杯蓋		3C20、4C16 4C11・16	Ⅵa Ⅵb	13.4	2.1	3.2	還硬	D	右	頂部ヘラケズリ、他ロクロナデ	回転糸切りか
373	須恵器	杯蓋		4E8・23・24	Ⅵb	12.8	3.8	3.4	酸硬	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ他ロクロナデ	重焼きⅡb
374	須恵器	杯蓋		4C11	Ⅵb	13.6	2.6	4.0	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅡb、内磨耗顕著
375	須恵器	杯蓋		4D21、4E13	Ⅵb	13.5	2.8	3.2	還硬	X	右	頂部ロクロナデ、他ロクロナデ	重焼きⅠ
376	須恵器	杯蓋		4D11・16	Ⅵb	－	－	3.2	還硬	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	回転糸切りか
377	須恵器	杯蓋		4C22、4D12	Ⅵb	13.4	2.9	2.8	還軟	C	右	回転ヘラキリ、内ロクロナデ、外ロクロナデ・沈線	重焼きⅠ、内面炭化物付着
378	須恵器	杯蓋		4C17	Ⅵb	16.6	4.6	3.4	酸硬	E	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡa、小型の有台杯を乗せている
379	須恵器	杯蓋		4B22・23、4C7	Ⅵb	18.2	3.8	4.5	還硬	D	左	頂部ヘラケズリ、他ロクロナデ	重焼きⅡb
380	須恵器	有台杯		3F23	Ⅵb	10.0	4.6	6.2	還硬	C	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
381	須恵器	有台杯		3E24	Ⅵb	10.4	5.5	6.3	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
382	須恵器	有台杯		3F13・17	Ⅵb	11.5	4.0	6.8	還硬	C	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
383	須恵器	有台杯		4E2・3、4G4	Ⅵb	12.3	4.0	7.4	還硬	C	－	回転ヘラキリ、体内外ロクロナデ、見込みロクロナデ・静止ナデ	
384	須恵器	有台杯		3D19 4D2・3	Ⅵa Ⅵb	11.0	4.0	7.6	還硬	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	重焼きⅠ
385	須恵器	有台杯		4D9	Ⅵb	12.3	4.3	7.2	還硬	C	－	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
386	須恵器	有台杯		4D16	Ⅵb	11.5	4.7	7.1	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	

土器・陶磁器観察表（7）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
387	須恵器	有台杯		3E15	Ⅵb	11.2	4.5	8.0	還硬	C	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
388	須恵器	有台杯		2E20 3E6・16、3F7	Ⅵa Ⅵb	11.0	4.6	6.7	酸硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
389	須恵器	有台杯		3F12 3F12・13・17	Ⅵa Ⅵb	12.0	4.8	7.6	酸硬	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
390	須恵器	有台杯		3E14、4D22 3E10、4E2	Ⅵa Ⅵb	13.8	7.0	8.0	酸硬	E	右	回転糸切り、ロクロナデ	
391	須恵器	有台杯		4E5・10	Ⅵb	－	－	7.9	還軟	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
392	須恵器	有台杯		4D6	Ⅵb	－	－	9.8	還硬	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
393	須恵器	有台杯		3D15、3F3・9、 4E7、4F3 4D25	Ⅵa Ⅵb	13.2	6.7	7.6	還硬	B	左	回転ヘラキリ、外上・内ロクロナデ、外下ロクロケズリ	
394	須恵器	有台杯		4E8 4E8	Ⅵa Ⅵb	13.4	5.6	7.2	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
395	須恵器	有台杯		4E10	Ⅵb	－	－	6.8	還軟	G	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外墨書「一女」
396	須恵器	無台杯		3F12 3F6 3F7・12	Ⅵa6 Ⅵa Ⅵb	－	－	7.4	還硬	C	－	内カキメ、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ、静止糸切り後底外外縁ヘラケズリ	
397	須恵器	無台杯		2E20、3D10、4E11 2E15、3E12	Ⅵa Ⅵb	12.4	3.4	7.2	還硬	G	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ、底外静止ナデ	
398	須恵器	無台杯		4D13	Ⅵb	12.7	3.8	8.0	還硬	A	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
399	須恵器	無台杯		3F15・19 4D15	Ⅵa Ⅵb	12.0	3.6	7.6	還硬	D	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
400	須恵器	無台杯		4D22	Ⅵb	12.4	3.2	6.2	還硬	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
401	須恵器	無台杯		4D12・13	Ⅵb	12.4	3.1	8.4	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
402	須恵器	無台杯		2E10、4E4・8	Ⅵb	12.2	3.0	7.0	還硬	B	左	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
403	須恵器	無台杯		3G4	Ⅵb	11.8	2.8	7.3	還硬	B	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
404	須恵器	無台杯		4E6	Ⅵb	13.4	4.1	6.8	還軟	E	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
405	須恵器	無台杯		4D16	Ⅵb	－	－	9.8	還硬	X	右	内外ロクロナデ、底外回転ヘラキリ後ヘラケズリ	
406	須恵器	無台杯		4D13・14	Ⅵb	11.8	3.6	8.2	還軟	C	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	底外墨書「田一女人カ」
407	須恵器	無台杯		4D24	Ⅵb	－	－	5.6	還軟	E	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	内漆付着
408	須恵器	小杯		3C5	Ⅵb	7.7	3.1	5.2	還硬	E	－	静止糸切り、ロクロナデ	
409	須恵器	鉄鉢		4E1	Ⅵb	13.5	－	－	還硬	E	－	内外ロクロナデ	
410	須恵器	壺蓋		4D14、5D16 －	Ⅵb 排土	－	－	－	還硬	C	右	内外ロクロナデ	壺の口縁部熔着
411	須恵器	壺蓋		4D9 3F18	Ⅵa Ⅵb	12.0	－	－	還硬	C	右	頂部ロクロケズリ、他ロクロナデ	
412	須恵器	壺蓋		3D25 4D12	Ⅵa Ⅵb	12.2	－	－	還硬	C	－	頂部ヘラケズリ、他ロクロナデ	
413	須恵器	小型壺		4E10 4E15、5E1	Ⅵa Ⅵb	6.2	－	－	還硬	C	－	内ロクロナデ、外ロクロナデ・沈線	最大径12.2cm
414	須恵器	短頸壺（小型）		3D9 4C12	Ⅵa Ⅵb	4.4	－	－	還硬	C	－	内ロクロナデ、外ロクロナデ・沈線	最大径10.6cm
415	須恵器	狭口壺		3D5、5E6 4E10、5D21、5E6	Ⅵa Ⅵb	12.0	－	－	還硬	C	－	内外ロクロナデ	蓋有り
416	須恵器	狭口壺		3F19 4E23	Ⅵa Ⅵb	14.0	－	－	還硬	E	－	内外ロクロナデ	
417	須恵器	凸帯付四耳壺		4E24	Ⅵb	－	－	－	酸硬	E	－	外平行叩き、内ロクロナデ	最大径25.4cm
418	須恵器	凸帯付四耳壺		4D7・19・21、4F1 4E6	Ⅵa Ⅵb	－	－	－	酸硬	E	－	外平行叩き、内扇形当て具	417と同一個体か
419	須恵器	横瓶		2D25、4D3・4 4D8	Ⅵa Ⅵb	－	－	－	還硬	C	－	円盤閉塞、内同心円文当て具、外カキメ・平行叩き	
420	須恵器	長胴瓶		3E20	Ⅵb	16.2	－	－	還硬	B	－	内外ロクロナデ	
421	須恵器	括れ鉢		3E15、5D11	Ⅵb	29.8	－	－	還軟	C	右	口ロクロナデ、内ロクロナデ・カキメ、体外上ロクロナデ、体外上ロクロケズリ	
422	須恵器	括れ鉢		3E21・22 3E23	Ⅵa Ⅵb	28.0	－	－	還軟	C	右	口内外・体外上ロクロナデ、体外下ロクロケズリ、体内ロクロナデ・カキメ	
423	須恵器	円面硯		4F11	Ⅵb	－	－	13.2	還硬	C	－	内外ロクロナデ、外面箆描き「ロ」	424と同一個体か
424	須恵器	円面硯		4F16	Ⅵb	9.5	－	－	還硬	C	－	内外ロクロナデ	上面降灰、使用痕無
425	土師器	無台杯?		3D5	Ⅵb	11.4	5.4	6.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
426	土師器	無台杯		3D14	Ⅵb	10.8	3.9	5.6	酸軟	A	－	外上・内ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ、焼成後穿孔	
427	土師器	無台椀		4E12	Ⅵb	12.6	4.7	7.1	酸軟	A	右	静止糸切り、外上・内ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
428	土師器	無台椀		4E13	Ⅵb	12.5	4.2	7.6	酸軟	A	右	内・外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ、底外ヘラキリ後ロクロケズリ	
429	土師器	無台椀		3E21	Ⅵb	12.8	4.1	6.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
430	土師器	無台椀		4D18	Ⅵb	12.6	4.1	6.6	酸軟	B	右	回転ヘラキリ、内外ロクロナデ	
431	土師器	無台椀		3E15	Ⅵb	12.4	3.7	7.2	酸軟	D	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
432	土師器	無台杯		2E15	Ⅵb	12.2	3.6	7.4	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
433	土師器	無台椀		4E11	Ⅵb	11.8	4.6	6.4	酸軟	A	－	内ロクロナデ、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
434	土師器	無台椀		5D8	Ⅵb	13.0	3.9	6.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
435	土師器	無台椀		4F11	Ⅵb	13.5	4.5	5.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
436	土師器	無台椀		4D2・7 4D7	Ⅵa Ⅵb	13.2	4.0	5.0	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
437	土師器	無台椀		3F17	Ⅵb	13.1	4.4	4.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
438	土師器	無台椀		3G25	Ⅵb	12.4	4.1	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
439	土師器	無台椀		4F12	Ⅵb	12.5	4.3	5.2	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
440	土師器	無台椀		3G5	Ⅵb	12.6	4.2	6.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
441	土師器	無台椀		2E15	Ⅵb	－	－	6.6	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
442	土師器	無台椀		3E15	Ⅵb	－	－	7.0	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
443	土師器	無台椀		3E15	Ⅵb	－	－	6.8	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
444	土師器	無台椀		3E15	Ⅵb	－	－	6.6	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
445	土師器	無台椀		Tr2	Ⅵb	－	－	6.0	酸軟	A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	底外刻書「女」
446	土師器	無台椀		4C8	Ⅵb	－	－	6.2	酸軟	A	－	内ロクロナデ、外・底外ヘラケズリ	底外刻書「女カ」
447	黒色土器	無台椀		4E6	Ⅵb	－	－	5.2	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	底外墨書「昨一女」

土器・陶磁器観察表（8）

番号	種類	器種	遺構	グリッド	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	回転方向	調整	備考
448	赤彩土師器	無台椀		4E16	Ⅵb	16.0	－	－	酸軟	B	－	内外ヘラミガキ	
449	赤彩土師器	無台椀		3F12、4E7 4E11	Ⅵa Ⅵb	－	－	5.2	酸軟	B	－	内外ヘラミガキ、底外ヘラミガキ	448と同一個体か
450	赤彩土師器	（有台）皿×高坏		4E16 4E11・17	Ⅵa Ⅵb	13.6	－	－	酸軟	A	－	内外ヘラミガキ	
451	両面黒色土器	有台皿		4E10	Ⅵb	－	－	－	酸軟	C	－	内外ヘラミガキ後黒色処理	
452	黒色土器	小椀		4D7	Ⅵb	10.8	3.1	6.2	酸軟		右	回転糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ	
453	黒色土器	無台椀		3E5 4E1	Ⅵa Ⅵb	13.6	3.5	6.8	酸軟	A	右	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ロクロケズリ、底外回転糸切り後ロクロケズリ	
454	黒色土器	無台椀		4E10	Ⅵb	13.0	4.2	5.6	酸軟	A	右	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
455	黒色土器	無台椀		5D9	Ⅵb	13.7	4.8	6.2	酸軟	A	右	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ロクロケズリ	
456	黒色土器	無台椀		4D22・23 4D18・23	Ⅵa Ⅵb	16.6	7.8	7.0	酸軟	A	－	静止糸切り、内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
457	黒色土器	無台椀		4E1・2 4E1	Ⅵa Ⅵb	15.2	5.6	6.3	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下・底外ヘラケズリ	
458	黒色土器	高坏		5D23	Ⅵb	14.4	－	－	酸軟			杯内ヘラミガキ後黒色処理、杯・脚外ヘラミガキ、脚内ナデ・巻き上げ痕残る。	残存高9.8cm
459	土師器	小甕（在地型）		3G15	Ⅵb	10.0	－	－	酸軟	A	－	口内外ヨコナデ、体内ナデ・粘土紐痕残る、体外摩耗	
460	土師器	小甕（在地型）		3D3	Ⅵb	16.4	－	－	酸軟			口内外ヨコナデ、体内ナデ、体外ヘラケズリ	
461	土師器	小甕		4D14	Ⅵb	－	－	4.4	酸軟	A	－	内ロクロナデ・カキメ、外ハケメ・ヘラケズリ、底外不調整	
462	土師器	甕類（在地型）		3D9	Ⅵb	－	－	6.0	酸軟			内ハケメ、体外ヘラケズリ	
463	土師器	長胴甕(在地型)		2D25、3D16	Ⅵb	－	－	10.0	酸軟			内ハケメ、体外・底外ヘラケズリ	
464	土師器	甕類（在地型）		4E1	Ⅵb	－	－	6.0	酸軟	A	－	内ナデ・指頭圧痕、体外・底外ヘラケズリ	
465	黒色土器	鉢		5E11 5E7・12	Ⅵa Ⅵb	31.2	－	－	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
466	黒色土器	鉢		5C3	Ⅵb	－	－	11.4	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外ロクロナデ、底外ヘラケズリ	
467	黒色土器	無台椀		4E17	Ⅵb	－	－	6.2	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外摩耗、底外ヘラミガキ	
468	黒色土器	有台皿		4F11 4F一括	Ⅵa Ⅵb	10.7	－	－	酸軟	A	－	内ヘラミガキ・黒色処理、外上ロクロナデ、外下ヘラケズリ	
469	黒色土器	有台皿		4E23	Ⅵb	－	－	7.0	酸軟				
470	土師器	長胴甕		4E6	Ⅵb	19.4	－	－	酸軟	A	－	口ヨコナデ、体内ハケメ・ナデ、体外ヘラケズリ、粘土紐痕残る	
471	土師器	長胴甕(在地型)		3E10、4E1・6	Ⅵb	25.0	－	－	酸軟	C	－	口ヨコナデ、体内ナデ、体外ハケメ	
472	土師器	小甕（北陸型）		3F7	Ⅵb	15.2	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
473	土師器	長胴甕(北陸型)		4F16	Ⅵb	14.6	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
474	土師器	小甕（北信型）		3D22	Ⅵb	13.0	－	－	酸軟	B		内外ロクロナデ	
475	土師器	小甕（北信型）		2E10	Ⅵb	11.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
476	土師器	小甕		3G15・20	Ⅵb	－	－	6.4	酸軟	B	右	回転糸切り、内ロクロナデ・カキメ、外ロクロナデ	
477	土師器	小甕（在地型）		4E11	Ⅵb	－	－	5.6	酸軟	A	－	内ナデ、外摩耗、底外不調整	
478	土師器	小甕		4F7	Ⅵb	－	－	6.4	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
479	土師器	小甕		4F7	Ⅵb	－	－	6.2	酸軟	A	右	回転糸切り、外ヘラケズリ、内ロクロナデ	
480	土師器	甕類（在地型）		4F21	Ⅵb	－	－	6.6	酸軟	A		底部充填、内外摩耗	
481	土師器	小甕		3F24 3G4	Ⅵa Ⅵb	－	－	6.9	酸軟	A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
482	土師器	長胴甕(北陸型)		5E1・6	Ⅵb	20.2	－	－	酸軟	B	－	内外ロクロナデ	
483	土師器	長胴甕(北陸型)		4D19	Ⅵb	22.4	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
484	土師器	長胴甕(北陸型)		3C12	Ⅵb	20.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
485	土師器	長胴甕(北信型)		4D23・24	Ⅵb	18.5	－	－	酸軟	A	－	内ロクロナデ・カキメ、外ロクロナデ	
486	土師器	長胴甕(北信型)		3G9	Ⅵb	18.0	－	－	酸軟	A	－	内外ロクロナデ	
487	土師器	小甕（武蔵型）		4E15	Ⅵb	12.3	－	－	酸軟	E	－	口内外ヨコナデ、外ヘラケズリ、内ナデ	
488	土師器	台付甕(武蔵型)		4E1	Ⅵb	－	－	－	酸軟	E	－	体外ヘラケズリ、体内ナデ	
489	土師器	台付甕(ロクロ)		5E6	Ⅵb	－	－	－	酸軟	B	－	脚ロクロナデ	
490	土師器	長胴甕(武蔵型)		4D21	Ⅵb	22.0	－	－	酸軟	E	－	口内外ヨコナデ、外ヘラケズリ、内ナデ	
491	土師器	長胴甕(武蔵型)		4D21	Ⅵb	21.2	－	－	酸軟	E	－	口内外ヨコナデ、外ヘラケズリ、内ナデ	
492	緑釉陶器	椀×皿		4E15	Ⅵb	－	－	5.4	軟質	京都	－	内ヘラミガキ、外摩耗、平高台削り出し、施釉	
493	灰釉陶器	椀		4F6	Ⅵb	16.0	－	－	還硬	尾張	－	内外ロクロナデ	
494	灰釉陶器	長頸瓶		3F10、4D6・9・10・12・15、4F11 4E25、4F4、5D11、5E6 －	Ⅵa Ⅵb 排土	－	－	－	還硬	尾張	右	内ロクロナデ、外ヘラケズリ	
495	灰釉陶器	長頸瓶		2D10、3D6・12、4E24、4F3、5E17 2D10、4F16	Ⅵa Ⅵb	－	－	16.8	還硬	尾張	右	内ロクロナデ、外ヘラケズリ	
496	土師器	鍋（北陸型）		4D4	Ⅵb	38.4	－	－		A	－	内ロクロナデ、外ロクロナデ・カキメ	
497	土師器	鍋（北陸型）		4D18	Ⅵb	35.0	－	－		B	－	内外ロクロナデ	
498	土師器	無台椀		3G20	Ⅵb下	13.0	4.7	5.4		A	右	回転糸切り、内外ロクロナデ	
499	土師器	小甕（在地型）		4C15	Ⅶa	－	－	7.6		A	－	内ナデ、外ハケメ、底外不調整	
500	土師器	無台椀		2E25	Ⅶ	－	－	6.6		A	－	回転糸切り、内外ロクロナデ	
501	土師器	高坏			排土	－	－	－		A	－	内外摩耗	
502	土師器	羽甕		金屋Ⅱ確認1Tr-A		－	－	－		A	－	羽部ヨコナデ、内ナデ、外ヘラケズリ	羽径21.6cm
503	須恵器	横瓶		蟻子山　表採		－	－	－		B	－	外斜格子叩き、内布目痕	

石製品遺物観察表

番号	器種	遺構	グリッド	層位	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	石材	重量（g）	備考
539	丸鞆		3E25	Ⅵa	3.9	2.7	0.8	粘板岩		
540	磨製石斧		4E24	Ⅵb	15.4	5.0	3.6	砂岩	479.3	

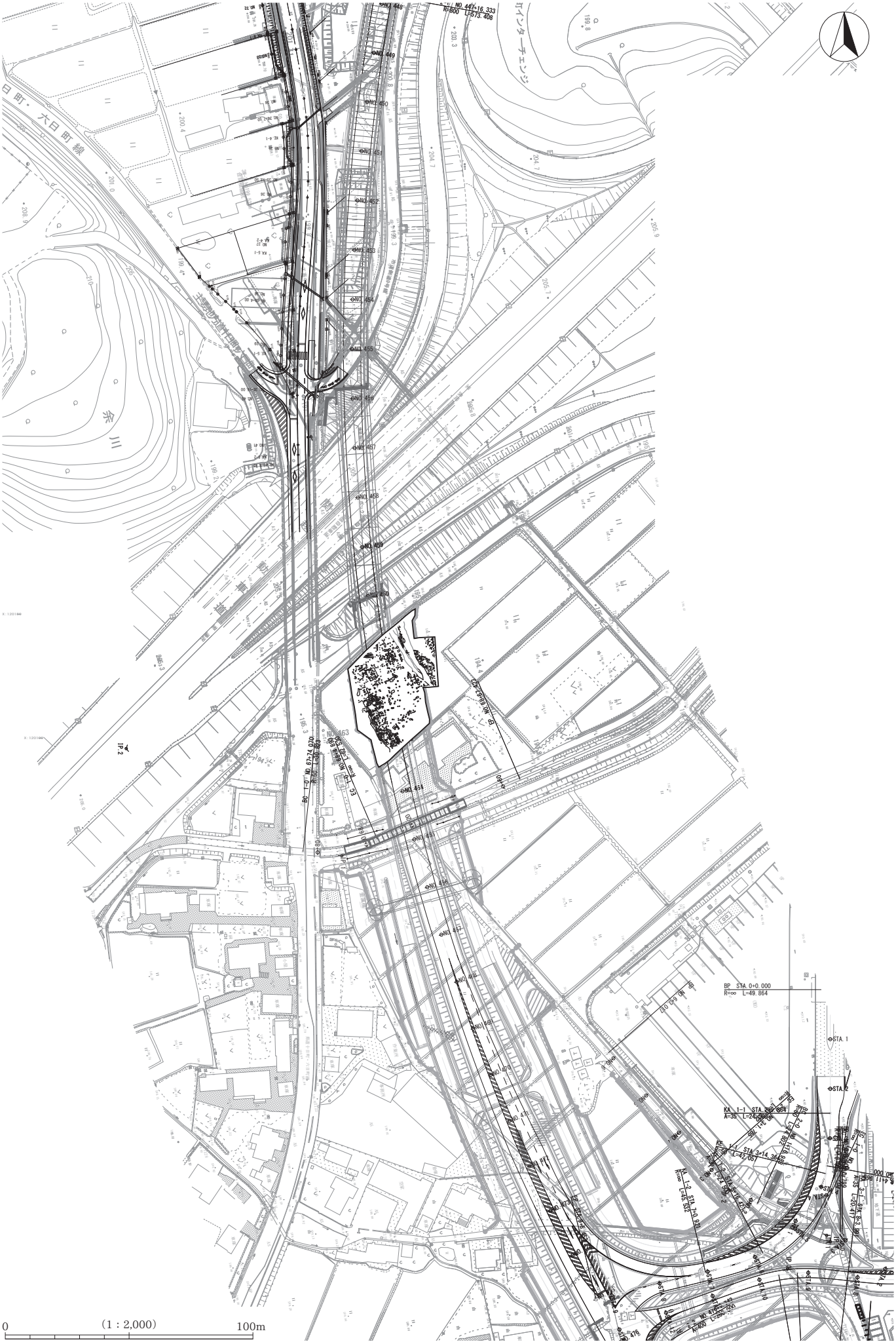
金屋遺跡Ⅳ・Ⅴ　金属製品遺物観察表

No.	材質	器種	遺構	グリッド	層位	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	備考
504	鉄	紡輪の軸		3D13	Ⅵa	15.1	0.6	0.6	12	
505	鉄	紡輪		2D15	Ⅵa	4.1	0.4	0.4	17	
506	鉄	鎌		3E5	Ⅵa	16.0	2.1	0.4	58	
507	鉄	刀子		3D15	Ⅵa	9.3	2.0	0.4	11	
508	鉄	刀子		4D17	Ⅵa	8.3	1.3	0.4	6	
509	鉄	刀子		3D20	Ⅵb	4.8	0.8	0.4	3	
510	鉄	刀子		4F4	Ⅵa	3.0	0.7	0.3	1	
511	鉄	不明		3D10	Ⅵa	9.5	6.3	1.3	37	
512	鉄	蓋か		4D21	Ⅵa	5.1	3.2	0.4	13	
513	鉄	不明		3F19	Ⅵa	5.2	2.2	0.5	11	
514	鉄	釘		3F12	Ⅵa	3.4	0.5	0.5	3	
515	鉄	釘×鎹		4E8	Ⅵa	2.7	0.4	0.5	2	
516	鉄	釘		4D22	Ⅵa	4.6	0.5	0.7	4	
517	鉄	釘		3D7	Ⅵa	3.5	2.1	1.0	3	
518	鉄	環		4D5	Ⅵa	2.3	0.4	0.4	3	
519	鉄	鏃		3D13	Ⅵa	5.1	0.4	0.4	4	
520	鉄	鏃		3D8	Ⅵb	14.3	1.9	1.1	38	
521	鉄	茎		4E9	Ⅵa	8.5	0.9	0.6	17	
522	鉄	茎		3F9	Ⅵa	6.2	2.2	1.3	6	
523	鉄	茎		3D21	Ⅵa	4.5	0.9	0.6	5	
524	鉄	鏃		5D11	Ⅵa	4.8	1.1	0.7	4	
525	鉄	茎		4E10	Ⅵa	3.8	0.8	0.4	6	
526	鉄	茎		3D10	Ⅵa	20.4	2.7	3.3	41	
527	鉄	茎		4E1	Ⅵa	7.2	1.2	0.8	8	
528	鉄	茎		4D17	Ⅵa	10.2	1.7	1.3	14	
529	鉄	轡							370	
530	鉄	鏃	SK1470	3D12	2	18.4	2.0	2.2	35	
531	鉄	鏃	P1246	5D16	1	7.7	1.1	0.8	12	
532	鉄	茎	SR1001	3F23	5	7.1	0.9	0.7	7	
533	鉄	釘		3F14	Ⅵb	4.2	0.8	0.7	5	
534	鉄	釘		4F15	Ⅵb	3.5	0.7	0.8	8	
535	鉄	釘		4D24	Ⅵb	3.0	0.7	0.4	3	
536	鉄	刀子		4D4	Ⅵb	6.5	0.8	0.4	8	
537	鉄	不明		3C20	Ⅵb	8.2	2.9	1.3	30	
538	青銅	鈸具	SK3160	5D25	1	4.4	4.4	1.2	14	

図　　版

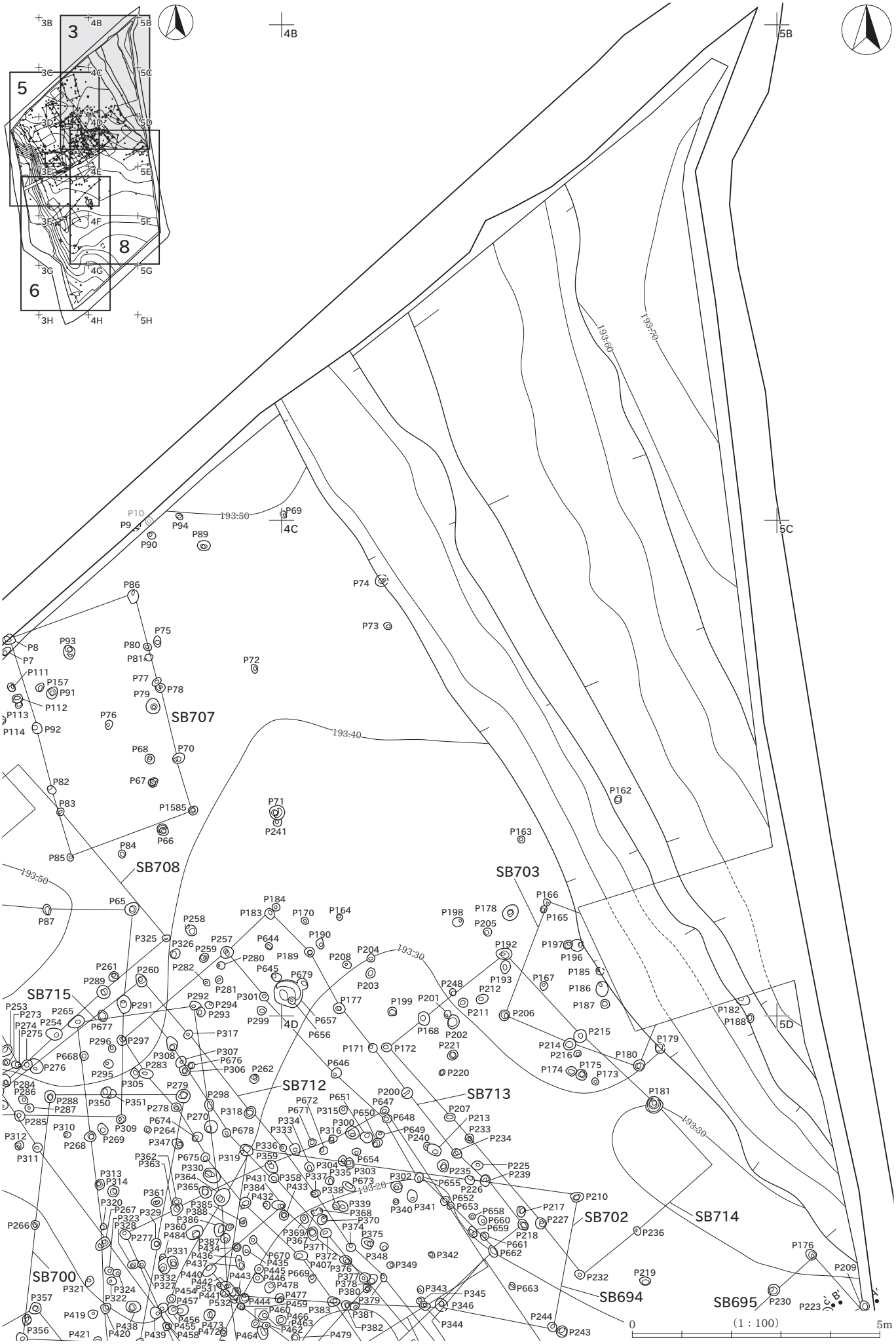
調査区の位置

図 版 1



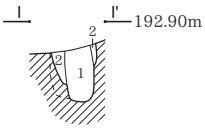
上層全体図

2B
3B
4B
5B
6B
2C
3C
4C
5C
6C
2D
3D
4D
5D
6D
2E
3E
4E
5E
6E
2F
3F
4F
5F
6F
2G
3G
4G
5G
6G
2H
3H
4H
5H
6H
No.460+0.708
195.26
195.59
195.18
195.10
194.73
194.63
194.36
194.35
194.34
193.50
193.40
193.30
193.20
193.10
193.00
192.90
192.80
192.70
192.60
192.50
192.40
192.30
192.20
192.10
0
(1：250)
10m


SB707
SB708
SB715
SB712
SB713
SB703
SB702
SB714
SB700
SB694
SB695
193.50
193.40
193.30
193.20
193.60
193.70
0
(1 : 100)
5m

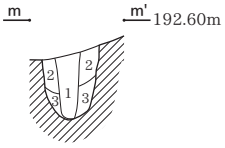
SA706

P616



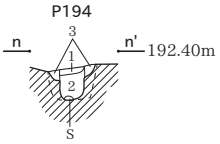
P616
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

P618



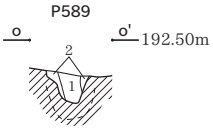
P618
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子中量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子中量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量含む。

P194



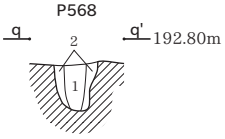
P194
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。
2 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。径5～7mmの地山ブロック少量含む。
3 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。

P589

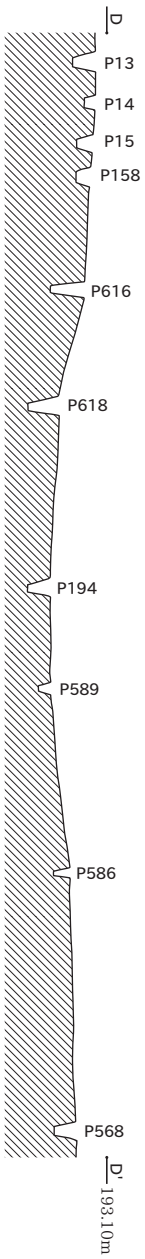


P589
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

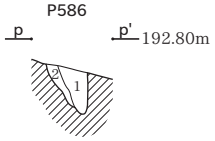
P568



P568
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



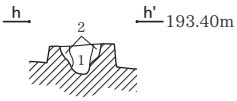
P586



P586
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

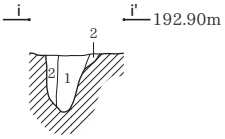
SA721

P125



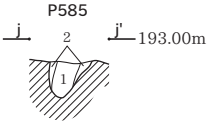
P125
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量含む。
2 にぶい黄色2.5Y6/3シルト。粘性やや弱い。しまり強い　黒褐色シルト粒子中量含む。

P590



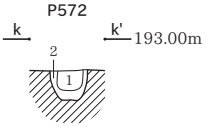
P590
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P585

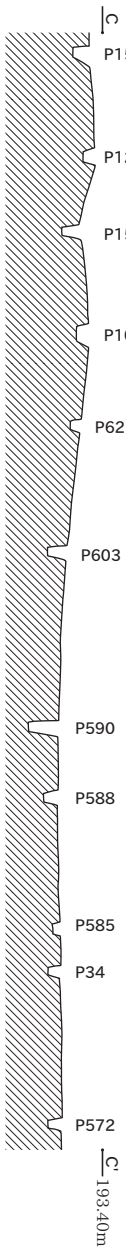


P585
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P572

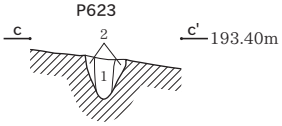


P572
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



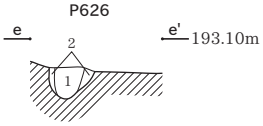
SA718

P623



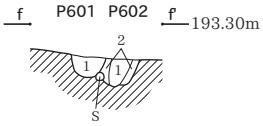
P623
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量、径約10mmの礫少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量含む。

P626



P626
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

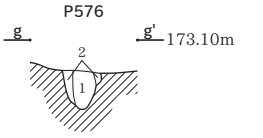
P601　P602



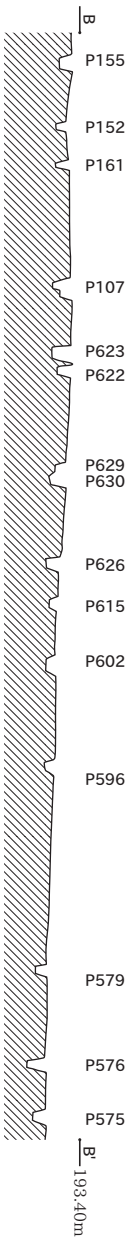
P601
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

P602
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

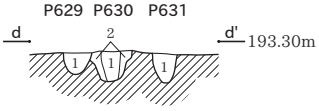
P576



P576
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。



P629　P630　P631

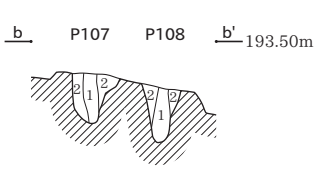


P629
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P630
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

P631
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径1～10mmの地山ブロック多量、炭化物粒子微量含む。

P107　P108

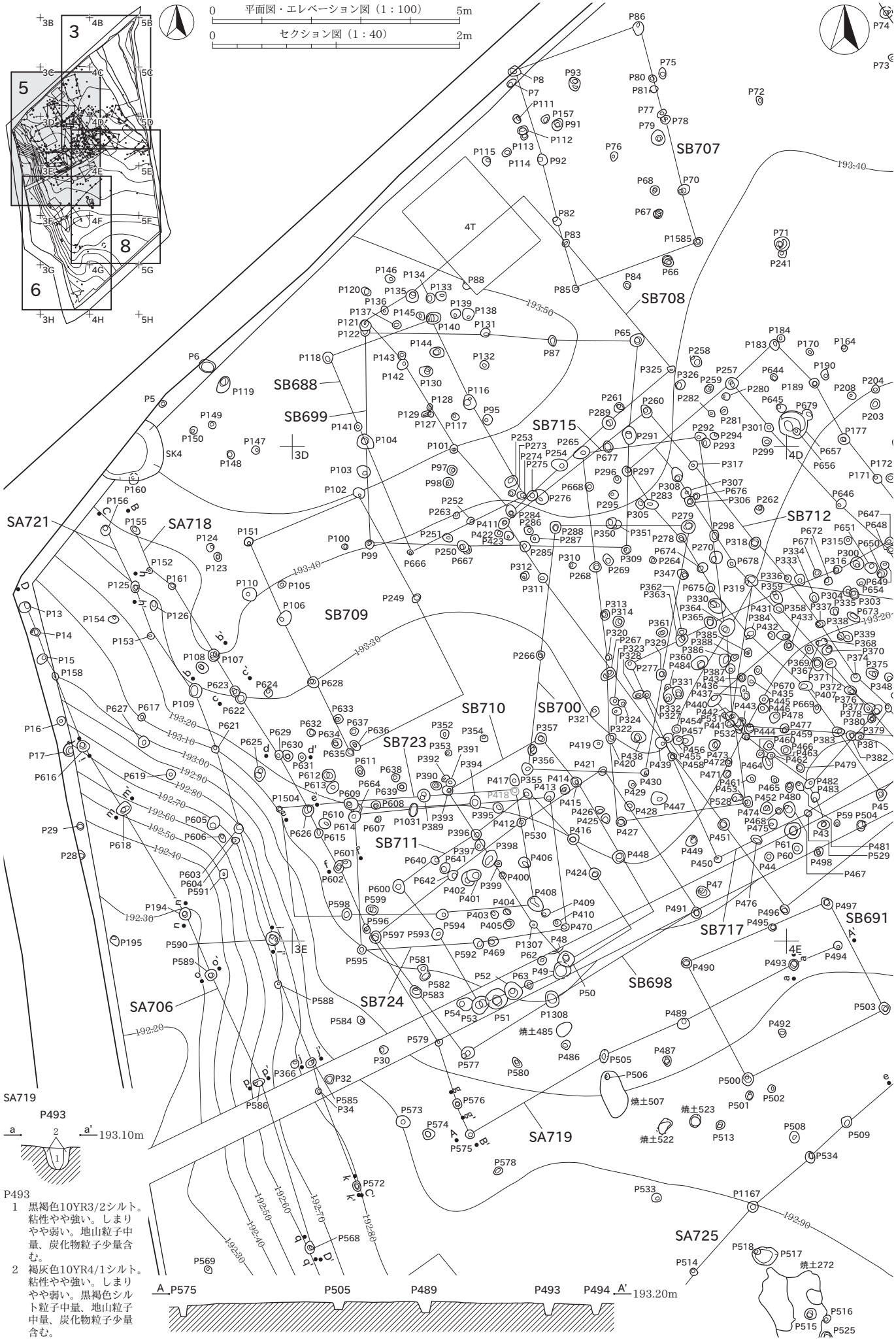


P107
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5～10mmの地山ブロック中量含む。

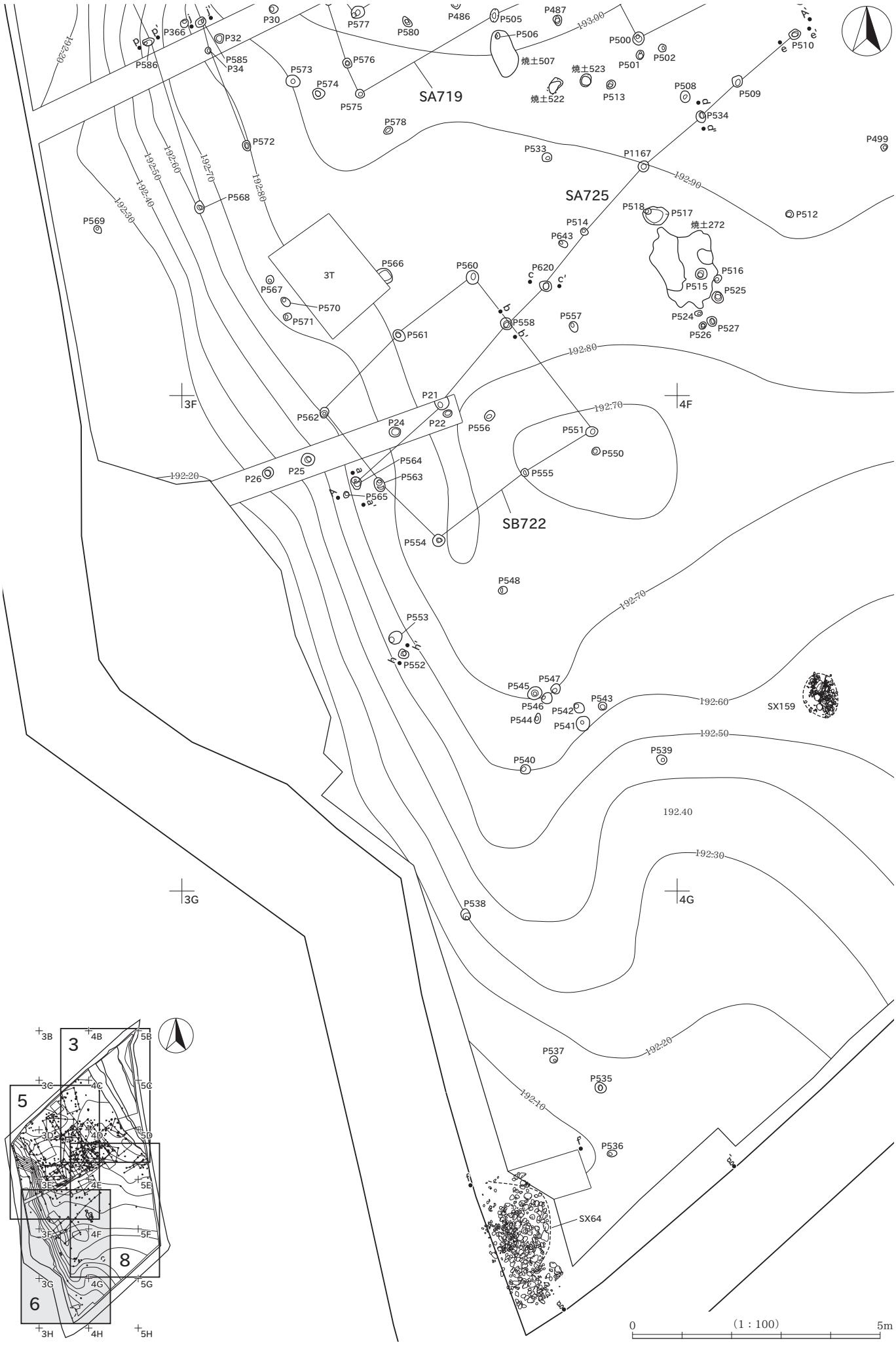
P108
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径5～15mmの地山ブロック多量含む。
2 にぶい黄色2.5Y6/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径5～15mmmの褐灰色シルトブロック少量含む。

0　エレベーション図（1：100）　5m

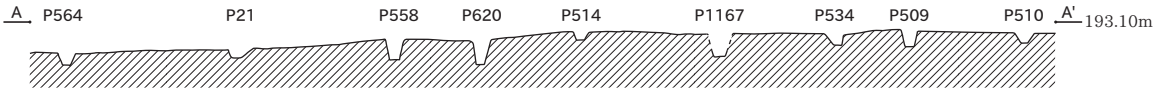
0　セクション図（1：40）　2m

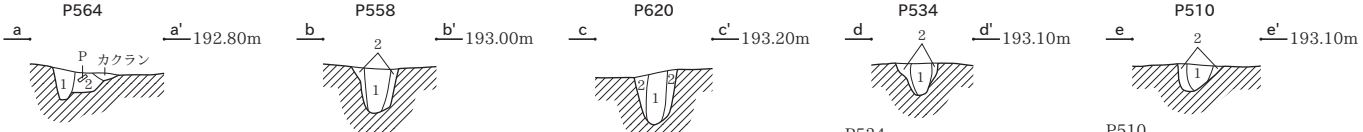


P493
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。


SA719
SA725
SB722
3T
3F
4F
3G
4G
SX159
SX64
焼土507
焼土522
焼土523
焼土272
P1167
P1
P21
P22
P24
P25
P26
P30
P32
P34
P36
P37
P38
P39
P40
P41
P42
P43
P44
P45
P46
P47
P48
P49
P50
P51
P52
P53
P54
P55
P556
P557
P558
P560
P561
P562
P563
P564
P565
P566
P567
P568
P569
P570
P571
P572
P573
P574
P575
P576
P577
P578
P580
P585
P586
P587
P588
P589
P590
P591
P592
P593
P594
P595
P596
P597
P598
P599
P500
P501
P502
P505
P506
P508
P509
P510
P512
P513
P514
P515
P516
P517
P518
P524
P525
P526
P527
P533
P534
P535
P536
P537
P538
P539
P540
P541
P542
P543
P544
P545
P546
P547
P548
P550
P551
P552
P553
P554
P555
P556
P557
P558
P560
P561
P562
P563
P564
P565
P566
P567
P568
P569
P570
P571
P572
P573
P574
P575
P576
P577
P578
P580
P486
P487
192.20
192.30
192.40
192.50
192.60
192.70
192.80
192.90
193.00
192.10
192.40
0
(1 : 100)
5m
3
5
6
8
3B
4B
5B
3C
4C
5C
3D
4D
5D
3E
4E
5E
3F
4F
5F
3G
4G
5G
3H
4H
5H

SA725





P564
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。径1～10mmの地山ブロック少量、炭化物粒子少量含む。土器含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。土器含む。

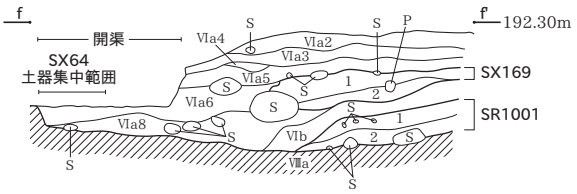
P558
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物粒子微量、径約10mmの小礫含む。

P620
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。

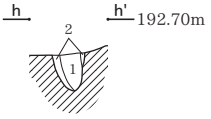
P534
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P510
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

SX64

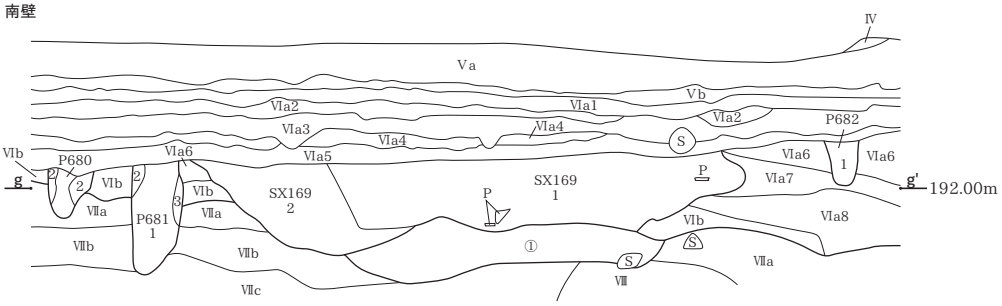


P552



P552
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

南壁



SX64・南壁
Ⅳ層　黄褐色10YR5/6シルト。粘性弱い。しまり強い。洪水堆積層。部分的に浅黄色砂が筋状に混じる。
Ⅴa層　明黄褐色10YR6/6砂。粘性弱い。しまりやや弱い。洪水堆積層。にぶい黄褐色シルト（10YR5/4）が互層状に堆積する。
Ⅴb層　黒褐色10YR3/2粘質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。洪水堆積層。にぶい黄色シルト（2.5Y6/3）が互層状に堆積。堆積時にⅥa層を巻き込んで形成か。鉄分多い。
Ⅵa1層　黒褐色10YR3/1～3/2粘質土。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～3mmの炭化物微量、径1～5mm黄褐色粒子中量含む。
Ⅵa2層　黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。洪水堆積層か。褐灰色（10YR4/1）ブロック部分的に混じる。鉄分中量、遺物微量含む。
Ⅵa3層　黒褐色10YR3/1～3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径1～5mmの炭化物・径1～5mm黄褐色粒子・鉄分少量含む。Ⅵa1層に似るがやや砂質が強い。
Ⅵa4層　にぶい黄褐色10YR6/3シルト。粘性弱い。しまり強い。洪水堆積層か。鉄分多量含む。
Ⅵa5層　褐灰色10YR5/1～4/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。径5～30mmの灰白色土中量、炭化物粒子少量、鉄分多量含む。
Ⅵa6層　にぶい黄色2.5Y6/4シルト。均質な土質。粘性やや弱い。しまりやや強。洪水堆積層か。径1～10mmの炭化物・径10～20mmの褐灰色ブロック少量、砂粒微量含む。
Ⅵa7層　灰黄褐色10YR5/2シルト。粘性やや弱い。しまり強い。径1～5mm炭化物・径5～15mm灰黄色ブロック少量、鉄分多量含む。
Ⅵa8層　褐色10YR6/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。洪水堆積層か。径5～10mmの炭化物微量、径1～5mm褐灰色土少量、鉄分多量含む。
Ⅵb層　褐灰色10YR5/1～4/1粘質土。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～10mmの炭化物・Ⅶ層由来の径1～10mm灰黄色粒子少量含、鉄分多量含む。
Ⅶa層　にぶい黄色～灰黄色2.5Y6/3～6/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。洪水堆積層。古代の土器を少量含む。
Ⅶb層　灰黄褐色～黄褐色10YR5/2～2.5Y5/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mm炭化物微量含む。
Ⅶc層　灰黄色2.5Y6/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。洪水堆積層。径10～150mmの礫含む。
Ⅷ層　礫層。鉄分多量含む。上面起伏が著しい。Ⅵb層直下がⅧ層となる地点もある。

SX169
1　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性　やや弱い。しまりやや弱い。径5～10mmの灰白色土ブロック少量、炭化物粒子微量、径40～100の礫mm中量含む。鉄分・土器含む。
2　にぶい黄褐色10YR6/4シルト。粘性やや弱い。しまり強い。灰白色土粒子中量、径1～30mmの小礫少量含む。部分的に径1mm以下の砂粒含む。

P680
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物粒子微量含む。

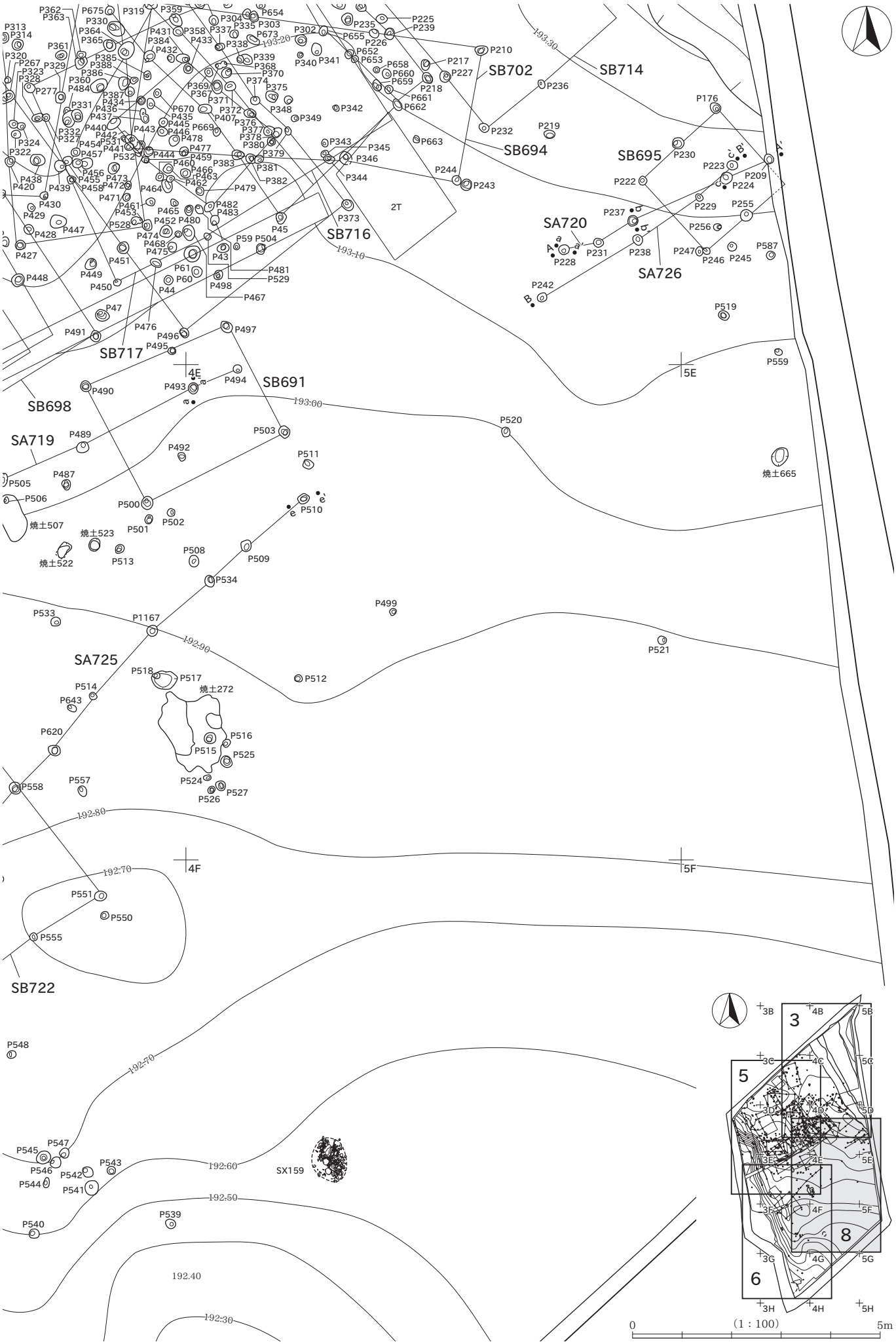
P681
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまり強い。灰白色シルト粒子微量、炭化物粒子少量含む。
2　にぶい黄褐色10YR5/4シルト。粘性やや弱い。しまり強い。Ⅵa4層由来と推測される灰白色シルト粒子多量、炭化物粒子微量含む。
3　にぶい黄褐色10YR5/4シルト。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物粒子微量含む。

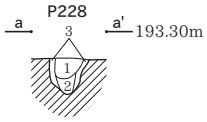
P682
褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。Ⅵa3層由来と推測される黒褐色シルト粒子微量、炭化物粒子微量含む。鉄分含む。

①　にぶい黄橙色10YR6/4シルト　やや強　強　灰白色シルト（Ⅶc層由来か）粒子少量、炭化物粒子少量含む。

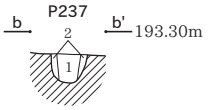
SR1001
1　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや弱い。しまり強い。径5～30mmの灰黄色土ブロック・炭化物・鉄分少量、径10～30mm小礫多量含む。
2　褐灰色10YR5/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。灰白色土粒子少量、炭化物粒子微量、径70～150mmの礫中量含む。

0　エレベーション図（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m

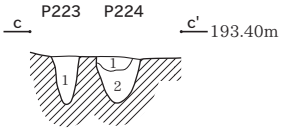

SB702
SB714
SB694
SB695
SB716
SA720
SA726
SB717
SB691
SB698
SA719
SA725
SB722
SX159
2T
4E
5E
4F
5F
193.30
193.20
193.10
193.00
192.90
192.80
192.70
192.60
192.50
192.40
192.30
焼土665
焼土507
焼土523
焼土522
焼土272
0
(1：100)
5m



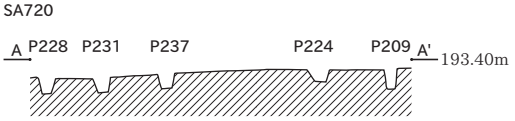
P228
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子・炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子微量含む。
3　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

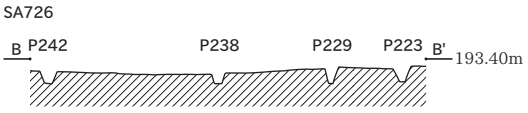


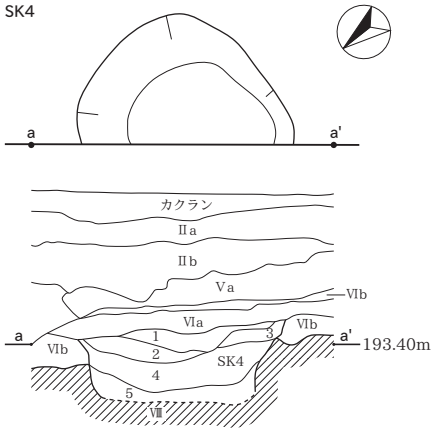
P237
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。



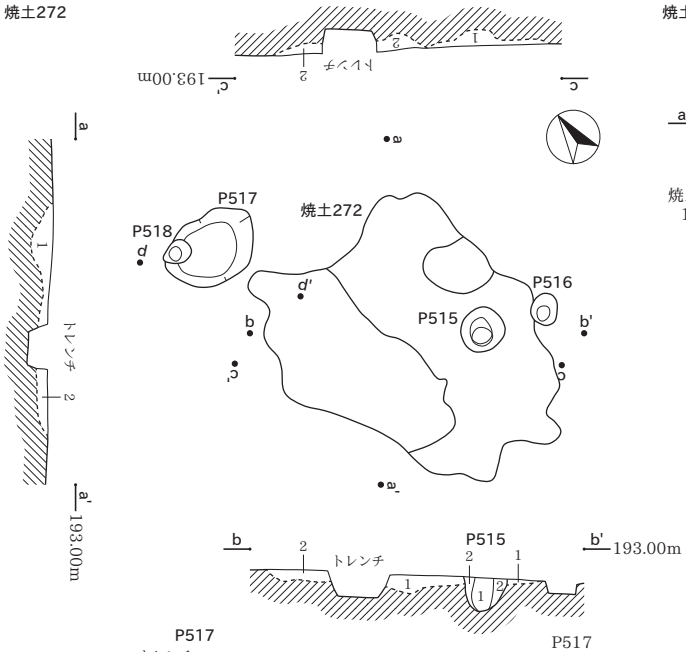
P223
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。
P224
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。土師器片含む。
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。須恵器片含む。



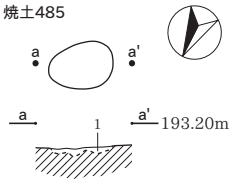




SK4
Ⅱa　灰黄褐色10YR4/2粘質土　強　強　拳大の礫含む。鉄分多い。
Ⅱb　灰オリーブ色5Y6/2シルト　やや強　強　洪水堆積層か。拳大の礫含む。鉄分多い。北壁のⅢ層が厚くなる付近で確認。
Va層　明黄褐色10YR6/6砂。粘性弱い。しまりやや弱い。洪水堆積層。にぶい黄褐色シルト（10YR5/4）が互層状に堆積する。
Vb層　黒褐色10YR3/2粘質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。洪水堆積層。にぶい黄色シルト（2.5Y6/3）が互層状に堆積。堆積時にVla層を巻き込んで形成か。鉄分多い。
Vla層　黒褐色10YR3/1～3/2粘質土。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～3mmの炭化物微量、径1～5mm黄褐色粒子中量含む。
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径5～30mmの地山ブロック微量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子微量、炭化物粒子多量含む。
3　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
4　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子・炭化物粒子微量含む。
5　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子・炭化物粒子微量含む。
Vlb層　褐灰色10YR5/1～4/1粘質土。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～10mmの炭化物・Ⅶ層由来の径1～10mm灰黄色粒子少量含、鉄分多量含む。
Ⅶ層　にぶい黄色～灰黄色2.5Y6/3～6/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山

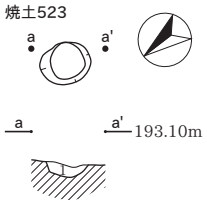


焼土272
1　灰褐色　7.5Y4/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。径1～5mmの焼土粒子（明赤褐色5YR5/6）少量、炭化物粒子微量含む。焼土化範囲、掘り込み無し。
2　明赤褐色5YR5/6シルト。粘性やや強い。灰褐色シルト（1層土）粒子中量含む。焼土化範囲、掘り込み無し。
P515
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

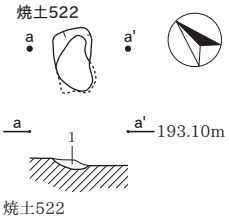


焼土485
1　にぶい赤褐色5YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。焼土化範囲、掘り込み無し。

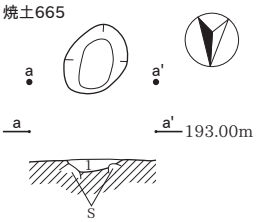
P517
1　にぶい褐色7.5YR5/4シルト。粘性やや強い。しまり弱い。」地山粒子中量、炭化物粒子少量、径1～5mmの焼土粒子（明赤褐色5YR5/6）少量含む。
2　にぶい黄色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
3　褐色7.5YR4/3シルト。粘性やや強い。しまり弱い。炭化物粒子多量、焼土粒子（明赤褐色5YR5/6）少量含む。



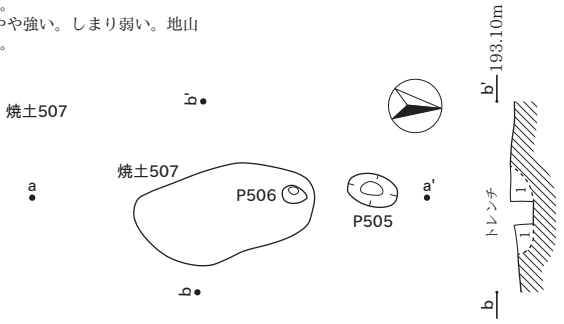
焼土523
1　灰褐色7.5YR4/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。焼土粒子（明赤褐色5YR5/6）微量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。焼土廃棄埋土、掘り込みあり

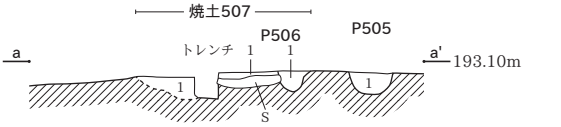


焼土522
1　にぶい赤褐色5YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまり強い。焼土粒子（明赤褐色5YR5/6）少量、地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。焼土廃棄埋土、掘り込みあり。



焼土665
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径2～5mmの焼土ブロック（明赤褐色5Y5/6）少量、地山粒子中量、炭化物粒子中量含む。掘り込みあり。

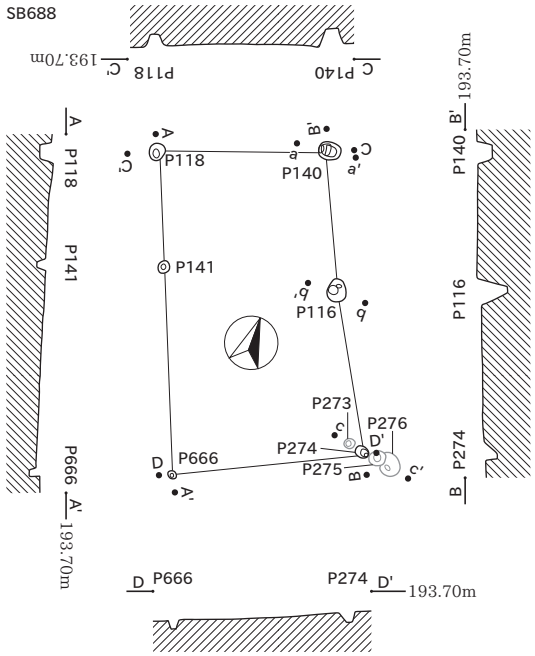


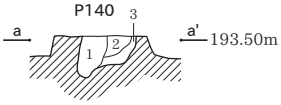


P505
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまり強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量、径2～5mmの焼土粒子（明赤褐色10YR5/6）少量含む。
P506
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまり強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
焼土507
1　にぶい赤褐色5YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径2～3mmの焼土粒子（明赤褐色5YR5/6）少量、径1～2mmの炭化物粒子少量、地山粒子中量、径1～5mm黒褐色シルト粒子少量含む。焼土化範囲、掘り込み無し。

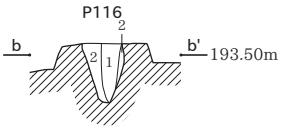
0　エレベーション図（1：100）　5m
0　SK4（1：50）　2m
0　その他（1：40）　2m

SB688

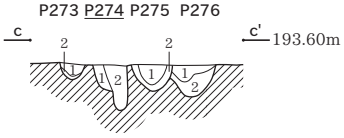




P140
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径5～10mmの地山ブロック少量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。褐灰色シルト粒子中量、地山粒子少量含む。
3　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量含む。



P116
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子多量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5～10mmの地山ブロック中量含む。



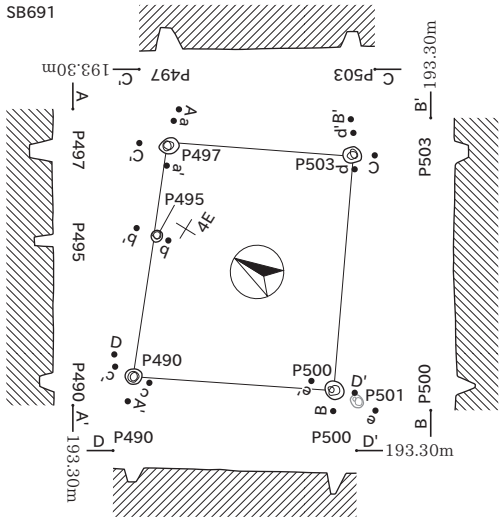
P273
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量含む。

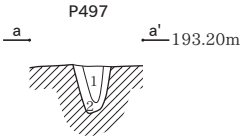
P274
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～10mmの地山ブロック中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子多量、地山ブロック少量含む。

P275
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

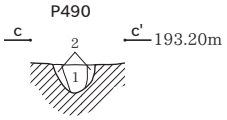
P276
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

SB691

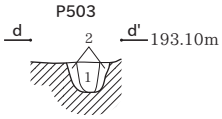




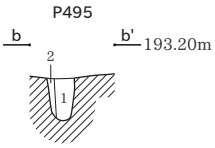
P497
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。



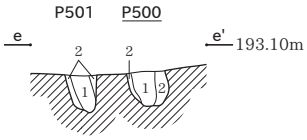
P490
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



P503
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。



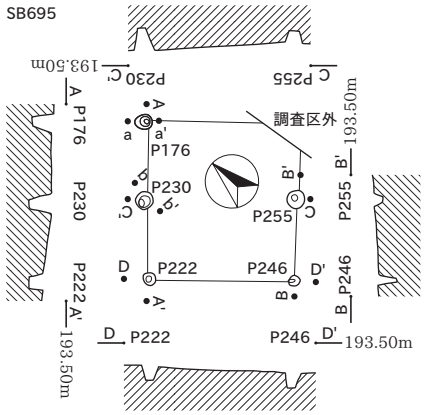
P495
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。

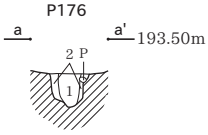


P500
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色粒子微量、地山粒子多量含む。土器片含む。

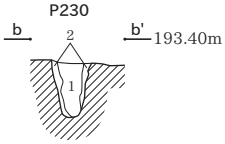
P501
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

SB695





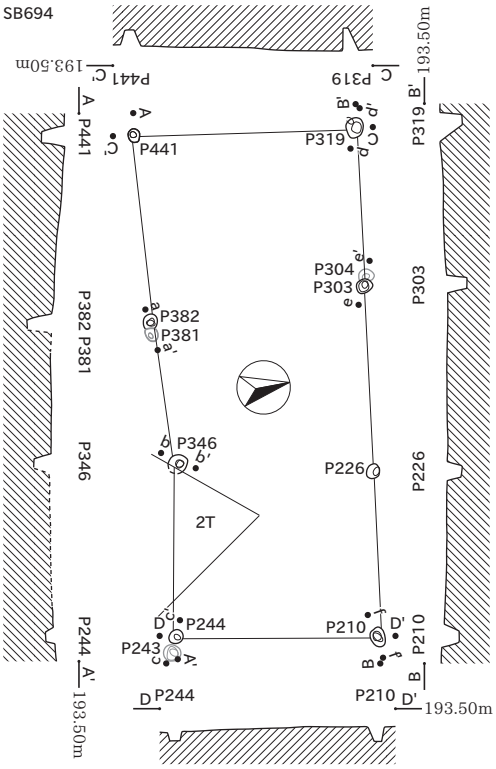
P176
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径約5mmの地山ブロック中量含む。

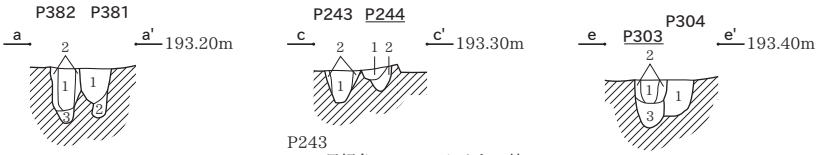


P230
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　セクション図（1：40）　2m





P381
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量含む。

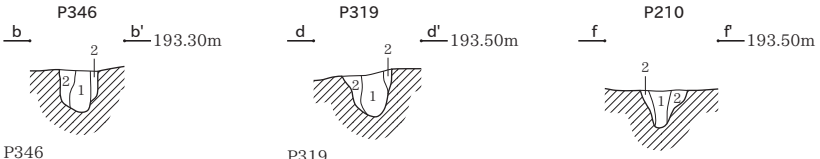
P382
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量、炭化物粒子少量含む。土器片含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、炭化物粒子少量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量含む。

P243
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量含む。

P244
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。

P303
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。地山粒子少量、しまりやや強い。炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

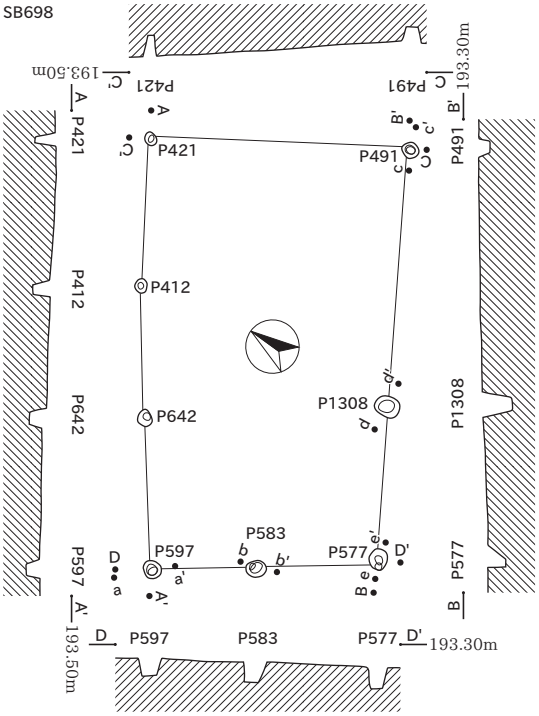
P304
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

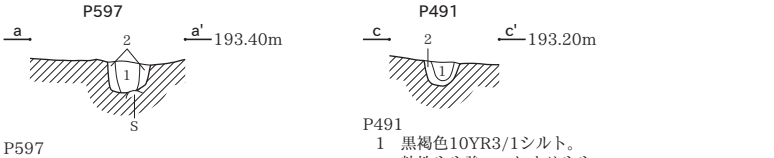


P346
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量、炭化物粒子少量含む。

P319
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。黒褐色シルト粒子中量、径1～10mmの地山ブロック中量、炭化物粒子微量含む。

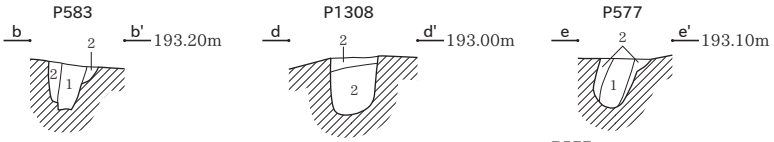
P210
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。





P597
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P491
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

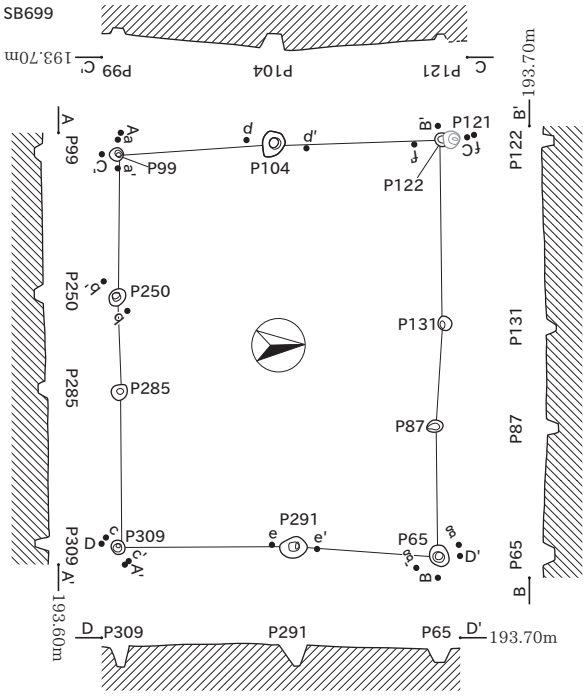


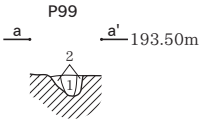
P583
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P1308
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり弱い。礫微量含む。

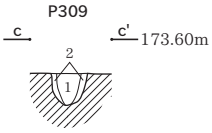
P577
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m

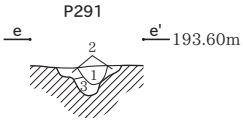




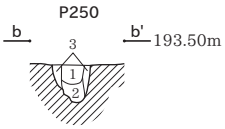
P99
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量含む。
2 にぶい黄色2.5Y6/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量含む。



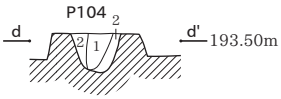
P309
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。径1～30mmの地山ブロック少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、径1～50mmの地山ブロック多量、炭化物粒子微量含む。



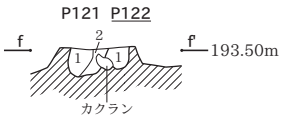
P291
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量含む。



P250
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子多量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

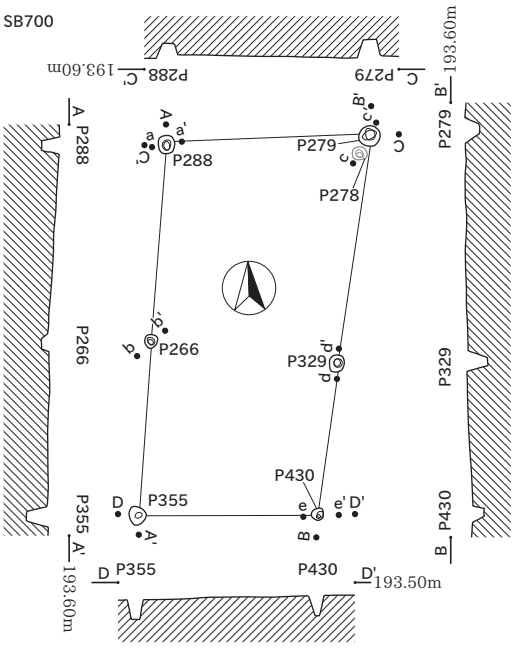


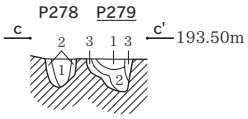
P104
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5～10mmの地山ブロック中量、炭化物粒子微量含む。



P121
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子中量含む。

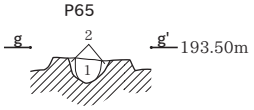
P122
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5～7mmの地山粒子中量含む。



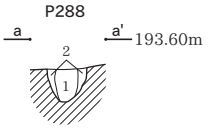


P278
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子中量含む。

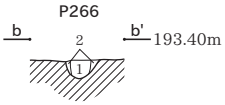
P279
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。1に比べやや明るい。粘性やや強い。しまりやや弱い。径1～3mmの地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



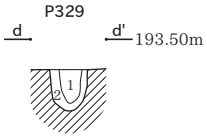
P65
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。褐灰色粒子中量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量含む。



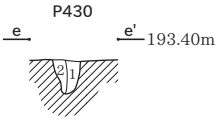
P288
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量含む。



P266
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量含む。



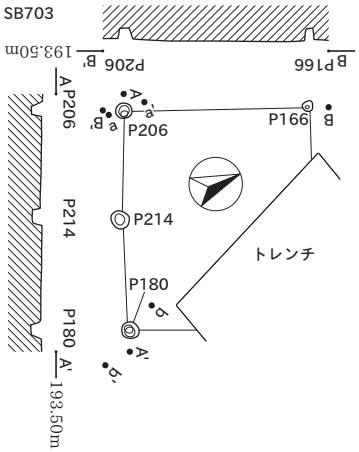
P329
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。黒しまりやや強い。褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

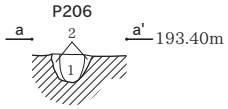


P430
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

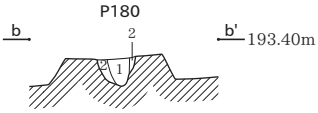
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　セクション図（1：40）　2m

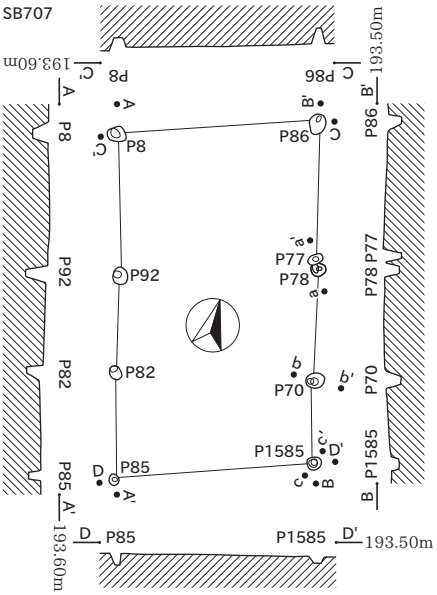


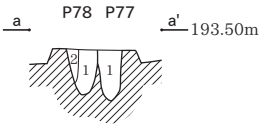


P206
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。しまりい。地山粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5mm前後の地山ブロック多量含む。



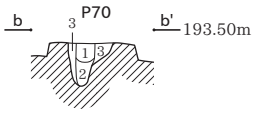
P180
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径5～10mmの地山ブロック径中量含む。



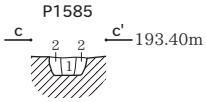


P78
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子少量含む。

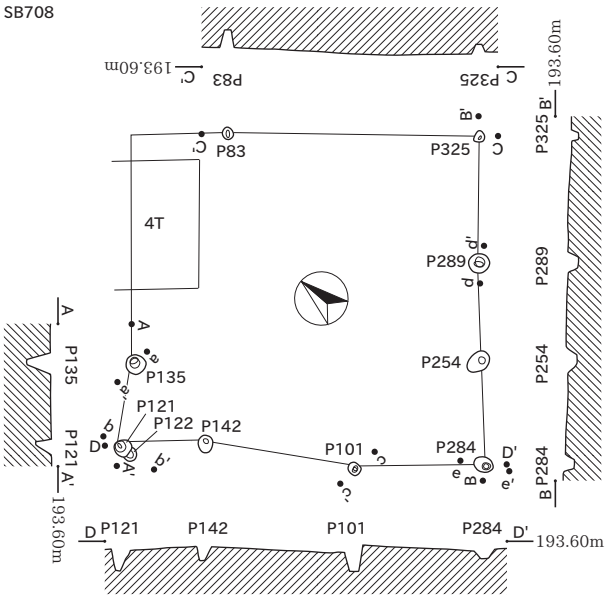
P77
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまり強い。炭化物粒子微量含む。

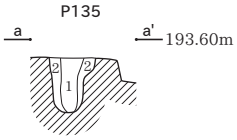


P70
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量含む。
3　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子多量、地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

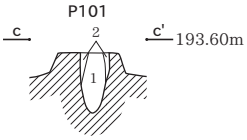


P1585
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2　暗褐色10YR3/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物中量含む

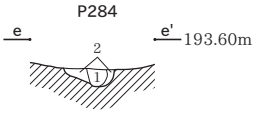




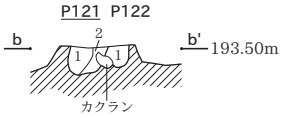
P135
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



P101
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～10mmの地山ブロック中量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径7～15mmの地山ブロック中量含む。

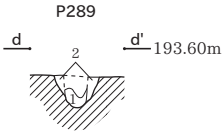


P284
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。



P121
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子中量含む。

P122
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5～7mmの地山粒子中量含む。

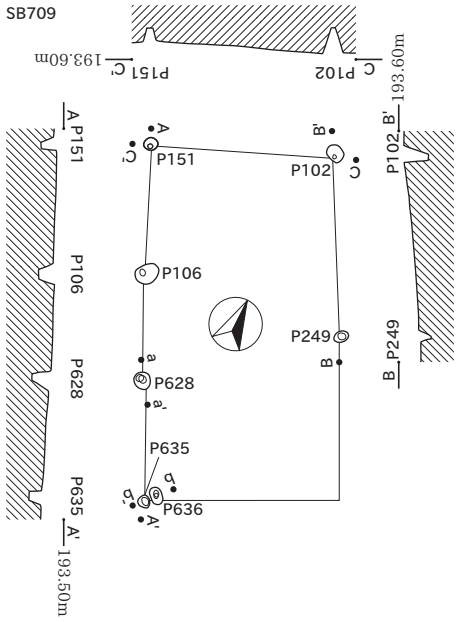


P289
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

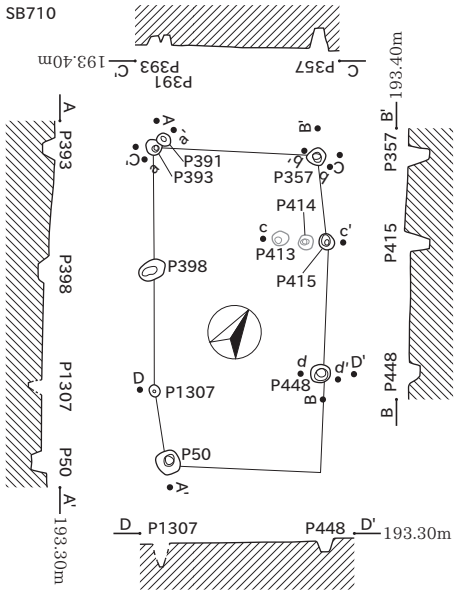
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　セクション図（1：40）　2m

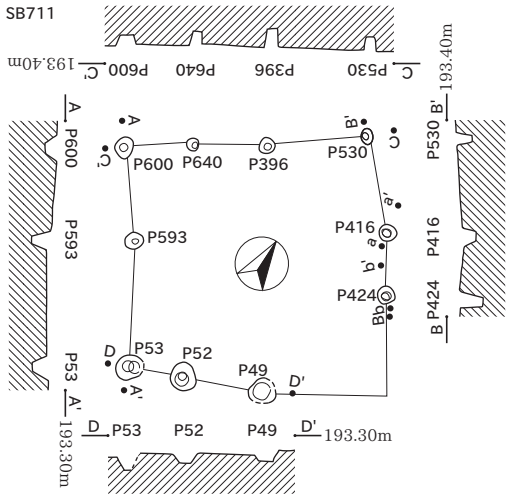
SB709



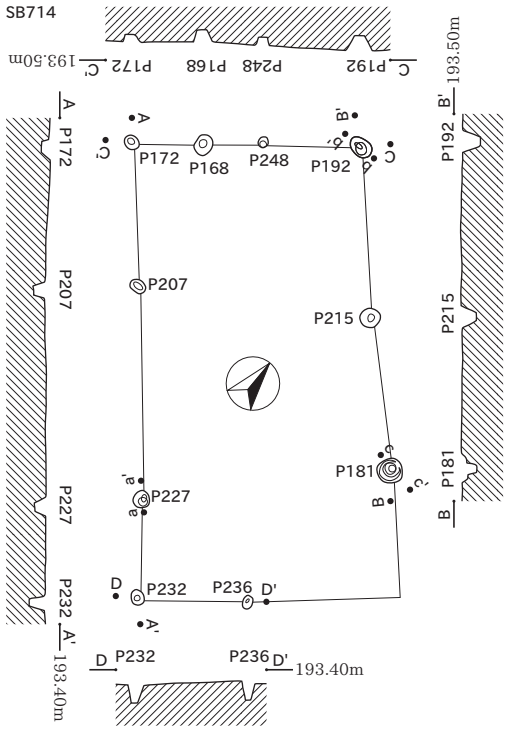
SB710



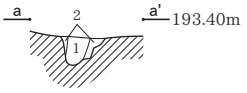
SB711



SB714

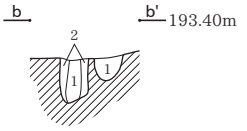


P628



P628
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。黒褐色シルト粒子・地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

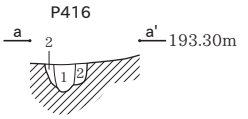
P636　P635



P635
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

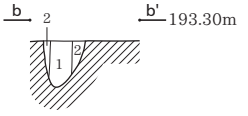
P636
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P416



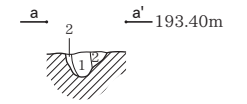
P416
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P424



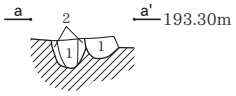
P424
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～10mmの地山ブロック少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、径1～10mmの地山ブロック多量、炭化物粒子微量含む。

P227



P227
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

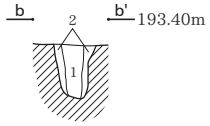
P393　P391



P391
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。

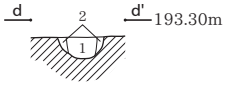
P393
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P357



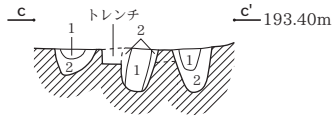
P357
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径1～30mmの地山ブロック多量、炭化物粒子微量含む。

P448



P448
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、炭化物粒子微量含む。

P413　P414　P415

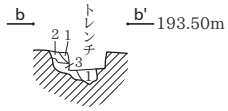


P413
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P414
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

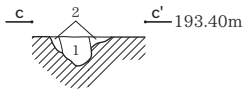
P415
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量含む。

P192



P192
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。黒褐色シルト粒子中量含む。
3　にぶい黄色2.5Y6/3シルト。粘性やや弱い。しまり強い。褐灰色シルト粒子少量含む。

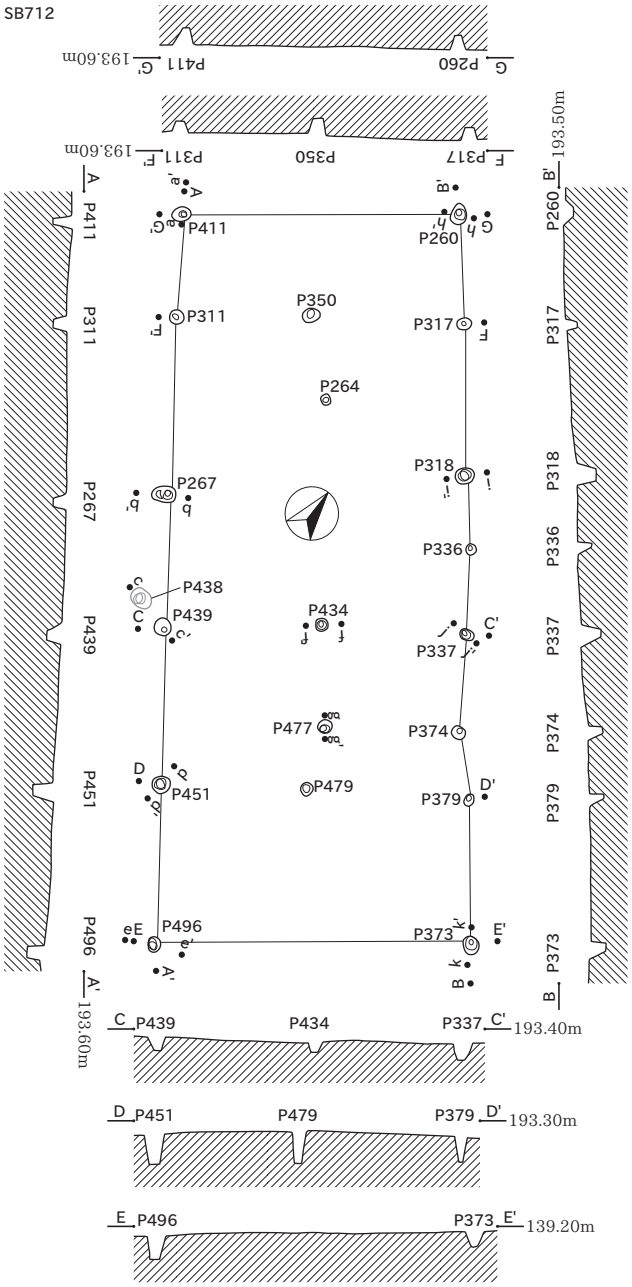
P181

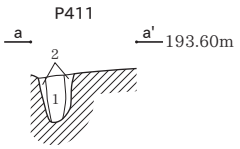


P181
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。黒褐色シルト粒子少量、炭化物粒子少量含む。

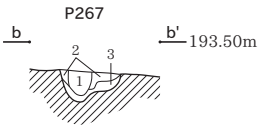
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　セクション図（1：40）　2m

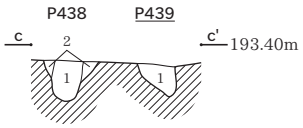




P411
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

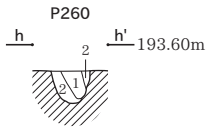


P267
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量含む。

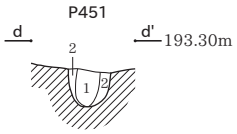


P438
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

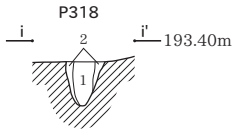
P439
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量、径2～3mmの礫少量含む。



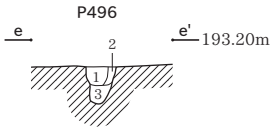
P260
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量含む。



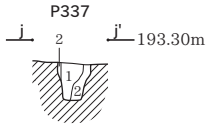
P451
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。



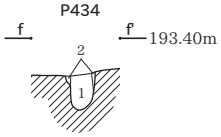
P318
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



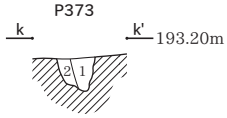
P496
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子多量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量含む。



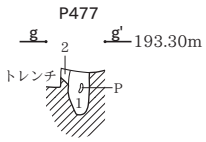
P337
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量含む。



P434
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。



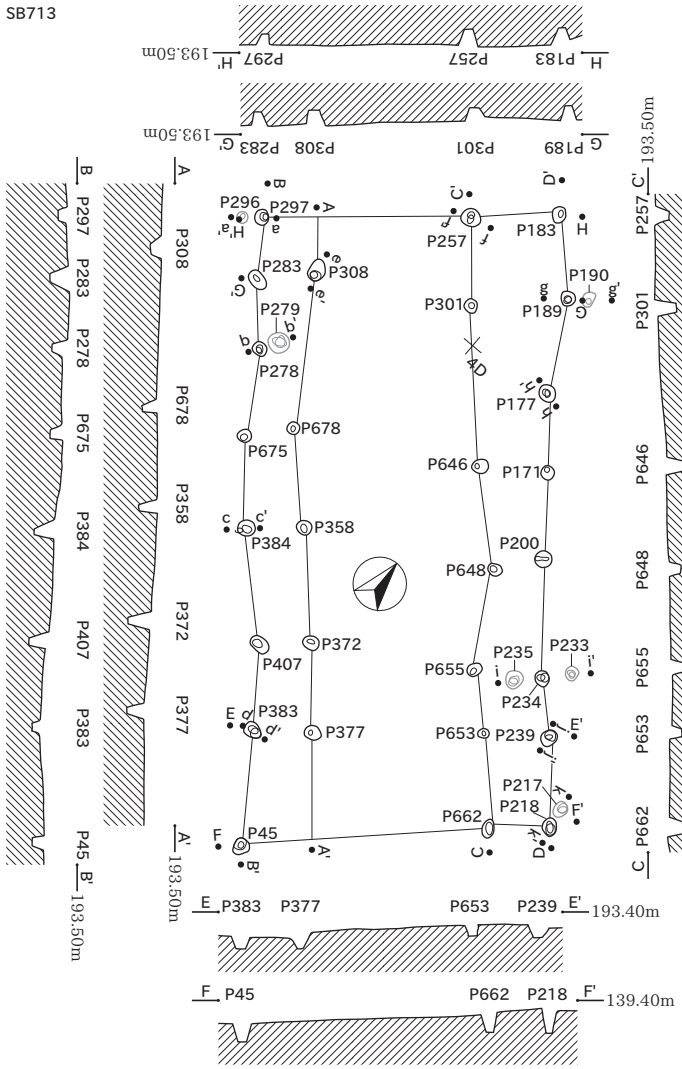
P373
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量含む。

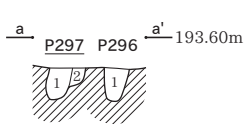


P477
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m

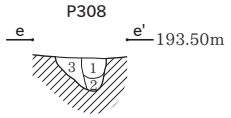
SB713



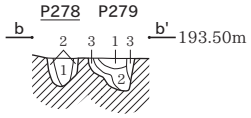


P296
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P297
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径2～30mmの地山ブロック少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子多量含む。

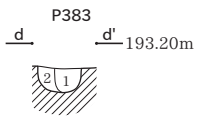


P308
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、径約10mmの小礫中量含む。
3 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

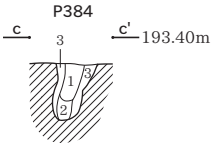


P278
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子中量含む。

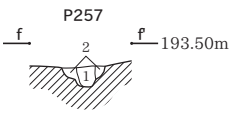
P279
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。1に比べやや明るい。粘性やや強い。しまりやや弱い。径1～3mmの地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



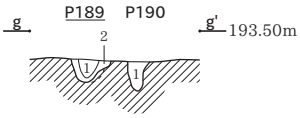
P383
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山ブロック多量含む。



P384
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子・地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。

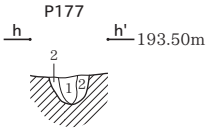


P257
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

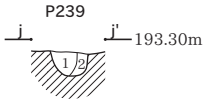


P189
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子少量含む。

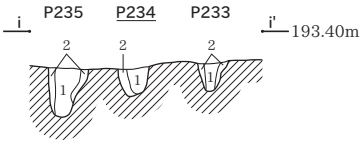
P190
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。径5～10mmの地山ブロック少量含む。



P177
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。褐灰色シルト粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、径5～10mmの地山ブロック少量含む。



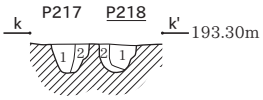
P239
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。



P233
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径2～10mmの地山ブロック少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径3～10mmの地山ブロック多量、炭化物粒子微量含む。

P234
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径2～8mmの地山ブロック多量、炭化物粒子微量含む。

P235
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子微量、炭化物粒子中量、焼土粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。



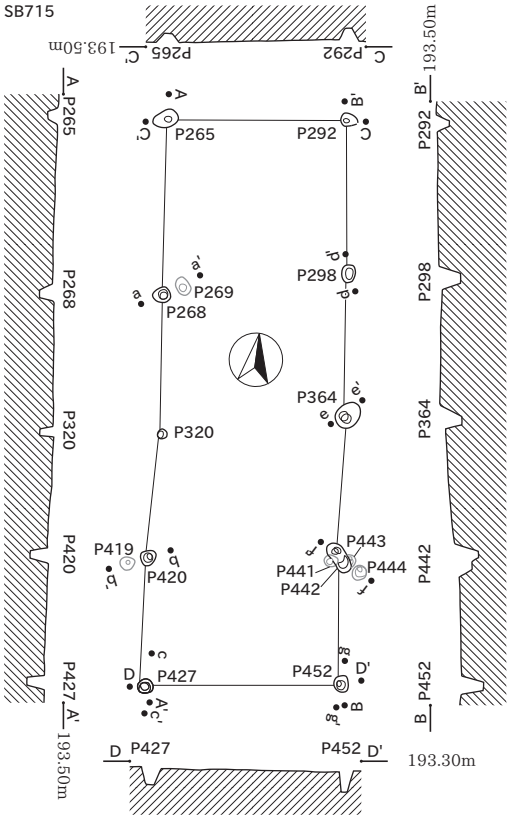
P217
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量含む。

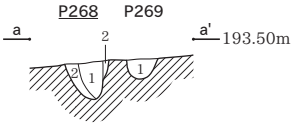
P218
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまり強い。地山粒子中量含む。

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　セクション図（1：40）　2m

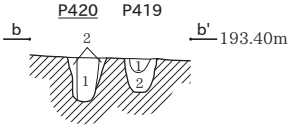
SB715





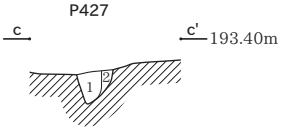
P268
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む、
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子多量、地山粒子多量含む。

P269
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量含む。

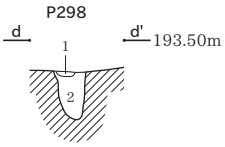


P419
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。

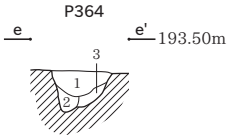
P420
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。



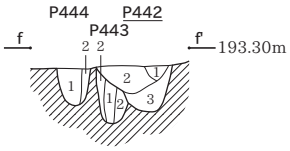
P427
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量含む。



P298
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



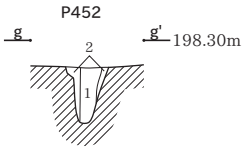
P364
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。土器片含む。
2 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量含む。
3 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。



P442
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子微量、炭化物粒子中量含む。
3 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子多量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

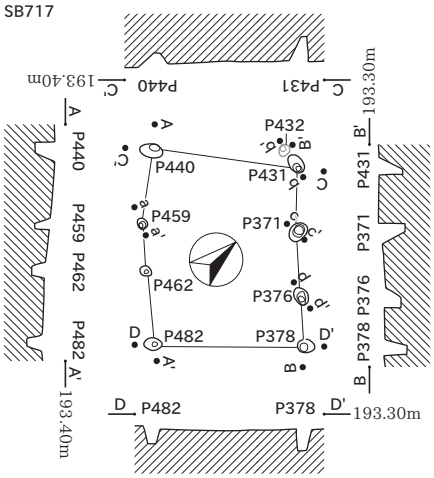
P443
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量含む。

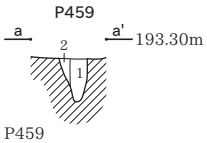
P444
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。



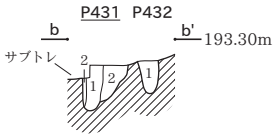
P452
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2 黒褐色10YR3/1シルト。1に比べやや明るい。しまりやや弱い。粘性やや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

SB717



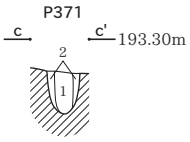


P459
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物微量含む。

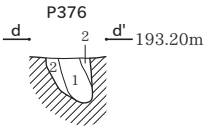


P431
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子多量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P432
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。



P371
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。

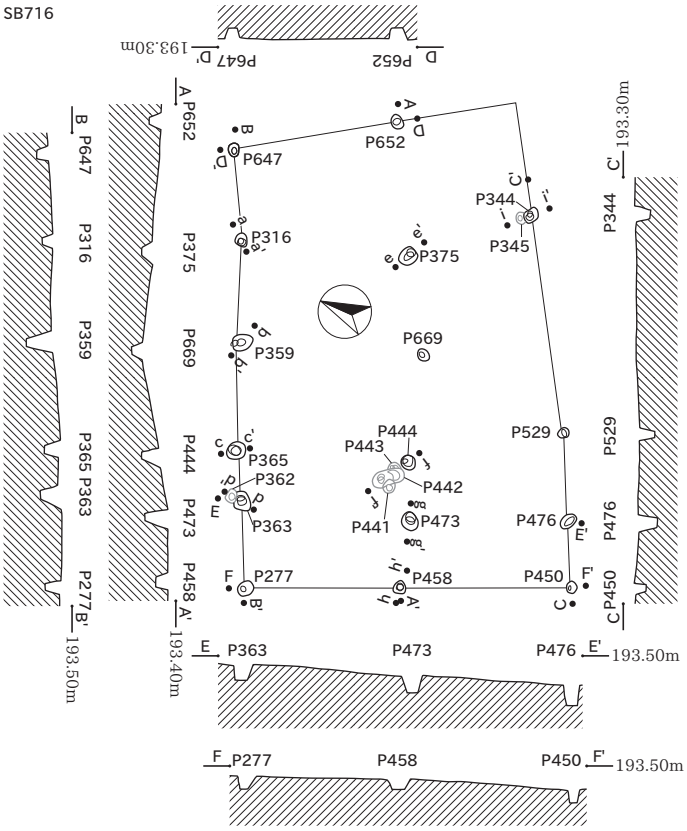


P376
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2 褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

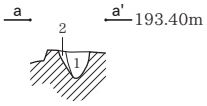
0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m

0　セクション図（1：40）　2m

SB716

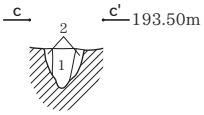


P316



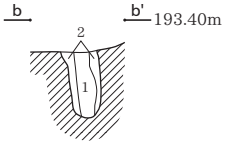
P316
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子微量、地山粒子中量含む。

P365



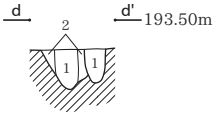
P365
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、径1～10mmの地山ブロック中量含む。

P359



P359
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。土器片含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子多量、径1～10mmの地山ブロック中量、炭化物粒子微量含む。

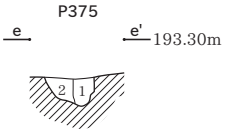
P363　P362



P362
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

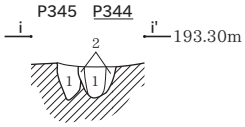
P363
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P375



P375
1　黒褐色10YR3/シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。1に比べやや明るい。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。土器片含む。

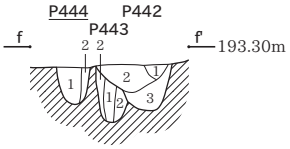
P345　P344



P344
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子中量含む。土器片含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P345
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P444　P442
P443

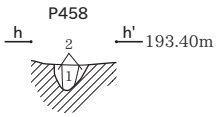


P442
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子微量、炭化物粒子中量含む。
3　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子多量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P443
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量含む。

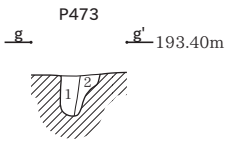
P444
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子少量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P458



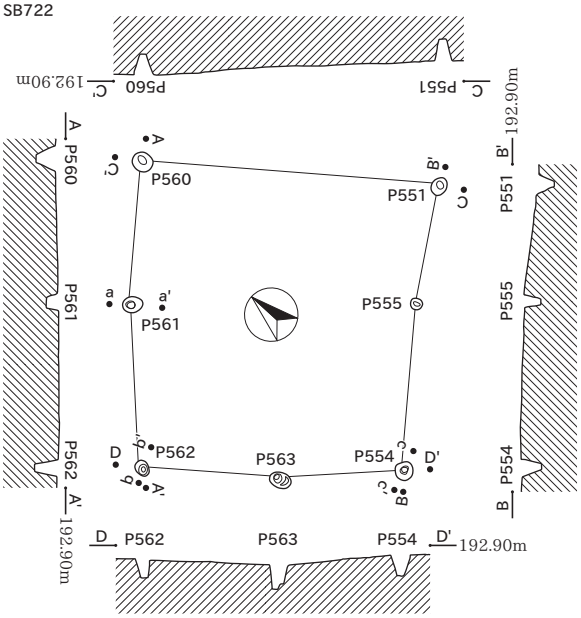
P458
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子少量含む。
2　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

P473

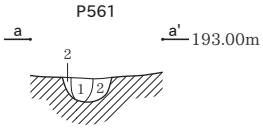


P473
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。

SB722

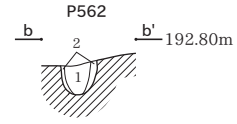


P561



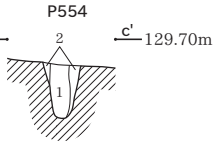
P561
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子微量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子中量、炭化物粒子中量含む。

P562



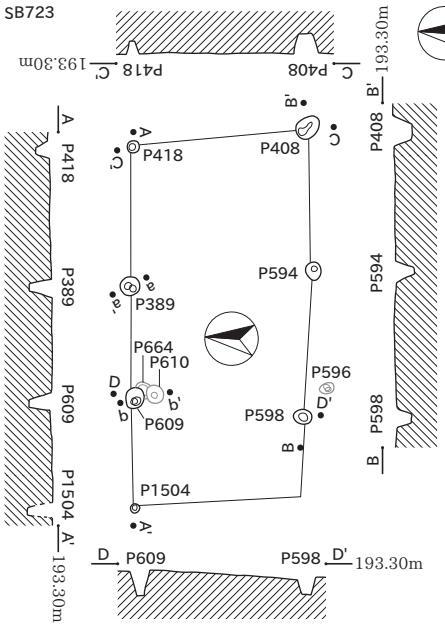
P562
1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

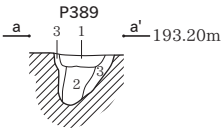
P554



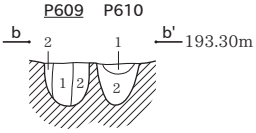
P554
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。地山粒子微量、炭化物粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。

0　平面図・エレベーション図（1：100）　5m　　0　セクション図（1：40）　2m



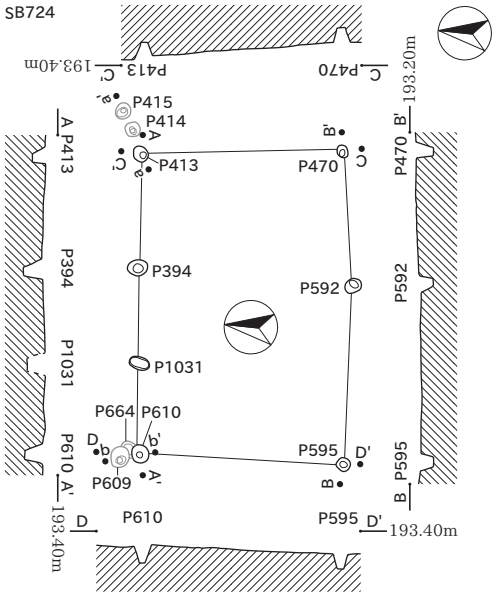


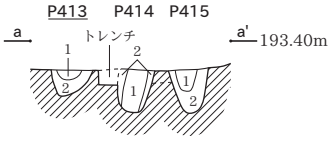
P389
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～30mm地山ブロック中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子少量含む。



P609
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径1～10mm地山ブロック少量、炭化物粒子微量含む。

P610
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量、炭化物粒子微量含む。
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

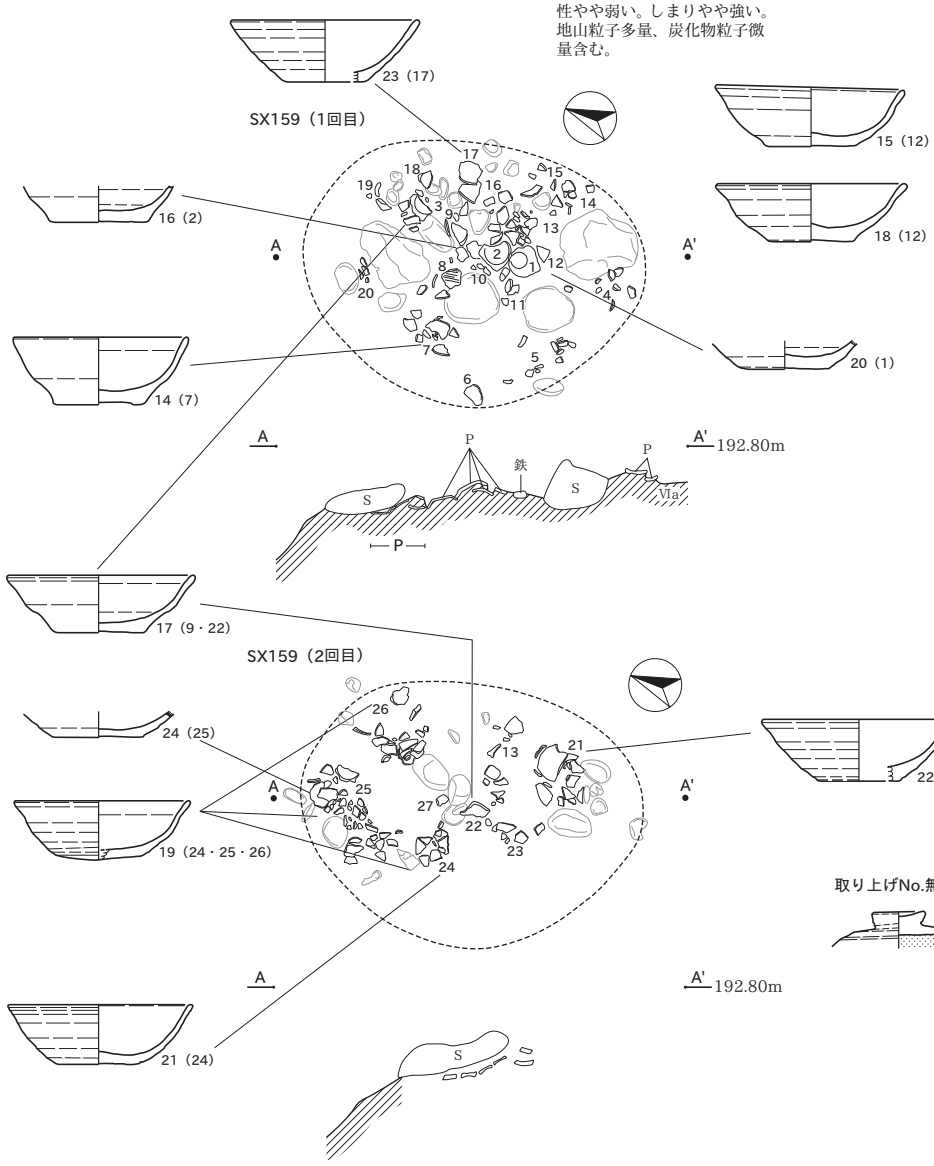


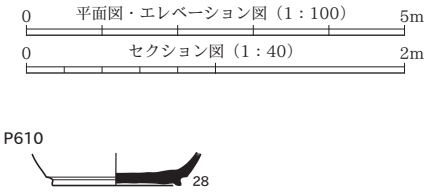


P413
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。地山粒子少量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。褐色シルト粒子中量、地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。

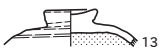
P414
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐色シルト少量、地山粒子多量、炭化物粒子微量含む。

P415
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。地山粒子中量、炭化物粒子微量含む。
2　褐灰色10YR4/1シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。黒褐色シルト粒子中量、地山粒子多量含む。

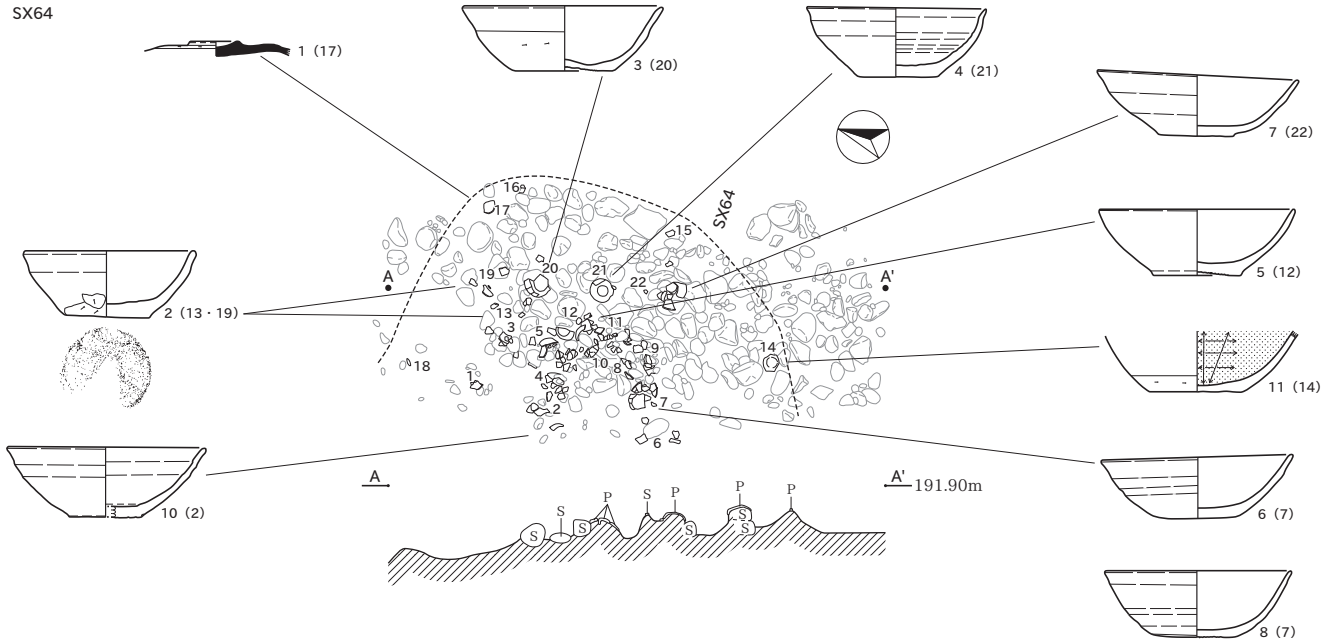




取り上げNo.無し



土器の右下の番号は報告番号、括弧内は取上げ番号。



取上げNo.無し

土器の右下の番号は報告番号、
括弧内は取上げ番号。

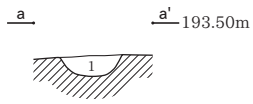
0　SX64（1：40）　2m　0　土器（1：5）　15cm

下層全体図

図 版 21

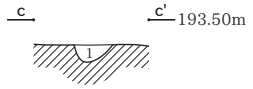
2B
3B
4B
5B
6B
2C
3C
4C
5C
6C
2D
3D
4D
5D
6D
2E
3E
4E
5E
6E
2F
3F
4F
5F
6F
2G
3G
4G
5G
6G
2H
3H
4H
5H
6H
No.460+0.708
195.26
195.50
195.18
195.10
194.36
194.35
194.34
194.63
0
(1 : 250)
10m

SD1449



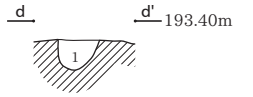
SD1449
1　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

SD1416



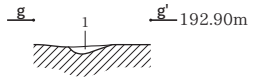
SD1416
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

SD1415



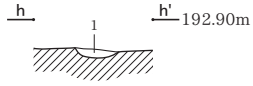
SD1415
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

SD1382



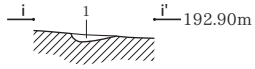
SD1382
1　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや弱い。

SD1607



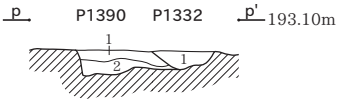
SD1607
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

SD1604



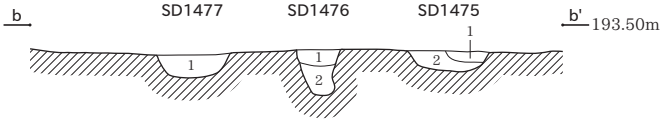
SD1604
1　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

P1390・1332



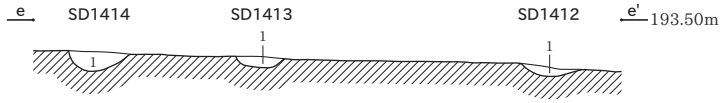
P1332
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物わずかに含む。
P1390
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
2　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

SD1477・1476・1475



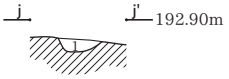
SD1475
1　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
SD1476
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　黄褐色10YR5/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
SD1477
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

SD1414・1413・1412



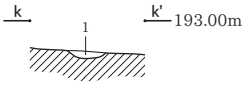
SD1412
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
SD1413
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
SD1414
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

SD1381



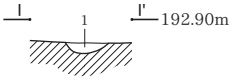
SD1381
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量含む。

SD1609



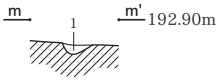
SD1609
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

SD1362



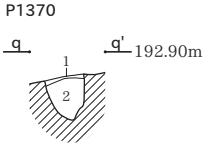
SD1362
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや弱い。

SD1636



SD1636
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

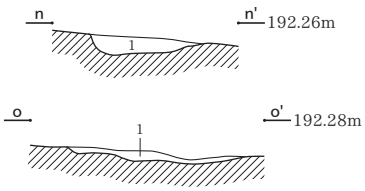
P1370



P1370
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。
2　黄褐色10YR5/6砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。黒褐10YR3/1砂質土ブロック状に少量含む。

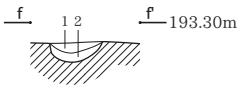
0　土坑（1：50）　2m

SD1009



SD1009
1　黒褐色10YR3/2砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

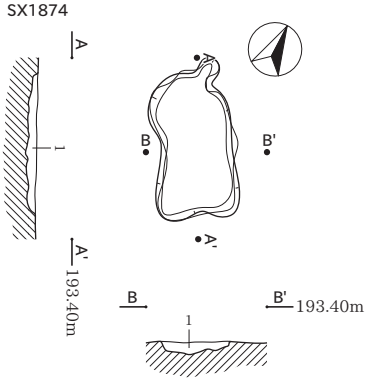
SD1822



SD1822
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2　褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。

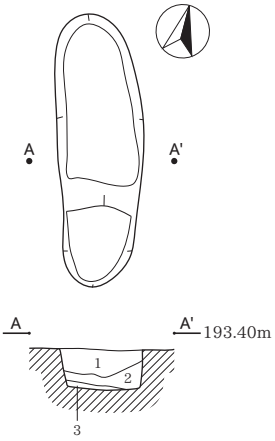
0　溝・ピットセクション図（1：40）　2m

SX1874



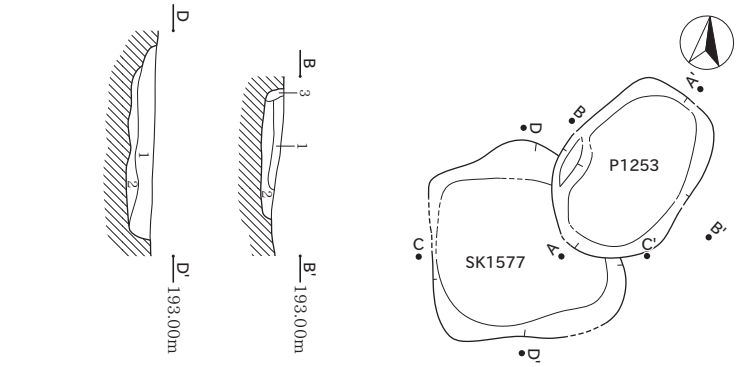
SX1874A・B
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物多量含む。

SK1417



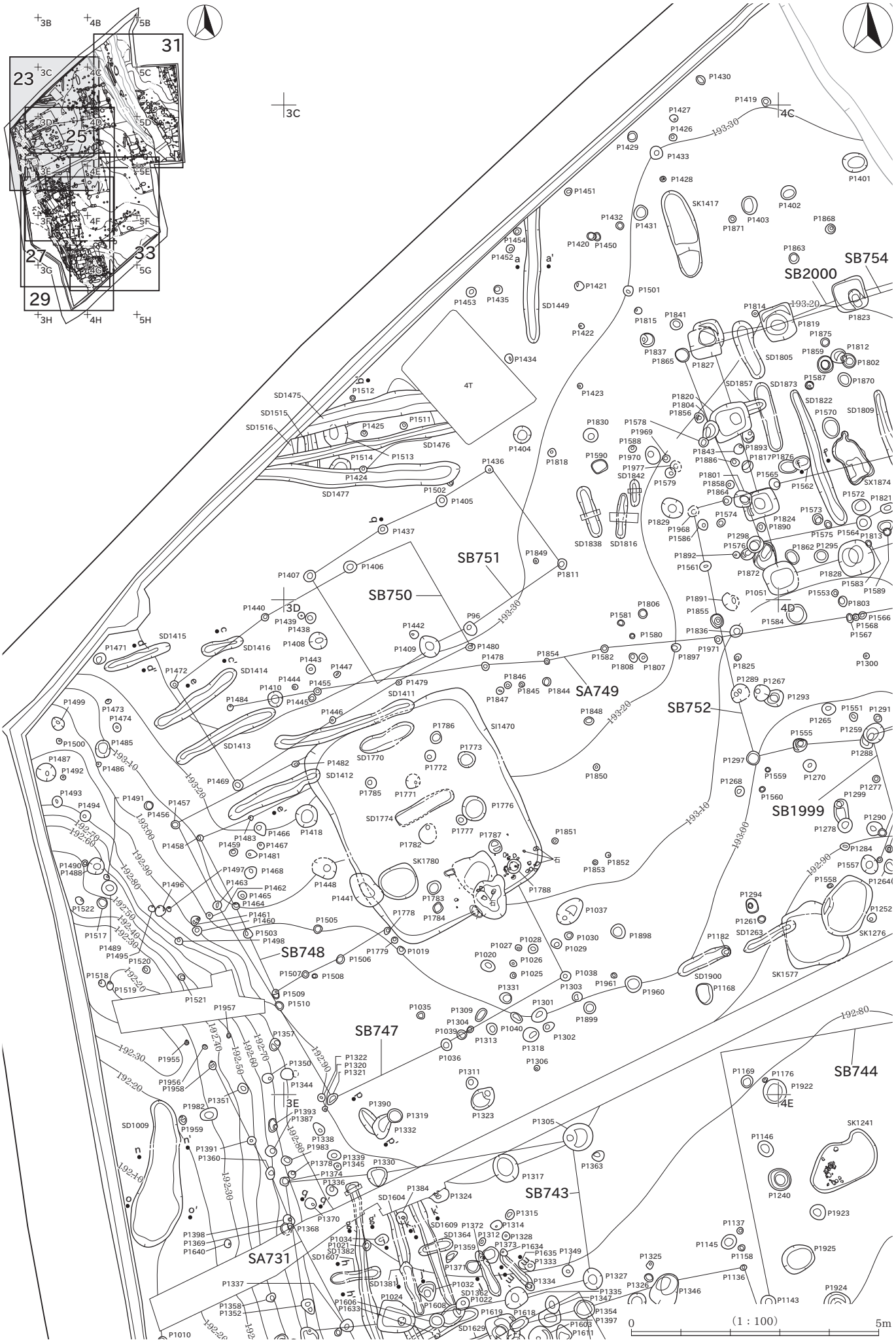
SK1417
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性強い。しまり強い。炭化物微量含む
2　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。
3　灰黄褐色10YR5/2粘質土。粘性強い。しまりやや強い。

SK1577・1276

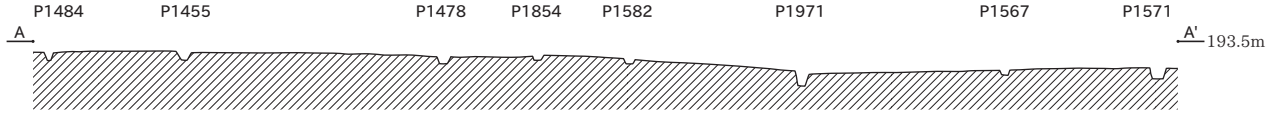


SK1577C・D
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物少量含む。
2　黄褐色～オリーブ褐色2.5Y5/4～4/4砂質シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

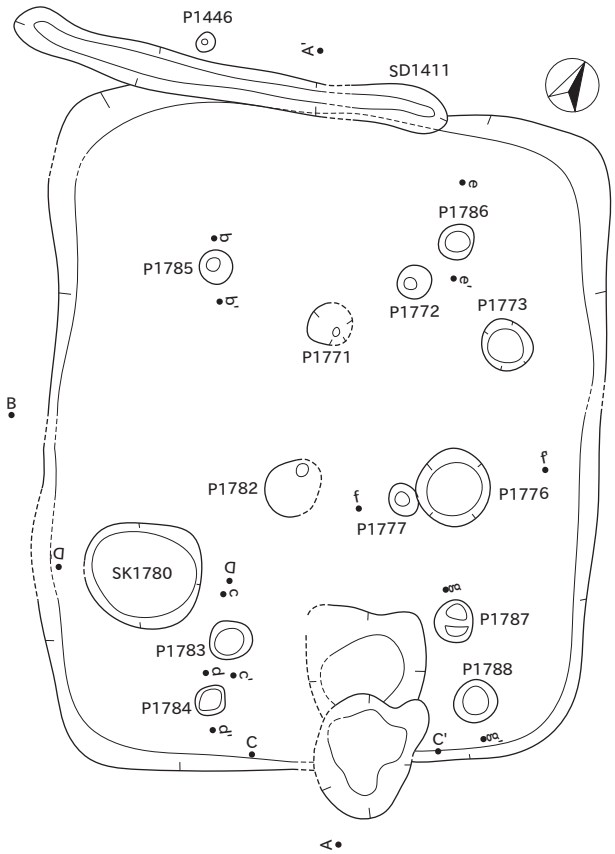
SK1276A・B
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3　褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。

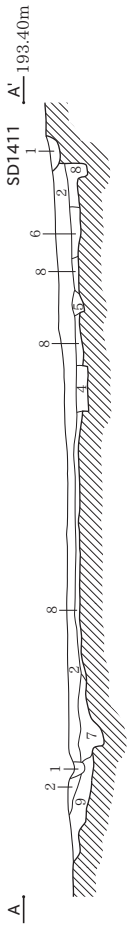

SB754
SB2000
SB751
SB750
SA749
SB752
SB1999
SB748
SB747
SB744
SB743
SA731
(1 : 100)
0
5m

SA749

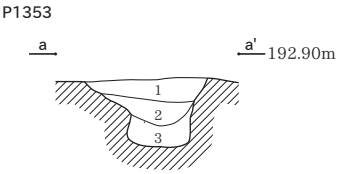


SI1470



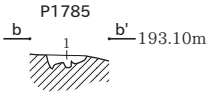


P1353



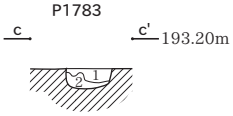
P1353
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量、灰黄褐色10YR4/2砂質土ブロック状に少量含む
2 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量含む。

P1785



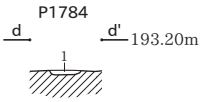
P1785
1 灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

P1783



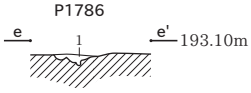
P1783
1 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物・焼土微量含む。
2 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

P1784

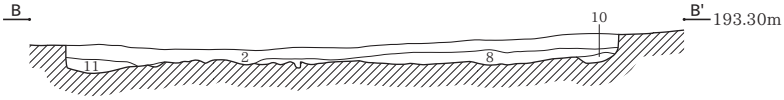


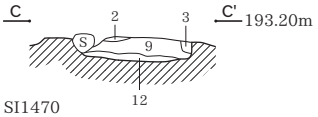
P1784
1 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

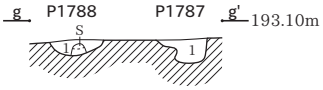
P1786

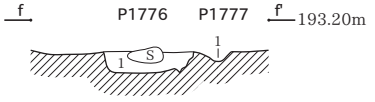


P1786
1 灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。









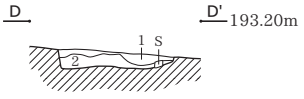
P1776
1 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

P1777
1 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物・焼土微量含む。

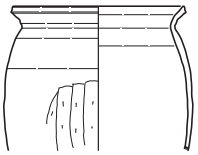
SI1470
1 にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
3 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
4 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
5 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
6 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
7 黒褐色10YR2/2砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物多量含む。焼土微量含む。
8 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。下面にぶい黄橙10YR6/4砂質土ブロック多量含む。建物の床面。
9 暗赤褐色5YR3/6砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
10 褐色10YR4/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
11 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
12 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。

P1787
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

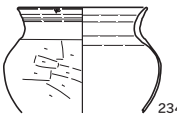
P1788
1 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物・小礫微量含む。



SK1780
1 極暗赤褐色5YR2/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物少量、焼土微量含む。
2 極暗赤褐色5YR2/4砂。粘性弱い。しまり弱い。礫多量含む。

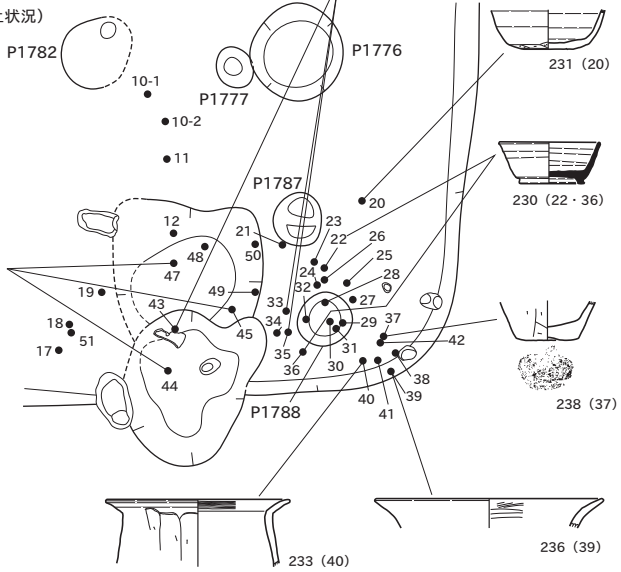


235（44・45・47）



234（33・35・43）

SI1470（遺物出土状況）



231（20）

230（22・36）

238（37）

233（40）

236（39）

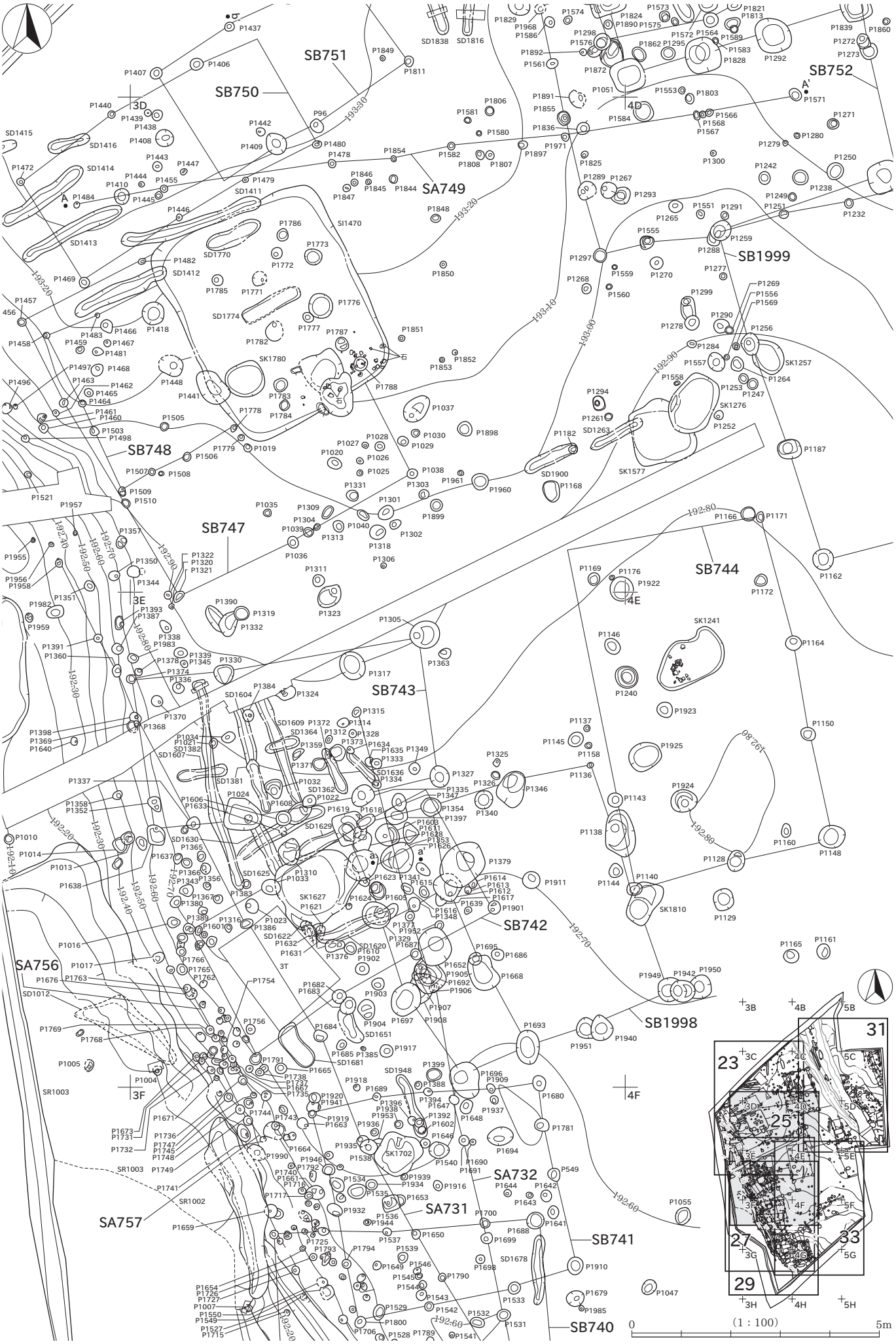
土器の右下の番号は報告番号、括弧内は取上げ番号。

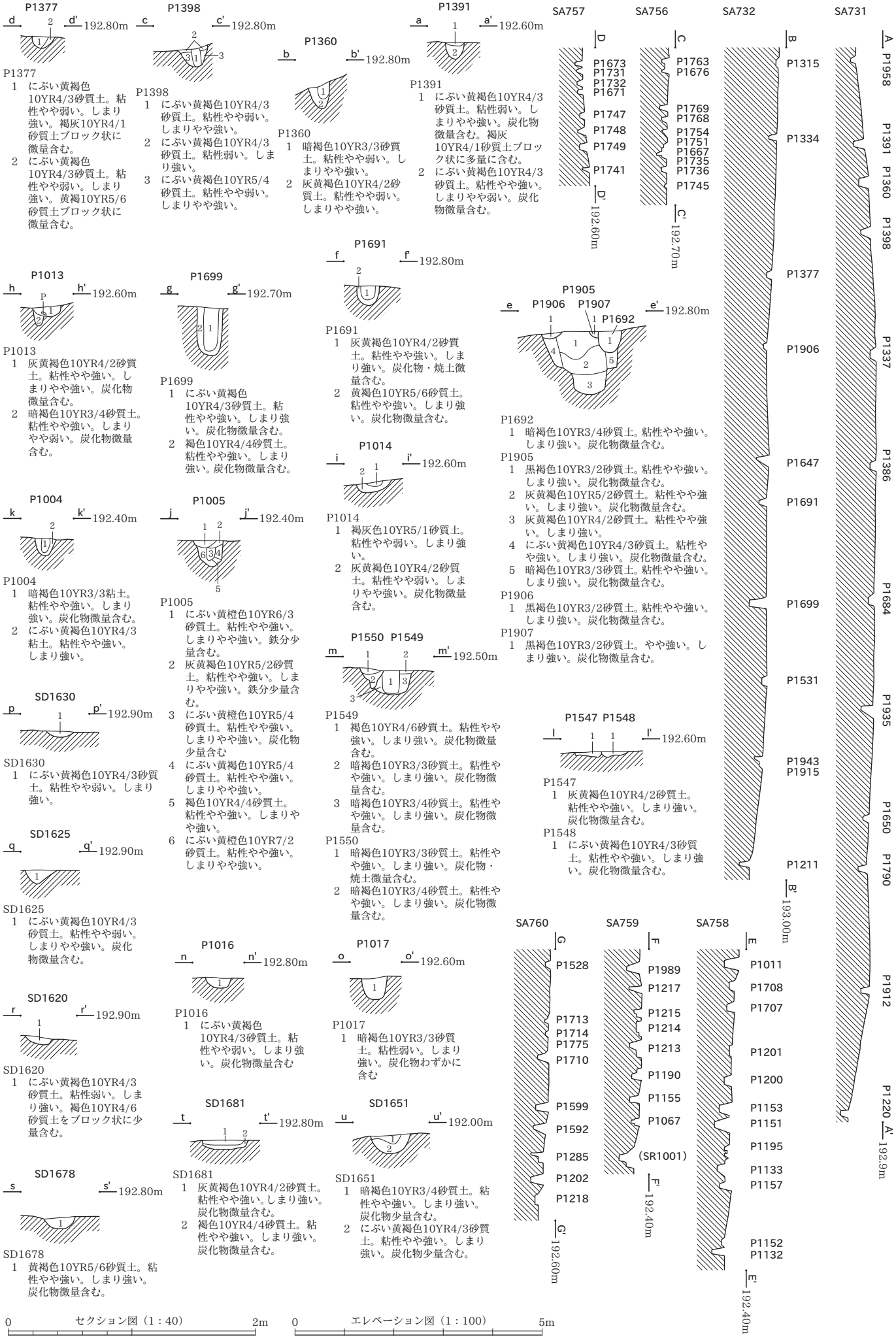
0　エレベーション図（1：100）　5m

0　ピットセクション図・出土状況図（1：40）　2m

0　竪穴・土坑（1：50）　2m

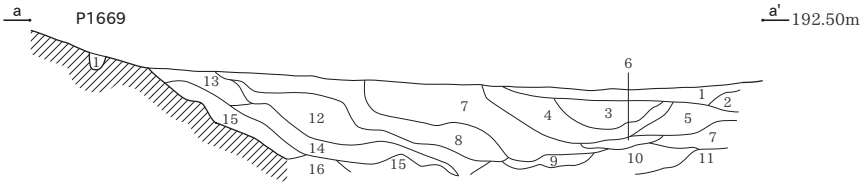
0　土器（1：8）　20cm


SB751
SB750
SB752
SA749
SB1999
SB748
SB747
SB744
SB743
SB742
SA756
SB1998
SA732
SA731
SA757
SB741
SB740
(1 : 100)
0
5m


P1377
d
d'
192.80m
P1377
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。褐灰10YR4/1砂質土ブロック状に微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。黄褐10YR5/6砂質土ブロック状に微量含む。
P1398
c
c'
192.80m
P1398
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。
3　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
P1360
b
b'
192.80m
P1360
1　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
2　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
P1391
a
a'
192.60m
P1391
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。褐灰10YR4/1砂質土ブロック状に多量に含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
SA757
D
P1673
P1731
P1732
P1671
P1747
P1748
P1749
P1741
D'
192.60m
SA756
C
P1763
P1676
P1769
P1768
P1754
P1751
P1667
P1735
P1736
P1745
C'
192.70m
SA732
B
P1315
P1334
P1377
P1906
P1647
P1691
P1699
P1531
P1943
P1915
P1211
B'
193.00m
SA731
A
P1958
P1391
P1360
P1398
P1337
P1386
P1684
P1935
P1650
P1790
P1912
P1220
A'
192.9m
P1013
h
h'
192.60m
P1013
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
P1699
g
g'
192.70m
P1699
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1691
f
f'
192.80m
P1691
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物・焼土微量含む。
2　黄褐色10YR5/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1905
P1906
P1907
P1692
e
e'
192.80m
P1692
1　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1905
1　黒褐色10YR3/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　灰黄褐色10YR5/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
3　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。
4　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
5　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1906
1　黒褐色10YR3/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1907
1　黒褐色10YR3/2砂質土。やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1014
i
i'
192.60m
P1014
1　褐灰色10YR5/1砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。
2　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
P1004
k
k'
192.40m
P1004
1　暗褐色10YR3/3粘土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3粘土。粘性やや強い。しまり強い。
P1005
j
j'
192.40m
P1005
1　にぶい黄橙色10YR6/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。鉄分少量含む。
2　灰黄褐色10YR5/2砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。鉄分少量含む。
3　にぶい黄橙色10YR5/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物少量含む
4　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。
5　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。
6　にぶい黄橙色10YR7/2砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。
P1550
P1549
m
m'
192.50m
P1549
1　褐色10YR4/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
3　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1550
1　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物・焼土微量含む。
2　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1547
P1548
l
l'
192.60m
P1547
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1548
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
SD1630
p
p'
192.90m
SD1630
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。
SD1625
q
q'
192.90m
SD1625
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
SD1620
r
r'
192.90m
SD1620
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。褐色10YR4/6砂質土をブロック状に少量含む。
SD1678
s
s'
192.80m
SD1678
1　黄褐色10YR5/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
P1016
n
n'
192.80m
P1016
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量含む
P1017
o
o'
192.60m
P1017
1　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物わずかに含む
SD1681
t
t'
192.80m
SD1681
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
SD1651
u
u'
192.00m
SD1651
1　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。
SA760
G
P1528
P1713
P1714
P1775
P1710
P1599
P1592
P1285
P1202
P1218
G'
192.60m
SA759
F
P1989
P1217
P1215
P1214
P1213
P1190
P1155
P1067
(SR1001)
F'
192.40m
SA758
E
P1011
P1708
P1707
P1201
P1200
P1153
P1151
P1195
P1133
P1157
P1152
P1132
E'
192.40m
0
セクション図（1：40）
2m
0
エレベーション図（1：100）
5m

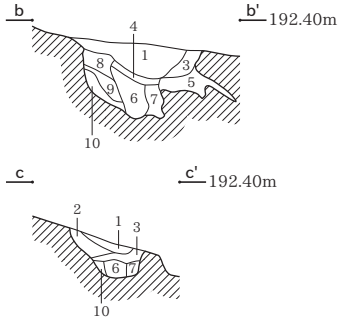
SB1999
SB747
SB744
SB743
SB742
SB1998
SA756
SA757
SA732
SA731
SB741
SA733
SB740
SA760
SB1997
SB1996
SB729
SB728
SA758
SB730
SA759
柱穴底面の還元部分
0
(1 : 100)
5m

SR1003



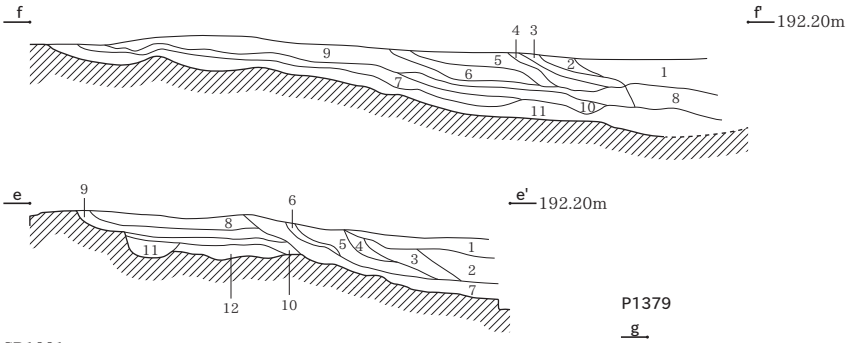
SR1003
1　灰黄褐色10YR5/2粘質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。
2　褐色10YR4/4粘質土。粘性強い。しまりやや強い。
3　にぶい黄褐色10YR5/4砂。粘性弱い。しまりやや強い。
4　褐色10YR4/4粘質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。
5　にぶい黄褐色10YR5/4粘土。粘性強い。しまりやや強い。
6　黄褐色10YR5/6砂。粘性弱い。しまり強い。
7　暗灰黄色2.5Y5/2粘質土。粘性やや強い。しまり強い。
8　黄褐色2.5Y5/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。
9　黄褐色10YR5/6砂。粘性弱い。しまり強い。
10　にぶい黄褐色10YR5/4砂。粘性弱い。しまりやや弱い。
11　黄褐色2.5Y5/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
12　黄褐色2.5Y5/4粘質土。粘性やや強い。しまりやや強い。
13　にぶい黄褐色10YR4/3粘土。粘性強い。しまりやや強い。
14　オリーブ褐色2.5Y4/4粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。
15　暗オリーブ褐色2.5Y3/3粘土。粘性強い。しまりやや弱い。炭化物少量含む。
16　黄褐色2.5Y5/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。
P1669
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。

SR1002



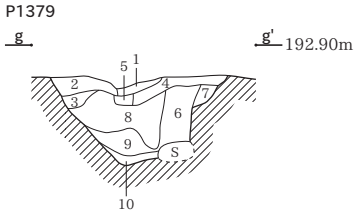
SR1002
1　暗褐色10YR3/3粘土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　鈍い黄色7.5YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
3　にぶい黄褐色10YR4/3粘土。粘性やや強い。しまり強い。
4　灰黄褐色10YR5/2粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
5　暗褐色10YR3/3粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
6　暗褐色10YR3/3粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。にぶい黄橙色10YR6/4粘土ブロック少量含む。
7　灰黄褐色10YR5/2粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。
8　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
9　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。
10　明黄褐色10YR6/6砂質シルト。しまり強い。粘性やや強い。

SR1001



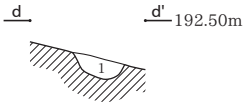
SR1001
1　黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
2　明黄褐色2.5Y6/6砂。粘性弱い。しまり強い。
3　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物含む。
4　暗灰黄色2.5Y5/2シルト。粘性弱い。しまり強い。
5　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物含む。
6　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性弱い。しまり強い。
7　灰オリーブ色5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり強い。
8　暗オリーブ褐色2.5Y3/3砂。粘性弱い。しまり強い。
9　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物含む。
10　暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまり強い。
11　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物含む。
12　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性弱い。しまり強い。

P1379



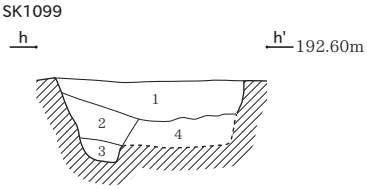
P1379
1　褐色10YR4/6砂質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。
3　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。炭化物多量含む。
4　にぶい黄褐色10YR4/3粘土。粘性強い。しまりやや弱い。
5　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
6　褐色10YR4/4粘土。粘性強い。しまりやや強い。
7　黄褐色10YR5/6砂質土。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
8　黄褐色10YR5/6砂質土。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
9　にぶい黄褐色10YR4/3粘質土。粘性強い。しまりやや弱い。
10　褐色10YR4/6粘質土。粘性やや強い。しまり弱い。

SD1191



SD1191
1　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性弱い。しまり弱い。

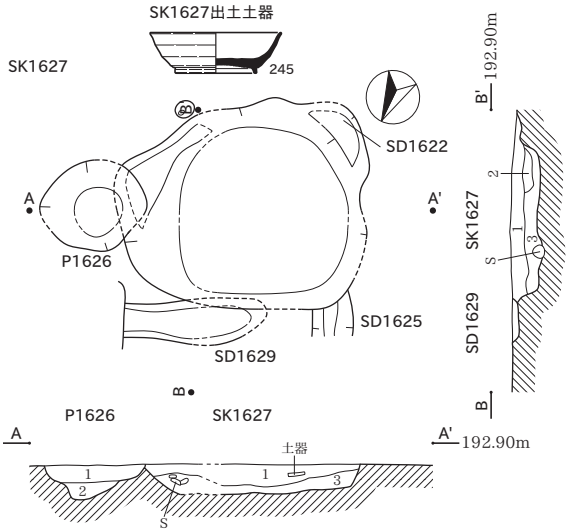
SK1099



SK1099
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量、径10cmまでの礫少量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
3　にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫多量含む。
4　オリーブ褐色2.5Y4/4砂質シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径15cmまでの礫多量含む。

0　流路・溝・ピットセクション図（1：40）　2m

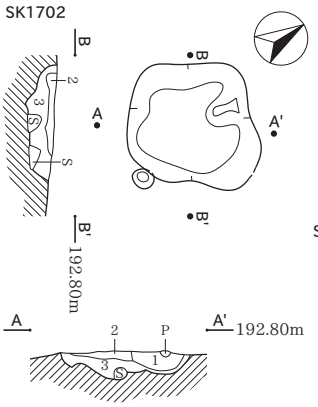
SK1627出土土器



SK1627
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂。粘性弱い。しまり強い。礫多量含む。
3　にぶい黄褐色10YR4/3砂。粘性弱い。しまり強い。褐色10YR4/6砂をブロック状に少量含む。
P1626
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量、黄褐色2.5Y5/6砂質土ブロック状に少量含む。
SD1629
1　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。

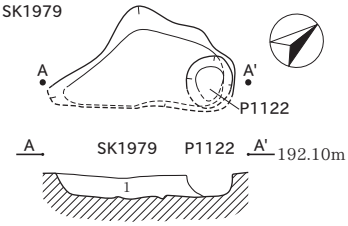
0　土坑（1：50）　2m　　0　土器（1：8）　20cm

SK1702



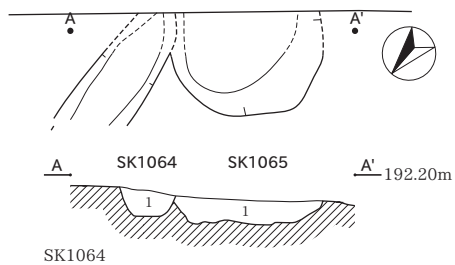
SK1702
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物多量、焼土・土器片微量含む。
2　にぶい赤褐色5YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。焼土多量に含む。炭化物含む。
3　褐色10YR4/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

SK1979

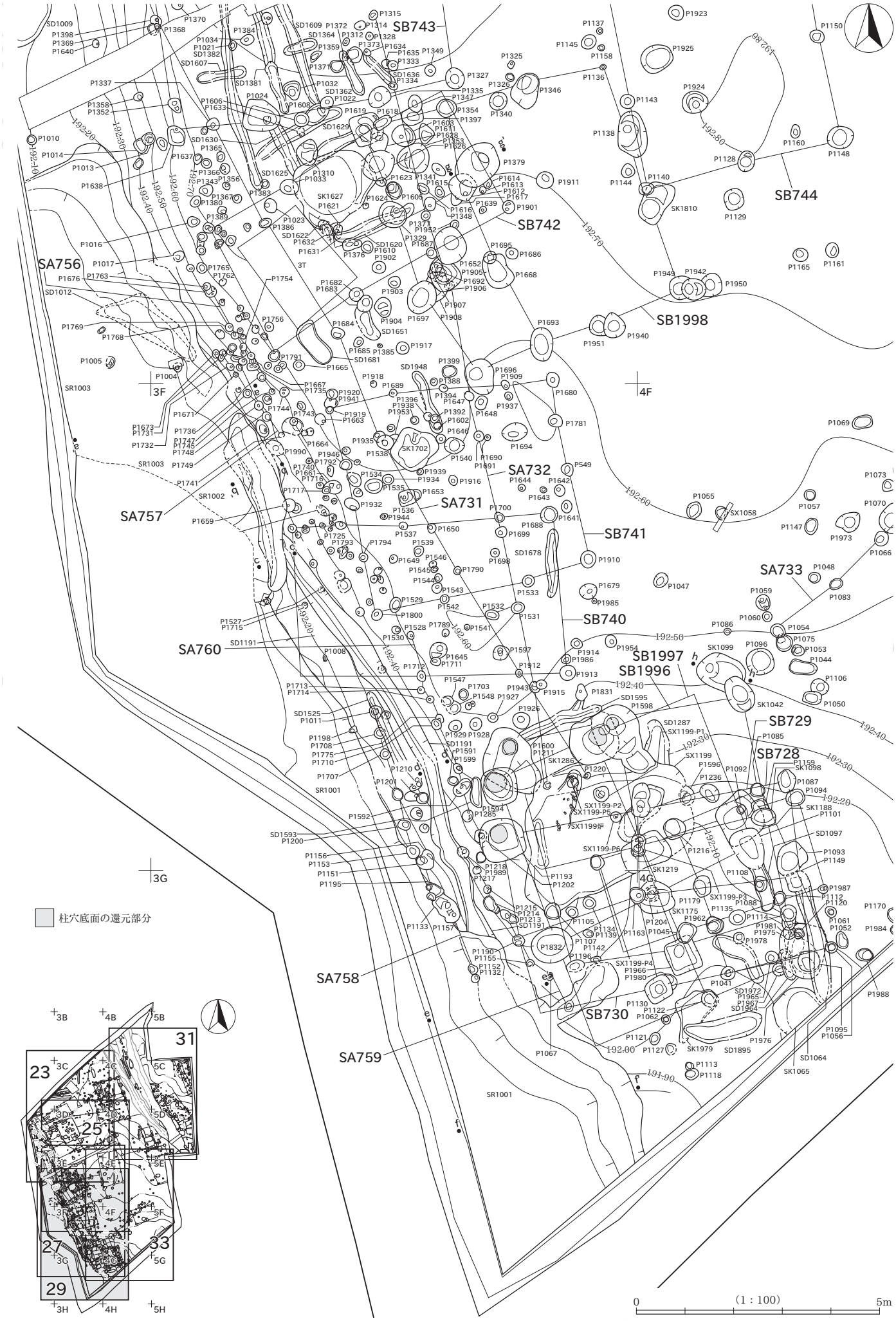


SK1979
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

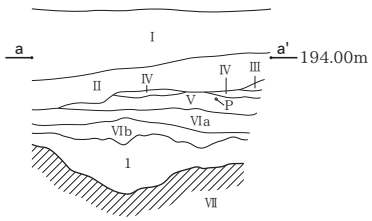
SK1064・1065



SK1064
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
SK1065
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。

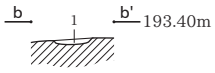

SB743
SB742
SB744
SB1998
SA756
SA757
SA732
SA731
SB741
SA733
SB740
SA760
SB1997
SB1996
SB729
SB728
SA758
SB730
SA759
3F
4F
3G
4G
柱穴底面の還元部分
(1：100)
0
5m

SD3157



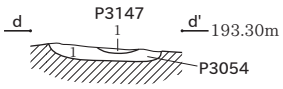
SD3157
- Ⅰ層　灰オリーブ色7.5Y5/2粘質土。粘性強い。しまりやや弱い。現在の水田耕作土。
- Ⅱ層　灰黄褐色10YR4/2粘質土。粘性強い。しまり強い。拳大の礫を含む。鉄分が多い。
- Ⅲ層　黒褐色10YR3/2粘質土～シルト。粘性やや強い。しまり強い。人頭大～拳大の礫を多量に含む。鉄分が多い。洪水堆積層。
- Ⅳ層　黄褐色10YR5/6シルト。粘性弱い。しまり強い。部分的に黄褐色砂が筋状に混じる。洪水堆積層。
- Ⅴ層　明黄褐色10YR6/6砂。粘性弱い。しまりやや弱い。にぶい黄褐色シルトがラミナ状に混じる。地点によってはⅣ層との境界付近に最大径10cmほどの礫層が混じる。洪水堆積層。
- VIa層　黒褐色10YR3/1～3/2粘質土。粘性やや強い。しまりやや強い。径1～3mmの炭化物を微量、径1～5mmの黄褐色粒子を中量含む。
- VIb層　褐灰色10YR5/1～4/1粘質土。粘性・しまりやや強。径1～10mmの炭化物・径1～10mmの灰黄色土・拳大の礫を少量混じる。鉄分が多い。
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
- VII層　にぶい黄色～灰黄色2.5Y6/3～6/2シルト。粘性・しまりやや弱い。、径1～3mmの炭化物を微量含む。鉄分多量に含む。洪水堆積層。地山。

SD3144



SD3144
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

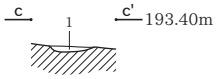
P3054・SD3147



P3054
- 1　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。

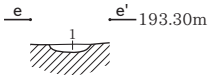
SD3147
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

SD3149



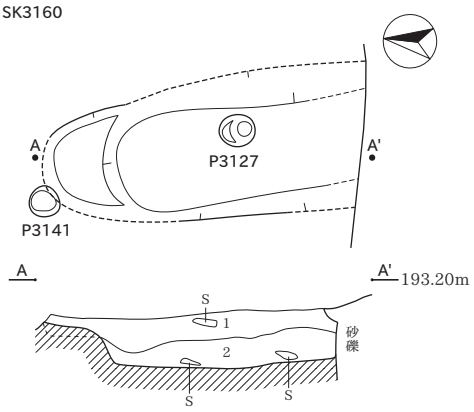
SD3149
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

SD3158



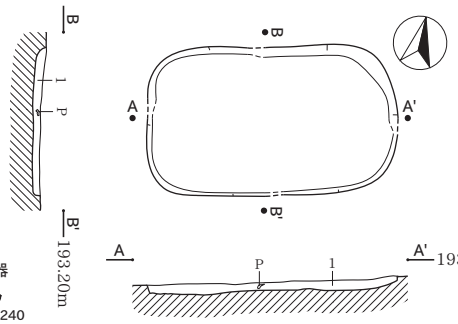
SD3158
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

SK3160



SK3160
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
- 2　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。

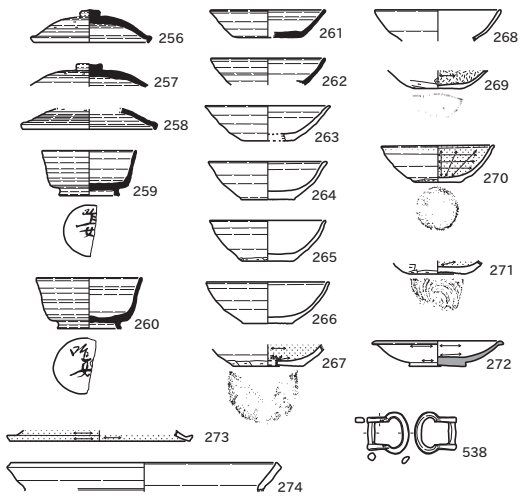
SK1224



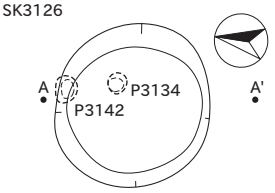
SK1224出土土器

SK1224
- 1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・径20cmまでの礫少量含む。

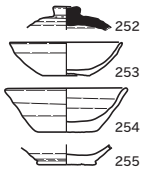
SK3160出土遺物

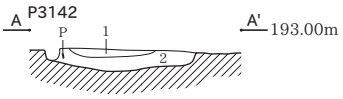


SK3126



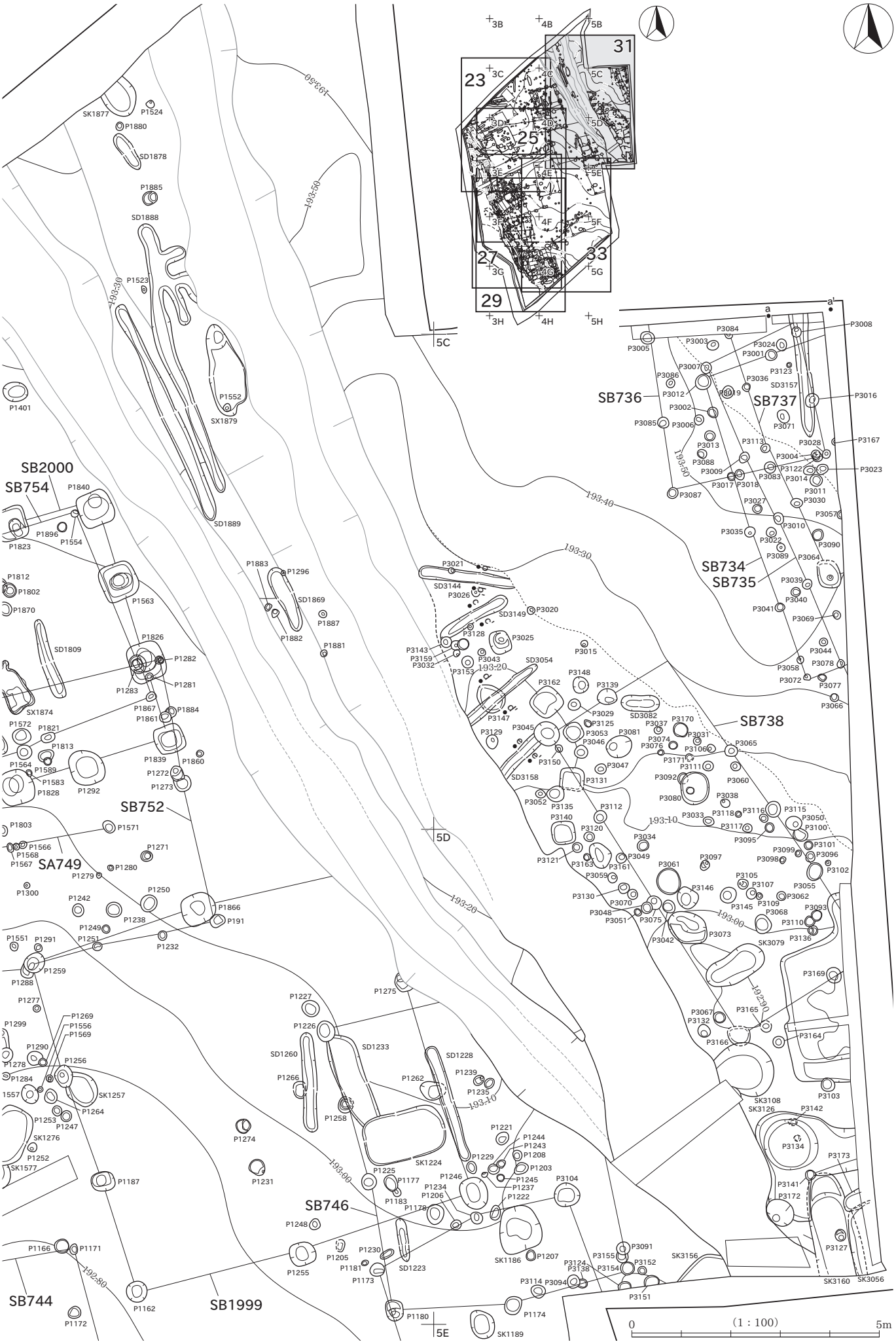
SK3126出土土器



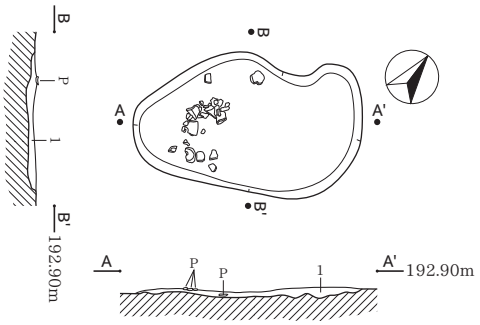


SK3126
- 1　黄褐色10YR5/6シルト。粘性強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
- 2　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物少量含む。

0　土器（1：8）　20cm　0　（1：50）　2m

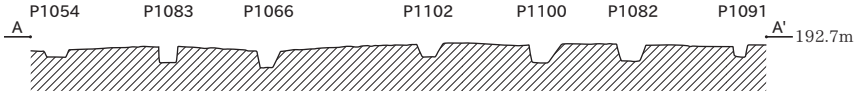

SB2000
SB754
SB752
SA749
SB744
SB1999
SB746
SB736
SB737
SB734
SB735
SB738
SK1877
SD1878
SD1888
SD1889
SX1879
SX1874
SD1809
SD1869
SD3144
SD3149
SD3054
SD3158
SD3082
SD1260
SD1233
SD1228
SD1223
SK1257
SK1276
SK1577
SK1224
SK1186
SK1189
SK3079
SK3108
SK3126
SK3160
SK3056
193-50
193-40
193-30
193-20
193-10
193-00
192-90
192-80
5C
5D
5E
0
(1 : 100)
5m

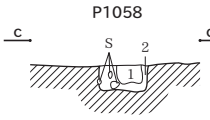
SK1241



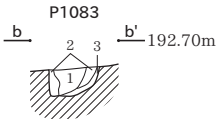
SK1241A・B
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・鉄分微量含む。

SA733

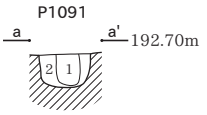




P1058
1　黄褐色2.5Y5/3粘土。粘性やや強い。しまり強い。
2　暗褐色7.5YR3/4シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。

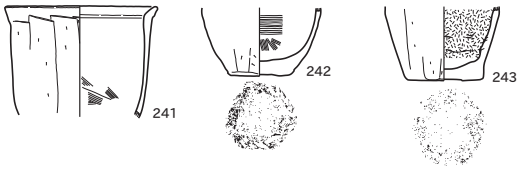


P1083
1　暗褐色7.5YR3/4粗砂。粘性弱い。しまり強い。鉄分少量含む。
2　暗褐色10YR3/4砂質シルト。粘性弱い。しまり強い。鉄分少量含む。
3　暗褐色10YR3/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや強い。鉄分少量含む。

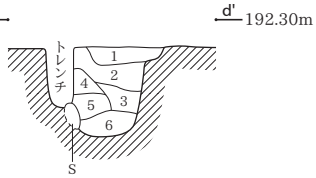


P1091
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

SK1241出土土器

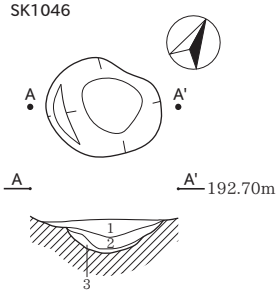


P1093



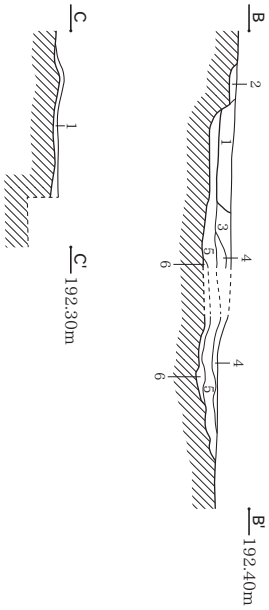
P1093
1　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量、鉄分少量含む。
2　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物・鉄分微量含む。
3　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。し粘性弱い。まりやや強い。炭化物微量含む。
4　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。
5　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
6　暗灰黄色2.5Y4/2砂質シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。

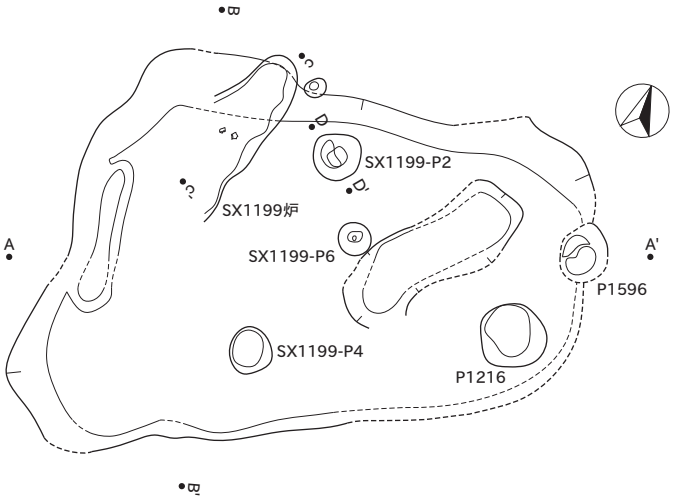
SK1046



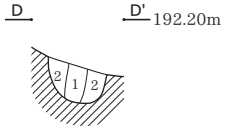
SK1046
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・土師器片・径3cmまでの礫微量含む。
2　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径3cmまでの礫微量含む。
3　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。鉄分・径5cmまでの礫多量含む。

SX1199

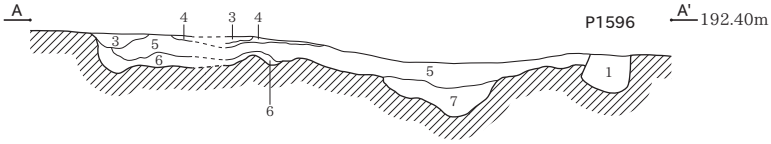




SX1199-P2



SX1199-P2
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性強い。しまり強い。
2　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり強い。

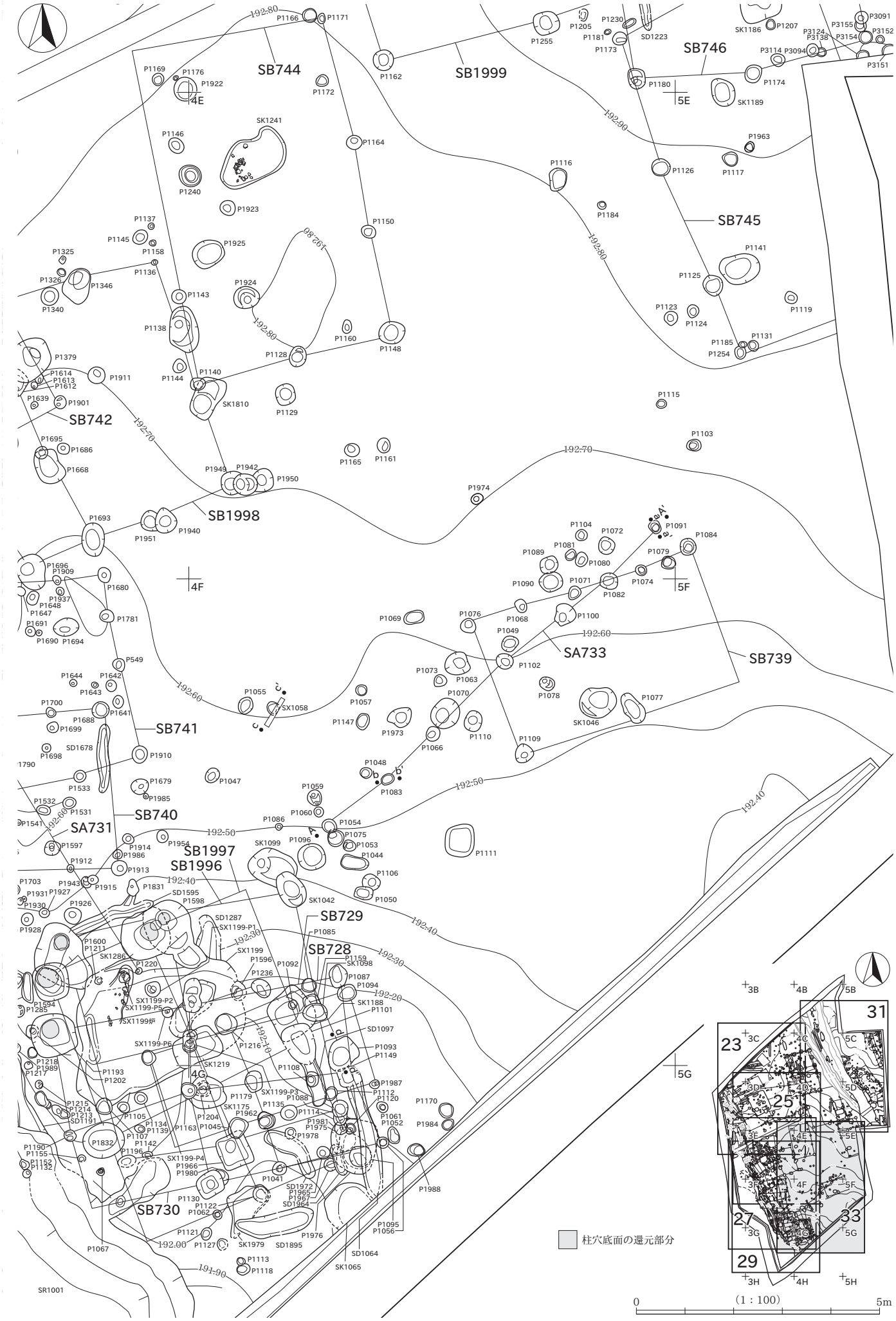


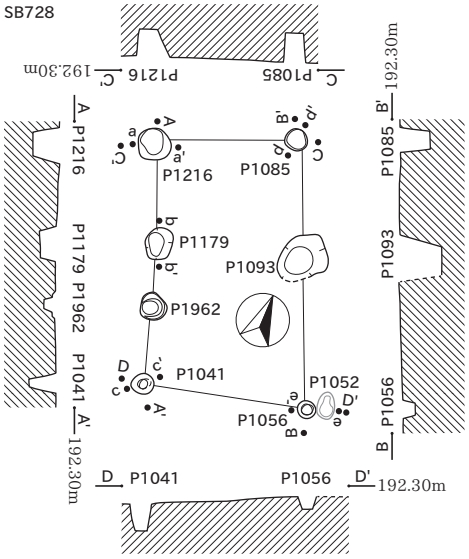
SX1199A・B
1　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物多量に含む。焼土含む。
2　オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまり弱い。炭化物含む。
3　黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性強い。しまり強い。
4　黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまり強い。
5　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性強い。しまり強い。
6　黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまり強い。
7　灰オリーブ色5Y4/2シルト。粘性強い。しまり強い。

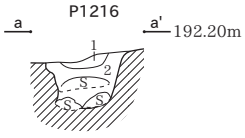
SX1199C
1　暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり弱い。炭化物・焼土含む。

P1596
1　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性強い。しまり強い。

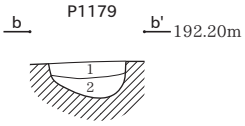
0　土器（1：8）　20cm
0　ピットセクション図（1：40）　2m
0　土坑（1：50）　2m
0　エレベーション図（1：100）　5m


SB744
SB1999
SB746
SB745
SB742
SB1998
SB741
SB740
SA731
SB1997
SB1996
SB729
SB728
SB730
SA733
SB739
柱穴底面の還元部分
(1：100)
0
5m

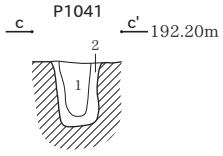




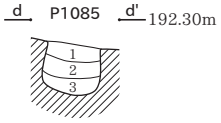
P1216
1　オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性強い。しまり弱い。
2　灰オリーブ色5Y4/2シルト。粘性強い。しまり弱い。



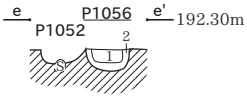
P1179
1　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。



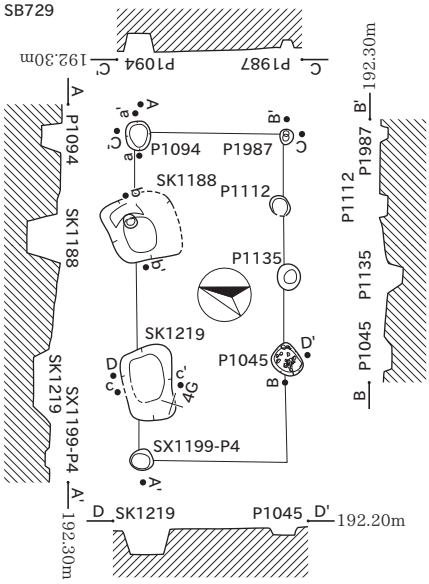
P1041
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。
2　暗灰黄色2.5Y5/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。

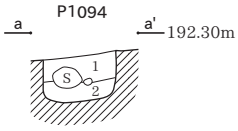


P1085
1　黒褐色2.5Y3/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物多量含む。
2　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。径3cmまでの礫少量含む。
3　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫多量含む。

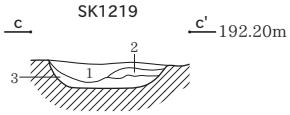


P1056
1　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
2　黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。

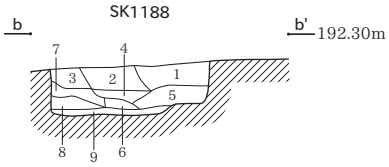




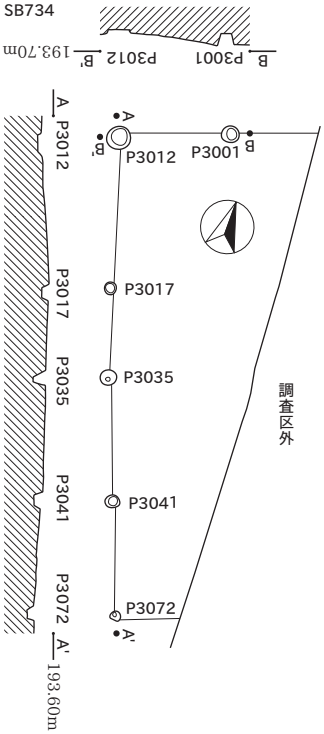
P1094
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物少量含む
2　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。径20cmまでの礫多量含む

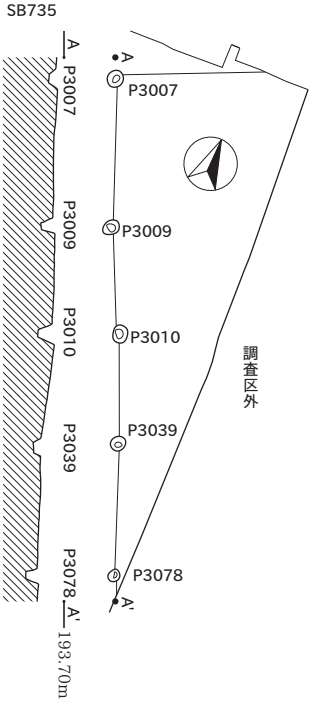


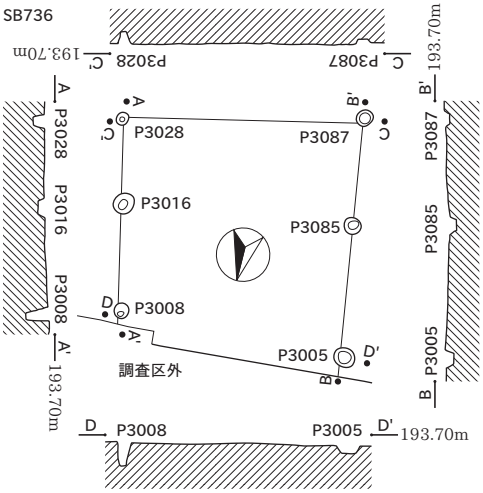
SK1219
1　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
2　黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
3　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性強い。しまり弱い。



SK1188
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫少量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径3cmまでの礫少量含む。
4　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
5　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。径5cmまでの礫少量、鉄分多量含む。
6　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
7　オリーブ褐色2.5Y4/3砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。
8　黒褐色2.5Y3/2シルト。粘性強い。しまり弱い。
9　にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。径10cmまでの礫多量に含む。



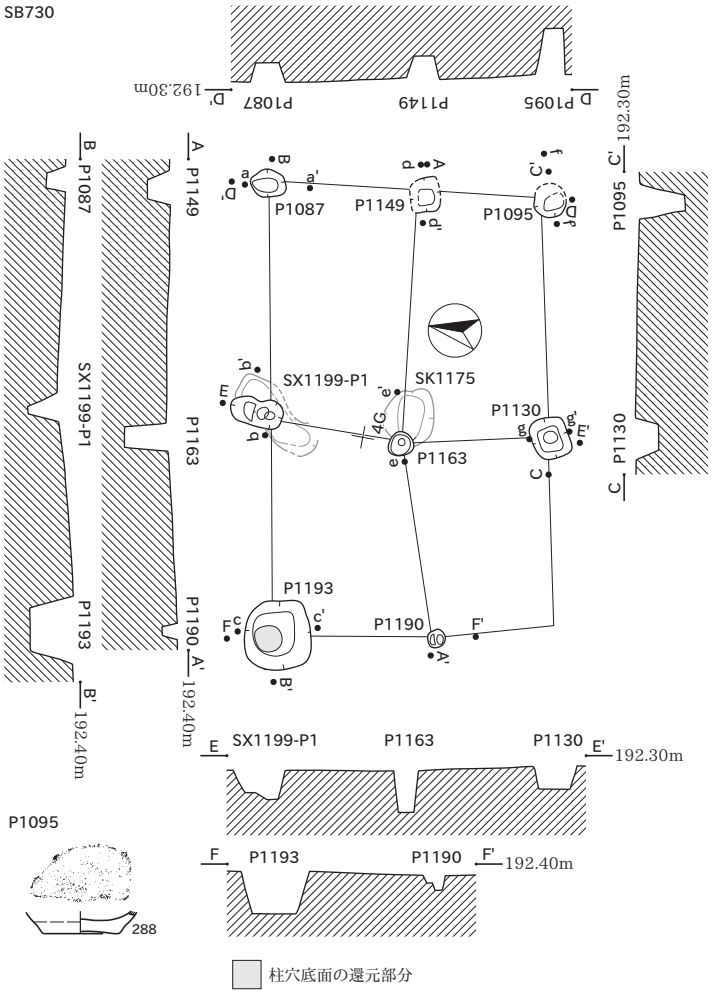


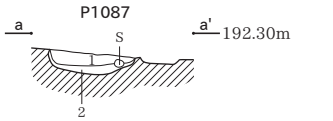


0　建物（1：100）　5m

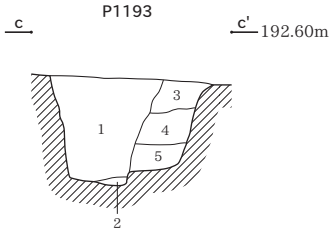
0　セクション図（1：40）　2m

SB730

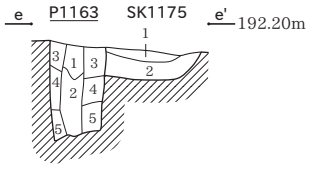




P1087
1 黒褐色2.5Y3/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物少量含む。
2 暗灰黄色2.5Y4/2砂質シルト。粘性弱い。しまりやや強い。

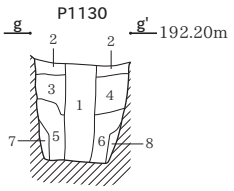


P1193
1 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
2 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性強い。しまり弱い。
3 オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
4 黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
5 オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。

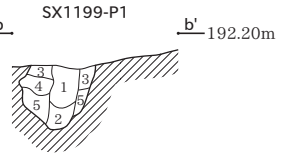


P1163
1 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物少量、鉄分微量含む。
2 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。鉄分中量含む。
3 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量、鉄分少量含む。
4 灰黄色2.5Y6/2粘質シルト。粘性やや強い。しまり弱い。鉄分少量含む。
5 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分微量含む。

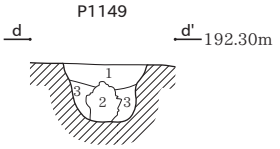
SK1175
1 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
2 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。



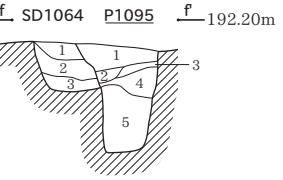
P1130
1 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。柱痕。
2 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
3 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
4 灰オリーブ色5Y5/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
5 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。鉄分多量含む。
6 灰オリーブ色5Y5/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。
7 灰色5Y6/1シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分微量含む。
8 灰オリーブ色5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分微量含む。



SX1199-P1
1 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
2 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
3 暗灰黄色2.5Y5/2シルト。粘性強い。しまり弱い。
4 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性強い。しまり弱い。
5 灰オリーブ色5Y5/2シルト。粘性強い。しまり弱い。



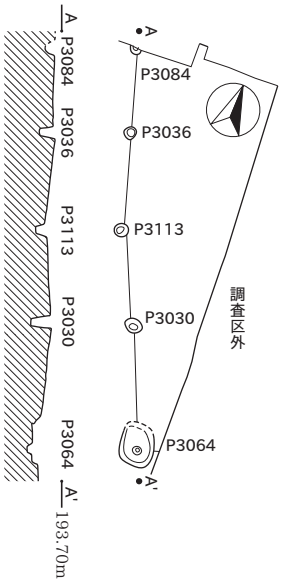
P1149
1 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物・鉄分微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。



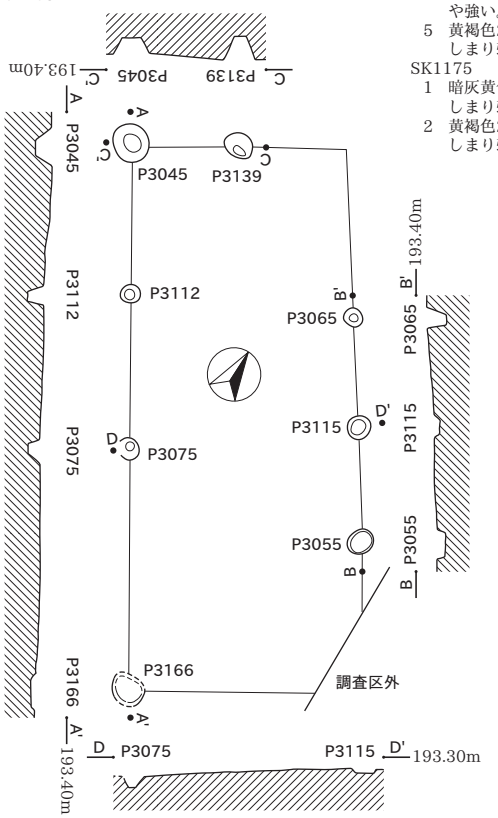
P1095
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・鉄分少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
3 灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。ブロック状の暗灰黄色2.5Y5/2粘土質シルト少量含む。
4 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。仮面に鉄分の沈着がある。
5 灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

SD1064
1 暗灰黄色2.5Y5/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・鉄分微量含む。
2 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

SB737

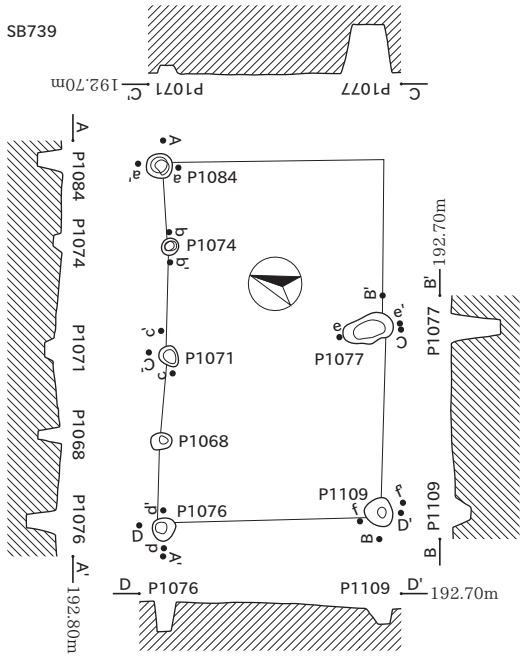


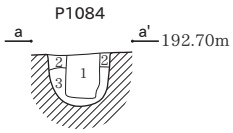
SB738



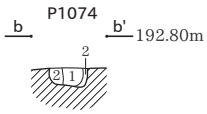
0　建物（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m
0　土器（1：6）　30cm

SB739

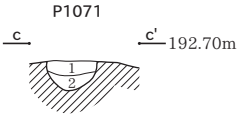




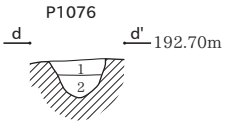
P1084
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
2　黄灰色2.5Y4/1シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量含む。
3　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫多量含む。



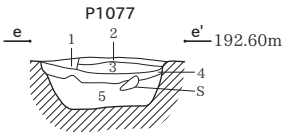
P1074
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり強い。
2　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。



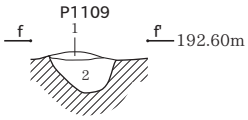
P1071
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性弱い。しまり強い。
2　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。



P1076
1　黒褐色10YR2/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量、径3cmまでの礫少量含む
2　黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。炭化物微量、径3cmまでの礫少量含む。

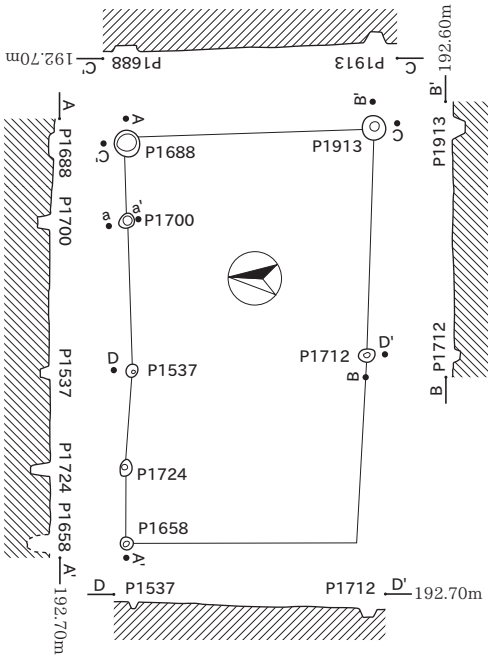


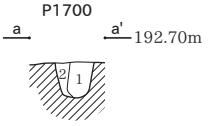
P1077
1　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物多量に含む。
2　黒褐色10YR2/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物・径5cmまでの礫微量含む。
3　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径3cmまでの礫微量含む。
4　褐色7.5YR4/6シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径4cmまでの礫微量、鉄分多量に含む。
5　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。径15cmまでの礫多量に含む。



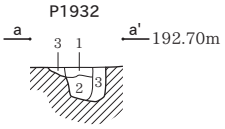
P1109
1　黒褐色10YR3/1シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
2　暗オリーブ褐色2.5Y3/3砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。

SB740



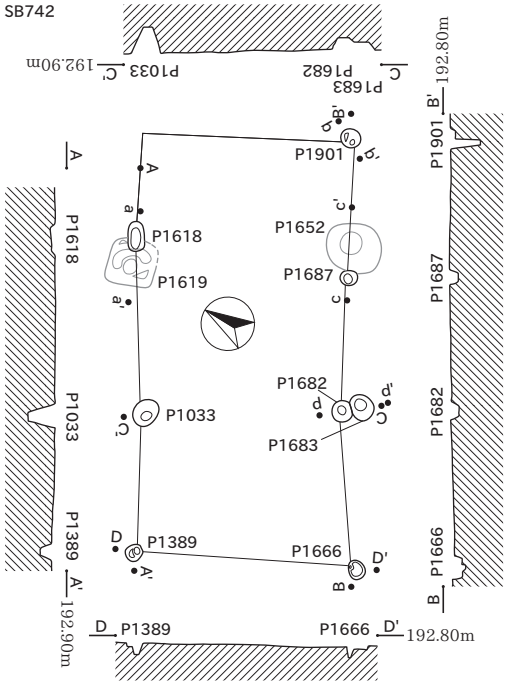


P1700
1　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。
2　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

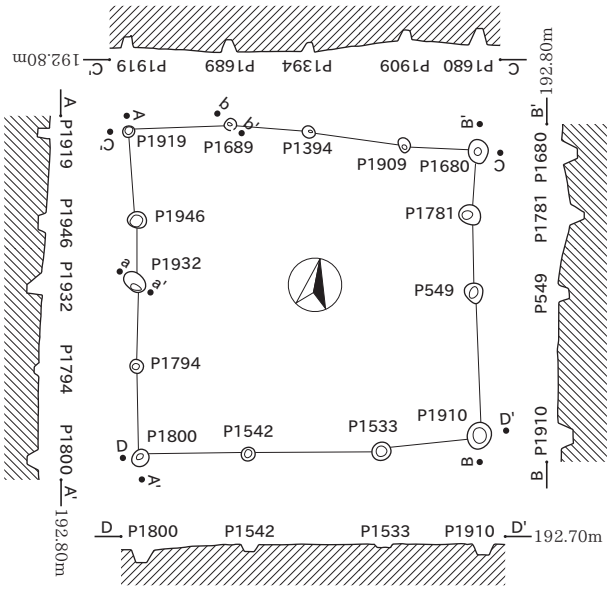


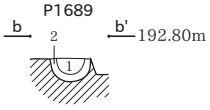
P1932
1　黒褐色10YR3/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
3　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

SB742

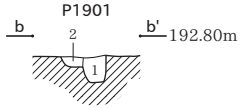


SB741

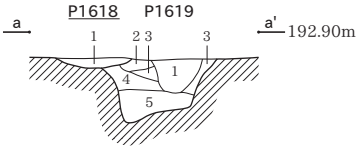




P1689
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR5/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。



P1901
1　灰黄褐色10YR5/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　黒褐色10YR3/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。



P1618
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

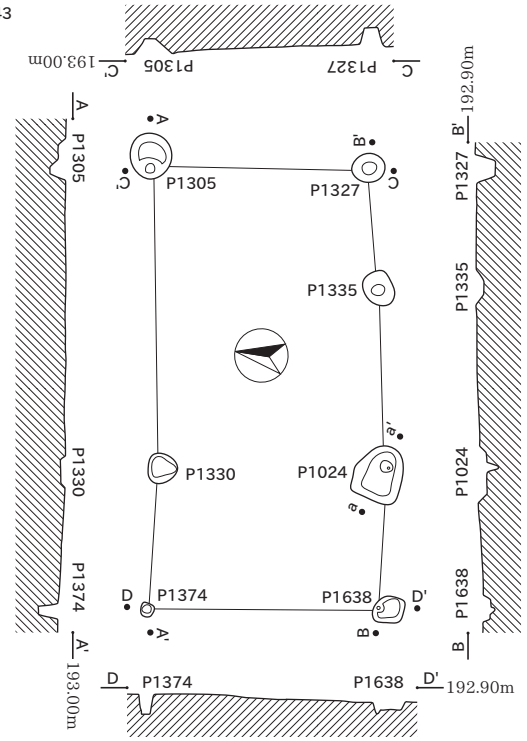
P1619
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。
2　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。
3　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
4　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
5　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物・礫微量含む。

※SB742 C-C'は図版37

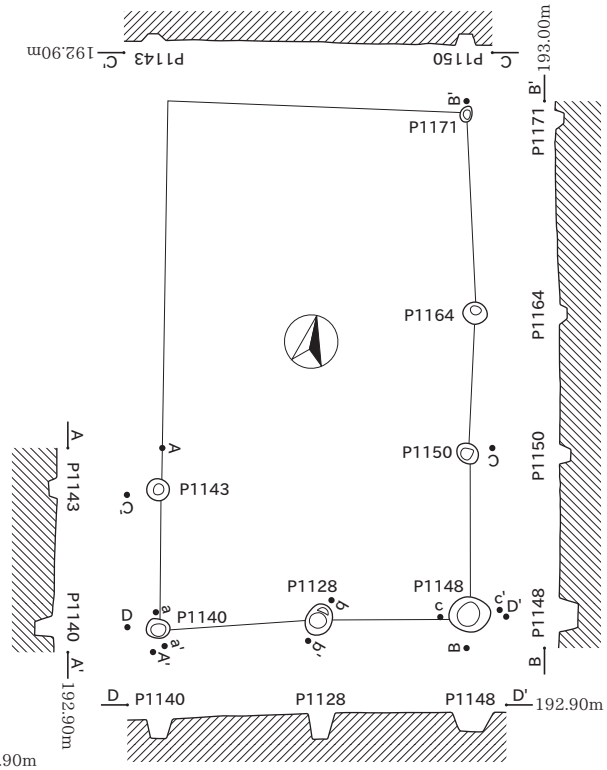
0　建物（1：100）　5m

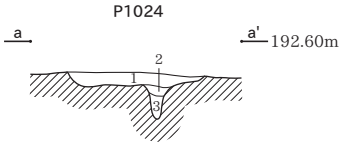
0　セクション図（1：40）　2m

SB743

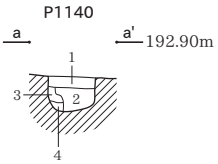


SB744

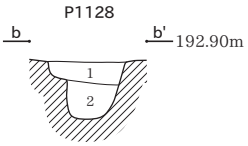




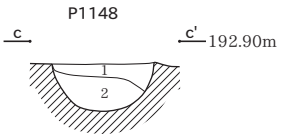
P1024
1　にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量含む。
3　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性弱い。しまり強い。



P1140
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2　暗褐色10YR3/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
3　褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまり弱い。
4　黒褐色10YR3/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。

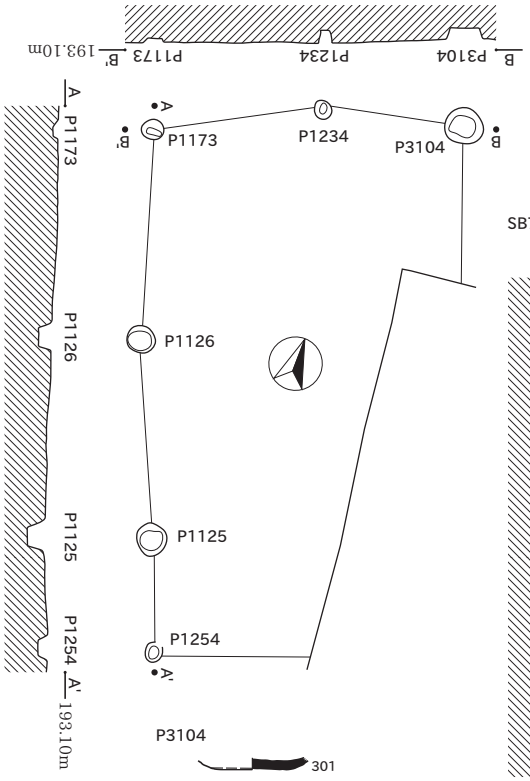


P1128
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物少量含む。
2　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。

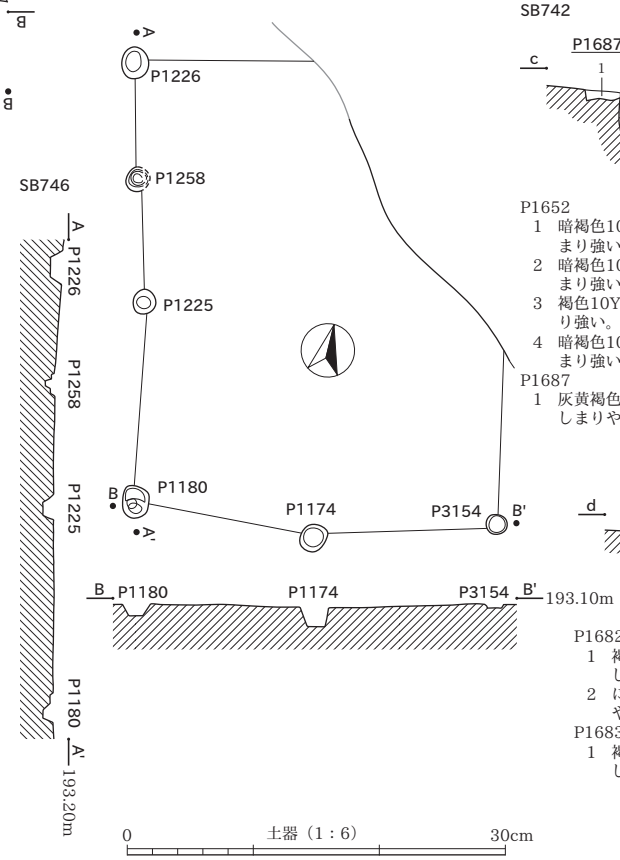


P1148
1　灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2　灰黄褐色～にぶい黄褐色10YR4/2～4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

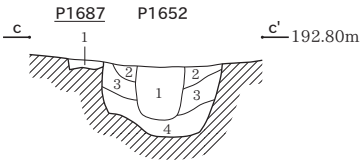
SB745



SB746

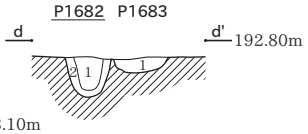


SB742



P1652
1　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。
2　暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
3　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
4　暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

P1687
1　灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。



P1682
1　褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2　にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。

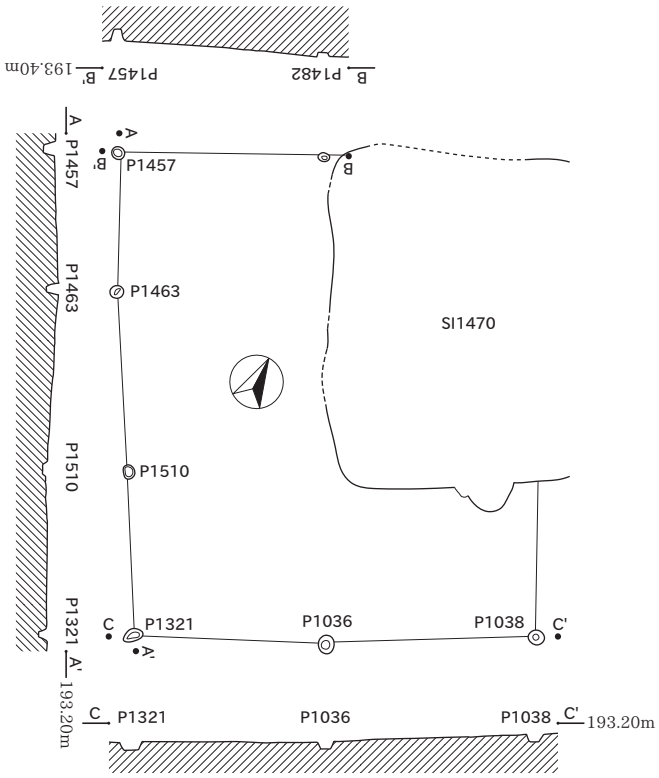
P1683
1　褐色10YR4/4砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

0　建物（1：100）　5m

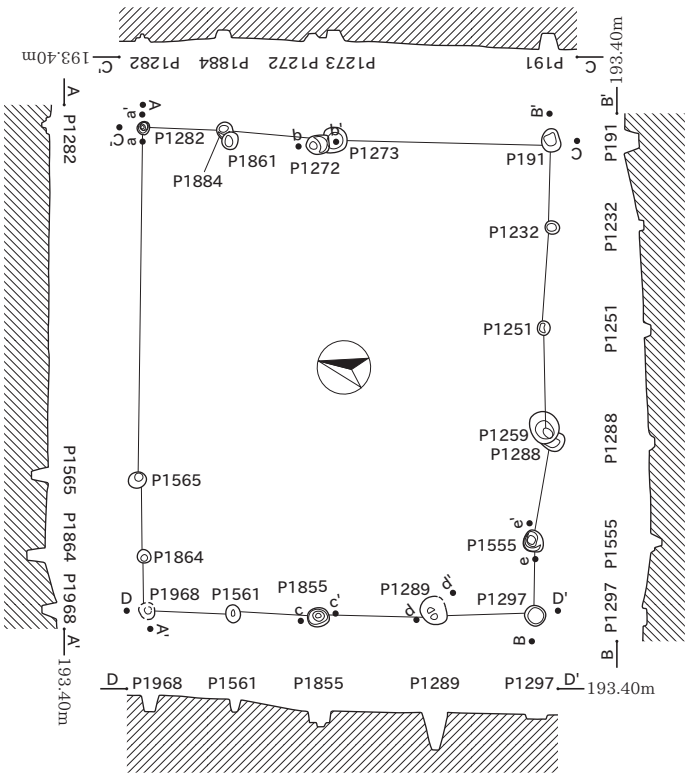
0　セクション図（1：40）　2m

0　土器（1：6）　30cm

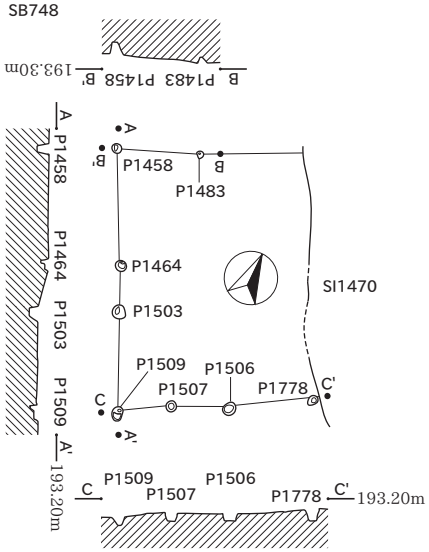
SB747



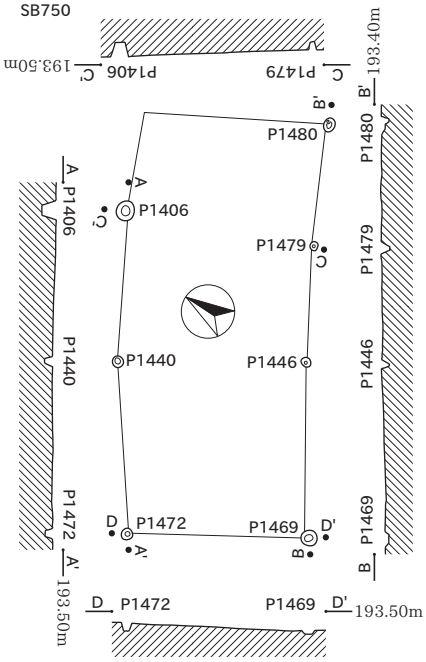
SB752

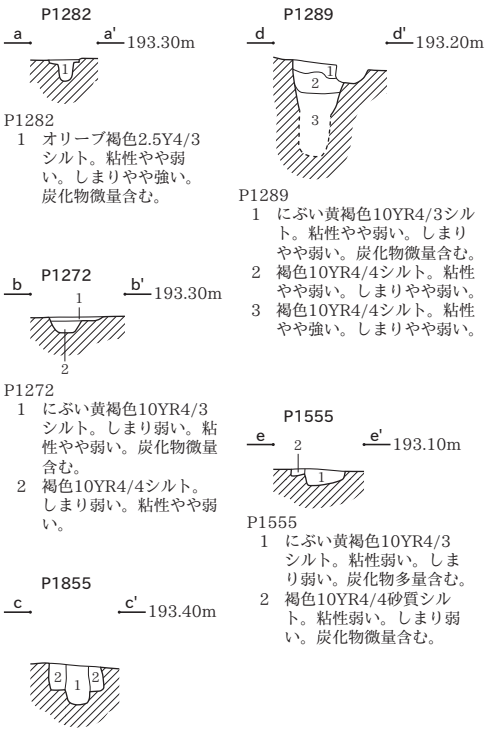


SB748



SB750





P1282
1　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

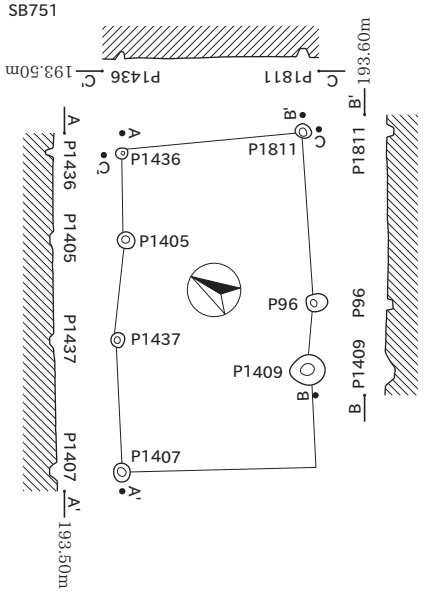
P1289
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2　褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
3　褐色10YR4/4シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。

P1272
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。しまり弱い。粘性やや弱い。炭化物微量含む。
2　褐色10YR4/4シルト。しまり弱い。粘性やや弱い。

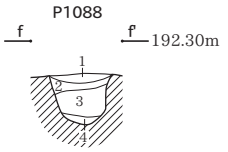
P1555
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物多量含む。
2　褐色10YR4/4砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。

P1855
1　にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
2　褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

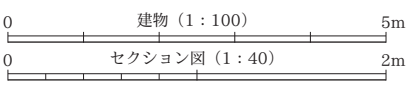
SB751

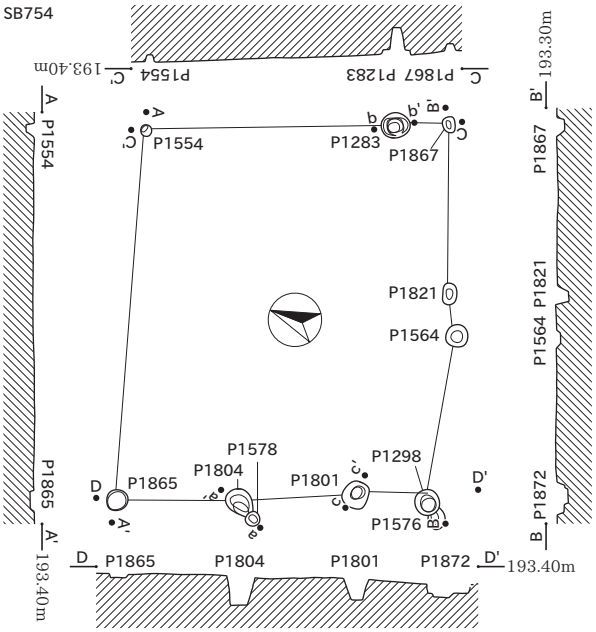


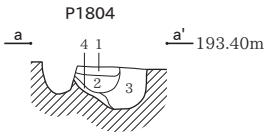
SB1996



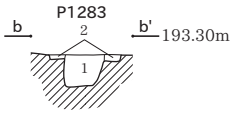
P1088
1　暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物少量含む
2　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。
3　オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。



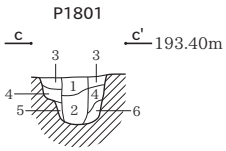




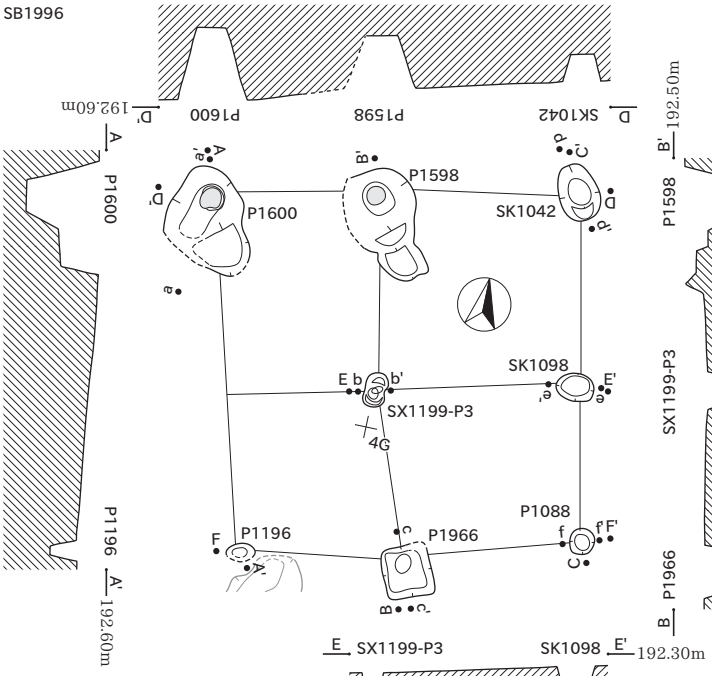
P1804
1 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。

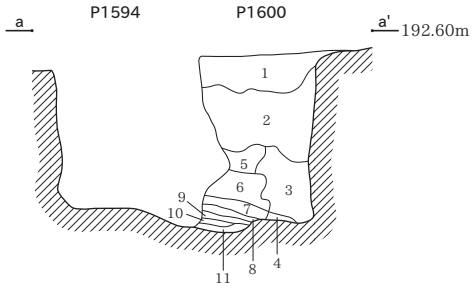


P1283
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。



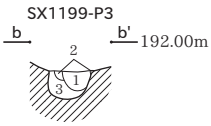
P1801
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物多量含む。
2 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物多量含む。
4 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
5 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。
6 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。



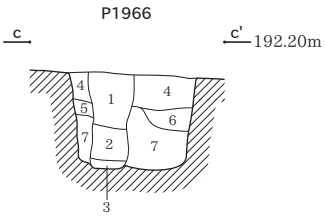


P1600
1 オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまり強い。
2 黄褐色2.5Y5/4砂。粘性強い。しまり強い。
3 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり強い。
4 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
5 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり強い。
6 黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまり弱い。
7 黄褐色2.5Y5/6シルト。粘性強い。しまり弱い。
8 明黄褐色2.5Y6/6シルト。粘性強い。しまり弱い。
9 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
10 明黄褐色2.5Y6/6シルト。粘性強い。しまり弱い。
11 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり弱い。

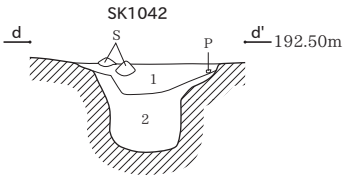
柱穴底面の還元部分



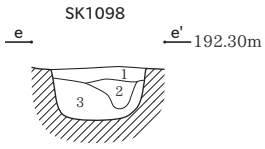
SX1199-P3
1 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
2 暗灰黄色2.5Y5/2シルト。粘性強い。しまり弱い。
3 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性強い。しまり弱い。



P1966
1 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分中量含む。
3 灰オリーブ色5Y5/2シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。
4 暗灰黄色2.5Y5/2砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物・鉄分少量含む。
5 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。
6 灰オリーブ色5Y5/2砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。鉄分少量含む。
7 灰オリーブ色5Y5/2砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分中量含む。



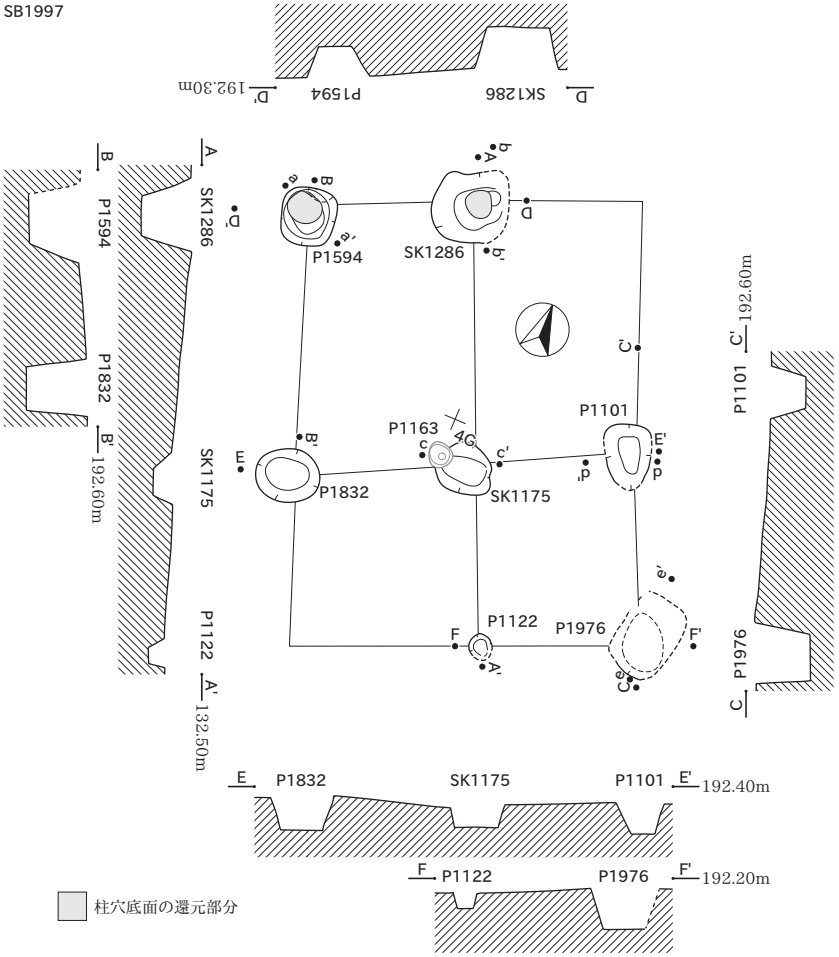
SK1042
1 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物多量、径10cmまでの礫・土師器片微量含む。
2 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。径3cmまでの礫少量含む。

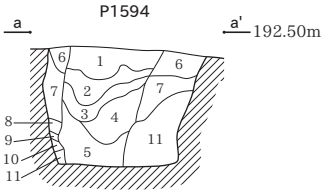


SK1098
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量、鉄分少量含む。
2 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。鉄分少量含む。
3 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。鉄分微量含む。

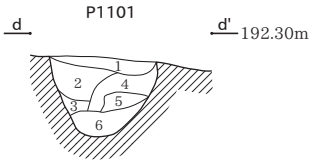
0　建物（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m

SB1997

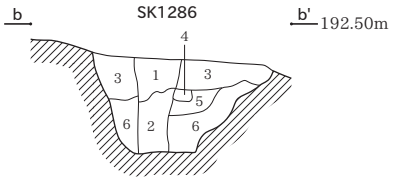




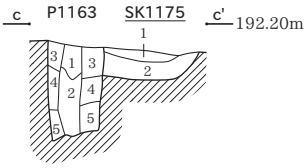
P1594
1 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
2 オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまり弱い。炭化物含む。
3 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり弱い。
4 オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまり弱い。炭化物含む。
5 黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまり弱い。
6 オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
7 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
8 黄褐色2.5Y5/6シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
9 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり強い。
10 黄褐色2.5Y5/6シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
11 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。



P1101
1 灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量、鉄分少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・鉄分微量含む。
3 灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・鉄分微量含む。
4 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分多量含む。
5 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分多量含む。
6 暗灰黄色2.5Y4/2砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分少量含む。

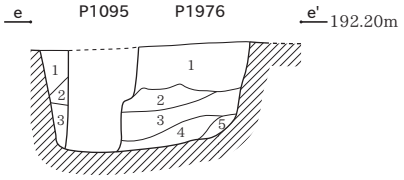


SK1286
1 暗褐色10YR3/4シルト。粘性強い。しまり弱い。炭化物含む。
2 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまり弱い。炭化物含む。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物含む。
4 オリーブ褐色2.5Y4/6シルト。粘性強い。しまりやや弱い。
5 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性強い。しまりやや弱い。炭化物含む。
6 黄褐色2.5Y5/4シルト。粘性強い。しまりやや弱い。炭化物含む。

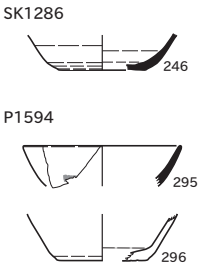


P1163
1 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物少量、鉄分微量含む。
2 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。鉄分中量含む。
3 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量、鉄分少量含む。
4 灰黄色2.5Y6/2粘質シルト。粘性やや強い。しまり弱い。鉄分少量含む。
5 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。鉄分微量含む。

SK1175
1 暗灰黄色2.5Y4/2シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
2 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。



P1976
1 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量、黄褐色2.5Y5/3シルトを斑に少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
4 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや強い。
5 褐色10YR4/4シルト。粘性強い。しまり強い。炭化物微量含む。

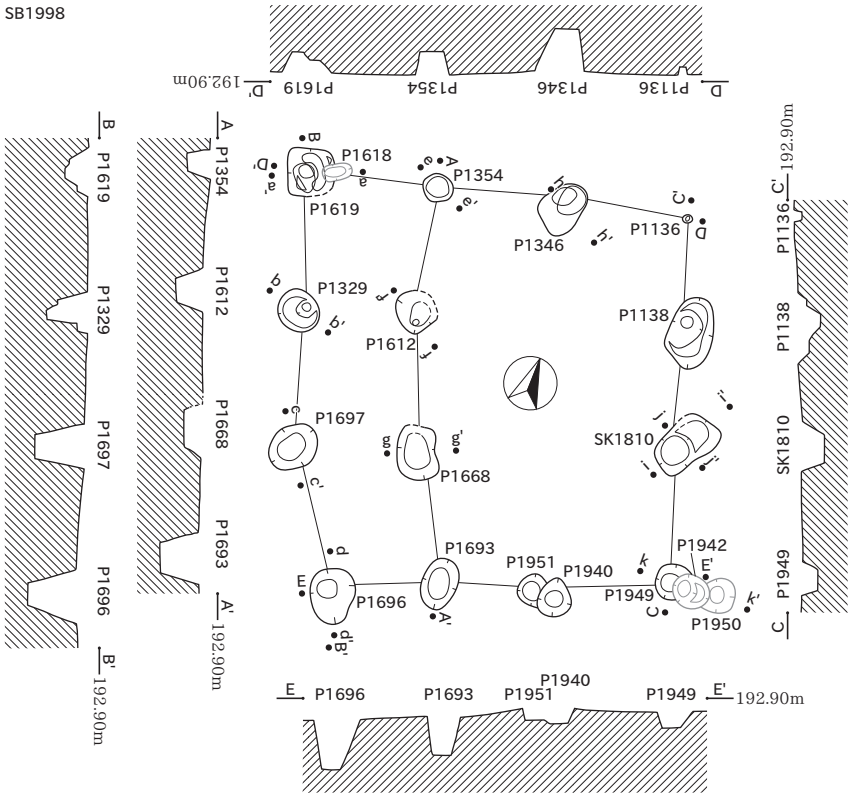


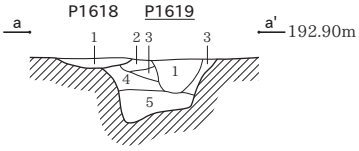
0 建物（1：100） 5m

0 セクション図（1：40） 2m

0 土器（1：6） 30cm

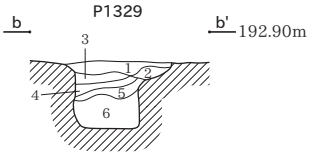
SB1998



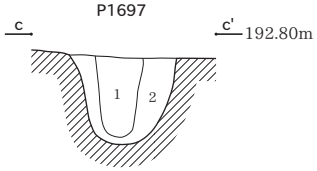


P1618
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

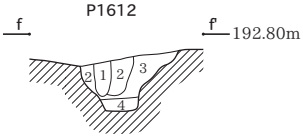
P1619
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。
2 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4砂質土。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
5 褐色10YR4/4砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物・礫微量含む。



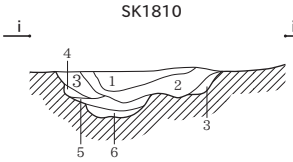
P1329
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量、褐灰10YR4/1砂質土ブロック状に微量含む
2 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。黄褐10YR5/6砂質土・黒褐10YR3/1砂質土ブロック状に少量含む。
3 黄褐色10YR5/6砂質土。粘性強い。しまり強い。
4 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。
5 黄褐色10YR5/6砂質土。粘性強い。しまり強い。
6 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量含む。

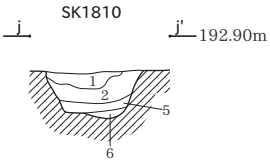


P1697
1 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2 褐色10YR4/6砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

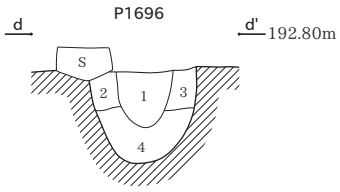


P1612
1 にぶい黄褐色10YR4/3粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。
2 褐色10YR4/4粘土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4砂質土。粘性弱い。しまりやや弱い。

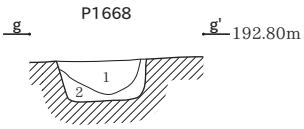




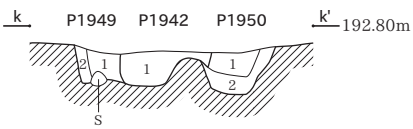
SK1810
1 暗褐色10YR3/4シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。炭化物多量、焼土少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまり弱い。炭化物少量、焼土微量含む。
3 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
4 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
5 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。
6 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。



P1696
1 灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。
2 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
3 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。
4 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまりやや強い。炭化物微量含む。



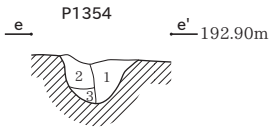
P1668
1 黒褐色10YR3/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2 灰黄褐色10YR4/2砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。



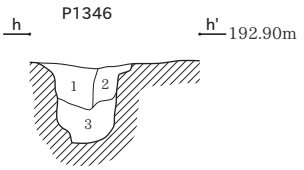
P1942
1 暗褐色10YR3/4砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物少量含む。焼土微量含む。

P1949
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。
2 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。

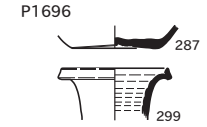
P1950
1 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性やや強い。しまり強い。炭化物微量含む。焼土微量含む。
2 暗褐色10YR3/3砂質土。粘性弱い。しまり強い。炭化物微量含む。砂礫多量に含む。

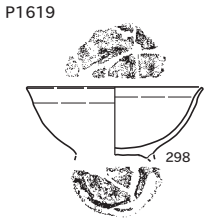


P1354
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性やや弱い。しまり強い。礫多量に含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3粘質土。粘性強い。しまりやや強い。炭化物少量、礫多量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質土。粘性強い。しまり弱い。炭化物微量含む。

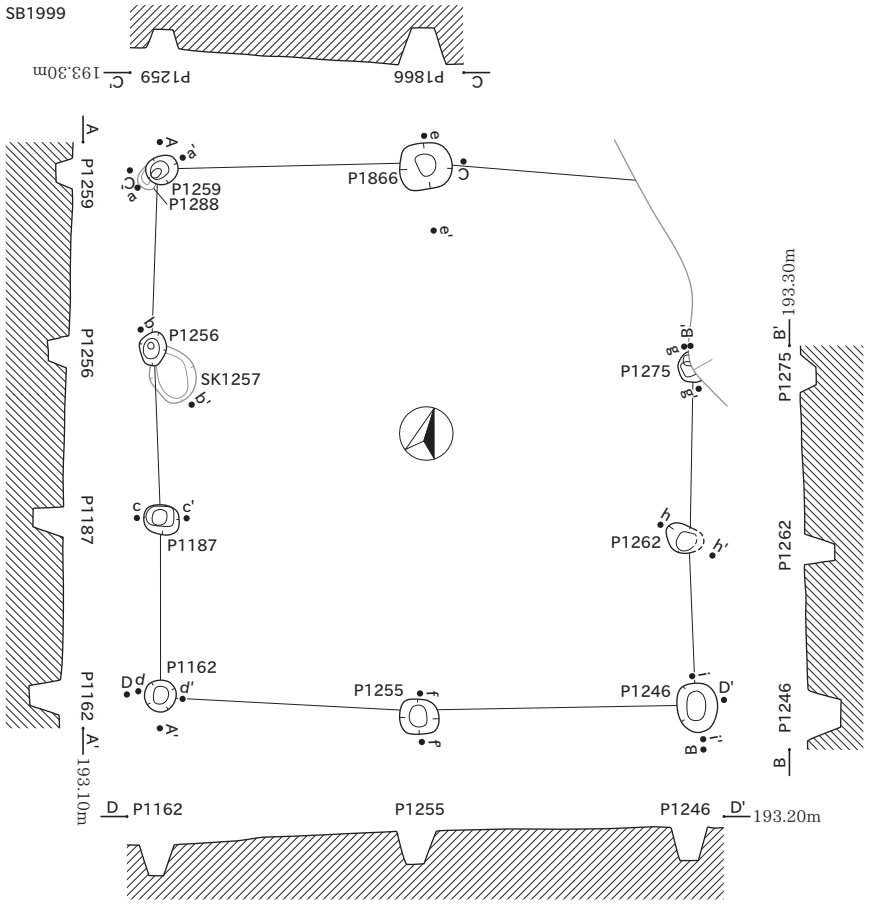


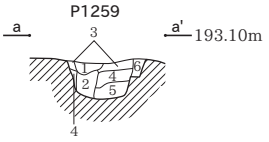
P1346
1 にぶい黄褐色10YR4/3粘質土。粘性やや強い。しまり強い。礫少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR5/4砂質土。粘性やや弱い。やや強い。礫少量含む。
3 暗褐色10YR3/3粘質土。粘性やや強い。しまりやや弱い。



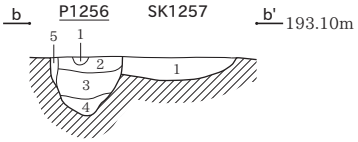


0　建物（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m
0　土器（1：6）　30cm



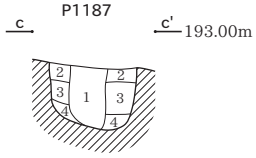


P1259
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
4 灰黄褐色10YR4/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
5 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫少量含む。
6 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

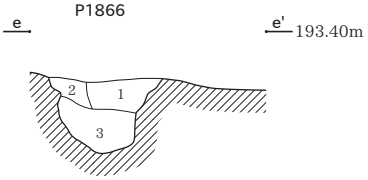


P1256
1 黒褐色10YR3/2シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物多量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物多量含む。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物少量含む。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性やや強い。しまり弱い。径1cmまでの礫少量含む。
4 オリーブ褐色2.5Y4/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。

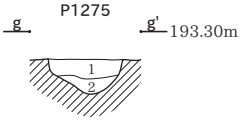
SK1257
1 褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径10cmまでの礫中量含む。



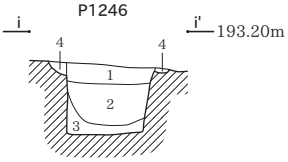
P1187
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物少量含む。
2 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
4 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。



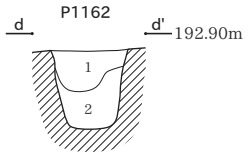
P1866
1 暗褐色10YR3/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量、径7cmまでの礫少量含む。
2 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
3 暗褐色10YR3/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。



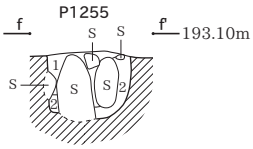
P1275
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物少量含む。



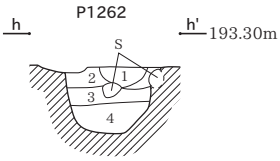
P1246
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。径3cmまでの礫多量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。



P1162
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。

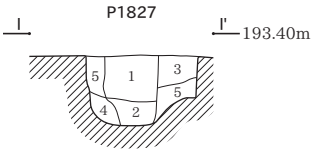


P1255
1 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量、径35cmまでの礫多量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫多量含む。



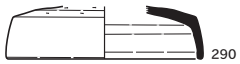
P1262
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物多量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
4 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。

SB2000

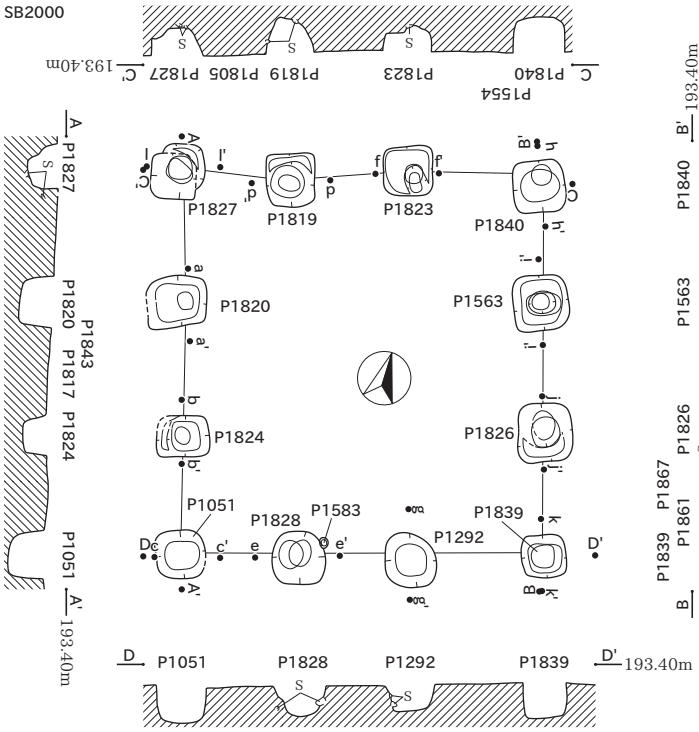


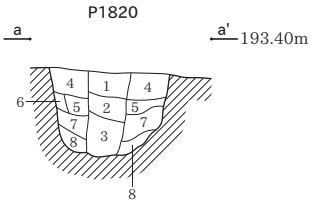
P1827
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり強い。炭化物少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4砂質シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。径4cmまでの礫多量含む。
5 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫多量含む。

P1262

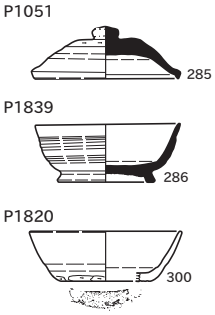


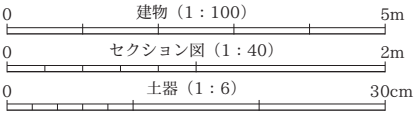
0　建物（1：100）　5m
0　セクション図（1：40）　2m
0　土器（1：6）　30cm

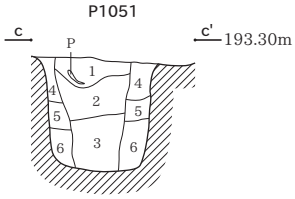




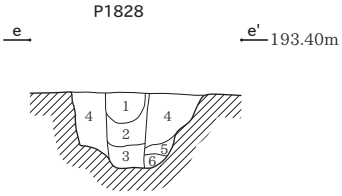
P1820
1 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2 オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
4 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物・径4cmまでの礫微量含む
5 褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
6 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
7 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物・径1cmまでの礫微量含む。
8 褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1cmまでの礫微量含む。



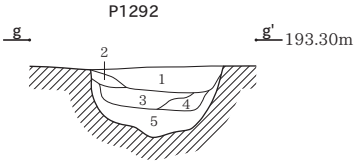




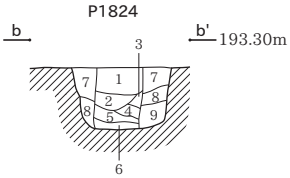
P1051
1 黒褐色10YR3/1シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物多量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量、径8cmまでの礫少量含む。
5 褐色10YR4/4砂質シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
6 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径1cmまでの礫少量含む。



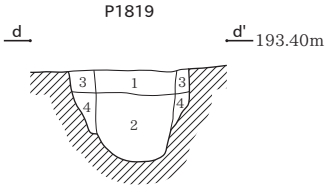
P1828
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量、径2cmまでの礫多量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。径4cmまでの礫微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。径3cmまでの礫中量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまり弱い。炭化物・径7cmまでの礫少量含む。
5 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。径5cmまでの礫多量含む。
6 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。



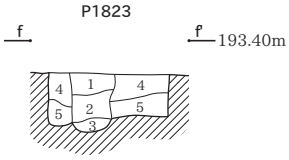
P1292
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物・径3cmまでの礫微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまり弱い。径3cmまでの礫微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性やや強い。しまり弱い。鉄分微量含む。
4 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまり弱い。径6cmまでの礫少量含む。
5 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまり弱い。径7cmまでの礫多量含む。



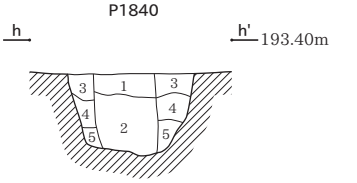
P1824
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。
3 褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
4 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。
5 褐色10YR4/4シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。
6 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。
7 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
8 褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。
9 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや強い。しまりやや強い。



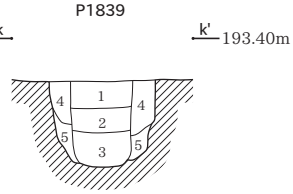
P1819
1 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。炭化物少量含む。
2 暗オリーブ褐色2.5Y3/3シルト。粘性やや強い。しまり弱い。
3 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物・径5cmまでの礫微量含む。
4 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径5cmまでの礫微量含む。



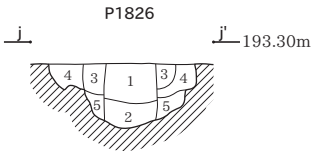
P1823
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。径3cmまでの礫中量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
5 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまり弱い。



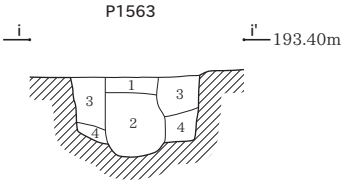
P1840
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまり弱い。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
5 褐色10YR4/4シルト。粘性やや強い。しまりやや弱い。



P1839
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量、径6cmまでの礫少量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3砂質シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。径8cmまでの礫微量含む。
3 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
5 にぶい黄褐色10YR5/4シルト。粘性弱い。しまり弱い。



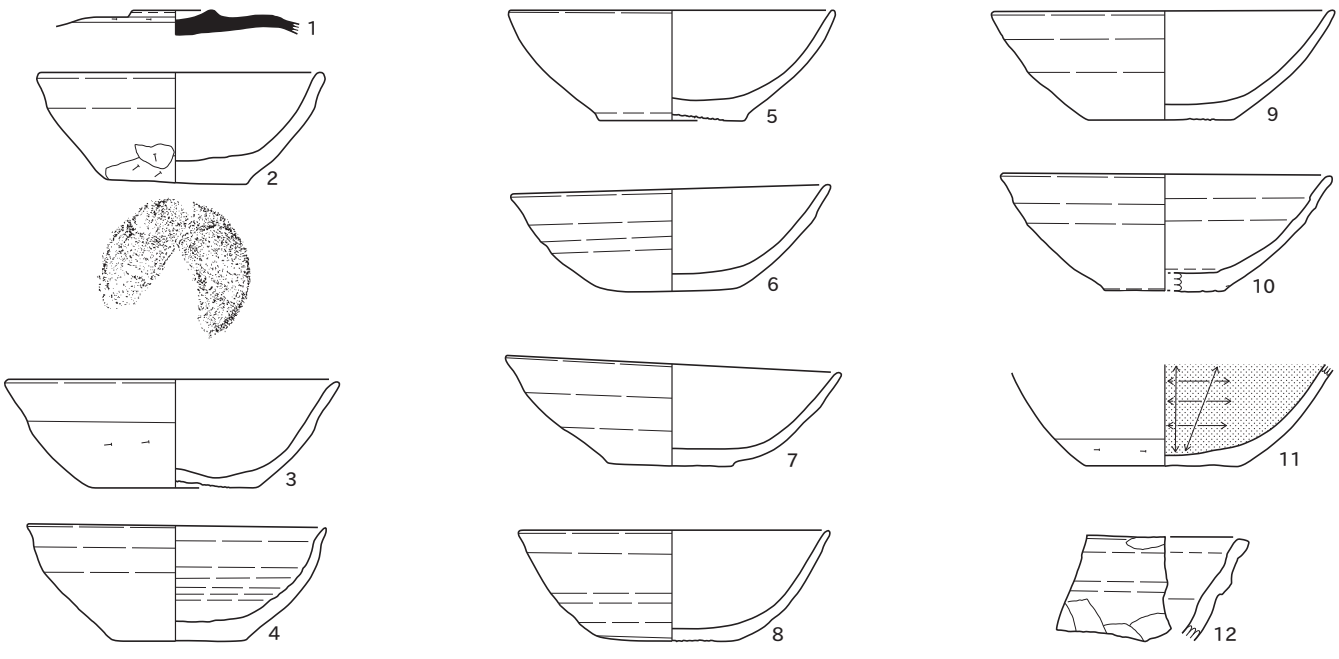
P1826
1 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや強い。炭化物微量含む。
2 黄褐色2.5Y5/3シルト。粘性弱い。しまり強い。
3 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまり強い。
4 オリーブ褐色2.5Y4/4シルト。粘性弱い。しまり強い。
5 オリーブ褐色2.5Y4/3シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。



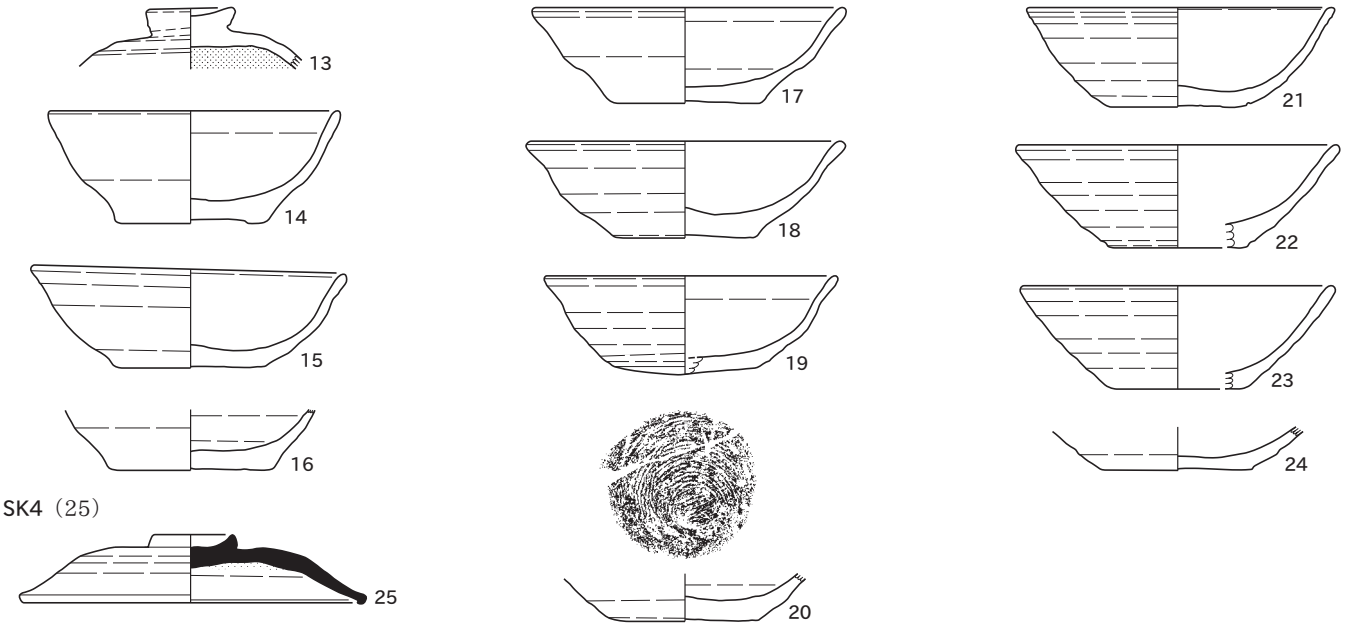
P1563
1 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性やや弱い。しまりやや弱い。炭化物多量含む。
2 にぶい黄褐色10YR4/3シルト。粘性強い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
3 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや弱い。炭化物微量含む。
4 褐色10YR4/4シルト。粘性弱い。しまりやや強い。径4cmまでの礫多量含む。

※SB2000 l-l'は図版42にあり

SX64（1～12）



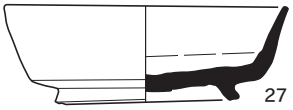
SX159（13～24）



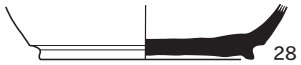
SK4（25）

焼土272（26）

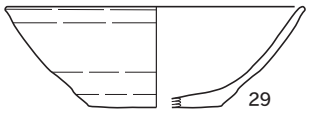
P49（27）



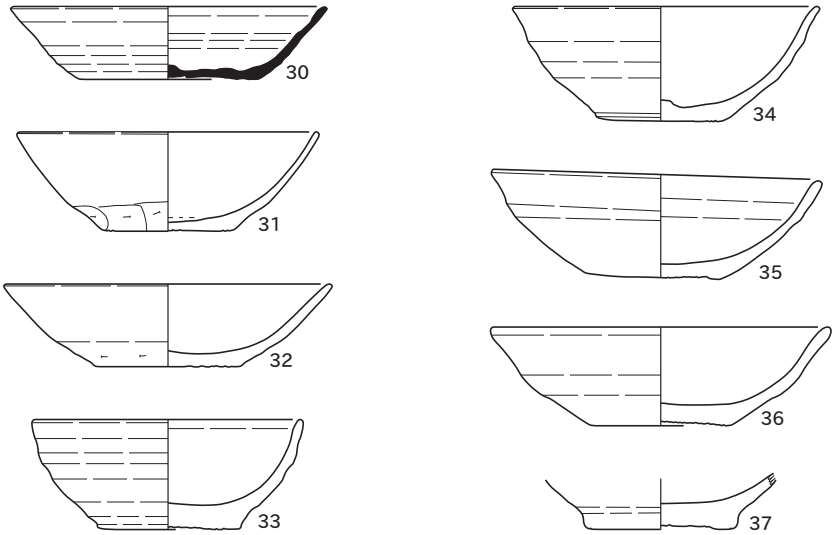
SB724-P610（28）



P366（29）



Ⅵa5層（30～41）

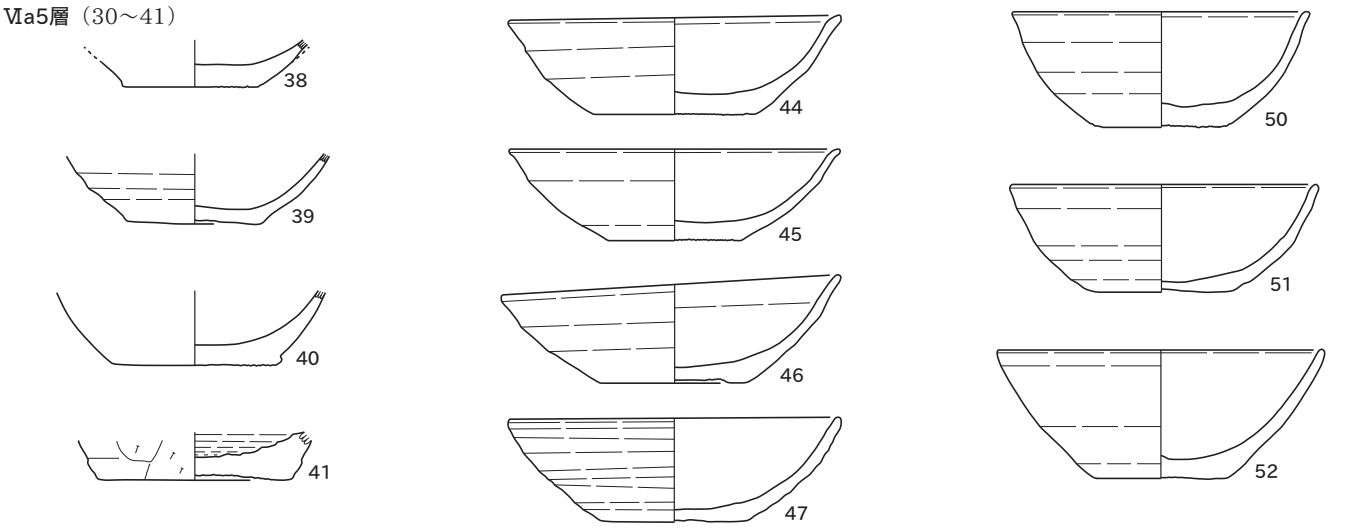


黒色処理・黒化

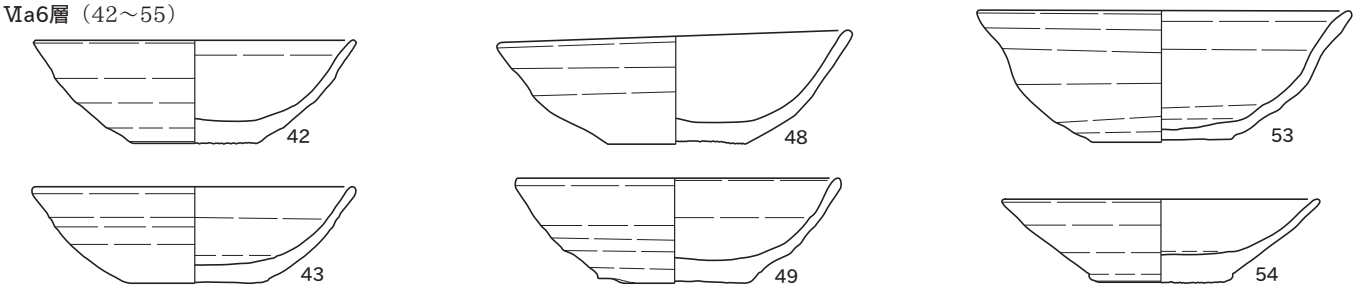
赤　彩

0　15cm（1:3）

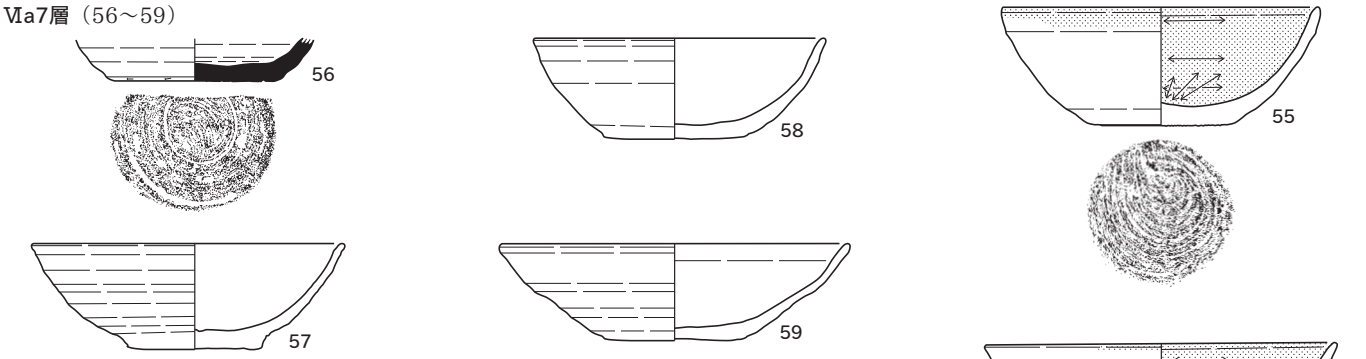
Ⅵa5層（30～41）



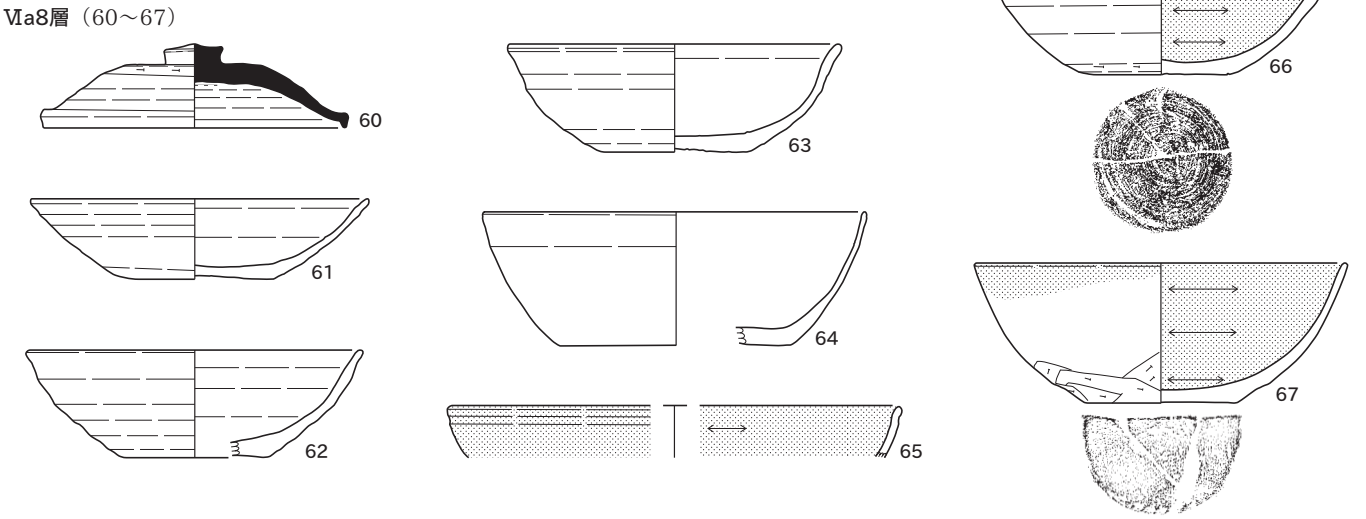
Ⅵa6層（42～55）



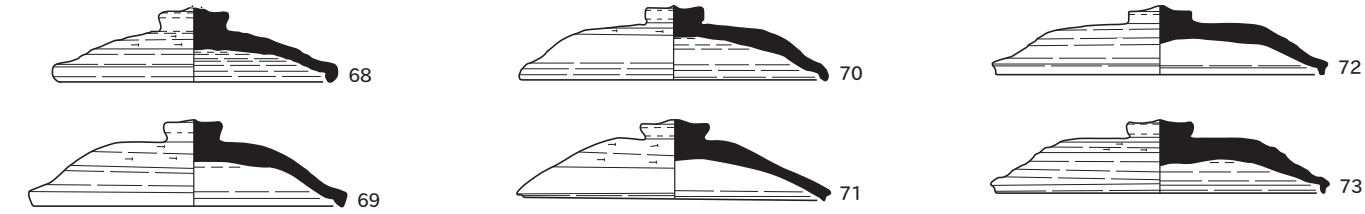
Ⅵa7層（56～59）



Ⅵa8層（60～67）



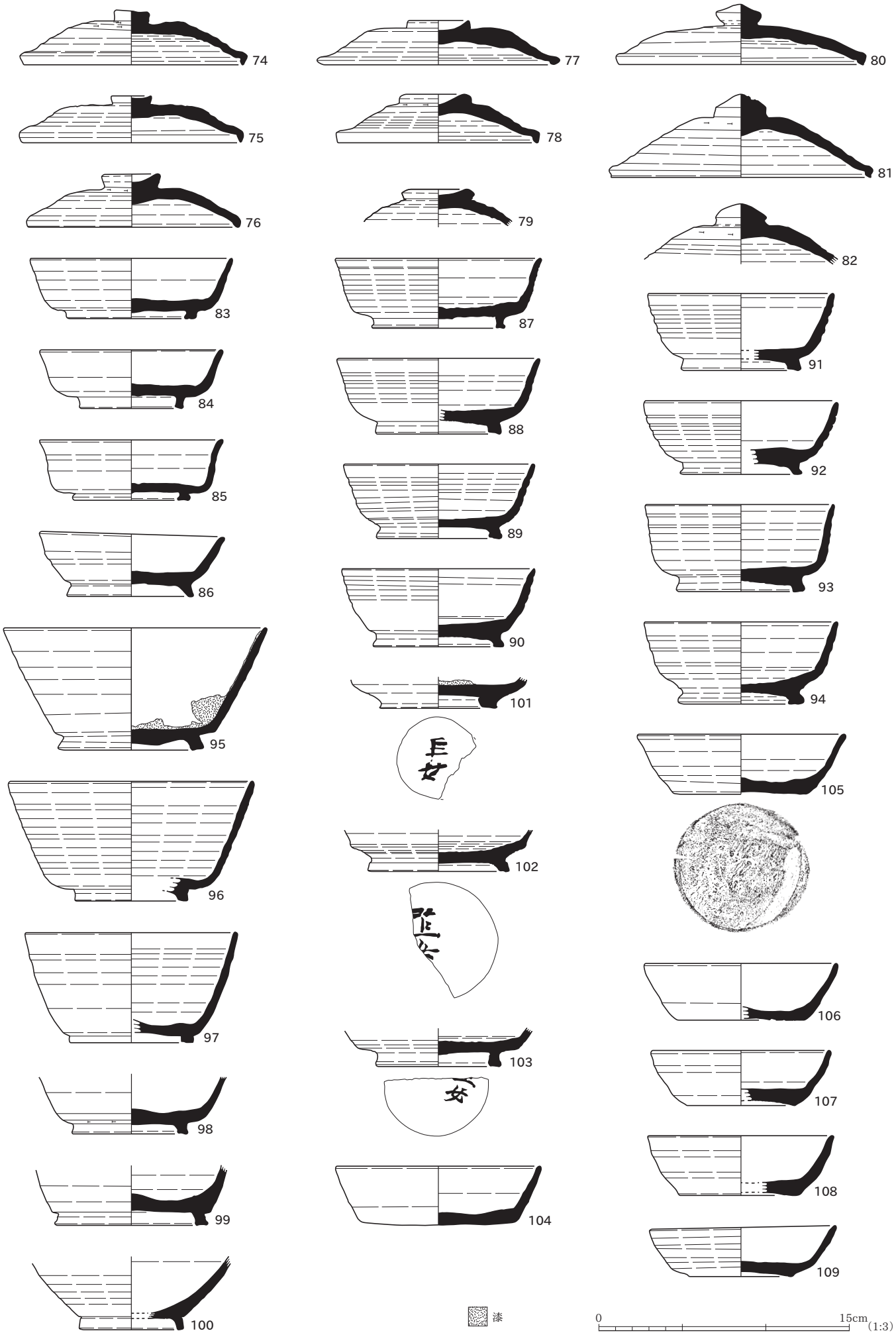
Ⅵa層（68～226）



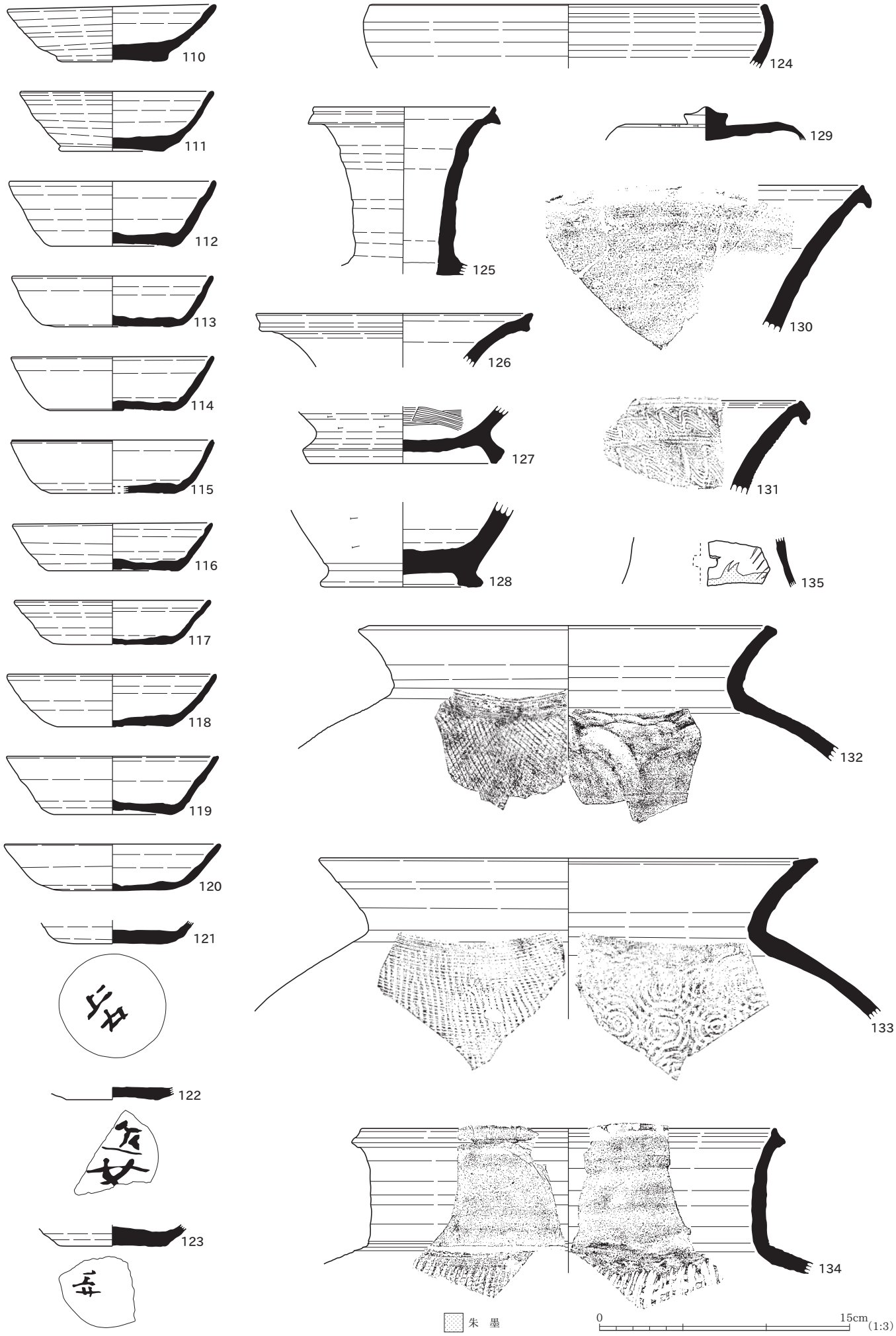
黒色処理・黒化

0　15cm（1:3）

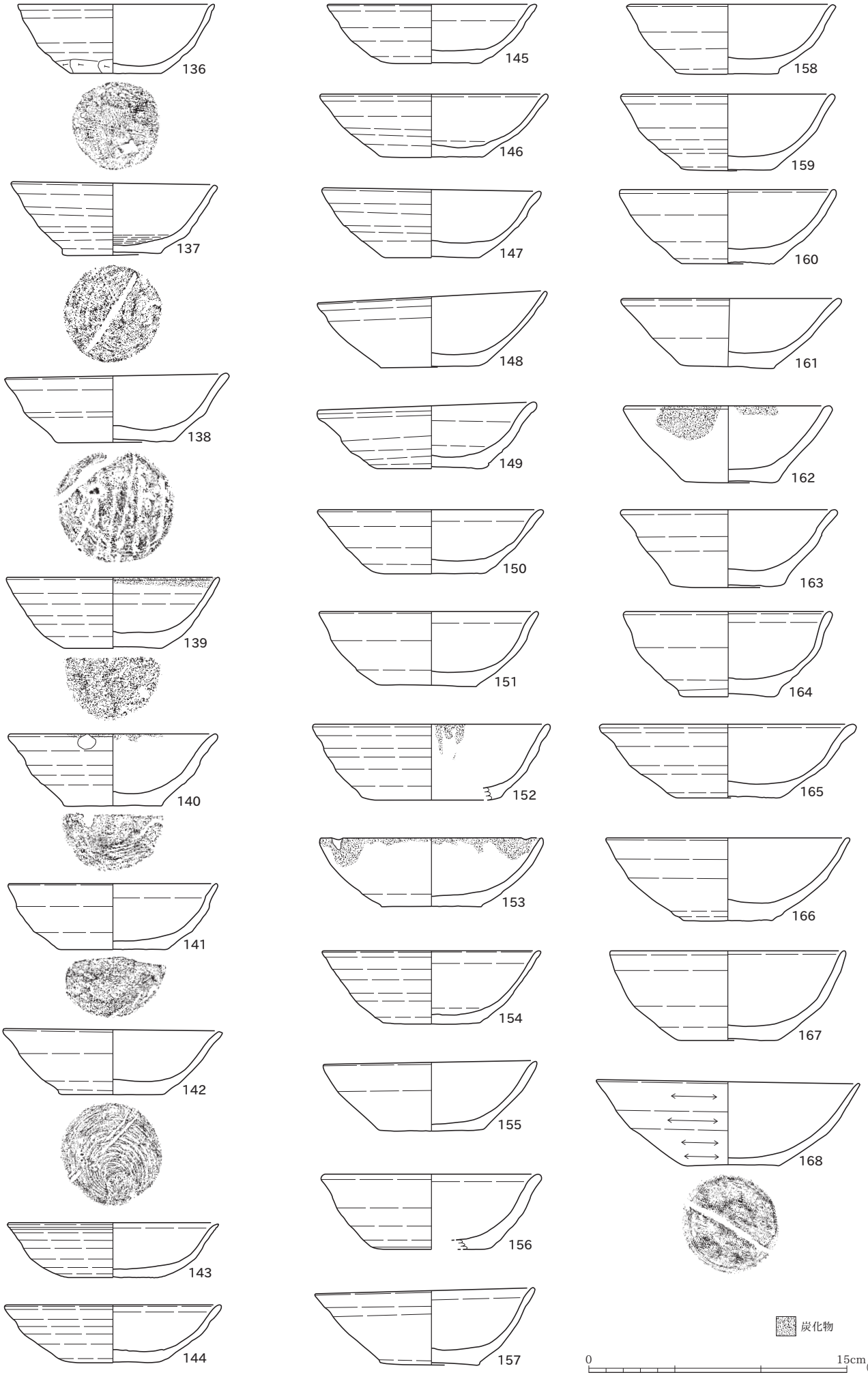
Ⅵa層（68～226）


74
75
76
83
84
85
86
95
96
97
98
99
100
77
78
79
87
88
89
90
101
102
103
104
80
81
82
91
92
93
94
105
106
107
108
109
漆
0
15cm
(1:3)

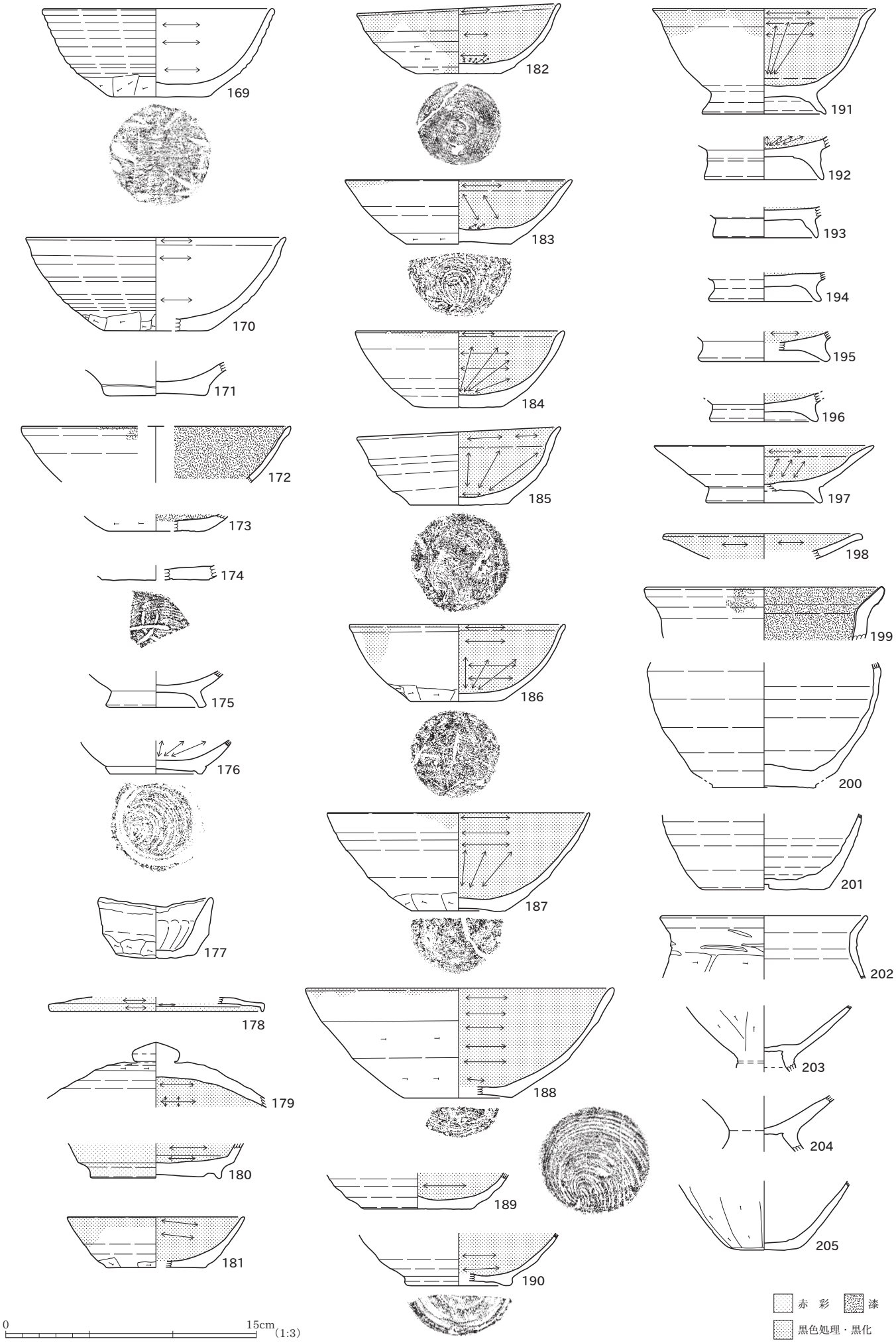
Ⅵa層（68～226）


110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
朱 墨
0
15cm
(1:3)

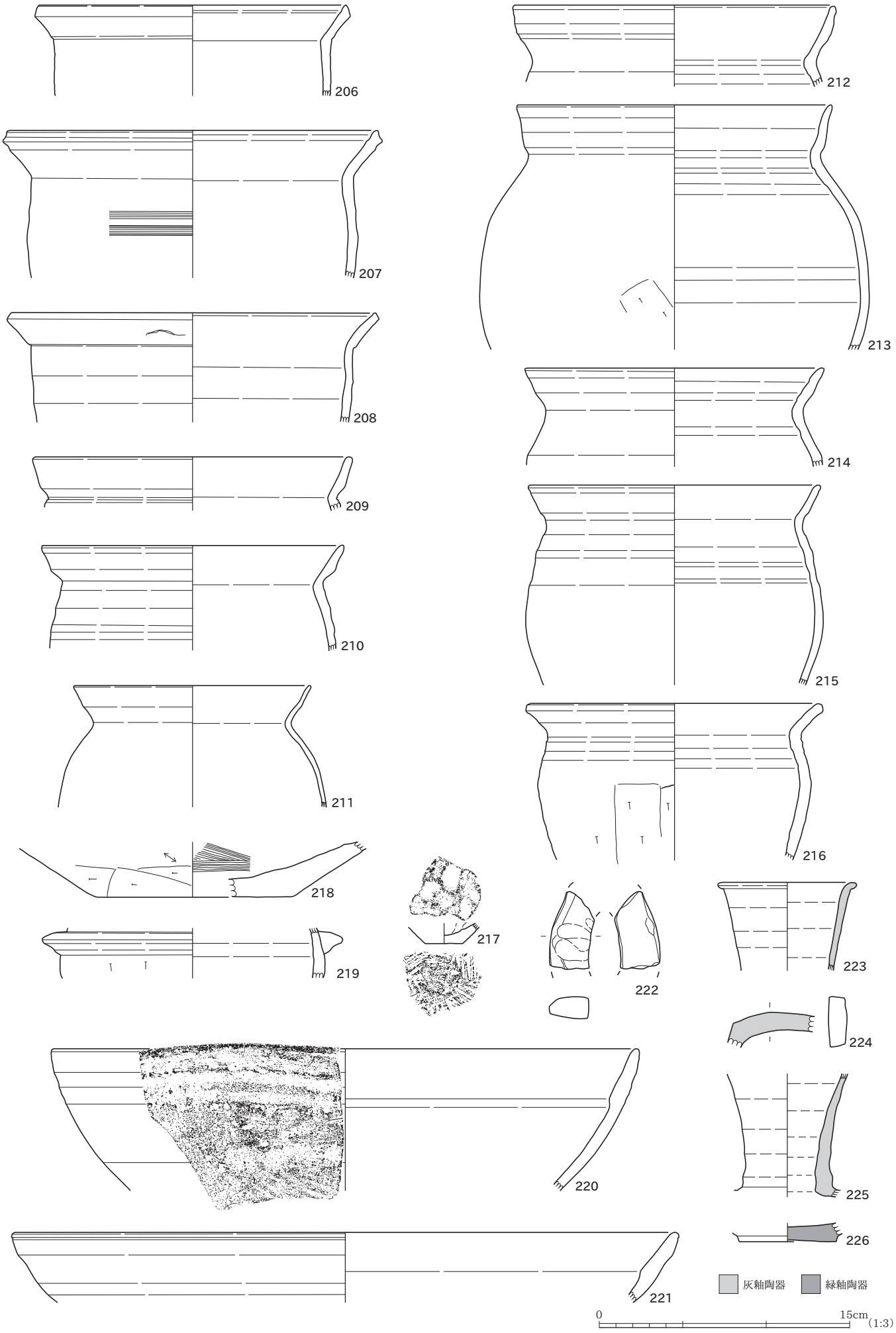
Ⅵa層（68～226）

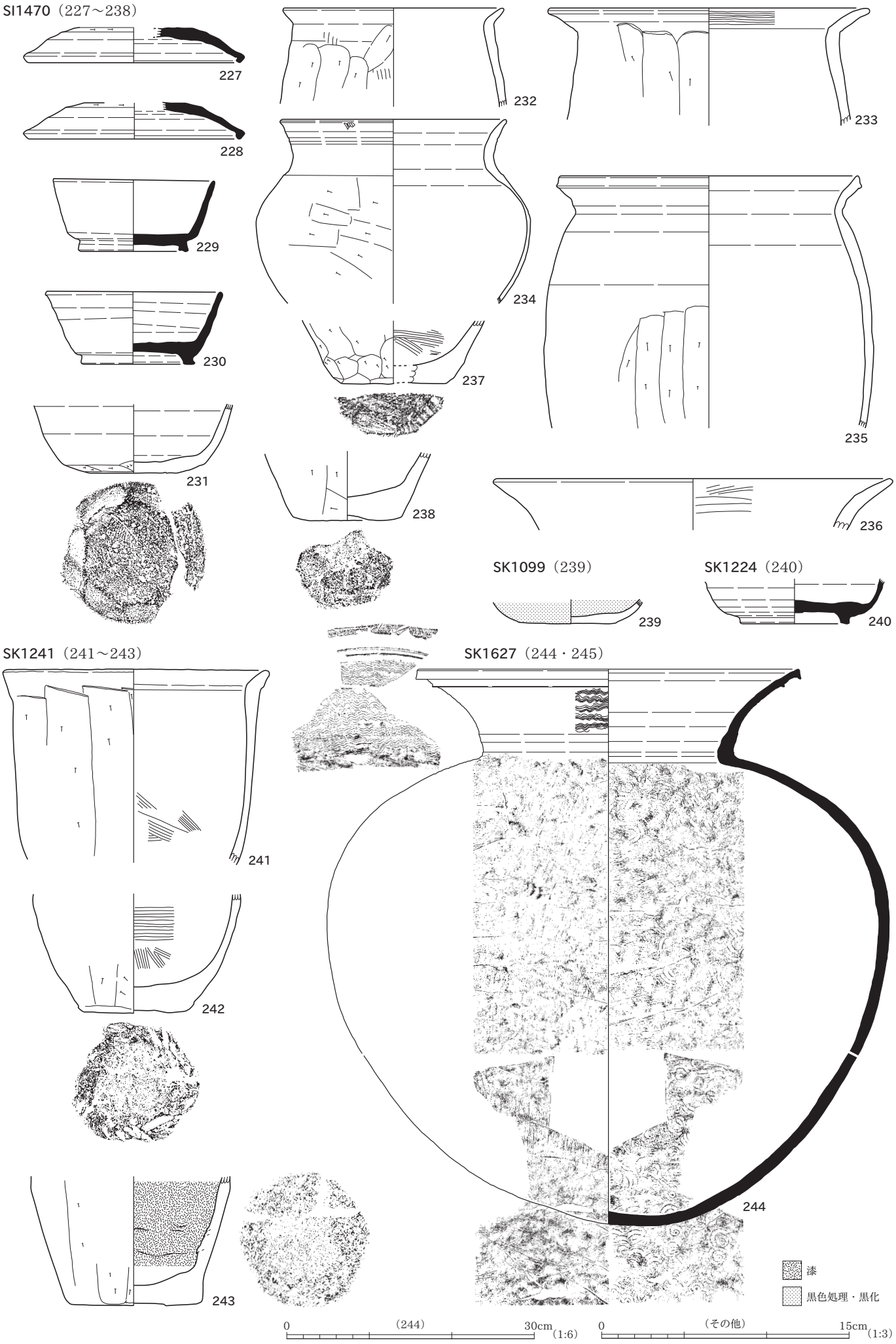

136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
炭化物
0
15cm
(1:3)

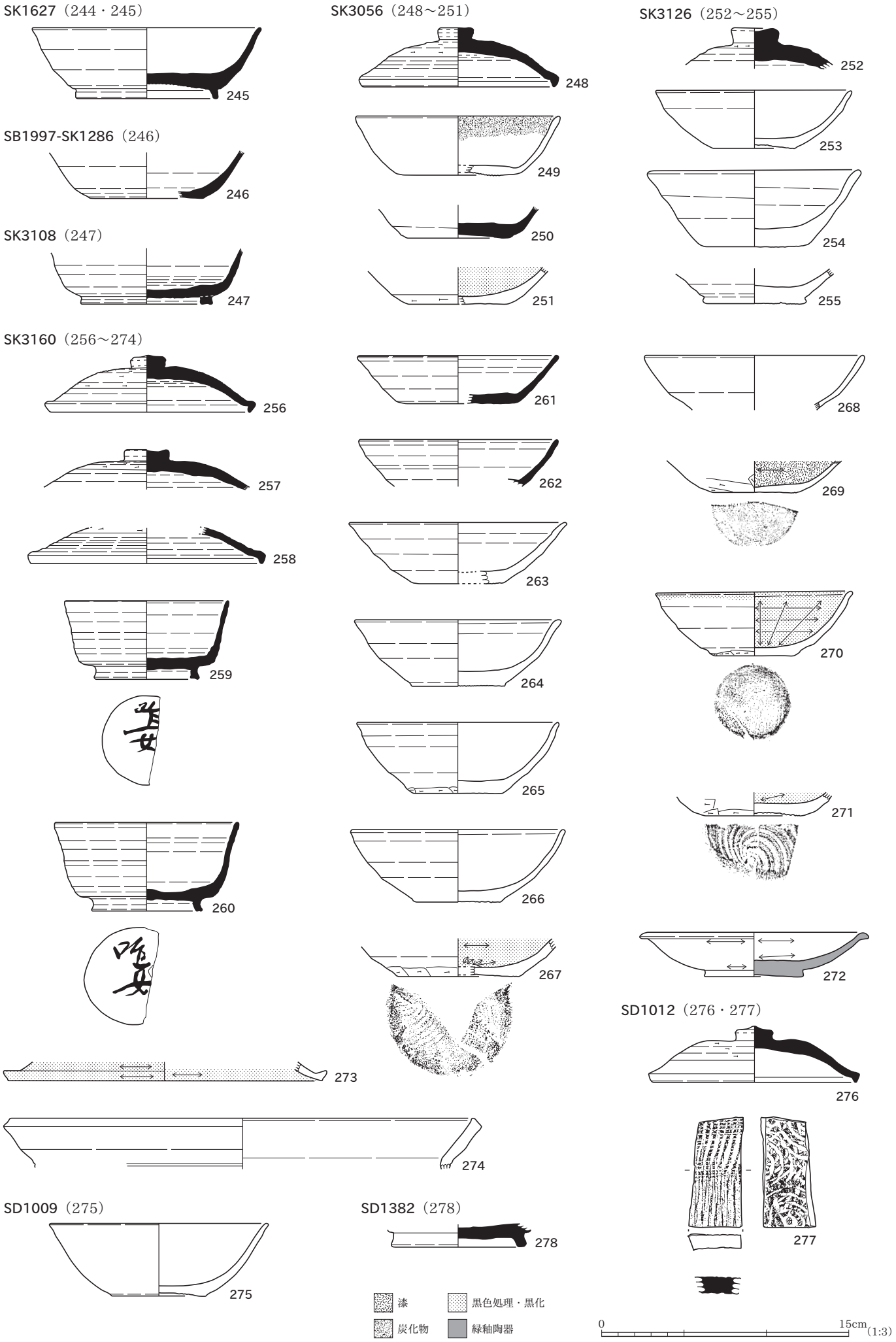
Ⅵa層（68～226）


169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
0
15cm
(1:3)
赤　彩
漆
黒色処理・黒化

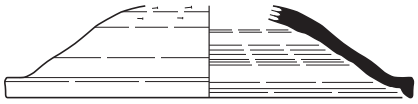
Ⅵa層（68～226）

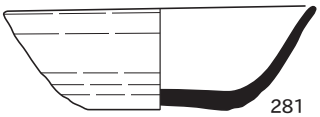

206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
灰釉陶器
緑釉陶器
0
15cm
(1:3)

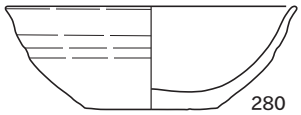

SI1470（227～238）
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
SK1099（239）
239
SK1224（240）
240
SK1241（241～243）
241
242
243
SK1627（244・245）
244
漆
黒色処理・黒化
0
（244）
30cm
（1:6）
0
（その他）
15cm
（1:3）

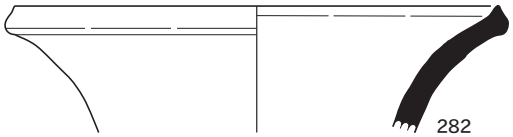

SK1627（244・245）
245
SB1997-SK1286（246）
246
SK3108（247）
247
SK3160（256～274）
256
257
258
259
260
273
274
SD1009（275）
275
SK3056（248～251）
248
249
250
251
261
262
263
264
265
266
267
SD1382（278）
278
SK3126（252～255）
252
253
254
255
268
269
270
271
272
SD1012（276・277）
276
277
漆
黒色処理・黒化
炭化物
緑釉陶器
0
15cm
(1:3)

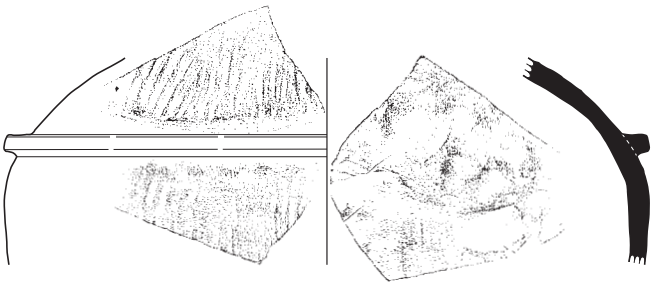
SX169（279～284）

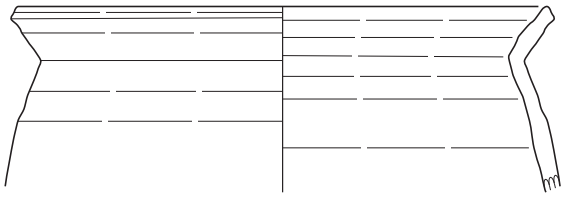

279


281

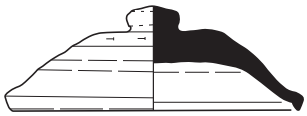

280


282


283


284

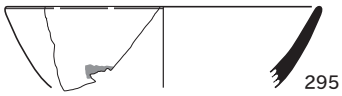
SB2000-P1051（285）

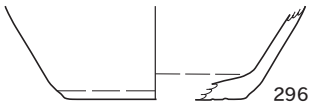

285

SB2000-P1839（286）

286

SB1997-P1594（295・296）

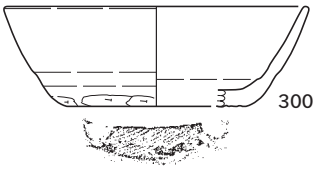

295


296

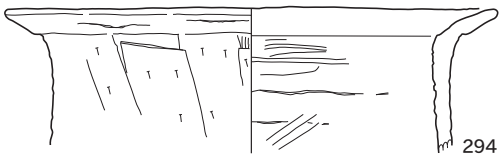
P1353（293）

293

SB2000-P1820（300）


300

P1441（294）

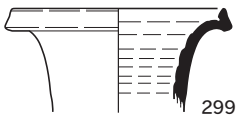

294

SB745-P3104（301）

301

SB1998-P1696（287・299）

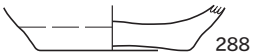
287


299

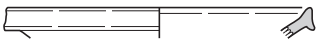
P1579（297）

297

SB730-P1095（288）

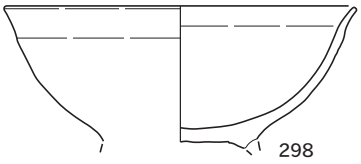

288

P3172（302・303）

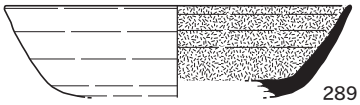

302

303

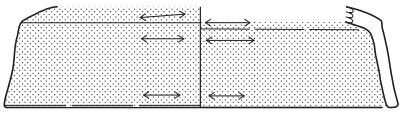
SB1998-P1619（298）


298

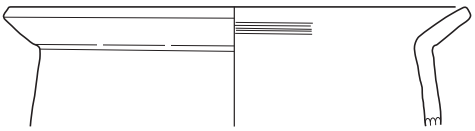
P1096（289）

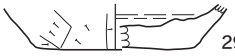

289

P3142（304）

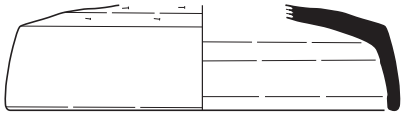

304

P1351（291・292）


291


292

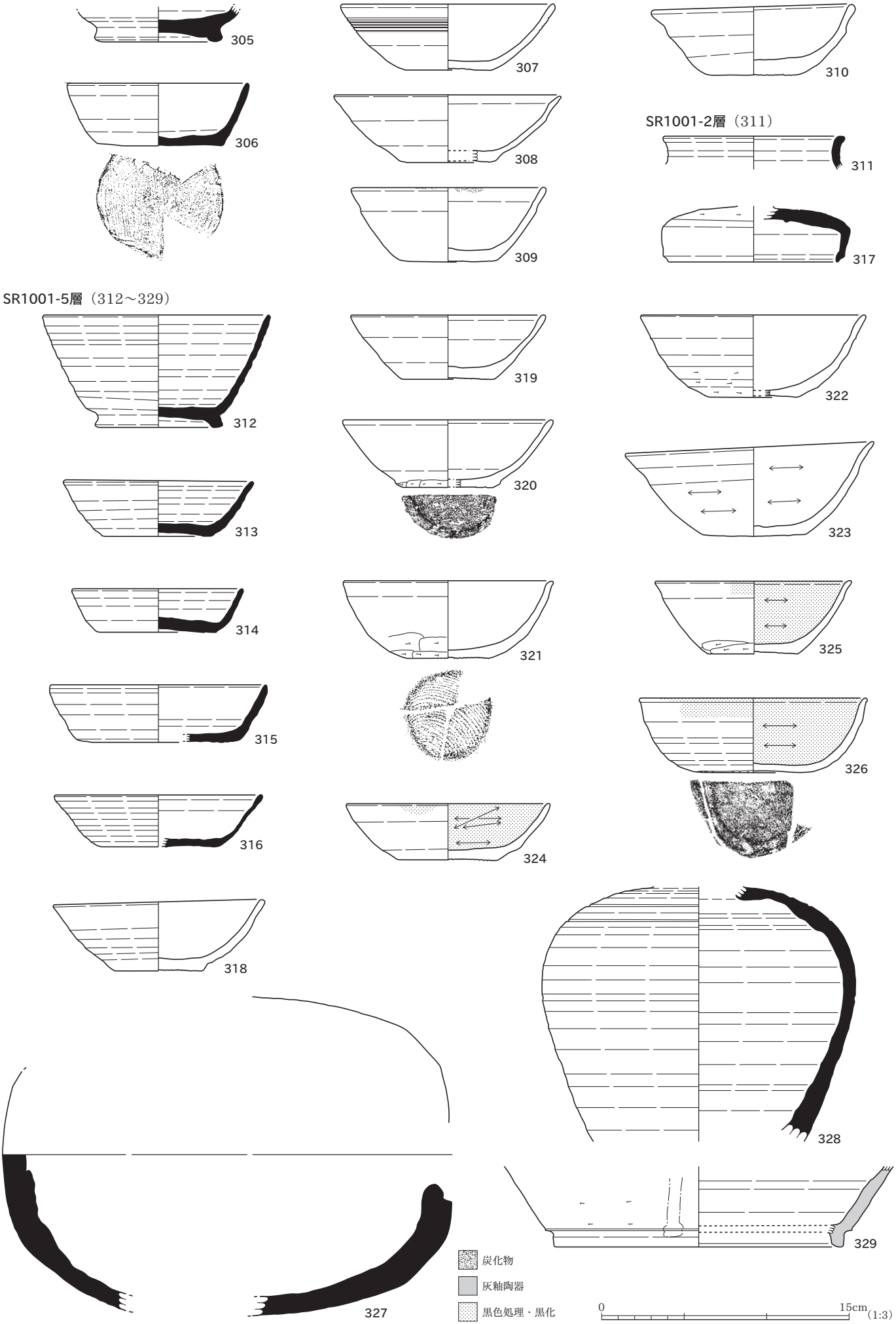
SB1999-P1262（290）


290

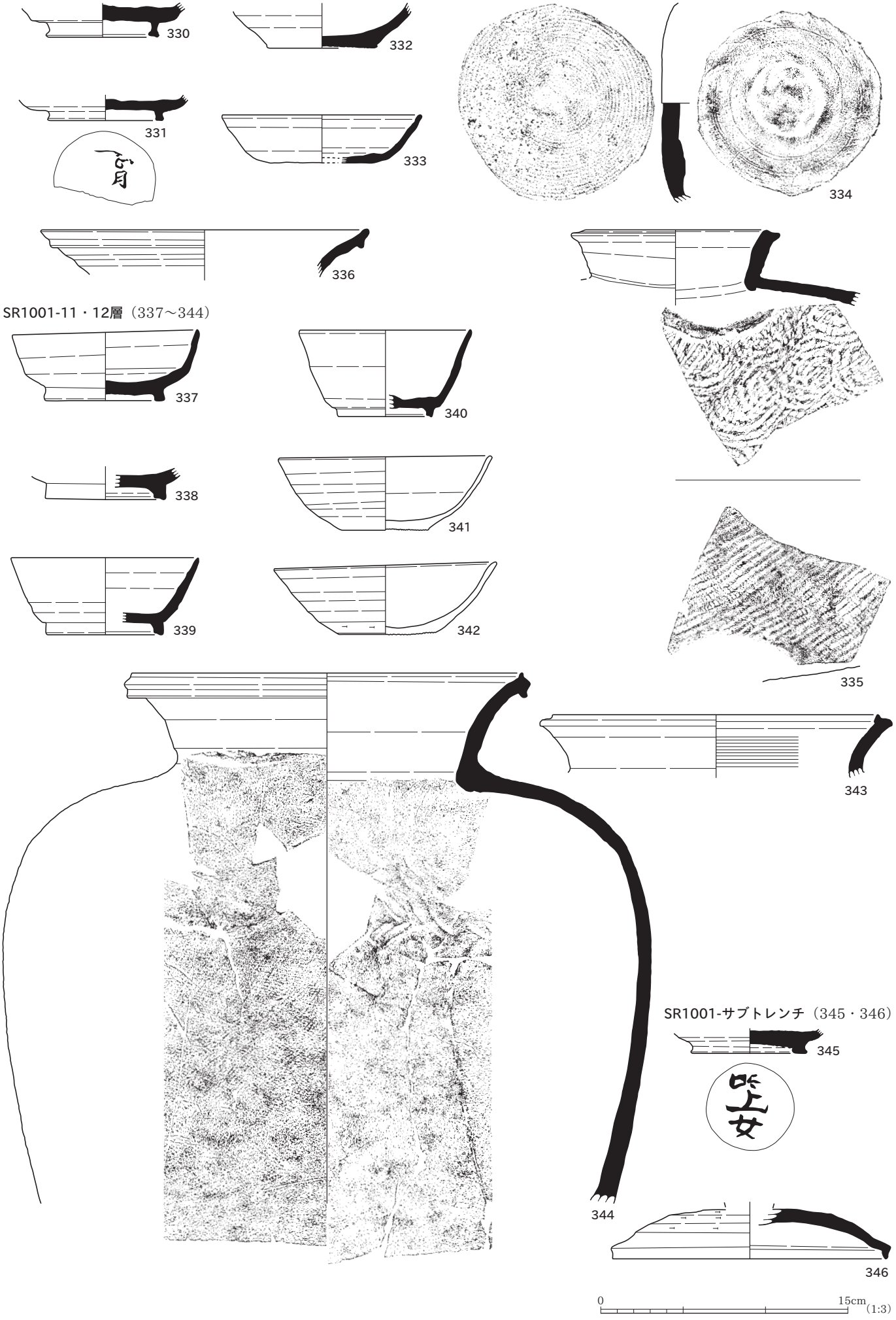
黒書・墨痕
漆
灰釉陶器
黒色処理・黒化

0　15cm（1:3）

SR1001-1層（305～310）



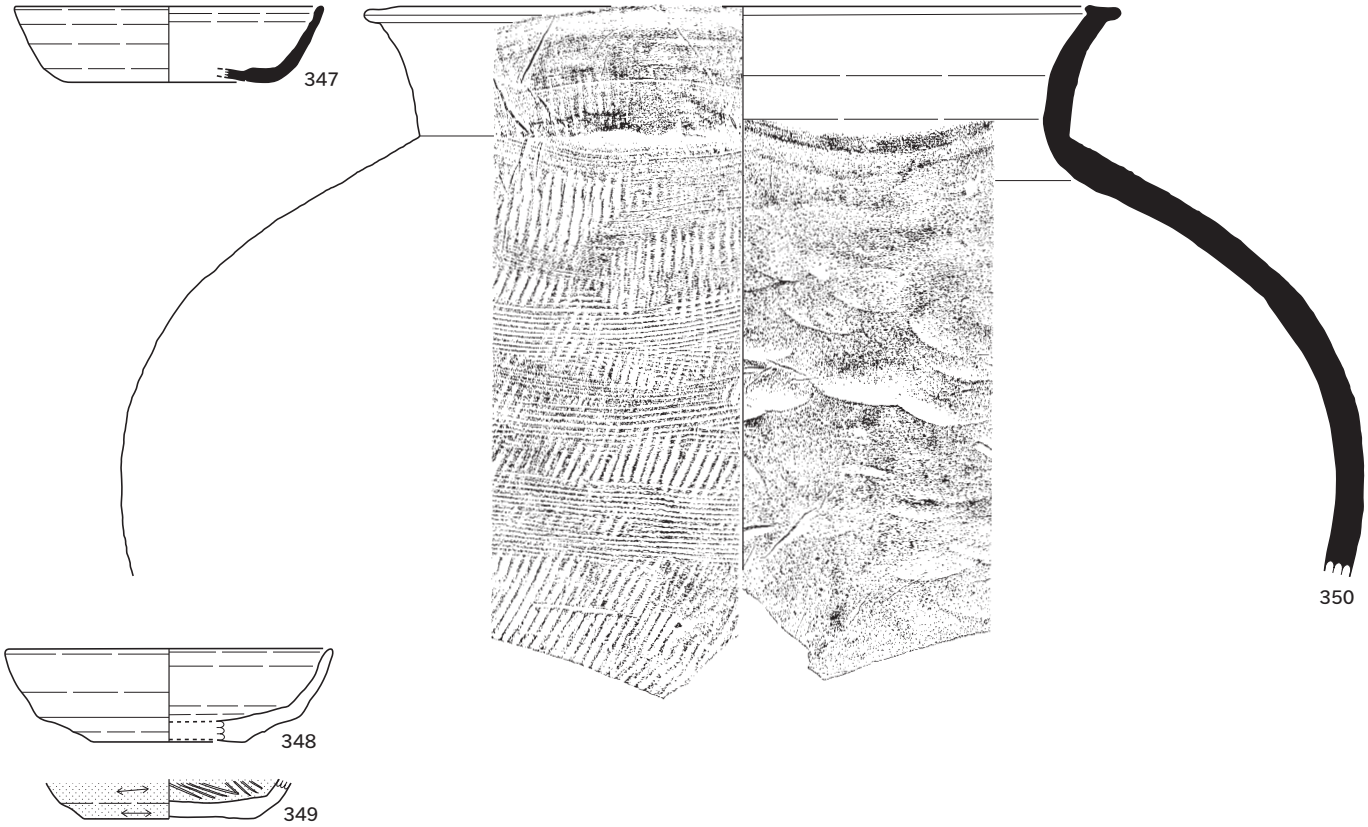
SR1001-7層（330～336）



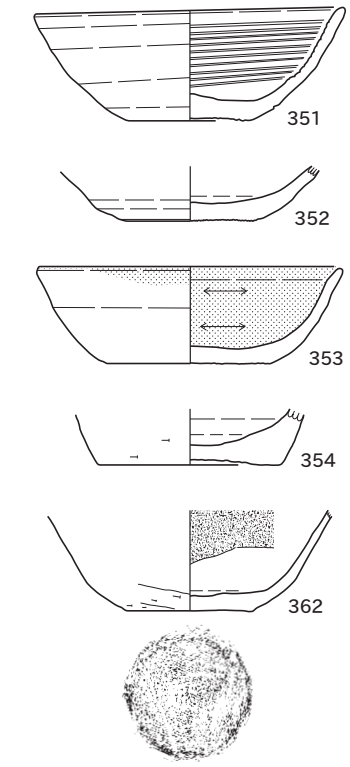
SR1001-11・12層（337～344）

SR1001-サブトレンチ（345・346）

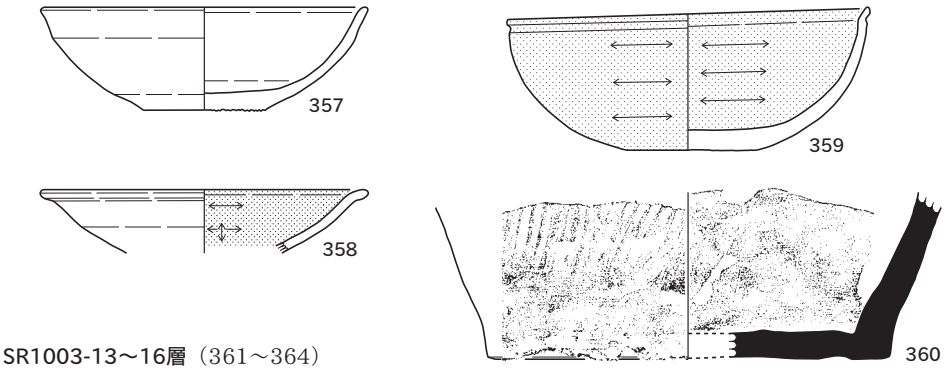
SR1002（347～350・360）



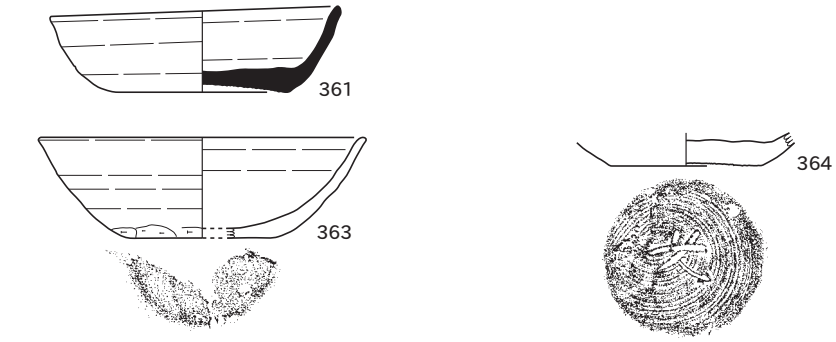
SR1003-1層（351～354）



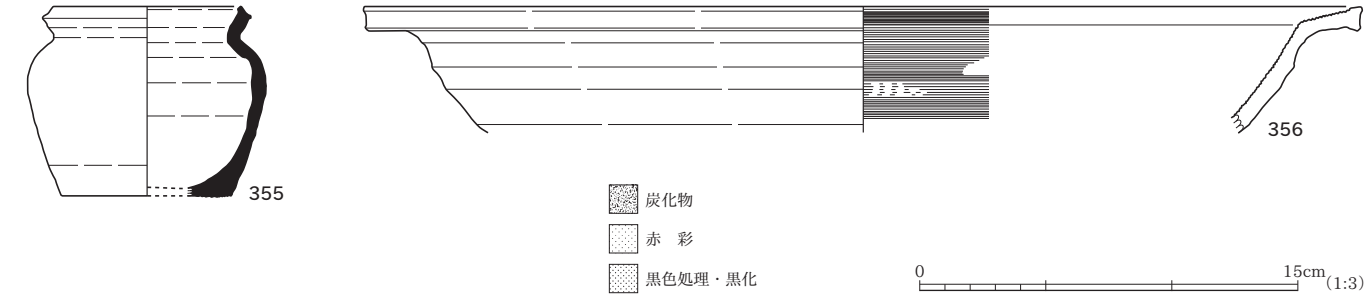
SR1003-10層（356～359）



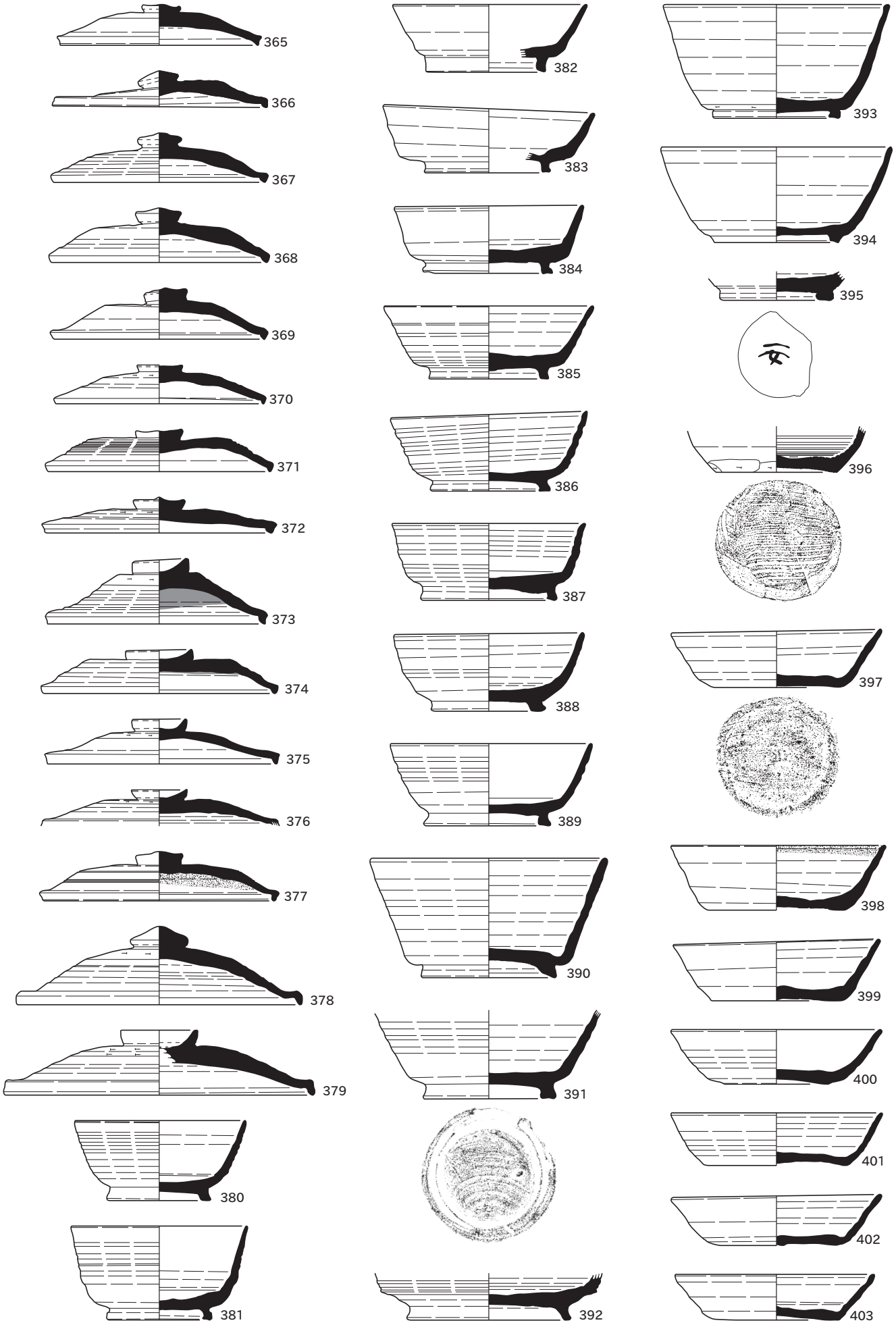
SR1003-13～16層（361～364）



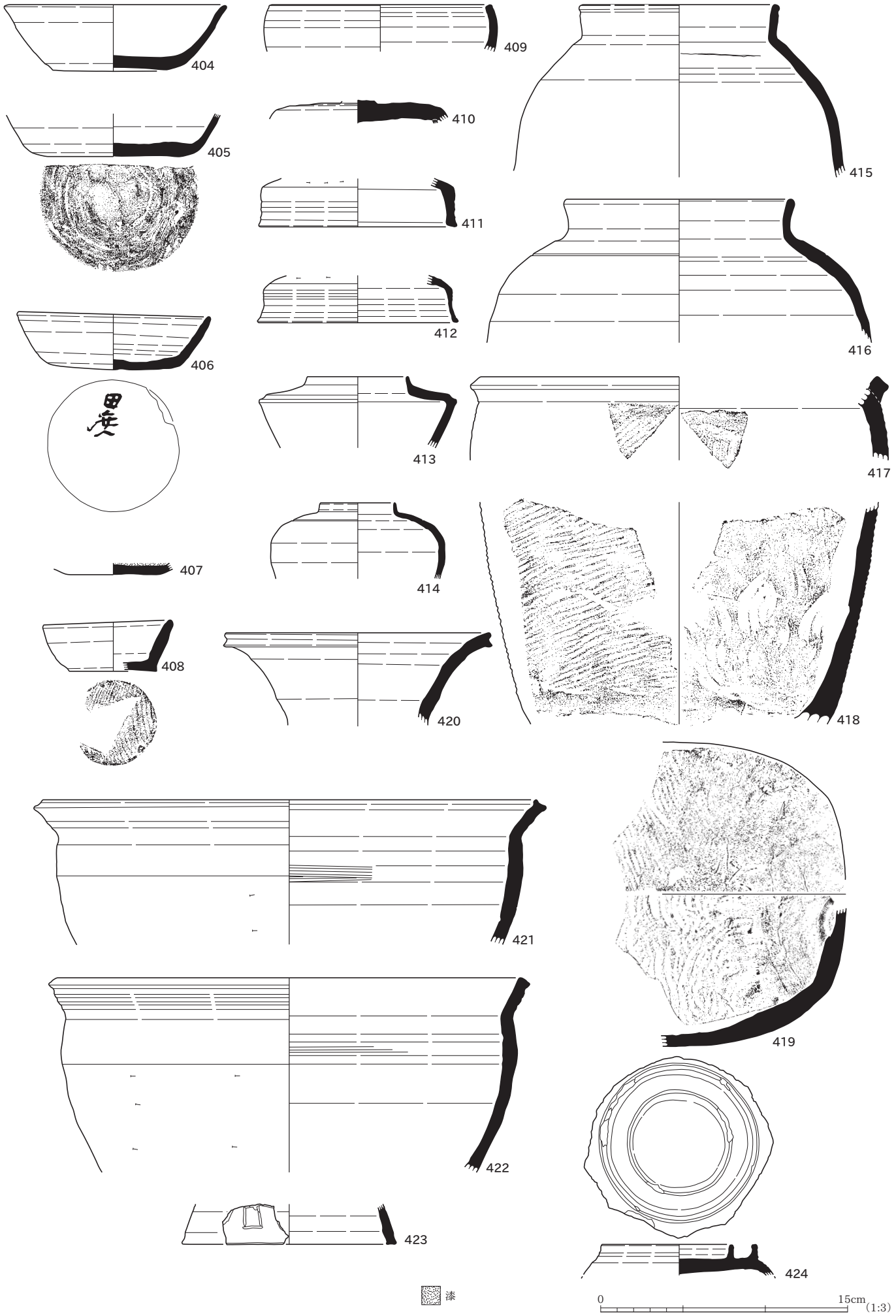
SR1003-3層（355）



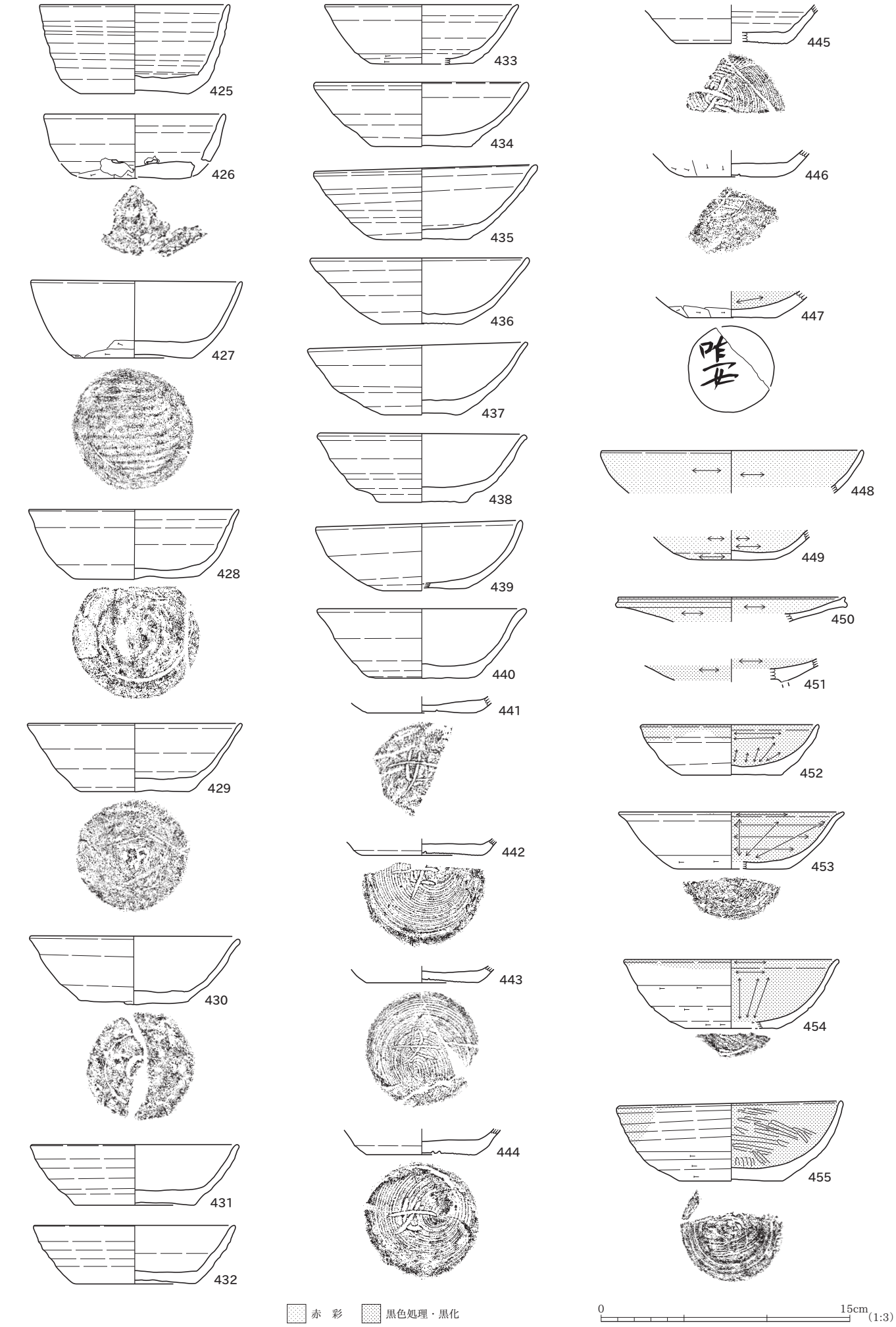
Ⅵb層（365～497）


365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
炭化物
黒書・墨痕
0
15cm
(1:3)

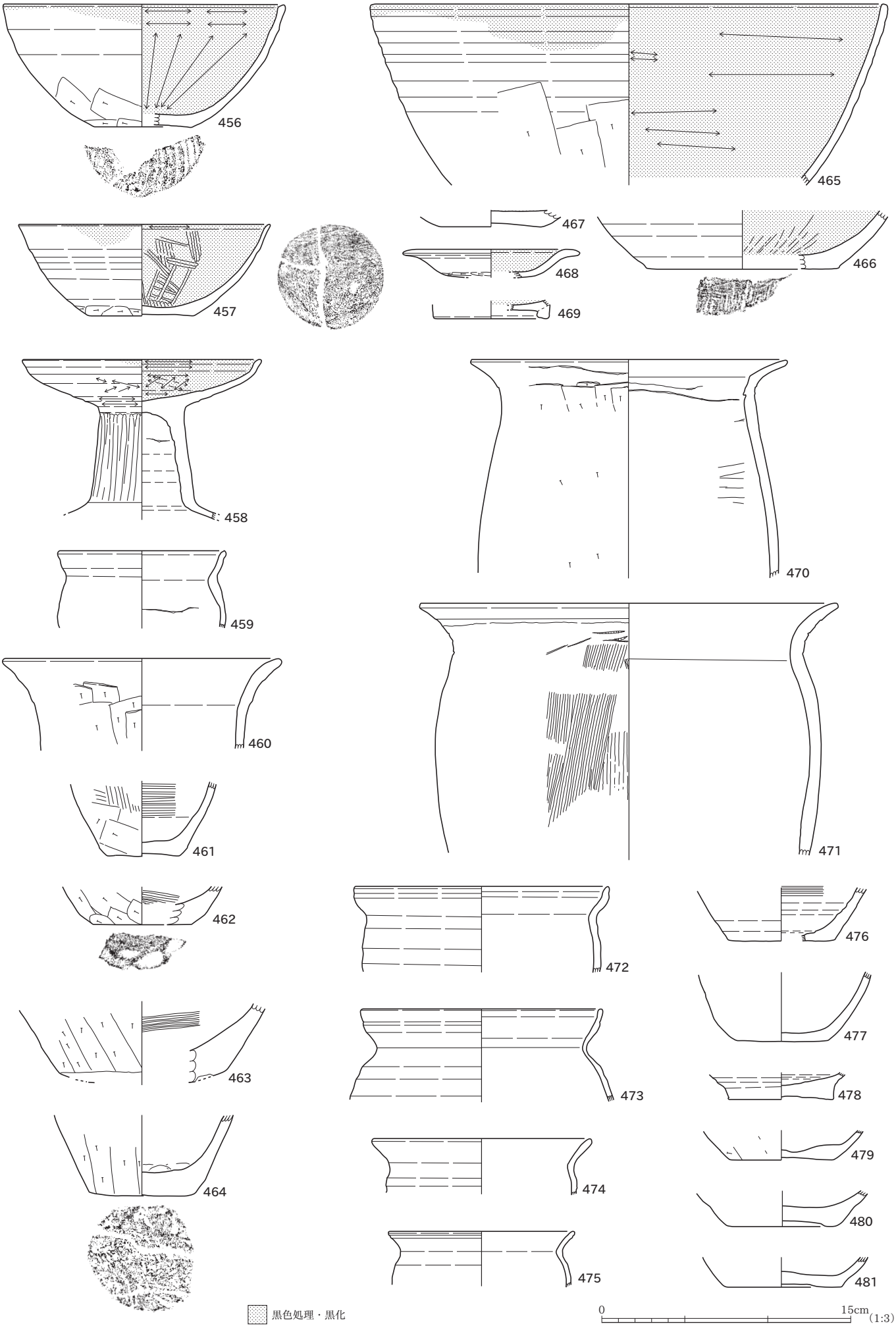
Ⅵb層（365～497）


404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
漆
0
15cm
(1:3)

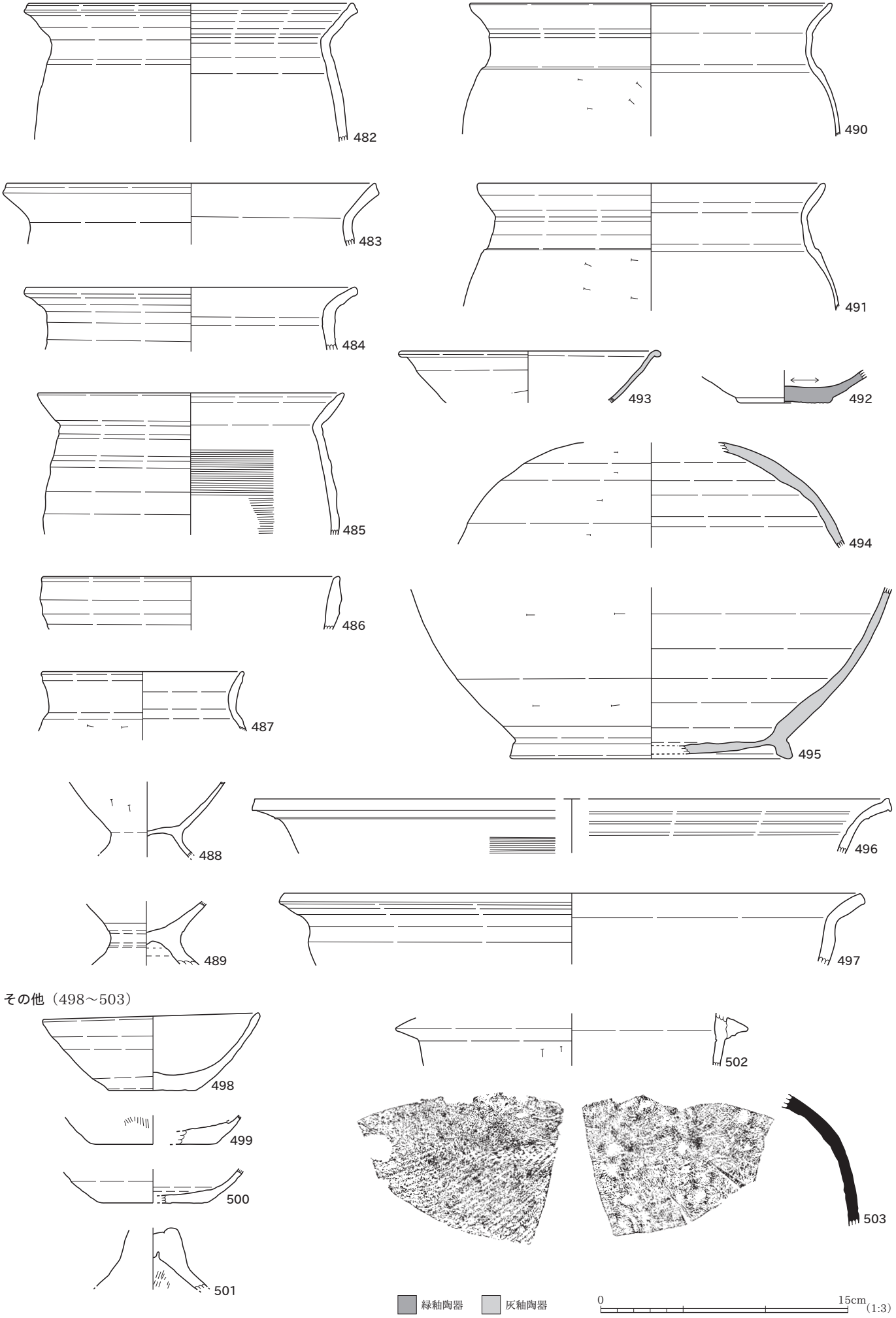
Ⅵb層（365～497）

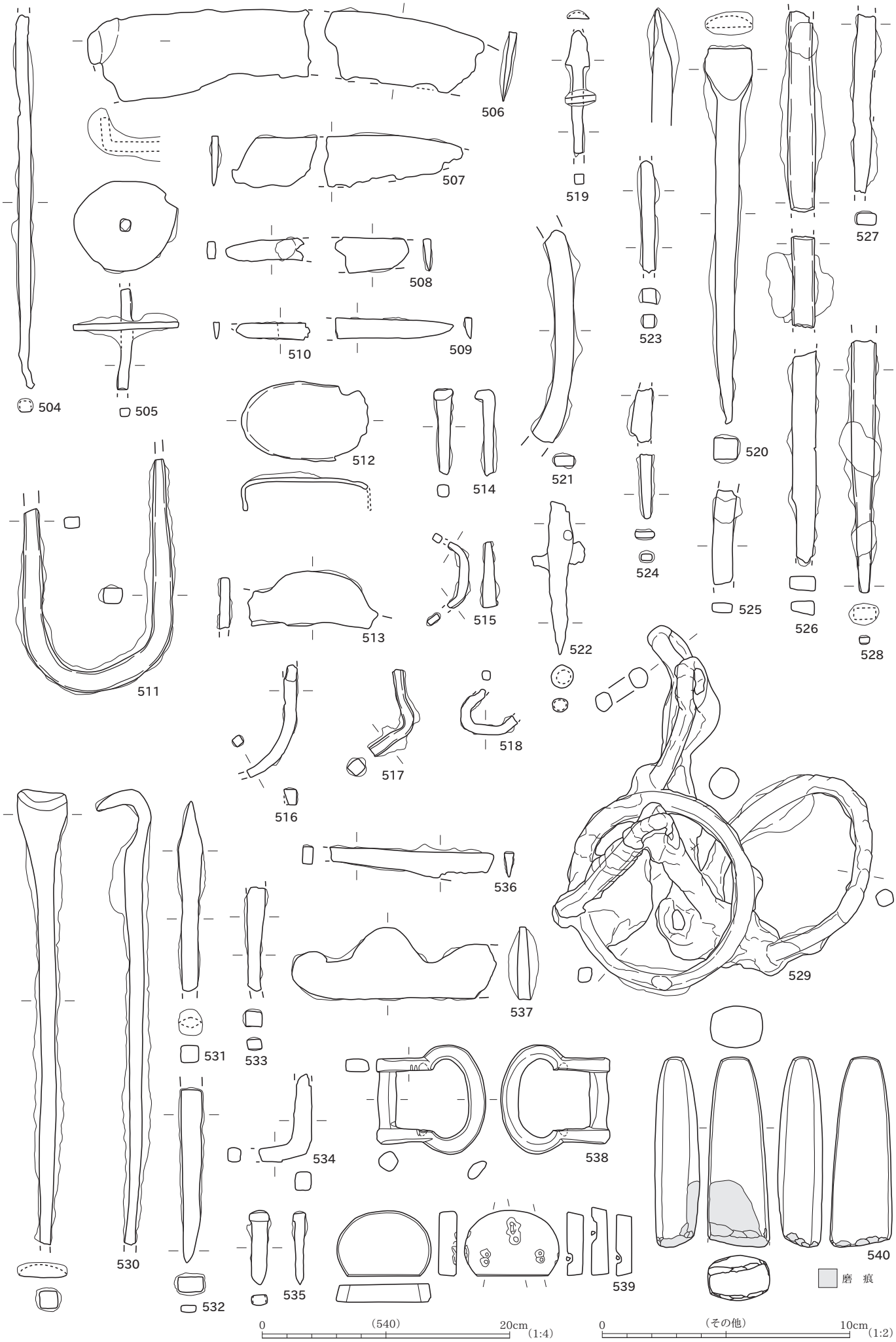

425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
赤　彩
黒色処理・黒化
0
15cm
(1:3)

Ⅵb層（365～497）


456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
黒色処理・黒化
0
15cm
(1:3)

Ⅵb層（365～497）


482
490
483
491
484
493
492
485
494
486
487
495
488
496
489
497
その他（498～503）
498
502
499
500
503
501
緑釉陶器
灰釉陶器
0
15cm
(1:3)


504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
磨 痕
0 (540) 20cm (1:4)
0 (その他) 10cm (1:2)

遺跡遠景（北西から）

上層　完掘（北西から）

3・4DE 周辺（北西から）

2・3DE 周辺（北西から）

3B 北壁　断面（南東から）

5EF 東壁　断面（西から）

3・4G 南壁　断面（北西から）

3G 西壁　断面（東から）

SX64　遺物出土状況（上部　南東から）

SX64　遺物出土状況（下部　南東から）

SX159　遺物出土状況（1 回目　南から）

SX159　遺物出土状況（2 回目　南から）

SK4　断面（南東から）

SK4　完掘（南東から）

焼土 272　検出状況（南から）

焼土 272・P515　断面（南西から）

焼土 507　断面（東から）

焼土 507　断面（北から）

焼土 485　断面（北から）

焼土 522　断面（南西から）

焼土 665　断面（北から）

焼土 665　完掘（北から）

焼土 523　断面（北西から）

SB691-P490　断面（東から）

SB691-P495　断面（東から）

SB691-P497　断面（北から）

SB691-P500　断面（東から）

SB691-P503　断面（南東から）

SB688-P140　断面（南から）

SB688-P274　断面（南から）

SB694-P210　断面（南から）

SB694-P303（左）、P304　断面（北東から）

SB694-P319　断面（北東から）

SB694-P382（左）、P381　断面（南から）

SB695-P176　断面（南西から）

SB695-P230　断面（西から）

SB698-P491　断面（南東から）

SB698-P577　断面（南から）

SB698-P583　断面（南西から）

SB698-P597　断面（南西から）

SB699-P104　断面（東から）

SB708-P121（左）、SB699-P122（右）　断面（西から）

SB699-P250　断面（北西から）

SB699-P309　断面（南東から）

SB700-P279（右）、SB713-P278（左）　断面（南東から）

SB700-P288　断面（南から）

SB700-P329　断面（東から）

SB700-P430　断面（南から）

SB703-P180　断面（南西から）

SB703-P206　断面（東から）

SB707-P70　断面（南から）

SB707-P77・78　断面（北東から）

SB708-P101　断面（北から）

SB708-P135　断面（北から）

SB709-P628　断面（南西から）

SB710-P357　断面（北から）

SB710-P393（左）、P391　断面（東から）

SB710-P415　断面（南東から）

SB711-P416　断面（東から）

SB711-P424　断面（北東から）

SB712-P318　断面（北西から）

SB712-P337　断面（南から）

SB712-P373　断面（東から）

SB712-P411　断面（北東から）

SB712-P451　断面（西から）

SB712-P496　断面（南から）

SB714-P181　断面（南から）

SB714-P227　断面（北東から）

SB713-P177　断面（北から）

SB713-P189（左）、P190　断面（南東から）

SB713-P218（右）、P217　断面（西から）

SB713-P257　断面（北から）

SB713-P297　断面（北西から）

SB713-P308　断面（西から）

SB713-P383　断面（北から）

SB713-P384　断面（南東から）

SB715-P420　断面（北から）

SB715-P427　断面（東から）

SB715-P442（右）、P443　断面（北東から）

SB715-P452　断面（西から）

SB717-P371　断面（南から）

SB717-P376　断面（南から）

SB717-P431　断面（北から）

SB717-P459　断面（南西から）

SB716-P316　断面（北西から）

SB716-P344（右）、P345　断面（南西から）

SB716-P363（左）、P362　断面（南東から）

SB716-P365　断面（南西から）

SB716-P375　断面（南西から）

SB716-P444　断面（北東から）

SB716-P458　断面（南から）

SB716-P473　断面（北から）

SB722-P554　断面（北から）

SB722-P562　断面（南から）

SB723-P389　断面（北東から）

SB723-P609　断面（西から）

SA706-P568　断面（南西から）

SA706-P586　断面（北西から）

SA706-P616　断面（東から）

SA706-P618　断面（南東から）

SA718-P107（左）、P108　断面（北西から）

SA718-P576　断面（南西から）

SA718-P623　断面（北西から）

SA718-P629（左）・630（右）　断面（南から）

SA721-P125　断面（西から）

SA721-P572　断面（西から）

SA721-P585　断面（北西から）

SA721-P590　断面（西から）

SA725-P534　断面（東から）

SA725-P558　断面（西から）

SA725-P564　断面（西から）

SA725-P620　断面（南から）

3G20・25 Ⅵa6 層　遺物出土状況（北西から）

3D10 Ⅵa 層　遺物出土状況（南西から）

5E7 Ⅵa 層　遺物出土状況（西から）

3E25 Ⅵa 層　遺物出土状況（北から）

下層　完掘（西から）

下層　完掘（上空から、左が北）

SI1470　完掘（北西から）

SI1470 カマド　断面（東から）

SI1470 カマド　完掘（北西から）

SI1470　遺物出土状況（南西から）

SI1470　遺物出土状況（北西から）

SX1874　断面（西から）

SX1874　完掘（西から）

SK1417　断面（北東から）

SK1417　完掘（南から）

SK1577　断面（北から）

SK1577　完掘（北から）

SK1276　断面（東から）

SK1276　完掘（南東から）

SK1627　遺物出土状況（北西から）

SK1627　完掘（南から）

SK1979　断面（南から）

SK1979　完掘（南から）

SK1702　断面（西から）

SK1702　完掘（北から）

SK1224　断面（南東から）

SK1224　完掘（南から）

SK3126　断面（西から）

SK3126　完掘（西から）

SK3126　遺物出土状況（西から）

SK3160　遺物出土状況（西から）

SK3160　遺物出土状況（西から）

SK3160　遺物出土状況（西から）

SK3160　断面（西から）

SK3160　完掘（西から）

SK3056　遺物出土状況（北西から）

SK3056　断面（北から）

SK1241　断面（南東から）

SK1241　断面（北西から）

SK1241　遺物出土状況（南東から）

SK1241　完掘（南から）

SK1046　断面（南から）

SK1046　完掘（南から）

SX1199　断面（南から）

SX1199　完掘（南から）

SB728-P1085　断面（西から）

SB728-P1216　断面（南から）

SB729-SK1188　断面（南から）

SB729-SK1219　断面（西から）

SB730-P1087　断面（西から）

SB730-P1193　断面（西から）

SB739-P1071　断面（南から）

SB739-P1076　断面（南から）

SB739-P1077　断面（西から）

SB739-P1109　断面（西から）

SB742-P1682（左）、P1683　断面（南から）

SB743-P1024　断面（南から）

SB744-P1128　断面（西から）

SB744-P1148　断面（南から）

SB752-P1272　断面（西から）

SB752-P1289　断面（西から）

SB752-P1555　断面（南から）

SB754-P1283　断面（西から）

SB754-P1804　断面（南東から）

SB754-P1801　断面（西から）

SB1996-P1600　断面（南東から）

SB1996-P1600（右）、SB1997-P1594（左）　断面（南東から）

3・4G 周辺　完掘（上空から、左が北）

SB1996-SK1042　断面（東から）

SB1996-SK1098　断面（北から）

SB1996-P1966　断面（西から）

SB1996-SX1199-P3　断面（南から）

SB1997-P1101　断面（北から）

SB1997-SK1286　断面（西から）

SB1996-P1598（左）、SB1997-SK1286（右）　完掘（北から）

SB1997-P1594　断面（南西から）

SB1998-P1354　断面（南東から）

SB1998-P1619　断面（南西から）

SK1998-P1697 遺物出土状況（南から）

SB1998-P1697　完掘（南西から）

SB1998　完掘（南から）

SB1998-P1346　断面（南東から）

SB1998-P1346　断面（南東から）

SB1998-SK1810　断面（南東から）

SB1998-P1949、P1942・1950　断面（南東から）

SB1999-P1162　断面（南から）

SB1999-P1187　断面（南から）

SB1999-P1246　断面（西から）

SB1999-P1255　断面（西から）

SB1999-P1256　断面（南西から）

SB1999-P1259　断面（南から）

SB1999-P1275　断面（西から）

SB1999-P1866　断面（西から）

SB2000　完掘（南から）

SB2000-P1051　遺物出土状況（南から）

SB2000-P1839　遺物出土状況（南から）

SB2000-P1292　断面（西から）

SB2000-P1820　断面（西から）

SB2000-P1823　断面（北から）

SB2000-P1824　断面（西から）

SB2000-P1826　断面（東から）

SB2000-P1828　断面（南から）

SR1001　断面（北から）

SR1001　断面（北から）

SR1001（5 層）　遺物出土状況（南から）

SR1001（7 層）　遺物出土状況（西から）

SR1001（12 層）　遺物出土状況（北から）

SR1002　断面（北から）

SR1002　断面（北から）

SR1002　完掘（北西から）

SR1003　断面（北西から）

SR1003　遺物出土状況（南西から）

SD1412　断面（南西から）

SD1413　断面（南西から）

SD1414　断面（南西から）

SD1416　断面（南西から）

SD1475　断面（東から）

SD1476　断面（東から）

SD1477　断面（東から）

SD3144　断面（東から）

拡張区全景（北から）

拡張区全景（東から）

SX64　出土土器

SI1470　出土土器

SX64（1 ～ 12）

2

5

8

12

1

3

6

9

10

4

7

11

13

SX159（13 ～ 24）

14

17

19

24

15

18

21

16

20

23

22

P49（27）

27

SB724-P610（28）

28

SK4（25）

25

焼土272（26）

26

P366（29）

29

Ⅵa5層（30 ～ 41）

30

35

32

39

31

36

37

33

39

41

34

40

38

全て　〔1:3〕

Ⅵa6層（42 ～ 55）

42

46

50

45

43

47

51

54

44

49

52

55

48

53

67

Ⅵa7層（56 ～ 59）

57

58

59

56

Ⅵa8層（60 ～ 67）

61

63

60

66

62

64

65

Ⅵa層（68 ～ 226）

68

70

69

72

全て　〔1:3〕

Ⅵa層（68 ～ 226）

全て　〔1:3〕

Ⅵa層（68 ～ 226）

全て　〔1:3〕

Ⅵa層（68 ～ 226）

136

137

138

139

140

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

153

154

155

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

177

178

180

141

152

156

170

171

172

173

174

175

176

181

全て　〔1:3〕

Ⅵa層（68 ～ 226）

全て　〔1:3〕

Ⅵa層（68 ～ 226）

223

225

224

226

SK1099（239）

239

SK1224（240）

240

SK1241（241 ～ 243）

241

242

243

SI1470（227 ～ 238）

229

227

234

236

230

228

237

231

232

235

238

233

SK1627（245）

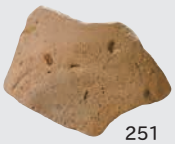
245

SK3056（248 ～ 251）

248

250

249


251

SB1997-
SK1286（246）

246

SK3108（247）

247

253

254

SK3126（252 ～ 255）

252

255

全て　〔1:3〕

SK1627（244）

244

244

244

SK3160（256 ～ 274）

259

264

265

266

257

261

258

262

269

260

267

270

263

268

272

271

273

256

274

244部分　〔1:2〕
244　〔1:8〕
その他　〔1:3〕

SD1009（275）

275

SX169（279 ～ 284）

280

281

279

SB2000-P1839（286）

286

SB1998-P1696（287）

287

SD1012（276・277）

276

282

SB2000-P1051（285）

285

SB730-P1095（288）

288

SB1999-P1262（290）

290

283

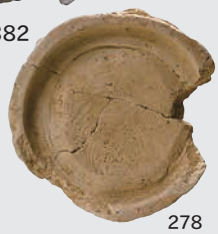
P1351（291・292）

291

292

277

SD1382（278）


278

284

P1096（289）

289

P1441（294）

294

P1353（293）

293

P1579（297）

297

SB1997-P1594（295・296）

295

296

SB1998-P1696（299）

299

P1820（300）

300

SB1998-P1619（298）

298

P3172（302・303）

302

303

SR1001-1層（305 ～ 310）

305

306

308

310

SB745-P3104（301）

301

307

309

P3142（304）

304

SR1001-2層（311）

311

全て　〔1:3〕

SR1001-5層（312 ～ 329）

312

313

314

316

317

318

319

321

322

323

324

325

326

315

320

328

329

327

SR1001-7層（330 ～ 336）

330

334

331

335

336

338

332

344

333

343

SR1001-11・12層（337 ～ 344）

337

339

340

341

342

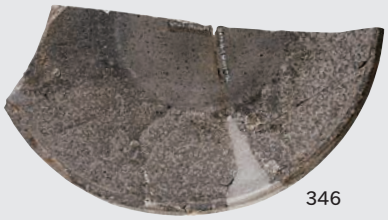
全て　〔1:3〕

SR1001-11・12層（337 ～ 344）

344

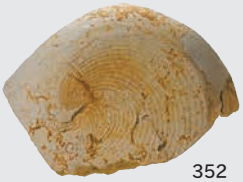
SR1001・サブトレンチ（345・346）

345


346

SR1003-1層（351 ～ 354・360）

348

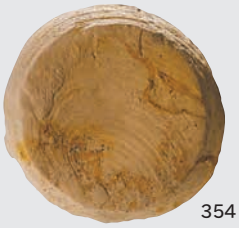

352

351

SR1002（347 ～ 350）

347

349


354

353

350

SR1003-3層（355）

356

355

Ⅵb層（365 ～ 497）

365

368

370

SR1003-10層（356 ～ 359）

357

359

360

SR1003-13～16層（361 ～ 364）

361

362

363

358

364

344部分　〔1:2〕
344・350　〔1:6〕
その他　〔1:3〕

Ⅵb層（365 ～ 497）

全て　〔1:3〕

Ⅵb層（365 ～ 497）

381

395

405

379

392

396

407

409

380

390

401

411

402

412

382

391

403

413

383

404

414

384

393

406

385

394

417

386

416

387

397

408

398

388

399

415

389

400

410

全て　〔1:3〕

Ⅵb層（365 ～ 497）

全て　〔1:3〕

Ⅵb層（365 ～ 497）

全て　〔1:3〕

Ⅵb層（365 ～ 497）
その他（498 ～ 503）
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
492～503 〔1:3〕
504～529 〔1:2〕

529（X線）

538・539　〔1:1〕
529～537　〔1:2〕
540　〔1:3〕

報告書抄録

ふりがな	かなやいせきよん　だいよん　ごじちょうさ
書名	金屋遺跡Ⅳ　第４・５次調査
副書名	一般国道 253 号八箇峠道路関係発掘調査報告書
巻次	3
シリーズ名	新潟県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 296 集
編・著者名	春日真実・田中祐樹（以上、新潟県埋蔵文化財調査事業団）、南波守・松井奈緒子・石坂圭介（以上、株式会社大石組）、中井勝次（株式会社イビソク）、斎藤崇人・井上智仁・矢作健二・坂本秀平・斎藤紀行（以上、株式会社パリノ・サーヴェイ）
編集機関	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒956－0845　新潟県新潟市秋葉区金津 93 番地１　　TEL　0250（25）3981
発行年月日	2023（令和５）年７月 28 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
金屋遺跡（かなや）	南魚沼市（みなみうおぬまし） 余川字道上（よかわ　みちうえ）	152269	24	37° 08′ 19″	138° 87′ 34″	20200801 ～ 20201208 20210520 ～ 20211114	2,263 上層 1,053 下層 1,210	一般国道 253 号 八箇峠

種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
集落跡	平安時代	竪穴建物 1、掘立柱建物 49、柱穴列 16、溝 67、土坑 36、性格不明遺構 6、焼土遺構 5、ピット 1688	土師器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・腰帯具・鉄器（鉄製轡・鉄鏃・鎌・紡垂車・釘など）	鉄製轡、鉄鏃、腰帯具などが出土

要約　平安時代の遺構検出面を２面確認した。年代は上層（Ⅵa 層）が９世紀末～10 世紀後半、下層（Ⅵb 層）が９世紀初頭～後半である。上層は柱穴列で区画した掘立柱建物群、下層は掘立柱建物と竪穴建物を検出した。竪穴建物から関東地方北部に分布する武蔵型甕と北陸地方に分布する北陸型甕、在地の甕が出土した。竪穴建物のカマドは建物の外側に突出し、この形状は越後では類例が少なく、関東地方で多く見られる。緑釉陶器、帯金具、馬具や鉄鏃が出土した。集落内には、武器を携え騎乗する有力者が存在したと思われる。

新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 296 集

一般国道 253 号八箇峠道路関係発掘調査報告書３

金屋遺跡Ⅳ　第４・５次調査

2023（令和5）年７月 27 日印刷
2023（令和5）年７月 28 日発行

編集・発行　公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956－0845　新潟市秋葉区金津 93 番地１
電話　0250（25）3981
FAX　0250（25）3986

印刷・製本　株式会社ウィザップ
〒950－0963　新潟市中央区南出来島２丁目１番25号
電話　025（285）3311

新潟県埋蔵文化財調査報告書 第296集『金屋遺跡Ⅳ(第4･5次)』正誤表　　2024年2月追加

頁	位置	誤	正
抄録	北緯	３７度０８分１９秒	３７度０４分５５秒
抄録	東経	１３８度８７分３４秒	１３９度５２分２４秒